

Codex 委員会組織体制調査

目 次

1	Codex 委員会調査報告	2
2	Codex 委員会の概要	5
3	Codex 委員会の手続きマニュアル	25

Codex 委員会調査報告

イタリア出張報告

1. 出張者

技術調査部国際課 課長 湯地和夫

同 係員 笠間裕貴

2. 日程等

平成16年3月 6日(土) 成田発

同 ローマ着

8日(月) Codex事務局：遠藤食品規格専門官との意見交換

Codex事務局：宮城島事務長との意見交換

FAO情報課：Mr. Rich Sutton 主任との意見交換

9日(火) ローマ発

10日(水) 成田着

3. 調査の概要

(1) Codex事務局：遠藤食品規格専門官との意見交換

1) Codex食品添加物一般規格(GSFA)について

GSFAについては、全食品を対象にした食品分類表を別途作成し、その食品と食品添加物の組合せで基準値を設定している。また並行して食品添加物使用の一般原則を遵守するためのGSFA用Preambleについても作業部会を設けて検討している。

食品添加物は、従来技術的正当性の観点か個別食品部会でその使用が検討され、食品添加物汚染物質部会は、安全性の観点から審査していたが、GSFAの作成に伴い食品添加物の基準値の検討の場の一本化が進むと考えられるが、個別食品の分類とGSFA用食品分類表の分類とは完全に一致していないため、個別品目の基準が該当するGSFAに食品分類の基準値に追加されることとなる。

2) カドミウムの基準値について

今回日本が提出した意見は、カドミウム基準値の設定方法の方法論も踏まえて提出されていることから、従来の議論に無い流れである。汚染物質の基準値の設定には、各国固有の摂食実態、開発途上国の汚染実態のデータが、基準値作成において反映されていない等の問題が指摘されている。このため、コーデックス事務局内での議論でも、消費者の健康の保護の観点からの基準作成は各国に委ね、特に貿易上問題を引起す恐れのある食品の基準値について、コーデックス委員会は調整するべきとの意見もある。

日本の意見は、日本国内では尤もであるが、国際的には各国の摂食状況が異なるためこれが正しいとは言えないが、議論の展開として興味のあるところである。

タイは、現在検討されている汚染物質の基準値検討に先立ち、並行して検討されている暴露評価の規格を先ず策定し、その後汚染物質の基準値を検討すべきとの意見である。

途上国での汚染物質の実態データの作成に関して、日本が国際協力案件として取り組むことも可能ではないかと考える。

なお、今回の CCFAC では、オランダと日本が共同で汚染物質及びカビ毒の基準について整理した一般規格の改正案が検討される。

3) カビ毒の基準値について

マイコトキシンの基準値については、基本的には汚染が見られる低緯度地域の問題であるが、日本は食糧輸入国として自覚した対応がとられていない。農産物輸出国、特に開発途上国での汚染を抑制するには、適正農業規範の普及を図り総体的に汚染水準を引き下げる必要があり、また、汚染実態を調査する必要があるが、この分野でも日本の国際協力に対応できるではないかと考える。

4) 環境ホルモン汚染への取組みについて

環境ホルモンによる汚染は、食品だけの問題ではなくもっとグローバルな問題である。例えば、ダイオキシンについては各種ダイオキシン類の毒性をどのように総体的に示すか等の問題もあるが、既に ADI は許容値を超えているとも指摘もある。

ダイオキシンと同様に環境ホルモンの問題は、排出源の問題に関わることから、コーデックス委員会ではなく、地球環境問題を取り扱う国連機関で対処すべきであると考ええる。

(2) Codex 事務局：宮城島事務長との意見交換

本年5月に開催される Codex 一般原則部会での食品トレーサビリティの議論は、フランスが作成した原案には要求事項も加えられているが、定義のみのシンプルなものとなるのではないかと考える。また、要求事項は、別途ガイダンスとして作成されるべきと考える。

なお、コーデックス委員会は作成に時間を要することから、ISO での作業が先行してしまうことを懸念している。

(3) FAO,情報課：Mr. Rich Sutton 主任との意見交換

当センターが、FAO 公表の Codex 規格・リスク評価報告書の翻訳物を、Copy rights を受けてセンターホームページで提供したいとの要請があることは承知している。本件については、WHO 担当者の了解も必要なことから、来週予定される WHO 担当者との会議の際に了解を取り付け、当センターに通知したい。

Codex委員会の概要

1 委員会の概要

コーデックス委員会は、「消費者の健康の保護」、「食品の公正な貿易の確保」等を目的として、1962年に国連食糧農業機関(FAO)及び国連世界保健機関(WHO)により設置された国際的な政府間機関であり、国際食品規格(コーデックス規格)の作成等を行っている。

コーデックス委員会が策定した食品規格は、WTO(世界貿易機関)条約のもとで、国際的な制度の調和を図るものとして位置付けられている。

コーデックス委員会の下には、28部会(休会中の部会も含む)が設けられている。

※組織図：本報告書巻末に掲載

部会は、参加国の中から選ばれたホスト国(主催国)が運営しており、会議は一般にホスト国で開催される。

コーデックス委員会加盟：169ヶ国(2003年12月現在)

(我が国は1966年より参加)

事務局：FAO本部(ローマ)

※コーデックスとは、コーデックス・アリメンタリウス(Codex Alimentarius)の略で、ラテン語で「食品基準」の意味である。

コーデックス委員会総会は、2001年までは隔年で、2002年からは、ローマのFAO本部、ジュネーブのWHO本部で交互に毎年開催されている。総会の参加者は約500名で、会議に参加する代表団は国単位で派遣される。代表団は政府任命の高官を団長とし、産業界、消費者団体、学術機関の代表が含まれることもある。

委員会に未加盟の国は、適宜オブザーバーの枠内で参加している。

また、多くの国際的政府機関や国際的非政府組織(NGO)もオブザーバーとして参加しており、オブザーバーではあるが、コーデックス委員会の伝統により、加盟国政府の排他的特権である決議のための投票権を除いては、どの段階でも意見を出すことが許されている。

委員会は、加盟国と絶えず連携を行う必要があることから、各国政府と協力して加盟国内にコーデックス連絡窓口を設け、また、国内の活動を調整するために、加盟国に国内コーデックス委員会の設置を推奨している。

コーデックス委員会の発足以来、その活動が国際貿易に関係することから、委員会の動向が注目されており、近年、開発途上国の参加が増加している。

2 コーデックス委員会の設立背景

オーストリア・ハンガリーにおいて、1887年から1911年にかけて、様々な食品に関する基準と製品に関する情報の収集・整理が行われ、コーデックス・アリメンタリウス・アウストリアクス(Codex Alimentarius Austriacus)としてまとめられた。

現在のコーデックスの名称は、この食品基準書の名を受け継いだものである。

1903年に設立された国際酪農連盟[International Dairy Federation](IDF)は、各国独自の食品法と食品基準に規定された品質で安全な食品を貿易できるよう、各種の食品規格を調和させるよう各国に働きかける団体の一つであり、IDFが取り組んだミルクと乳製品の基準作りが、その後のコーデックス委員会の設立等に大きな役割を果たした。

1940年代には、科学技術の発展が分析技術にも波及し、食品の品質、健康への危害、使用される物質について消費者に注目されるようになり、食品に関係する業者、消費者、専門家等は、消費者保護を踏まえた食品規制について、FAOとWHOに対しリーダーシップを取るよう期待した。

1953年、食品へ使用される化学物質について公衆衛生の観点から、FAOとWHOの両機関において、それに関する研究を進めることが提案され、食品添加物の使用問題が重要な位置付けとされた。

その結果、1955年、両機関は、第1回FAO/WHO合同食品添加物会議を開催し、その後、この会議からFAO/WHO合同食品添加物専門家委員会(JECFA)が発足した。

1960年10月のFAO欧州地域総会において、「急速に統合しつつある欧州経済において、最低限の食品規格と関連問題（表示、分析法等含む）について、国際合意を求めることは、消費者の健康保護、食品の品質確保及び貿易障壁の低減化のため、重要な方法である。」との意見が集約され、また、「多くの機関によって作成され、さらに増加する食品規格計画の調整という問題が生じてきた」との認識が示された。

この地域総会後に、FAOは、WHO、ECE、OECD、Codex Alimentarius Europaeus理事会と協議し、国際食品規格計画の設立につながる提案を行った。

1961年11月、コーデックス委員会設立に関する決議が第11回FAO総会で承認され、1962年にコーデックス委員会が設立された。そして、1963年5月、第16回WHO総会において、FAO/WHO合同食品規格計画の設定が了承され、コーデックス委員会規約が採択された。

3 委員会設立に関する決議

コーデックス委員会を設立するための決議は、1961年の第11回FAO総会及び1963年の第16回WHO総会の両方において承認され、両機関はさらに、「委員会の規約」及び「手続きマニュアル」を採択した。

2003年現在の加盟国は169ヶ国、世界人口の97パーセントに及んでいる。

コーデックス委員会は国際機関であり、設立以来2003年までに26回の総会が開催されている。

(1) 規約

規約は、委員会の業務の法的根拠を示し、背後にある概念と設立理由を公式に反映したものである。

規約第1条では、委員会の目的、権限、目標が示されている。第2条では、委員会への加盟資格が示されており、その資格はFAO及びWHOの全加盟国及び準加盟国に開放されている。

○ コーデックス委員会の目的（第1条）

- a 消費者の健康を保護し、食品貿易における公正な慣行の保証。
- b 国際的な政府組織及び非政府組織が行うすべての食品規格業務の調整、促進。
- c 適切な組織の援助により、規格草案の優先順位の決定、作成の着手及び指導。
- d 作成された規格を最終決定し、各国政府が受諾後、コーデックス食品規格委員会に公表。この際、可能であれば、上記bに基づき他の機関がすでに最終決定した国際規格とともに、地域的または国際的な食品規格のいずれかとして公表。
- e その後の進展に基づき適切な調査を実施した後、公表済みの規格を修正。

(2) コーデックス委員会の手続きマニュアル

コーデックス委員会の手続きマニュアルは、規格作成等に関する事務手続きを公文化したものであり、下記事項が規定されている。

- a 委員会への加盟条件
- b 議長、3人の副議長、地域調整官、事務局長を含めた委員会職員の任命、及び責任
- c 執行機関として委員会を代表して活動するため、委員会開催以外に会合する執行委員会の設立
- d 委員会の開催頻度と業務
- e 委員会の議題の性格
- f 投票手続き
- g オブザーバー

- h 委員会の記録及び報告書の作成
- i 下部機関の設置
- j 規格作成のために取るべき手続き
- k 予算配分と経費の積算
- l 委員会における使用言語

4 委員会構成、組織（本報告書巻末の別添組織図参照）

(1) コーデックス委員会総会

コーデックス委員会総会は、FAO 本部のあるローマと、WHO 本部のあるジュネーブで交互に開催される。

総会では、各部会において8段階のステップを経て討議された規格・基準及び関係文書の採択について討論される。

(参考)

コーデックス食品規格及び関連文書の作成に関する統一手続き(8段階のステップ)

- ステップ1 総会又は執行委員会が規格作成を決定
- ステップ2 事務局が提案規格草案の手配
- ステップ3 提案規格草案について各国にコメントを要請
- ステップ4 部会が提案規格草案を検討
- ステップ5 提案規格草案について各国にコメントを要請。そのコメントに基づき、総会又は執行委員会が規格案の採択を検討
- ステップ6 規格案について各国にコメントを要請
- ステップ7 部会が規格案を検討
- ステップ8 規格案について各国にコメントを要請。そのコメントに基づき、総会が規格案を検討し、コーデックス規格として採択

ステップ1

「委員会」では、「作業優先順位の確立及び下部機関の設置に関する基準」を考慮に入れて、規格を作成すべきか判断し、どの下部機関またはその他機関がその作業を担当するかを決定する。

ステップ 2

事務局は、「提案規格草案」(proposed draft standard)の作成を手配する。

また、提案規格草案作成の調整にあたって、農薬または動物用医薬品の最大残留基準値の検討は、FAO/WHO 合同食品添加物専門家委員会 (JECFA) または FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議(JMPR)からの情報が得られる場合は、事務局が、最大残留基準値に関する専門家会議の勧告を配布する。乳及び乳製品またはチーズに関する個々の規格については、事務局が、国際酪農連盟[International Dairy Federation](IDF)の勧告を配布する。

ステップ 3

経済的利益に対して提案規格草案が与える可能性のある影響を含め、すべての分野についてのコメントを受け付けるため、「委員会」加盟国及び関心のある国際組織に送付される。

ステップ 4

事務局が受け付けたコメントは、考察し、提案規格草案を修正する能力のある下部機関またはその他の関連機関に、事務局により送付される。

ステップ 5

提案規格草案は、規格案として採択のため、事務局を通じ、「委員会」または執行委員会に提出される。

※ 「委員会」は、規格草案作成を委任している下部機関等コーデックス部会から「ステップを省略する」旨を勧告された場合には、投票数の 3 分の 2 の賛成多数により、Step 6 及び Step 7 の省略を是認できる。

ステップ 6

規格案は、事務局を通じてすべての加盟国及び関心のある国際組織に送付し、経済的利益に関して規格案が持ち得る意味を含むすべての局面についてのコメントを受ける。

ステップ 7

受け付けたコメントは、考察し、規格案を修正する能力のある下部機関またはその他関連機関あてに事務局が送付する。

ステップ 8

規格案は、コーデックス食品規格としての採択を目的として、加盟国及び関心のある国際組織から受け取った Step 8 での修正に関する提議文書とともに、事務局を通じて「委員会」に提出され、総会で採択される。

※ 「委員会」若しくは関係する下部機関またはその他機関は、規格案の検討において、

それを手続きの適切な前のステップに差し戻すべきかを決定することができる。

また、「委員会」では、草案を Step 8 で保留するとの決定もできる。

※詳細は、本報告書後半のマニュアルの第 1 部：コーデックス食品規格及び関連文書の作成に関する統一手続きを参照。

(2) 執行委員会 Executive Committee of the Codex Alimentarius Commission

執行委員会は、議長、3 副議長及び 7 地域代表(アジア、アフリカ、欧州、ラテンアメリカ・カリブ海、北米、南西太平洋、近東) で構成され、毎年開催される。

第 26 回総会(2003 年 6 月)においてコーデックス委員会の管理機関として機能することが合意された。

議長：Stuart Alexander Slorach (スウェーデン)

副議長：Claude John Shara Mosha (タンザニア)

Paul Mayers (カナダ)

Hiroshi Yoshikura (吉倉 廣) (日本)

(3) 委員会の下部機関

委員会は、手続きマニュアルに従って 2 種類の下部機関を設立する権限が与えられている。

○ コーデックス部会 Codex Committees

委員会へ提出する規格案を作成する。

コーデックス部会は、一般問題部会、個別食品部会及び特別部会に分類される。

○ 地域調整部会 Coordinating Committees

複数国により構成される地域またはグループが、地域規格の作成を含めて、地域内の食品規格に関する諸活動を調整する。

各部会は、僅かな例外を除き加盟国の一つがホスト国として、部会の維持、運営費の負担、及び議長としての責任を負う。

ア コーデックス部会

(1) 一般問題部会 General Subject Committees

コーデックスの規約のほか、食品添加物・汚染物質、食品表示等食品全般に横断的に適用できる規格基準、取扱い規範等の予備的作成を行う部会。

一般問題部会は、食品全般や特殊な食品、あるいは一群の食品に適用すべき包括的な概念と原則を決める。また、コーデックスの個別食品規格に関する関係諸規定の承認や検討、専門科学関係機関の助言に基づく消費者の健康と安全性に関する主

要な勧告の作成を行う。

業務がすべての個別食品規格全般にわたって適用されることから、一般問題部会は時として「水平的部会」ともいわれる。これには次の9部会がある。

() の国名は主催国。

① 一般原則部会 (フランス)

The Codex Committee on General Principles (CCGP) 議長 : Michel Thibier

- (a) 食品規格の目的、範囲、性質と各国の食品規格の採択様式を定義する「一般原則」の制定。
- (b) 食品別規格部会に対するガイドラインの開発 ; 個別規格または規格の規定が有する経済上の可能性ある示唆に関して、各国政府から提出された経済的利益についての意見を検討する機構の開発。
- (c) 食品の国際貿易に対する倫理綱領の制定。

② 食品表示部会 (カナダ)

The Codex Committee on Food Labelling (CCFL) 議長 : Anne MacKenzie

- (a) すべての食品に適用できる表示に関する規定案の作成。
- (b) 食品別規格部会が作成する特定の表示規定案の検討。必要に応じて修正し、適正な場合に承認。
- (c) 「委員会」が当部会に指示した特定の表示問題の検討。
- (d) 強調及び誤解を招く記述事項に関する食品表示の問題の検討。

③ 分析・サンプリング法部会 (ハンガリー)

The Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling (CCMAS)

議長 : Péter A. Biacs

- (a) 国際食品規格の分析方法及びサンプリング方法に適合した基準の定義。
- (b) 分析、サンプリング方法及び品質保証についての作業を実施している国際グループに対する調整業務。
- (c) (b)の機関から当部会に提出された最終勧告に基づいて、多数の食品に一般的に適用できる食品規格に適する分析及びサンプリングの参照方法の特定。
- (d) 食品別規格部会によって提案された分析及びサンプリング方法の検討。必要に応じて修正し、適正な場合に承認。ただし、食品中の残留農薬または残留動物用医薬品に対する分析及びサンプリング方法、食品中の微生物学的な品質及び安全性の評価、食品添加物の明細事項の評価は、当部会の業務には含まない。
- (e) 必要に応じたサンプリング方法及びマニュアルの作成。
- (f) 「委員会」または部会により当部会に提出された特定のサンプリング及び分析

の問題の検討。

- (g) 研究機関の品質保証システムと同様に、食品試験機関制度の評価のための手続き、原案、ガイドラインまたは関連文書の明示。

④ 食品衛生部会（米国）

The Codex Committee on Food Hygiene (CCFH) 議長：Karen Hulebak

- (a) すべての食品に適用できる食品衛生に関する基礎的な規定案の作成。
- (b) 食品別規格部会により作成され、各食品別規格に含まれている食品衛生に関する規定の検討。必要に応じ修正し、適正な場合に承認。
- (c) 食品別規格部会により作成され、各食品規格の取扱い規範に含まれる食品衛生に関する規定を検討し、必要に応じて修正し、適正な場合に承認。
- (d) 特定の食品または食品グループに適用できる衛生に関する規定案の作成。
- (e) 「委員会」から指示された特定の衛生問題の検討。
- (f) 国際的なレベルで微生物学的リスク評価が必要な分野を提案し、それらに優先順位付けし、リスク評価機関に対する問題の提起。
- (g) 微生物学的リスク管理事項を、食品衛生及びFAO並びWHOのリスク評価に関連付けた検討。

⑤ 残留農薬部会（オランダ）

The Codex Committee on Pesticide Residues (CCPR) 議長：Hans Jeuring

- (a) 食品または食品グループ中の農薬に対する最大残留基準値の制定。
- (b) 国際的に貿易される動物飼料中の農薬に対する最大残留基準値の制定。
- (c) FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR)による評価のための農薬の優先リストの作成。
- (d) 食品及び飼料中の残留農薬を測定するためのサンプリング及び分析方法の検討。
- (e) 農薬が残留している食品及び飼料の安全性に関する事項の検討。
- (f) 食品または食品グループ中において農薬と同じような化学的にまたは他の類似性を示す汚染物質に対する最大基準値の制定。

⑥ 食品添加物・汚染物質部会（オランダ）

The Codex Committee on Food Additives and Contaminants (CCFAC)

議長：Annie de Veer

- (a) 個々の食品添加物、汚染物質並びに食品及び動物飼料中の天然毒物の許容最高限度または許容限度ガイドラインの制定、承認。
- (b) FAO/WHO合同食品添加物専門家委員会による毒物学的評価を受けるため食品

添加物及び汚染物質の優先リストの作成。

- (c) 「委員会」による採択のための、食品添加物の同定と純度に関する規格の勧告。
- (d) 食品中の添加物（汚染物質）測定のための分析方法の検討。
- (e) 食品添加物を販売する際の表示や食品照射等の関連事項の規格または規範の検討、作成。

⑦ 食品輸出入検査・認証制度部会（オーストラリア）

The Codex Committee on Food Import and Export Inspection and Certification Systems
(CCFICS) 議長：Gregory Read

- (a) 食品の輸出入検査及び認証制度のための原則及びガイドラインの開発。
- (b) 必要に応じて、食品が諸要件（特に健康に関する法令上の要件）に適合することを保証するために、各輸出入国の所管官庁における手段適用のための原則及びガイドラインの開発。
- (c) 食品が諸要件に適合することを保証するために、品質保証制度利用のガイドラインの開発。
- (d) 公式証明書の書式、内容及び言語に関するガイドライン及び基準の開発。
- (e) 食品の輸出入管理に関する情報交換の勧告。
- (f) 食品の検査及び認証制度に関する事項に関して作業しているその他の国際的グループとの協議。
- (g) 「委員会」から当部会に指示されたその他の事項の検討。

⑧ 栄養・特殊用途食品部会（栄養のための一般部会）（ドイツ）

The Codex Committee on Nutrition and Foods for Special Dietary Uses (CCNFSDU)
議長：Rolf Grossklaus

- (a) 「委員会」から指示された特定の栄養上の問題を検討。「委員会」に対する一般的な栄養面に関するアドバイスの実施。
- (b) すべての食品の栄養面に関する規定案の作成。
- (c) 他の部会と協力し、特殊用途食品の規格、ガイドライン及び関連書類の作成。
- (d) 食品別規格部会及び一般問題部会に対する規格中の栄養面についての勧告及びガイドラインの作成。
- (e) 栄養面に関する事項で国際食品規格に含めるべきとの提案を受けた案件についての規定の検討。必要に応じ修正し、適正な場合に承認。

⑨ 食品残留動物用医薬品部会（米国）

The Codex Committee on Residues of Veterinary Drugs in Food (CCRVDF)
議長：Stephen F Sundlof

- (a) 食品中の残留動物用医薬品を検討するための優先順位の決定。
- (b) 食品中の残留動物用医薬品の最大残留基準値の勧告。
- (c) 必要に応じた取扱い規範の開発。
- (d) 食品中の残留動物用医薬品の測定に使用される分析方法の基準決定。

(i) 個別食品部会

個別食品部会は、個々または一群の食品のための規格を作成する責任を負う。

個別食品部会は必要に応じて開かれ、仕事を終了したと委員会によって決定された時は休会または廃止される。新規基準の作成が特別に必要な場合は、臨時に特別部会を設けることができる。ホスト国は、必要に応じて1年ないし2年おきに、ホスト部会を開催する。

「水平的部会」と区別し、また全面的責任が認められているために、この部会はしばしば「垂直的部会」と呼ばれて、次の11部会がある。

() の国名は主催国。

① 油脂部会 (英国)

The Codex Committee on Fats and Oils (CCFO) 議長: Rosemary Hignett

動物性、植物性の油脂及び海産起原の油脂に関する国際規格の作成。(マーガリン及びオリーブ油を含む)

② 魚類・水産製品部会 (ノルウェー)

The Codex Committee on Fish and Fishery Products (CCFFP)

議長: Jørn Røthe Knudtsen

生鮮、冷凍(急速冷凍を含む)またはその他加工した魚・甲殻類及び軟体動物の国際規格の作成。

③ 乳・乳製品部会 (ニュージーランド)

The Codex Committee on Milk and Milk Products (formerly the FAO/WHO Committee of Government Experts on the Code of Principles for Milk and Milk Products) (CCMMP)

議長: Steve Hahathaway

乳及び乳製品に関する国際的規格、取扱い規範及び関連文書の作成。

④ 生鮮果実・野菜部会 (メキシコ)

The Codex Committee on Fresh Fruits and Vegetables (CCFFV)

議長: Miguel Aguilar Romo

生鮮果実及び野菜の国際的規格、取扱い規範の作成。

⑤ ココア製品・チョコレート部会（スイス）・・・休会

The Codex Committee on Cocoa Products and Chocolate (CCCPC)

ココア製品及びチョコレートの国際規格の作成。

⑥ 糖類部会（英国）・・・休会

The Codex Committee on Sugars (CCS)

全種類の砂糖及び砂糖製品の国際規格の作成。

⑦ 加工果実・野菜部会（米国）

The Codex Committee on Processed Fruits and Vegetables (CCPFV)

議長：David Priester

- ・全種類の加工果実及び野菜の国際規格の作成。（乾燥製品、乾燥えんどう及びビーンズの缶詰、ジャム及びゼリーを含むが、乾燥すもも、果実ジュース並びに野菜ジュースは含まない。）
- ・急速冷凍果実及び野菜の規格改訂。

⑧ 植物タンパク質部会（カナダ）・・・休会

The Codex Committee on Vegetable Proteins (CCVP)

- ・ヒトに摂取されてきた植物源に由来する植物タンパク食品の定義及び国際規格の作成。
- ・食品供給システムにおける植物タンパク食品の利用に関するガイドライン、栄養の基準並びに安全性に関するガイドライン、表示に関するガイドライン及びその他関係するガイドラインの作成。

⑨ 穀類・豆類部会（米国）・・・休会

The Codex Committee on Cereals, Pulses and Legumes (CCCPL)

適宜、穀類、豆類及びそれらの製品の国際規格、取扱い規範の作成。

⑩ 食肉衛生部会（ニュージーランド）

The Codex Committee on Meat and Poultry Hygiene (CCMH)

議長：Andrew McKenzie

食肉衛生に関する国際規格、取扱い規範の作成。

⑪ ナチュラル・ミネラルウォーター部会（スイス）・・・休会

The Codex Committee on Natural Mineral Waters (CCNMW)

ナチュラル・ミネラルウォーターの国際規格の作成。

※休会中の部会は、検討事項について総会においてステップ8で採択され、当面、検討事項がない場合や検討事項が他の部会での検討に移行したことなどにより、休会となっている。

(ウ) 特別部会

特別部会は、期限を設けて特定議題を検討する部会で、1999年の第23回総会において次の3部会が設置された。

果汁・野菜ジュース特別部会は2005年までに終了予定。

また、作業終了予定が2003年であった動物用飼料特別部会は、2003年までに作業を終了できず2005年までに延長された。

バイオテクノロジー応用食品特別部会は当該目的事項完了のため、2003年の第26回総会で廃止された。

① バイオテクノロジー応用食品特別部会（日本）

The Codex ad hoc Intergovernmental Task Force on Foods Derived from Biotechnology (CTFBT) 議長：Hiroshi Yoshikura（吉倉 廣）

- (a) バイオテクノロジー応用食品に関する規格、ガイドライン及びその他原則の作成。
- (b) バイオテクノロジー応用食品に関連する適当な食品規格部会との綿密に連携協力と、それらの任務との調整。

○主な合意内容

- ・「組換えDNA微生物利用食品の安全性評価の実施に関するガイドライン案」について、ステップ8に進めることで合意し、その後の2003年第26回コーデックス委員会総会で採択された。
- ・リスク分析におけるトレーサビリティについては、一般原則部会（CCGP）をはじめとするコーデックスの他の部会で議論されるべきであると決定されているが、当特別部会では、安全性に問題が生じた場合の製品回収や上市後のモニタリングの目的として製品の追跡がリスク管理の一つの有効な手法である旨が、リスク分析に関する原則案に取り込まれており、各国ともこの概念の重要性を確認した。
- ・その他（当特別部会の会議の成果文書）
 - 「モダンバイオテクノロジー応用食品のリスク分析に関する原則案」
 - 「組換えDNA植物由来食品の安全性評価の実施に関するガイドライン案（付属文書の「アレルギー誘発性評価に関する添付資料案」を含む。）」

「組換えDNA微生物利用食品の安全性評価の実施に関するガイドライン案(付属文書の「アレルギー誘発性評価に関する添付資料案」を含む。)

② 果汁・野菜ジュース特別部会 (ブラジル)

The Ad Hoc Codex Intergovernmental Task Force on Fruit and Vegetable Juices
(CCFVJ) 議長: Maçao Tadano

- (a) 果汁、野菜ジュース及び関連商品に関する既存の国際規格及びガイドラインの改訂、統合。
- (b) 商品の分析方法及びサンプリング方法の改訂、更新。
- (c) 当特別部会の作業は、2005年第28回の委員会までに終了。

③ 動物用飼料特別部会 (デンマーク)

The Ad Hoc Intergovernmental Task Force on Animal Feeding (CCAF)
議長: Gorm Lunn

- (a) 関連の部会で作成されている動物用飼料の使用に関する取扱い規範草案の完了及び改訂。
- (b) 毒性物質、病原体、抵抗性微生物、新たな技術、保管、管理方法、トレーサビリティ等、食品の安全性に関するその他重要な事項の提起。

イ 地域調整部会

地域調整部会は、委員会の業務が地域の利害や途上国の関心事に応えることを保証するという点で、非常に重要な役割を果たしている。地域調整部会は、各地域の国の代表の出席の下に、1ないし2年おきに開催され、会議報告は総会に提出され、討議される。

食品の規格や管理等に関する地域的な問題の議論や地域に関係の深い食品の世界規格の策定の提言等を行う。主要業務は次のとおり。

- (a) 地域の食品規格及び食品管理の問題及びニーズの明確化。
- (b) 提案された発議の作成及び食品管理から生じる問題に関する情報交換のための連絡促進。食品の管理基盤の強化の促進。
- (c) 将来国際市場力を潜在的に有すると考えられる製品も含めた、当該地域に利害関係のある製品について、「委員会」に対する国際規格の開発の勧告。
- (d) 地域内で貿易する食品の地域規格の開発。
- (e) 地域に特に有意義となる「委員会」の業務について、「委員会」への提起。
- (f) 地域内で、国際的な政府間及び非政府間機関によって取り組まれた地域食品規格化事業の調整促進。

- (g) 地域に対する一般的な調整及び当委員会に「委員会」が委託する機能の行使。
- (h) 加盟国によるコーデックス食品規格及び最大残留基準値の採択の促進。

地域調整部会には常任のホスト国はない。会議は当該地域内の国がホスト国となつて、委員会の同意を得て開かれる。次の6部会からなる。

- ① アフリカ
- ② アジア
- ③ 欧州
- ④ 近東
- ⑤ ラテンアメリカ及びカリブ海
- ⑥ 北米及び南西太平洋

ウ その他

コーデックス委員会において、食品中の食品添加物・汚染物質、動物用医薬品、農薬の人の健康へのリスク評価については、コーデックス委員会とは独立した次の専門家の会合において検討されている。この会合には専門家が個人の資格で参加する。

(7) F A O/WHO合同食品添加物専門家委員会

Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (J E C F A)

FAO と WHO が合同で運営する専門家の会合として、1956 年設立された。FAO、WHO それらの加盟国及びコーデックス委員会に対する科学的な助言機関として、食品添加物、汚染物質、動物用医薬品等の安全性評価を行う。

通常年 2 回開催（添加物・汚染物質で一回、動物用医薬品で一回）。

1956 年設立後、1972 年に食品中の汚染物質、1987 年に食品中の動物用医薬品が評価対象に拡大された。

(4) F A O/WHO合同残留農薬専門家会合

Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues (J M P R)

FAO と WHO が合同で運営する専門家の会合として、1963 年設立された。FAO、WHO それらの加盟国及びコーデックス委員会に対する科学的な助言機関として、科学的評価に基づき農薬の残留レベルや一日摂取許容量 (ADI) について検討する。通常年 1 回開催。

(ウ) F A O / W H O 微生物学的リスク評価専門家会合

Joint FAO/WHO Expert Meetings on Microbiological Risk Assessment (J E M R A)

FAOとWHOが合同で運営する専門家の会合として、2000年設立された。FAO、WHOそれぞれの加盟国及びコーデックス委員会に対する科学的な助言機関として、特定の病原体と食品の組合せにおける定量的リスク評価手法の確立を行う。

5 ALARA の原則

コーデックス委員会では、食品の汚染物質の基準値の設定は、食品の摂取に伴って人の健康への影響がある場合のみに行うとしている。

基準値は、1) 消費者の健康を保護すること、2) 通常の生産技術等により合理的に達成可能な範囲で、できる限り低い水準とすることを原則（「ALARA の原則(As Low As Reasonably Achievable)」と呼ばれている。）として設定するとしている。

基準値は、科学的なデータに基づいて、各国が受け入れ可能で、食品の貿易を容易にする水準となるように検討するべきとしている。

6 コーデックスの編纂

コーデックス委員会の規約第1条に述べられているように、委員会の主目的の一つは、食品規格を作成し、それを「コーデックス」の形で出版することである。

委員会の業務並びに委員会が従うべき諸規程の法的根拠は、「コーデックスの手続きマニュアル」に記されており、2004年3月現在では第13版が最新となっている。手続きマニュアルは、各委員会の任務の他、規格の作成手続きも規定されており、一般に公開されている。規格作成手続きの概要は次の通りである。

- それぞれの国の政府またはコーデックス委員会の下部部会から規格作成のための提案の提出。
- 提案を受け、委員会または執行委員会が規格の作成を決定。作成過程を通じて規格の取扱いに責任を持てるように、委員会または執行委員会の意志決定や、下部機関の選択あるいは創設を支援するために、「業務の優先順位の確定、及び下部機関確立のための公式判断基準」がある。
- 委員会事務局による提案規格草案作成の手配、及びコメントを求めるための加盟国政府への回報。
- コメントは提案規格草案作成の責任を与えられた下部機関により検討される。この下部機関が次の段階として規格案を委員会に提出。

- ・ 規格案は、委員会によって採択された場合、各手続き段階を踏みながら何度も各国政府へ送付され、了承された場合、案はコーデックス規格となる。早い場合でも、規格作成に要する手続き段階は最高8回、最低5回にわたる。事情により手続きが繰り返される場合もある。多くは規格作成までに何年も要する。
- ・ 委員会の採択により、コーデックス規格としてコーデックスに加えられる。

「コーデックスの個別食品規格とその内容形式」はコーデックスの一般原則に記されており、下記種類の情報を含むものである。

- ・ 適用範囲－規格の名称を含む
- ・ 特徴、必須組成、品質要件－食品の最低基準を定義する
- ・ 食品添加物－コーデックス委員会で基準値が定められたもののみ使用可
- ・ 汚染物質
- ・ 衛生、重量、容積
- ・ 表示－「包装食品の表示に関するコーデックス一般規格」に従う
- ・ 分析及びサンプリング法

個別食品規格の他に、コーデックスには一般事項に関する規格がある。それはすべての食品に横断的に関わる内容である。下記事項には一般規格あるいは勧告が設けられている。

- ・ 食品表示
- ・ 食品添加物
- ・ 汚染物質
- ・ 分析及びサンプリング
- ・ 食品衛生
- ・ 栄養及び特殊用途食品
- ・ 食品輸出入検査及び認証システム
- ・ 食品中の残留動物用医薬品
- ・ 食品中の残留農薬

※コーデックスで設定された規格等の状況（2003 年の総会后）は次のとおり。

- ・食品規格（237）
- ・取扱い規範（45）
- ・ガイドライン（33）
- ・評価済み農薬（207）
- ・残留農薬の限度（3,274）
- ・汚染物質のガイドライン限度（25）
- ・評価済み動物用医薬品（54）
- ・残留動物用医薬品の限度（289）
- ・評価済み食品添加物（1,300）

7 コーデックス規格の改訂

委員会とその下部機関は、コーデックス規格及び関連する記述が現在の科学知識に合致しそれを反映するようにするため、必要に応じて改訂することを委任されている。

委員会の加盟国は、現行のコーデックス規格や関連記述の改訂に正当な理由を与える可能性のある新しい科学情報やその他関連情報を特定し、適当な部会へ伝える責任を負っている。改訂の手続きは初めの規格作成手続きと同様である。

（参考）

コーデックス（規格）の構成

- ・ 第1 A 巻—一般的要件
- ・ 第1 B 巻—一般的要件（食品衛生）
- ・ 第2 A 巻—食品中の残留農薬（一般事項）
- ・ 第2 B 巻—食品中の残留農薬（最高残食品中の残留農薬留限度）
- ・ 第3 巻—食品中の残留動物用医薬品
- ・ 第4 巻—特殊用途食品（乳幼児及び児童用食品を含む）
- ・ 第5 A 巻—加工及び急速冷凍果実及び野菜
- ・ 第5 B 巻—生鮮果実及び野菜
- ・ 第6 巻—果汁
- ・ 第7 巻—穀類、豆類及びその製品並びに植物たんぱく質
- ・ 第8 巻—油脂及び関連製品
- ・ 第9 巻—魚類及び水産製品
- ・ 第10 巻—食肉衛生、スープ及びブロス
- ・ 第11 巻—糖類、ココア製品及びチョコレートその他各種製品
- ・ 第12 巻—乳及び乳製品
- ・ 第13 巻—分析及びサンプリング法

全体的に見れば、上記規格集には一般原則、一般規格、定義、規範、個別食品の規格、分析方法、勧告などが含まれている。各巻の内容リストは、次のように参照し易く整理されている。

第1 A巻—一般的要件

1. コーデックスの一般原則
2. コーデックスのための定義
3. 国際食品貿易のための倫理規範
4. 食品標記
5. 食品添加物—食品添加物の一般規格を含む
6. 食品汚染物質—食品中の汚染物質及び毒素に関する一般規格を含む
7. 照射食品
8. 食品輸出入検査及び認証システム

既刊コーデックスは英、仏、スペイン語で出版されており、個々の基準は無料でインターネット上に提供するとともに、CD-ROMでも販売されている。

8 加盟国によるコーデックス規格の受諾

食品規格の調和は、消費者の健康保護と、公正な食品貿易を確保する上で必要であるとして一般に考えられている。そのため、「衛生及び植物検疫措置の適用に関する協定」(SPS協定)及び「貿易の技術的な障害に関する協定」(TBT協定)に関するウルグアイ・ラウンド合意は、いずれも食品規格の国際的調和を促している。

調和はすべての国が同じ規格を採用した時にのみ達成できる。コーデックスの一般原則には、加盟国がコーデックス規格を「受諾」する方法が記述されている。受諾の形は、規格が個別食品についてであるか、一般規格であるか、または農薬や動物用医薬品の残留レベルに関するものであるかによってやや異なる。しかし、通常提案される受諾方式は、「完全受諾」、「条件付き受諾」、及び「自由な流通」に分けられる。受諾方式は手続きマニュアルに明確に規定されているが、その方式が適切であるか否かについては、一般原則部会により検討されることもある。

コーデックスの活動のあらゆる分野に対する世界的関心の高まりによって、コーデックスの哲学—すなわち調和、消費者保護、及び国際貿易の促進—が全地球的に受け入れられていることは明らかであるが、実際は、法律の形式や行政組織の相異、政治形態の相

異、そして、時として国民の態度や主権概念の影響などにより、コーデックス規格を受諾しない国が多数存在する。

しかし、コーデックス規格はWTOのSPS協定やTBT協定に規定する国際規格として、WTO加盟国は国内規格を策定する際は基本的にコーデックス規格への準拠が義務付けられており、受諾の是非に関係なく、国際規格としての重要性が高まると予想される。

(注) 「THE CODEX ALIMENTARIUS」 (FAO/WHO 発行) より引用

CODEX ALIMENTARIUS
COMMISSION

PROCEDURAL MANUAL

Thirteenth edition



Food and Agriculture Organization of the United Nations



World Health Organization

FAO/WHO合同食品規格計画

コーデックス食品規格委員会

手続きマニュアル

第13版

国際連合食糧農業機関
世界保健機関

仮訳

CONTENTS

Contents	iii
Introduction.....	1
Statutes of the Codex Alimentarius Commission.....	3
Rules of Procedure of the Codex Alimentarius Commission.....	6
Procedures for the Elaboration of Codex Standards and Related Texts.....	19
General Principles of the Codex Alimentarius.....	29
Guidelines for the Acceptance Procedure for Codex Standards.....	35
Working Principles for Risk Analysis for Application in the Framework of the Codex Alimentarius	42
Definitions for the Purposes of the Codex Alimentarius.....	49
Guidelines for Codex Committees and Ad Hoc Intergovernmental Task Forces.....	55
Principles Concerning the Participation of International Non- Governmental Organizations in the Work of the Codex Alimentarius Commission	63
Criteria for the Establishment of Work Priorities.....	69
Criteria for the Establishment of Subsidiary Bodies of the Codex Alimentarius Commission.....	71
Guidelines for the Inclusion of Specific Provisions in Codex Standards and Related Texts.....	73
Uniform System of References for Codex Documents.....	87
Format for Codex Commodity Standards.....	90
Relations between Commodity Committees and General Committees	94

iii

目 次

目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
序文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
コーデックス食品規格委員会規約・・・・・・・・	35
コーデックス食品規格委員会手続き規程・・・・・・・・	41
コーデックス食品規格及び関連文書の作成手続き・・・・・・・・	67
コーデックス食品規格の一般原則・・・・・・・・	87
コーデックス食品規格に関する受諾手続きのガイドライン・・・・・・・・	99
コーデックス食品規格体制においてリスク分析を適用する際の作業原則・・・・・・・・	113
コーデックス食品規格における定義・・・・・・・・	127
コーデックス部会及び政府間特別部会のガイドライン・・・・・・・・	139
国際非政府組織によるコーデックス食品規格委員会の作業への参加に関する原則・・・・・・・・	155
作業優先順位の確立に関する基準・・・・・・・・	167
コーデックス食品規格委員会の下部機関設置に関する基準・・・・・・・・	171
コーデックス食品規格及び関連文書で特殊規定に入れるためのガイドライン・・・・・・・・	175

Core Functions of Codex Contact Points.....	101
Sessions of the Codex Alimentarius Commission	103
Sessions of the Executive Committee of the Codex Alimentarius Commission	105
Subsidiary Bodies of the Codex Alimentarius Commission.....	107
Membership of the Codex Alimentarius Commission.....	140
Codex Contact Points	143
Appendix: General Decisions of the Commission	181
Index	

コーデックス文書の参照を容易にする統一システム	203
コーデックス食品別規格の書式	209
食品別規格部会と一般問題規格部会との関係	217
コーデックス連絡所の主な機能	231
コーデックス食品規格委員会の会議	235
コーデックス食品規格委員会の執行委員会の会議	239
コーデックス食品規格委員会の下部機関	243
コーデックス食品規格委員会の加盟国	309
コーデックス連絡所	315
付属書：委員会の一般的決定	389

INTRODUCTION

The Procedural Manual of the Codex Alimentarius Commission is intended to help Member governments participate effectively in the work of the Joint FAO/WHO Food Standards Programme. The Manual is particularly useful for national delegations attending Codex meetings and for international organizations attending as observers. It will also be useful for Member Governments which wish to participate in Codex work by correspondence.

Section I sets out the Commission's basic Rules of Procedure and the other internal procedures necessary to achieve the Commission's objectives. These include the procedures for the elaboration of Codex Standards and related texts, general principles and guidelines for the acceptance of Codex standards by governments, and some basic definitions.

Section II is devoted to guidelines for the efficient operation of Codex Committees. These Committees are organized and operated by Member Governments designated by the Commission. It describes how standards are set out in a uniform manner, describes a uniform reference system for Codex documents and working papers, and provides a number of general principles for formulating key sections of Codex standards and outlines the core functions of national Codex Contact Points.

Section III lists the Commission's subsidiary bodies with their Terms of Reference. It also gives the Membership of the Commission (169 Member countries in July 2003) together with the addresses of Codex Contact Points.

This Thirteenth Edition of the Procedural Manual was prepared by the Secretariat following the Twenty-sixth Session of the Codex Alimentarius Commission, Rome, 2003. Further information concerning the Codex Alimentarius Commission and its Subsidiary Bodies can be obtained from the Secretary, Codex Alimentarius Commission, Joint FAO/WHO Food Standards Programme, FAO, 00100 Rome, Italy.

序文

コーデックス食品規格委員会[Codex Alimentarius Commission]の手続きマニュアルは、加盟国政府がFAO/WHO合同食品規格計画の業務に効果的に参加できるようにするためのものである。本書は、コーデックスの諸会議に出席する各国の代表団及びオブザーバーとして出席する国際組織に特に有用である。さらに、通信文書によるコーデックスの作業への参加を希望している加盟国政府にとっても有用である。

第I節では、「委員会」の基本的な手続き規程[Rules of Procedure]、及び「委員会」の目的を遂行するために必要なその他の内部手続きについて述べている。本節では、コーデックス食品規格[Codex Standards]及び関連文書の作成手続き、各国政府によるコーデックス食品規格の受諾に関する一般原則及びガイドライン並びにいくつかの基本定義についても解説している。

第II節では、コーデックスの各部会を効率よく運営するためのガイドラインについて述べている。これらの部会は、「委員会」が指名した加盟国政府によって組織運営されている。さらに、規格を統一書式で作成する方法並びにコーデックス関係文書及び作業用文書の統一参照方法について解説し、コーデックス食品規格の主要部分を作成するための一般原則を提示し、さらに各国のコーデックス・連絡所の主な機能についても概説している。

第III節では、「委員会」の下部機関及びその委託事項を記載している。また、「委員会」の加盟国(2003年7月現在169ヶ国)とともに、コーデックス連絡所の所在地も記載してある。

この「手続きマニュアル第13版」[Procedural Manual, Thirteenth Edition]は、2003年ローマで開かれた第26回コーデックス食品規格委員会後、事務局が作成したものである。コーデックス食品規格委員会及びその下部機関に関する詳細については、下記に問い合わせいただきたい。すなわち、

Secretary, Codex Alimentarius Commission, Joint FAO/WHO Food Standards Programme, FAO,
00100 Rome, Italy.

SECTION I**Statutes****Rules of Procedure****Elaboration Procedures****General Principles****Definitions****CONTENTS OF THIS SECTION**

The Statutes and Rules of Procedure of the Codex Alimentarius Commission were first established by FAO Conference and the World Health Assembly in 1961/62 when the Commission itself was established. The Statutes were revised in 1966. The Rules of Procedure have been amended on several occasions, the last time being in 2003. The Statutes form the legal basis of the Commission's work and provide its mandate or terms of reference. The Rules of Procedure describe the formal working procedures appropriate to an intergovernmental body.

The Procedure for the Elaboration of Codex Standards describes the way by which Codex standards are prepared and the various Steps in the process which ensure comprehensive review of draft standards by governments and other interested parties. It was comprehensively revised in 1993 to provide a uniform elaboration procedure for all Codex standards and related texts. The Procedure allows the use of a "fast-track" approach in cases where urgent action is needed.

The General Principles of the Codex Alimentarius define the Scope and the purpose of Codex Standards and the way by which governments indicate their formal acceptance of the Standards. The Guidelines on Acceptance provide additional information to Member governments on the procedures regarding acceptance.

This Section concludes with Definitions for the Purpose of the Codex Alimentarius which assist in the uniform interpretation of these texts.

第 I 節

規約

手続き規程

コーデックス食品規格の作成手続き

コーデックス食品規格の一般原則及び受諾

定義

本節の内容

コーデックス食品規格委員会の規約及び手続き規程は、「委員会」そのものが設立された1961/62年に、FAO総会[Conference of FAO]及び世界保健総会[World Health Assembly]によって最初に定められた。この規約[Statutes]は、1966年に改訂されている。手続き規程[Rules of Procedure]は何回か修正されており、最新の修正は2003年に実施された。規約は「委員会」の業務の法的基礎をなすものであり、権限及び委託事項が記されている。手続き規程は、政府間組織に適した正式な業務手続きについて記述している。

コーデックス食品規格に関する作成手続きは、コーデックス食品規格作成の基礎となる方法並びに政府及びその他関係者による規格草案の包括的な検討が可能となる種々の過程[Step]について記載している。本書は1993年に、すべてのコーデックス食品規格及び関連文書が統一された作成手続きとなるよう、全面的に改訂された。この手続きにより、緊急に対処する必要性が生じた場合、「迅速な」アプローチをとることが可能となっている。

コーデックス食品規格の一般原則は、コーデックス食品規格の範囲及び目的並びに各国政府が本規格の公式受諾を示す方法について定めている。受諾ガイドライン[Guideline on Acceptance]では、受諾に関する手続きについての詳細な情報を加盟国政府に提供する。

本節の最後には、コーデックス食品規格のための定義が記載されている。これは、条文の内容について一定の解釈をするための助けとなるものである。

STATUTES OF THE CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION

ARTICLE 1

The Codex Alimentarius Commission shall, subject to Article 5 below, be responsible for making proposals to, and shall be consulted by, the Directors-General of the Food and Agriculture Organization (FAO) and the World Health Organization (WHO) on all matters pertaining to the implementation of the Joint FAO/WHO Food Standards Programme, the purpose of which is:

- (a) protecting the health of the consumers and ensuring fair practices in the food trade;
- (b) promoting coordination of all food standards work undertaken by international governmental and non governmental organizations;
- (c) determining priorities and initiating and guiding the preparation of draft standards through and with the aid of appropriate organizations;
- (d) finalizing standards elaborated under (c) above and, after acceptance by governments, publishing them in a Codex Alimentarius either as regional or world wide standards, together with international standards already finalized by other bodies under (b) above, wherever this is practicable;
- (e) amending published standards, after appropriate survey in the light of developments.

ARTICLE 2

Membership of the Commission is open to all Member Nations and Associate Members of FAO and WHO which are interested in international food standards. Membership shall comprise such of these nations as have notified the Director-General of FAO or of WHO of their desire to be considered as Members.

ARTICLE 3

Any Member Nation or Associate Member of FAO or WHO which is not a Member of the Commission but has a special interest in the work of the Commission, may, upon request communicated to the Director-General of FAO or WHO, as appropriate, attend sessions of the Commission and of its subsidiary bodies and *ad hoc* meetings as observers.

コーデックス食品規格委員会規約

第1条

コーデックス食品規格委員会は、下記第5条の規定に従い、FAO/WHO合同食品規格計画[Joint FAO/WHO Food Standards Programme]の実施に関するすべての事項において、国連食糧農業機関[Food and Agriculture Organization](FAO)及び世界保健機関[World Health Organization](WHO)の事務局長に対して提案を行い、その諮問に応じる責任を有する。その目的は以下の通りである。

- (a) 消費者の健康を保護し、食品貿易における公正な慣行を保証する；
- (b) 国際的な政府組織及び非政府組織が行うすべての食品規格業務の調整を促進する；
- (c) 適切な組織の援助により、規格草案の優先順位を決定し、作成の着手及び指導を行う；
- (d) 上記(c)に基づき作成された規格を最終決定し、各国政府が受諾後、コーデックス食品規格委員会で公表する。この際、実行可能であればどこでも、上記(b)に基づき他の機関がすでに最終決定した国際規格とともに、地域的なまたは世界規模の食品規格のいずれかとして公表する。
- (e) その後の進展に基づき適切な調査を実施した後、公表済みの規格を修正する。

第2条

「委員会」への加盟資格は、国際食品規格に関心のあるFAO及びWHOのすべての加盟国並びに準加盟国に認められている。「委員会」は、FAOまたはWHOの事務局長宛に加盟国とみなされることを希望する旨、通知した各国で構成されるものとする。

第3条

「委員会」の加盟国ではないが、「委員会」の活動に特別な関心をもつFAOまたはWHOの加盟国または準加盟国は、FAOまたはWHOのいずれかに該当する事務局長宛に要請を通告することにより、「委員会」及びその下部機関の会議及び特別委員会にオブザーバーとして出席することができる。

ARTICLE 4

Nations which, while not Member Nations or Associate Members of FAO or WHO, are members of the United Nations, may be invited on their request to attend meetings of the Commission as observers in accordance with the provisions of FAO and WHO relating to the grant of observer status to nations.

ARTICLE 5

The Commission shall report and make recommendations to the Conference of FAO and the appropriate body of WHO through their respective Directors-General. Copies of reports, including any conclusions and recommendations, will be circulated to interested Member Nations and international organizations for their information as soon as they become available.

ARTICLE 6

The Commission shall establish an Executive Committee whose composition should ensure an adequate representation of the various geographical areas of the world to which the Members of the Commission belong. Between sessions, the Executive Committee shall act as the Executive organ of the Commission.

ARTICLE 7

The Commission may establish such other subsidiary bodies as it deems necessary for the accomplishment of its task, subject to the availability of the necessary funds.

ARTICLE 8

The Commission may adopt and amend its own Rules of Procedure which shall come into force upon approval by the Directors-General of FAO and WHO, subject to such confirmation as may be prescribed by the procedures of these Organizations.

ARTICLE 9

The operating expenses of the Commission and of its subsidiary bodies, other than those for which a Member has accepted the Chair, shall be borne by the budget of the Joint FAO/WHO Food Standards Programme which shall be administered by FAO on behalf of the two Organizations in accordance with the financial regulations of FAO. The Directors-General of FAO and WHO shall jointly determine the respective portion of the costs of the Programme to be borne by each Organization and prepare the corresponding annual expenditure estimates for inclusion in the Regular Budgets of the two Organizations for approval by the appropriate governing bodies.

第4条

FAOまたはWHOの加盟国または準加盟国ではないが国連に加盟している国は、要請により「委員会」の会議にオブザーバーとして、各国のオブザーバー資格認可に関連するFAO及びWHOの規定に基づき出席することができる。

第5条

「委員会」は、FAO総会及びWHOの適切な機関に対し、それぞれの事務局長を通じ、報告及び勧告を行われなければならない。すべての決定事項及び勧告を含む報告書の写しは、入手可能となったときは直ちに、これらの情報に関心のある加盟国及び国際組織に配布される。

第6条

「委員会」は、「委員会」加盟国が所属する世界の多様な地理学的地域の適切な代表を確保できるような構成の執行委員会を設立しなければならない。この執行委員会は、次回定例会議開催までの間、「委員会」の執行機関[Executive Organ]としての役割を果たさなければならない。

第7条

「委員会」は、必要な財源が入手可能であることを条件として、職務の遂行に必要であると思われるその他の下部機関を設置することができる。

第8条

「委員会」は、自らの手続き規程を採択し、修正することができるが、この規程は、FAO及びWHOの手続きにより定め得ることを条件として、両事務局長が承認した時点で効力を発するものとする。

第9条

「委員会」及び1加盟国が議長職を受諾した機関以外の下部機関の運営費は、FAO/WHO合同食品規格計画の予算でまかなわれなければならない。この予算は、FAOの財務規定に従い、2つの組織に代わって、FAOにより管理しなければならない。FAO及びWHOの事務局長は、各組織が負担するこの計画の経費のそれぞれの配分を共同で決定し、これに対応して両組織の定例予算に算入するため、年間の支出見積を作成し、該当する運営機関で承認を得なければならない。

ARTICLE 10

All expenses (including those relating to meetings, documents and interpretation) involved in preparatory work on draft standards undertaken by Members of the Commission, either independently or upon recommendation of the Commission, shall be defrayed by the government concerned. Within the approved budgetary estimates, the Commission may, however, recommend that a specified part of the costs of the preparatory work undertaken by the government on behalf of the Commission be recognized as operating expenses of the Commission.

第10条

「委員会」の加盟国が行う規格草案の準備作業に関連するすべての経費(会議、文書作成、及び通訳に関する経費を含む)は、「委員会」の勧告の有無に関わらず、関係国政府によって支払われなければならない。「委員会」は、承認済みの予算見積額の範囲内であれば、「委員会」に代わって当該政府が行う準備作業にかかる経費の特定部分は、「委員会」の運営費とみなすよう勧告することができる。

RULES OF PROCEDURE OF THE CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION

RULE I MEMBERSHIP

1. Membership of the Joint FAO/WHO Codex Alimentarius Commission, hereinafter referred to as "the Commission", is open to all Member Nations and Associate Members of FAO and/or WHO.
2. Membership shall comprise such eligible nations as have notified the Director-General of FAO or of WHO of their desire to be considered Members of the Commission.
3. Membership shall also comprise regional economic integration organizations members of either FAO or WHO that notify the Director-General of FAO or WHO of their desire to be considered Members of the Commission.
4. Each Member of the Commission shall communicate to the Director-General of FAO or of WHO the names of its representative and where possible other members of its delegation before the opening of each session of the Commission.

RULE II - MEMBER ORGANIZATIONS

1. A Member Organization shall exercise membership rights on an alternative basis with its Member States that are Members of the Commission in the areas of their respective competence.
2. A Member Organization shall have the right to participate in matters within its competence in any meetings of the Commission or its subsidiary bodies in which any of its Member States is entitled to participate. This is without prejudice to the possibility for the Member States to develop or support the position of the Member Organization in areas within its competence.
3. A Member Organization may exercise on matters within its competence, in any meetings of the Commission or any subsidiary body of the Commission in which it is entitled to participate in accordance with paragraph 2, a number of votes equal to the number of its Member States which are entitled to vote in such meetings and present at the time the vote is taken. Whenever a Member Organization exercises its right to vote, its Member States shall not exercise theirs, and conversely.
4. A Member Organization shall not be eligible for election or designation, nor to hold office in the Commission or any subsidiary body. A Member

コーデックス食品規格委員会手続き規程

第I規定 - 加盟資格

1. FAO/WHO合同コーデックス食品規格委員会(以下「委員会」という)の加盟資格は、FAO及びWHO(またはそのいずれか)のすべての加盟国及び準加盟国に認められている。
2. 「委員会」は、加盟国とみなされることを希望する旨、FAOまたはWHOの事務局長宛に通知した適格国で構成されるものとする。
3. 「委員会」はまた、加盟国とみなされることを希望するFAOまたはWHOの加盟組織である地域経済統合組織が、その旨、FAOまたはWHOの事務局長宛に通知することにより、構成されるものとする。
4. 「委員会」の各加盟国は、「委員会」の各定例会議開催日までに、その代表者氏名及び可能なときは代表団となる他の構成員名をFAOまたはWHOの事務局長宛に通知しなければならない。

第II規定 - 加盟組織

1. 加盟組織は、各々権限を有する分野の委員会のメンバーであるその加盟国とともに、当該加盟組織または当該加盟国のいずれかが加盟資格の権利を行使する方法で権利を行使するものとする。
2. 加盟組織は、その権限の有する事項について、加盟国に参加資格がある全ての委員会及びその下部機関の諸会議に参加することができる。これは加盟組織が権限内の分野においてその立場を発展支援することを加盟国が偏見なしにできるだけ助長するものである。
3. 加盟組織は、前記第2項記載の通り、参加資格がある委員会及び委員会の下部機関の全ての諸会議においてその権限を行使することができ、当該諸会議に参加資格があり、かつ投票時に出席している加盟国と同等の投票権が与えられる。加盟組織が投票権を行使する場合はその加盟組織は投票権を行使することができず、逆もまたしかりである。
4. 加盟組織は、委員会及び委員会の下部機関の選挙、指名、及び議長資格の対象とはならない。加盟組織は、委員会及び委員会の下部機関のいかなる選挙においても投票に参加しないものとする。

Organization shall not participate in voting for any elective places in the Commission and its subsidiary bodies.

5. Before any meeting of the Commission or a subsidiary body of the Commission in which a Member Organization is entitled to participate, the Member Organization or its Member States shall indicate in writing which, as between the Member Organization and its Member States, has competence in respect of any specific question to be considered in the meeting and which, as between the Member Organization and its Member States, shall exercise the right to vote in respect of each particular agenda item. Nothing in this paragraph shall prevent a Member Organization or its Member States from making a single declaration in the Commission and each subsidiary body in which a Member Organization is entitled to participate for the purposes of this paragraph, which declaration shall remain in force for questions and agenda items to be considered at all subsequent meetings, subject to such exceptions or modifications as may be indicated before any individual meeting.

6. Any Member of the Commission may request a Member Organization or its Member States to provide information as to which, as between the Member Organization and its Member States, has competence in respect of any specific question. The Member Organization or the Member States concerned shall provide this information on such request.

7. In cases where an agenda item covers both matters in respect of which competence has been transferred to the Member Organization and matters which lie within the competence of its Member States, both the Member Organization and its Member States may participate in the discussions. In such cases the meeting, in arriving at its decisions,¹ shall take into account only the intervention of the party which has the right to vote.²

8. For the purpose of determining a quorum, as specified in paragraph 6 of Rule IV, the delegation of a Member Organization shall be counted for a number equal to the number of its Member States which are entitled to

¹ The word 'decisions' should be understood to mean both voting and situations where a decision is taken by consensus.

² The above is without prejudice to the question of whether or not the views of the party not having the right to vote shall be reflected in the report of the meeting. Where the views of the party not having the right to vote are reflected in the report, the fact that they are the views of the party not having the right to vote shall also be reflected in the report.

5. 加盟組織が参加資格を有する委員会及びその下部機関の諸会議に先立ち、加盟組織又はその加盟国は両当事者間の協議により、会議で検討されるべき特定の議題項目の提案者及び各特定事項の投票権の行使者がいずれになるかを文書により明示するものとする。本項の定めによらず、本項の目的に従い加盟組織が参加資格を有する委員会及びその下部機関において、加盟組織又は加盟国は単一の申し立てをすることができ、その申し立てはその申し立て以降のすべての諸会議で質疑の対象及び検討事項とし効力を有する。このためには単一の申し立て事項のに関する例外や修正事項について、各会議の前にその旨明示されなければいけない。
6. 委員会の全てのメンバーは、加盟組織又は加盟国に対し、いかなる特定の質疑事項についてもそのいずれが権限を持つか情報を提供するように要求することができる。当該加盟組織及び加盟国は、当該要求に応じて除法を提供するものとする。
7. 議題が加盟機関に権限が移譲された事項と加盟国に権限が移譲された事項の両方を含む場合は、加盟組織及び加盟国はともに議論に参加することができる。当該ケースにおいて決定事項を採択するときは、投票権を有する当事者の調停を考慮するものとする。
8. 規則 I V 第 6 項記載の通り、定足数決定の際には、加盟組織の代表団は関連議題について投票権がある範囲において、参加資格のある諸会議に出席し、加盟国と同等と数えられるものとする。

participate in the meeting and are present at the time the quorum is sought, to the extent that it is entitled to vote under the relevant agenda item.

RULE III OFFICERS

1. The Commission shall elect a Chairperson and three Vice-Chairpersons from among the representatives, alternates and advisers (hereinafter referred to as "delegates") of the Members of the Commission; it being understood that no delegate shall be eligible without the concurrence of the head of his delegation. They shall be elected at each session and shall hold office from the end of the session at which they were elected until the end of the following regular session. The Chairperson and Vice-Chairpersons may remain in office only with the continuing endorsement of the respective Member of the Commission of which they were a delegate at the time of election. The Directors-General of FAO and WHO shall declare a position vacant when advised by the Member of the Commission that such endorsement has ceased. The Chairperson and Vice-Chairpersons shall be eligible for re-election but after having served two consecutive terms shall be ineligible to hold such office for the next succeeding term.

2. The Chairperson, or in his absence a Vice-Chairperson, shall preside at meetings of the Commission and exercise such other function as may be required to facilitate the work of the Commission. A Vice-Chairperson acting as Chairperson shall have the same powers and duties as the Chairperson.

3. When neither the Chairperson nor the Vice-Chairperson are able to serve and, on the request of the outgoing Chairperson, during elections for the Chairperson, the Directors-General of FAO and WHO shall appoint a staff member to act as Chairperson, until either a temporary Chairperson or a new Chairperson has been elected. Any temporary Chairperson so elected shall hold office until the Chairperson or one of the Vice-Chairpersons is able to serve again.

4. (a) The Commission may appoint a Coordinator from among the Members of the Commission for any of the geographic locations enumerated in Rule IV.1 (hereinafter referred to as "regions") or for any group of countries specifically enumerated by the Commission (hereinafter referred to as 'groups of countries'), whenever it may find, on the basis of a proposal of a majority of the Members of the Commission which constitute the region or group, that work for the Codex Alimentarius in the countries concerned so requires.

(b) Appointment of Coordinators shall be made exclusively on the proposal of a majority of the Members of the Commission which constitute the region or group of countries concerned. Coordinators shall hold office from the end of the session of the Commission at which they were appointed until not

第Ⅲ規定 - 役員

1. 「委員会」は、「委員会」加盟国の代表者、代表者代理、及びアドバイザー(以下「代表」という)の中から、議長1名及び副議長3名を選出するものとする。代表は、所属する代表団の長の同意がなければ、その適格性を失うものと判断される。議長及び副議長は、会期ごとに選出され、選出された会期終了後から次の会期終了までの間、在任する。議長及び副議長は、選出時に代表であった「委員会」加盟国代表が継続を承認した場合のみ継続できる。その継続が切れたと「委員会」加盟国により報じられた場合、FAO及びWHOの事務局長は空いた役職を公表する。議長及び副議長は再選される資格を有するが、連続2期つとめた後は、次期の期間中に在任する資格を失う。

2. 議長、または議長欠席の場合は副議長1名は、「委員会」の会議において司会をつとめ、「委員会」の業務の促進に必要と思われるその他の職務を果たさなければならない。議長代行となる副議長は、議長と同等の職権及び責務を有する。

3. 議長及び副議長のどちらも任務遂行が不可能な場合並びに辞職する議長の要請による議長選出期間中は、臨時議長または新議長が選出されるまでの間、FAO及びWHOの事務局長が、議長としての職務を行う職員を1名指名するものとする。選出された臨時議長は、議長または副議長1名が再び業務を行えるようになるまでの間、在任する。

4. (a) 「委員会」は、第Ⅳ. 1規定に列挙されているすべての地理学的区域(以下「地域」という)または「委員会」が特別に列挙した国家のグループ(以下「国家グループ」という)に対して「委員会」加盟国の代表の中から、調整委員を1名指名する。これは、地域またはグループを構成する「委員会」加盟国の過半数の提案に基づき、関係各国におけるコーデックス食品規格委員会の業務がそれを必要とすると判断される場合に行う。

(b) 調整委員の指名は、関係各国の地域またはグループを構成する「委員会」加盟国の過半数が提案した場合のみ行われるものとする。調整委員は、選出された「委員会」の会期終了後から、最長で連続する3回目の会期終了までの間、在任する。正確な期限は、その都度「委員会」により定まる。連続2期つとめた後は、その調整委員は次期期間中に在任する資格の適格性を失う。

later than the end of the third succeeding regular session, the precise term being determined by the Commission in each instance. After having served two consecutive terms, the Coordinators shall be ineligible to hold such office for the next succeeding term.

(c) The functions of the Coordinators shall be:

- (i) to assist and coordinate the work of the Codex Committees set up under Rule X.1(b)(i) in their region or group of countries in the preparation of draft standards, guidelines and other recommendations for submission to the Commission;
- (ii) to assist the Executive Committee and the Commission, as required, by advising them of the views of countries and recognized regional intergovernmental and non-government organizations in their respective regions on matters under discussion or of interest.

(d) In order to carry out their functions, Coordinators shall participate in the Executive Committee as Observers.

5. The Commission may appoint one or more rapporteurs from among the delegates of the Members of the Commission.

6. The Directors-General of FAO and WHO shall be requested to appoint from the staffs of their organizations a Secretary of the Commission and such other officials, likewise responsible to them, as may be necessary to assist the officers and the Secretary in performing all duties that the work of the Commission may require.

RULE IV EXECUTIVE COMMITTEE

1. The Executive Committee shall consist of the Chairperson and Vice-Chairpersons of the Commission together with seven further members, elected by the Commission at regular sessions from among the Members of the Commission, one each coming from the following geographic locations: Africa, Asia, Europe, Latin America and the Caribbean, Near East, North America, South-West Pacific; it being understood that not more than one delegate from any one country shall be a member of the Executive Committee. Members elected on a geographic basis shall hold office from the end of the session of the Commission at which they were elected until the end of the second succeeding regular session and shall be eligible for re election, but after having served two consecutive terms shall be ineligible to hold such office for the next succeeding term.

(c) 調整委員の機能は、以下の通りである。

(i) その地域及び国家グループにおいて、「委員会」に提出する規格草案の作成に関して、第IX.1(b)(i)規定に基づいて設置されるコーデックス各部会の作業を補助し、調整すること。

(ii) 要求に応じ、審議中または興味のある問題に関し、国家及び認められた地域相互国家及び非政府組織の意見を勧告することにより、執行委員会及び「委員会」を補助すること。

(d)第IX.1(b)(ii)規定に基づき、地域調整委員会が設置された場合、関係地域の調整委員が、その調整委員会の議長をつとめる。

(e) 調整委員が事務所の機能を果たせない場合、調整委員が任命時に代表だった「委員会」加盟国は「委員会」事務局にその旨を伝えなくてはならず、調整委員がそのような機能を回復できるようになるまで、または「委員会」の次の会期までに仮の調整委員を任命しなくてはならない。

5. 「委員会」は、「委員会」加盟国の代表の中から、1名以上の報告書作成者を指名する。

6. FAO及びWHOの事務局長は、要請によりその機関の職員の中から「委員会」の書記1名を任命し、また「委員会」の役員及び事務官が「委員会」の業務に必要とされる全ての職務を遂行する際に、これを補佐するのに必要とされ、同様の責任を負うその他の役員を任命するものとする。

第IV規定 - 執行委員会

1. 執行委員会は、「委員会」の議長、副議長に加え、定例会議において「委員会」加盟国であり、次の地理学的地域によりそれぞれ1名選出された7名の委員で構成されなければならない。すなわち、アフリカ、アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカ及びカリブ海諸国、近東、北アメリカ、太平洋南西部である。1ヶ国から複数名の代表が執行委員会の委員に選出されてはならない。地理的な規準で選出された委員は、選出された「委員会」の定例会期終了後から連続2回の定例会期終了までの間、在任し、再選出の資格を有するが、2期連続してつとめた後は、次期期間中に在任する資格を失う。

2. The Executive Committee shall, between sessions of the Commission, act on behalf of the Commission as its executive organ. In particular the Executive Committee may make proposals to the Commission regarding the general orientation and programme of work of the Commission, study special problems and help implement the programme as approved by the Commission. The Executive Committee may also exercise, when it shall deem it to be essential and subject to confirmation by the next session of the Commission, the Commission's powers under Rule X.1(b)(i), Rule X.5 insofar as it refers to bodies established under Rule X.1(b)(i), and Rule X.10, insofar as it refers to the designation of the Members who shall be responsible for appointing Chairpersons to subsidiary bodies established under Rule X.1(b)(i).
3. The Chairperson and Vice-Chairpersons of the Commission shall be respectively the Chairperson and Vice-Chairpersons of the Executive Committee.
4. Sessions of the Executive Committee may be convened as often as necessary by the Directors-General of FAO and WHO, in consultation with the Chairperson. The Executive Committee shall normally meet immediately prior to each session of the Commission.
5. The Executive Committee shall report to the Commission.

RULE V SESSIONS

1. The Commission shall in principle hold one regular session each year at the Headquarters of either FAO or WHO. Additional sessions shall be held as considered necessary by the Directors-General of FAO and WHO after consultation with the Chairperson of the Executive Committee.
2. Sessions of the Commission shall be convened and the place of the meeting shall be determined by the Directors-General of FAO and WHO after consultation where appropriate, with the authorities of the host country.
3. Notice of the date and place of each session of the Commission shall be communicated to all Members of the Commission at least two months before the session.
4. Each Member of the Commission shall have one representative, who may be accompanied by one or more alternates and advisers.
5. Meetings of the Commission shall be held in public, unless the Commission decides otherwise.
6. The majority of the Members of the Commission shall constitute a quorum for the purposes of making recommendations for amendments to the Statutes of the Commission and of adopting amendments of, or additions to, the present

2. 執行委員会は、「委員会」の会期と会期の間の期間中、執行機関として「委員会」の代理をつとめる。特に、執行委員会は、「委員会」の通常業務の方針及び計画に関する提案を「委員会」に提出し、特別な問題について検討し、「委員会」が承認した計画の実施を促進することができる。さらに、執行委員会は、次回の会期での確認が重要かつ必要であると思われる場合、第IX.1(b)(i)規定、第IX.1(b)(i)規定に基づき設置された下部機関に関する限りは第IX.5規定、さらに第IX.1(b)(i)規定に基づき設置された下部機関の議長指名の責を負う加盟国の指名に関する限りは第IX.10規定に基づき、「委員会」の職権を行使できる。

3. 「委員会」の議長及び副議長は、それぞれ執行委員会の議長及び副議長が当たる。

4. 執行委員会の会議は、FAO及びWHOの事務局長が議長と協議の上、必要に応じ、招集できる。執行委員会は通常、「委員会」の各会期の直前に開催される。

5. 執行委員会は、「委員会」へ報告を行わなければならない。

第V規定 - 会議

1. 「委員会」は、原則として、FAOまたはWHOいずれかの本部において、毎年1回定例会議を開催する。臨時の会議は、FAO及びWHOの事務局長が執行委員会議長と協議の上、必要と判断されたとき開催される。

2. 「委員会」の会議招集及び会議開催地は、必要に応じて主催国の当局と協議の上、FAO並びにWHOの事務局長が決定する。

3. 「委員会」の各会議に関する日程及び開催地は、少なくとも開催日より2ヶ月前までに、「委員会」のすべての加盟国に通知される。

4. 「委員会」の各加盟国は、代表者を1名派遣するが、1名以上の代表者代理及びアドバイザーを随行させることができる。

5. 「委員会」の会議は、「委員会」が他の決定を下さない限り、公開で行われる。

6. 「委員会」規約の修正を勧告し、第 XIII.1規定に従い現行の規程の修正または追加の勧告を採択するための定足数は、「委員会」加盟国の過半数でなければならない。その他の目的に関しては、その過半数が「委員会」加盟国の過半数の20パーセント以上または25ヶ国以上であることを条件に、会議に出席している「委員会」加盟国の過半数が定足数に当たるものとする。さらに、所定の地域または国家グループに対して提案された規格の修正または採択を行う場合、「委員会」の定足数には、関係する地域または国家グループに属する加盟国の3分の1が含まれていなければならない。

Rules in accordance with Rule XIV.1. For all other purposes the majority of the Members of the Commission attending the session shall constitute a quorum, provided that such a majority shall be not less than 20 percent of the total membership of the Commission, nor less than 25 Members. In addition, in the case of amendment or adoption of a proposed standard for a given region or group of countries, the quorum of the Commission shall include one third of the Members belonging to the region or group of countries concerned.

RULE VI AGENDA

1. The Directors-General of FAO and WHO, after consultation with the Chairperson of the Commission or with the Executive Committee, shall prepare a Provisional Agenda for each session of the Commission.
2. The first item on the Provisional Agenda shall be the adoption of the Agenda.
3. Any Member of the Commission may request the Directors-General of FAO or WHO to include specific items in the Provisional Agenda.
4. The Provisional Agenda shall be circulated by the Directors-General of FAO or WHO to all Members of the Commission at least two months before the opening of the session.
5. Any Member of the Commission, and the Directors-General of FAO and WHO, may, after the dispatch of the Provisional Agenda, propose the inclusion of specific items in the Agenda with respect to matters of an urgent nature. These items shall be placed on a supplementary list, which, if time permits before the opening of the session, shall be dispatched by the Directors-General of FAO and WHO to all Members of the Commission, failing which the supplementary list shall be communicated to the Chairperson for submission to the Commission.
6. No items included in the Agenda by the governing bodies or the Directors-General of FAO and WHO shall be deleted therefrom. After the Agenda has been adopted, the Commission may, by a two-thirds majority of the votes cast, amend the Agenda by the deletion, addition or modification of any other item.
7. Documents to be submitted to the Commission at any session shall be furnished by the Directors-General of FAO and WHO to all Members of the Commission, to the other eligible Nations attending the session as observers and to the non-member nations and international organizations invited as observers thereto, in principle at least two months prior to the session at which they are to be discussed.

い。

第VI規定 - 議題

1. FAO及びWHOの事務局長は、「委員会」の議長または執行委員会と協議の上、「委員会」の各会議に関する仮議題[Provisional Agenda]を作成する。

2. この仮議題の最初の項目は、議題の採択でなければならない。

3. 「委員会」のすべての加盟国は、FAOまたはWHOの事務局長に対し、この仮議題に特定の議題を設けることを要請することができる。

4. FAOまたはWHOの事務局長は、この仮議題を会議開催の少なくとも2ヶ月前までに「委員会」のすべての加盟国に配布しなければならない。

5. 「委員会」のすべての加盟国並びにFAOまたはWHOの事務局長は、仮議題発送後、その内容から急を要する事項に関しては、議題の特定の項目に含めるとの提案を行うことができる。これらの項目は補足リストに記載され、会議開催までに時間的余裕がある場合は、FAO及びWHOの事務局長から「委員会」のすべての加盟国宛に送付される。実施できない場合、この補足リストは「委員会」へ提出するため、議長に伝達される。

3. 管轄する機関またはFAO及びWHOの事務局長は、議題に含めたいかなる項目も議題から削除してはならない。それ以外の項目については、「委員会」は、この議題が採択された後、投票総数の3分の2をもって、その項目の削除、追加、または他の項目の変更によりこの議題の修正を行うことができる。

7. すべての会議において「委員会」に提出される文書は、原則としてその文書についての審議が行われる会議の少なくとも2ヶ月前までに、FAO及びWHOの事務局長が「委員会」のすべての加盟国、オブザーバーとして会議に出席するその他の有資格国、並びにオブザーバーとして招かれる非加盟国及び国際組織に配布しなければならない。

RULE VII VOTING AND PROCEDURES

1. Subject to the provisions of paragraph 3 of this rule, each Member of the Commission shall have one vote. An alternate or adviser shall not have the right to vote except where substituting for the representative.
2. Except as otherwise provided in these rules, decisions of the Commission shall be taken by a majority of the votes cast.
3. At the request of a majority of the Members of the Commission constituting a given region or a group of countries that a standard be elaborated, the standard concerned shall be elaborated as a standard primarily intended for that region or group of countries. When a vote is taken on the elaboration, amendment or adoption of a draft standard primarily intended for a region or group of countries, only Members belonging to that region or group of countries may take part in the voting. The adoption of the standard may, however, take place only after submission of the draft text to all Members of the Commission for comments. The provisions of this paragraph shall not prejudice the elaboration or adoption of a corresponding standard with a different territorial scope.
4. Subject to the provisions of paragraph 5 of this Rule and paragraph 2 of Rule X, any Member of the Commission may request a roll-call vote, in which case the vote of each Member shall be recorded.
5. Elections shall be decided by secret ballot, except that, where the number of candidates does not exceed the number of vacancies, the Chairperson may submit to the Commission that the election be decided by clear general consent. Any other matter shall be decided by secret ballot if the Commission so determines.
6. Formal proposals relating to items of the Agenda and amendments thereto shall be introduced in writing and handed to the Chairperson, who shall circulate them to representatives of Members of the Commission.
7. The provisions of Rule XII of the General Rules of FAO shall apply *mutatis mutandis* to all matters which are not specifically dealt with under Rule VI of the present Rules.

RULE VIII OBSERVERS

1. Any Member Nation and any Associate Member of FAO or WHO which is not a Member of the Commission but has a special interest in the work of the Commission, may, upon request communicated to the Director-General of FAO or WHO, attend sessions of the Commission and of its subsidiary bodies as an

第Ⅶ規定 - 投票及び手続き

1. 本規定の第3項の条項に従い、「委員会」では各加盟国当たり1票の投票権を有するものとする。代表者代理またはアドバイザーは、代表者の代わりである場合を除き、投票権をもたない。
2. これらの規定中で別の規定があるときを除き、「委員会」の決定は、投票総数の過半数をもって採択される。
3. 所定の地域または国家グループを構成している「委員会」加盟国の過半数から、ある規格を作成するよう要請があれば、その関係規格を主にその地域または国家グループを対象とする規格として作成する。主にある地域または国家グループを対象とする規格草案の作成、修正、または採択に関する投票を行う場合は、その地域または国家グループに属する加盟国のみが投票に参加することができる。しかし、その規格の採択については、必ず草案の原文を「委員会」のすべての加盟国に提出しコメントを受けた後に実行するものとする。本項の条項は、適用管轄地域の異なる同等の規格の作成または採択を妨げない。
4. 本規定第5項の条項に従い、「委員会」のすべての加盟国は点呼投票[roll-call](訳注：国名を順次読み上げ、議場で賛否を口頭で表明する投票方法)を要求することができ、この場合、各加盟国の投票は記録される。
5. 選挙は無記名投票で決定されるが、候補者数が欠員数を上回らない場合は、議長は選挙が明らかに異議のないものとして、選任が決定されるべきである、と議長が「委員会」に意見を表明できる。その他の問題については、「委員会」の判断により、無記名投票で決めなければならない。
6. 議題の項目及びその修正に関する正式な提案は、文書として提出され、議長に手渡されなければならない。議長はこれを「委員会」加盟国の代表者に配布しなければならない。
7. 現行規程の第Ⅵ規定に基づき特に定められていないすべての問題については、必要な変更を加えてFAOの一般規程の第Ⅻ規定の条項が適用されるものとする。

第Ⅷ規定 - オブザーバー

1. 「委員会」の加盟国ではないが「委員会」の活動に特に関心のあるFAOまたはWHOのすべての加盟国及び準加盟国は、FAOまたはWHOの事務局長宛に要請を通達した後、「委員会」及びその下部機関の会議にオブザーバーとして出席できる。当該国は、投票権を持たないが、覚書を提出し、討議に参加できる。

observer. It may submit memoranda and participate without vote in the discussion.

2. Nations which, while not Member Nations or Associate Members of FAO or WHO, are Members of the United Nations, may, upon their request and subject to the provisions relating to the granting of observer status to nations adopted by the Conference of FAO and the World Health Assembly, be invited to attend in an observer capacity sessions of the Commission and of its subsidiary bodies. The status of nations invited to such sessions shall be governed by the relevant provisions adopted by the Conference of FAO.

3. Any Member of the Commission may attend as an observer the sessions of the subsidiary bodies and may submit memoranda and participate without vote in the discussions.

4. Subject to the provisions of Rule VIII.5 the Directors-General of FAO or WHO may invite intergovernmental and international non-governmental organizations to attend as observers sessions of the Commission and of its subsidiary bodies.

5. Participation of international organizations in the work of the Commission, and the relations between the Commission and such organizations shall be governed by the relevant provisions of the Constitutions of FAO or WHO, as well as by the applicable regulations of FAO or WHO on relations with international organizations; such relations shall be handled by the Director-General of FAO or of WHO as appropriate.

RULE IX RECORDS AND REPORTS

1. At each session the Commission shall approve a report embodying its views, recommendations and conclusions, including when requested a statement of minority views. Such other records for its own use as the Commission may on occasion decide shall also be maintained.

2. The report of the Commission shall be transmitted to the Directors-General of FAO and WHO at the close of each session, who shall circulate it to the Members of the Commission, to other countries and to organizations that were represented at the session, for their information, and upon request to other Member Nations and Associate Members of FAO and WHO.

3. Recommendations of the Commission having policy, programme or financial implications for FAO and/or WHO shall be brought by the Directors-General to the attention of the governing bodies of FAO and/or WHO for appropriate action.

2. FAOまたはWHOの加盟国若しくは準加盟国ではないが、国際連合に加盟している国は、自らの要請により、FAO総会[Conference of FAO]及び世界保健総会[World Health Assembly]によって採択された各国へのオブザーバー資格の承認に関する規定に従うことを条件として、「委員会」及びその下部機関の会議にオブザーバーとして出席することができる。当該会議に招かれる国家の資格は、FAO総会が採択した関連規定によって決定されなければならない。

3. 「委員会」のすべての加盟国は、下部機関の会議にオブザーバーとして出席でき、投票権を持たないが、覚書を提出し、討議に参加できる。

4. 第VII.5規定の条項に基づき、FAOまたはWHOの事務局長は、「委員会」及びその下部機関の会議にオブザーバーとして出席するよう、政府間組織及び国際的な非政府組織を招請できる。

5. 国際組織の「委員会」への参加及び「委員会」とこれら組織との関係は、国際組織との関係に関連するFAOまたはWHOの適用規則とともに、FAOまたはWHO憲章[Constitution of FAO and WHO]の関連規定によって、決定されなければならない；この関係は、FAOまたはWHOいずれが該当する方の事務局長が処理する。

第IX規定 - 記録及び報告書

1. 各会議において、「委員会」は、請求された場合は少数意見の陳述も含め、その見解、勧告、及び結論を具体的に記述した報告書を承認しなければならない。「委員会」が独自で使用するため、と決めることもあり得るその他の記録も、保存しなければならない。

2. 「委員会」の報告書は、各会議終了後、FAO及びWHOの事務局長に送付される。また、両事務局長は情報として、これを「委員会」の加盟国、並びに当会議に出席したその他の国及び組織宛、さらに要請があった場合は、FAO及びWHOのその他加盟国及び準加盟国宛に、参照資料として配布するものとする。

3. FAO及び/またはWHOに関する方針、計画、または財政に係る「委員会」の勧告は、適切な処置がとられるよう、両事務局長がFAO及び/またはWHOの運営機関に諮る。

4. Subject to the provisions of the preceding paragraph, the Directors-General of FAO and WHO may request Members of the Commission to supply the Commission with information on action taken on the basis of recommendations made by the Commission.

RULE X SUBSIDIARY BODIES

1. The Commission may establish the following types of subsidiary bodies:
 - (a) subsidiary bodies which it deems necessary for the accomplishment of its work in the finalization of draft standards;
 - (b) subsidiary bodies in the form of:
 - (i) Codex Committees for the preparation of draft standards for submission to the Commission, whether intended for world-wide use, for a given region or for a group of countries specifically enumerated by the Commission.
 - (ii) Coordinating Committees for regions or groups of countries which shall exercise general coordination in the preparation of standards relating to such regions or groups of countries and such other functions as may be entrusted to them.
2. Subject to paragraph 3 below, membership in these subsidiary bodies shall consist, as may be determined by the Commission, either of such Members of the Commission as have notified the Directors-General of FAO or WHO of their desire to be considered as Members thereof, or of selected Members designated by the Commission.
3. Membership of subsidiary bodies established under Rule X.1(b)(i) for the preparation of draft standards intended primarily for a region or group of countries, shall be open only to Members of the Commission belonging to such a region or group of countries.
4. Representatives of members of subsidiary bodies shall, insofar as possible, serve in a continuing capacity and shall be specialists active in the fields of the respective subsidiary bodies.
5. Subsidiary bodies may only be established by the Commission except where otherwise provided in these Rules. Their terms of reference and reporting procedures shall be determined by the Commission, except where otherwise provided in these Rules.
6. Sessions of subsidiary bodies shall be convened by the Directors-General of FAO and WHO:

4. 前項の条項に従い、FAO及びWHOの事務局長は、「委員会」加盟国に対し、「委員会」が作成した勧告に基づきとった処置に関する情報を「委員会」に提出するよう要請することができる。

第X規定 - 下部機関

1. 「委員会」は、下記のような下部機関を設置することができる。すなわち、
 - (a) 規格草案を完成するための「委員会」の業務遂行に必要と思われる下部機関；
 - (b) 次の形式の下部機関。すなわち、
 - (i) 「委員会」が世界規模、特に掲げた所定の地域、若しくは国家グループを対象としたものであるかのいずれかで使用される、「委員会」に提出される規格草案の作成に関する各食品規格部会。
 - (ii) 当該地域または国家グループに関係し、かつそれらの地域または国家グループに委託することができるその他の機能に関係した規格を作成する際に全般的な調整を行う地域または国家グループの調整委員会。
2. 下記第3項に従い、これら下部機関の構成国は、「委員会」で決定することができるが、FAO若しくはWHOの事務局長に加盟国となるとの希望を通告した「委員会」加盟国または「委員会」が指名選出した加盟国のいずれかでなければならない。
3. 第IX.1(b)(i)規定に基づき、主にある地域または国家グループを対象とした規格草案を作成するために設置された下部機関の加盟国は、これら地域または国家グループに属する「委員会」加盟国に対してのみ、認められる。
4. 下部機関の加盟国の代表者は、可能な限り、継続してその任務を果たし、それぞれの下部機関の分野で活動中の専門家でなければならない。
5. 下部機関は、本規定に特に定められているときを除き、「委員会」によってのみ設置可能である。その担当業務及び報告手続きは、本規定に他の定めがあるときを除き特に指定されていない限り、「委員会」により決定される。
6. 下部機関の各会議は、FAO及びWHOの事務局長により、次のように招集されなければならない。

- (a) in the case of bodies established under Rule X.1(a), in consultation with the Chairperson of the Commission;
 - (b) in the case of bodies established under Rule X.1(b)(i) (Codex Committees), in consultation with the chairperson of the respective Codex Committee and also, in the case of Codex Committees for the preparation of draft standards for a given region or group of countries, with the Coordinator, if a Coordinator has been appointed for the region or group of countries concerned;
 - (c) in the case of bodies established under Rule X.1(b)(ii) (Coordinating Committees), in consultation with the Chairperson of the Coordinating Committee.
7. The Directors-General of FAO and WHO shall determine the place of meeting of bodies established under Rule X.1(a) and Rule X.1(b)(ii) after consultation, where appropriate, with the host country concerned and, in the case of bodies established under Rule X.1(b)(i), after consultation with the Coordinator for the region or group of countries concerned, if any.
8. Notice of the date and place of each session of bodies established under Rule X.1(a) shall be communicated to all Members of the Commission at least two months before the session.
9. The establishment of subsidiary bodies under Rule X.1(a) and Rule X.1(b)(ii) shall be subject to the availability of the necessary funds, as shall the establishment of subsidiary bodies under Rule X.1(b)(i) when any of their expenses are proposed to be recognized as operating expenses within the budget of the Commission in accordance with Article 10 of the Statutes of the Commission. Before taking any decision involving expenditure in connection with the establishment of such subsidiary bodies, the Commission shall have before it a report from the Director-General of FAO and/or WHO, as appropriate, on the administrative and financial implications thereof.
10. The Members who shall be responsible for appointing Chairpersons of subsidiary bodies established under Rule X.1(b)(i) and Rule X.1(b)(ii) shall be designated at each session by the Commission, except where otherwise provided in these Rules, and shall be eligible for re-designation. All other officers of subsidiary bodies shall be elected by the body concerned and shall be eligible for re-election.
11. The Rules of Procedure of the Commission shall apply *mutatis mutandis* to its subsidiary bodies.

(a) 第IX.1(a)規定に基づき設置された機関の場合は、「委員会」の議長と協議の上招集する；

(b) 第IX.1(b)(i)規定に基づき設置された機関(食品規格部会)の場合は、それぞれの規格部会の議長と協議の上招集し、また、所定の地域または国家グループに関する規格草案の作成を行う規格部会の場合で当該地域または国家グループを担当する調整委員が指名されていれば、その調整委員と協議の上招集；

(c) 第IX.1(b)(ii)規定に基づき設置された機関(地域調整委員会)の場合は、当該調整委員会の議長と協議の上招集；

7. 第IX.1(a)規定及び第IX.1(b)(ii)規定に基づいて設置された機関の会議開催地については、該当するときは、関係する主催国(ホスト国)との協議が適切であればその協議の後、また、第IX.1(b)(ii)規定に基づき設置された機関の場合は、関係地域または国家グループの調整委員がいればその調整委員と協議の後、または調整委員会の議長と協議の後、FAO及びWHOの事務局長が決定する。

8. 第IX.1(a)規定に基づき設置された機関が開催する各会議の日時及び開催地は、少なくとも開催日の2ヶ月前までに「委員会」のすべての加盟国に通知されなければならない。

9. 第IX.1(a)規定及び第IX.1(b)(ii)規定に基づく下部機関の設置は、そのすべての経費が「委員会」規約第10条による「委員会」の予算内で運営費として認めるよう提案された場合の第IX.1(b)(i)規定に基づく下部機関の設置と同様、必要資金の入手が可能であることを条件としなければならない。このような下部機関の設置に関連した支出にかかわる決定を行う場合は、FAO及び/またはWHOのいずれかの該当する方の事務局長は、事前に必ず管理及び財政事項に関する報告書を「委員会」宛に提出しなければならない。

10. 第IX.1(b)(i)規定に基づき設置された下部機関の議長を指名する責務を負う加盟国は、特に本規定に定められていない限り、各会議ごとに「委員会」が任命するものとし、再指名されるものとする。下部機関のその他役員は、すべて関係機関により選出され、再選出されるものとする。

11. 「委員会」の手続き規程は、必要な変更を加えてその下部機関に適用されるものとする。

RULE XI ELABORATION AND ADOPTION OF STANDARDS

1. Subject to the provisions of these Rules of Procedure, the Commission may establish the procedures for the elaboration of world-wide standards and of standards for a given region or group of countries, and, when necessary, amend such procedures.
2. The Commission shall make every effort to reach agreement on the adoption or amendment of standards by consensus. Decisions to adopt or amend standards may be taken by voting only if such efforts to reach consensus have failed.

RULE XII BUDGET AND EXPENSES

1. The Directors-General of FAO and WHO shall prepare for consideration by the Commission at its regular sessions an estimate of expenditure based on the proposed programme of work of the Commission and its subsidiary bodies, together with information concerning expenditures for the previous financial period. This estimate, with such modifications as may be considered appropriate by the Directors-General in the light of recommendations made by the Commission, shall subsequently be incorporated in the Regular Budgets of the two Organizations for approval by the appropriate governing bodies.
2. The estimate of expenditure shall make provisions for the operating expenses of the Commission and the subsidiary bodies of the Commission established under Rule X.1(a) and X.1(b)(ii) and for the expenses relating to staff assigned to the Programme and other expenditures incurred in connection with the servicing of the latter.
3. The operating costs of subsidiary bodies established under Rule X.1(b)(i) (Codex Committees) shall be borne by each Member accepting the Chair of such a body. The estimate of expenditure may include a provision for such costs involved in preparatory work as may be recognized as operating expenses of the Commission in accordance with the provisions of Article 10 of the Statutes of the Commission.
4. Expenses incurred in connection with attendance at sessions of the Commission and its subsidiary bodies and travel of delegations of the Members of the Commission and of observers referred to in Rule VII, shall be borne by the governments or organizations concerned. Should experts be invited by the Directors-General of FAO or WHO to attend sessions of the Commission and its subsidiary bodies in their individual capacity, their expenses shall be borne out of the regular budgetary funds available for the work of the Commission.

第XI規定 - 規格の作成

1. 本手続き規程の条項に従い、「委員会」は、世界規模規格及び所定の地域または国家グループを対象とした規格の作成に関する手続きを制定することができ、必要であれば、これらの手続きを修正することができる。

第XII規定 - 予算及び支出

1. FAO及びWHOの事務局長は、「委員会」及びその下部機関の提案した作業計画とともに、前会計年度の支出に関する情報に基づく支出見積を、「委員会」の会議で検討するために作成する。この見積は、「委員会」による勧告に照らして両事務局長が適切であると判断した修正を行い、次いで該当する管理機関による承認を受けるため、両機関の正規予算に組み込まなければならない。

2. 支出見積は、「委員会」並びに第IX.1(a)規定及び第IX.1(b)(ii)規定に基づき設置された「委員会」の下部機関の運営費、並びに(FAO/WHO合同食品規格)計画に任命された職員に関連する支出及び後者の作業に伴い生じるその他支出に対応していなければならない。

3. 第XI.1(b)(i)規定に基づいて設置された下部機関(各食品規格部会)の運営費は、当該部会の議長職を受諾したそれぞれの加盟国により負担されなければならない。この支出の見積には、「委員会」規約第10条に基づき、準備作業にかかわる費用が運営費として認められる可能性があるのと同様に、準備作業に関わる費用の項目を含めることができる。

4. 「委員会」及びその下部機関の会議への出席に関連する支出並びに「委員会」加盟国の代表团及び第VII規定に記載されているオブザーバーの旅費に関する支出は、関係する政府または組織により負担されなければならない。個々の担当業務において、「委員会」及びその下部機関が開催する会議に個人として出席するよう、FAOまたはWHOの事務局長が専門家を招聘する場合は、その経費を「委員会」の業務に使用できる正規予算で負担するものとする。

RULE XIII LANGUAGES

1. The languages of the Commission and of its subsidiary bodies set up under Rule X.1(a) shall be not less than three of the working languages, as shall be determined by the Commission, which are working languages both of FAO and of the Health Assembly of WHO.
2. Notwithstanding the provisions of paragraph 1 above, other languages which are working languages either of FAO or of the Health Assembly of WHO may be added by the Commission if
 - (a) the Commission has before it a report from the Directors-General of FAO and WHO on the policy, financial and administrative implications of the addition of such languages; and
 - (b) the addition of such languages has the approval of the Directors-General of FAO and WHO.
3. Where a representative wishes to use a language other than a language of the Commission he shall himself provide the necessary interpretation and/or translation into one of the languages of the Commission.
4. Without prejudice to the provisions of paragraph 3 of this Rule, the languages of subsidiary bodies set up under Rule X.1(b) shall include at least two of the languages of the Commission.

RULE XIV AMENDMENTS AND SUSPENSION OF RULES

1. Amendments of or additions to these Rules may be adopted by a two thirds majority of the votes cast, provided that 24 hours' notice of the proposal for the amendment or addition has been given. Amendments of or additions to these Rules shall come into force upon approval by the Directors-General of FAO and WHO, subject to such confirmation as may be prescribed by the procedures of the two Organizations.
2. The Rules of the Commission, other than Rule I, Rule III.1, 2, 3 and 6, Rule IV, Rule V.2 and 6, Rule VI.1, 4 and 6, Rule VII.1, 2 and 3, Rule VIII, Rule IX.3 and 4, Rule X.5, 7 and 9, Rule XII, Rule XIV and Rule XV, may be suspended by the Commission by a two thirds majority of the votes cast, provided that 24 hours' notice of the proposal for suspension has been given. Such notice may be waived if no representative of the Members of the Commission objects.

RULE XV ENTRY INTO FORCE

1. In accordance with Article 8 of the Statutes of the Commission, these Rules of Procedure shall come into force upon approval by the Directors-

第XIII規定 - 言語

1. 「委員会」及び第IX.1(a)規定に基づき設置されたその下部機関の使用する言語は、「委員会」が定める公用語のうちの3ヶ国語以上とする。これらの言語は、FAO及びWHO保健総会の両者の公用語である。
2. 以下のような場合には、上記第1項の規定にかかわらず、FAOまたはWHO保健総会のいずれか一方の公用語であるその他の言語を、「委員会」が付加することができる。すなわち、
 - (a) FAO及びWHOの事務局長から、これらの言語追加に関する方針、財政、及び管理上の影響に関する報告書が、「委員会」宛に提出されている場合で；
 - (b) これら言語の追加が、FAO及びWHOの事務局長の承認を得ている場合。
3. 代表者が「委員会」公用語以外の言語を使用することを望んだ場合は、必要となる「委員会」の公用語のいずれか1つへの通訳及び/または翻訳を自ら用意しなければならない。
4. 本規定第3項の規定に関わらず、第IX.1(b)規定に基づいて設置された下部機関の言語には、少なくとも「委員会」の2言語が含まれなければならない。

第XIV規定 - 規程の修正及び停止

1. 本規程の修正または追加は、当該修正または追加の提案が24時間前に通告されていた場合、投票数の3分の2の賛成多数で採択することができる。本規程の修正または追加は、FAO及びWHOが手続きにつき定めている可能性のある追認を条件として、FAO及びWHOの事務局長が承認した時点で効力を発するものとしなければならない。
4. 第I規定、第II規定1、2、3及び6、第III規定、第IV規定2及び6、第V規定1、4及び6、第VI規定1、2及び3、第VII規定、第VIII規定3及び4、第IX規定5、7及び9、第XI規定、第XIII規定、及び第XIV規定の各規定を除く、「委員会」の規程は、停止の提案が24時間前に通告されていた場合、投票数の3分の2の賛成多数で、「委員会」が停止することができる。「委員会」加盟国の代表者からの異議申し立てがない場合、このような通告は省略することができる。

第XV規定 - 発効

1. 「委員会」規約第8条に従い、FAO及びWHOが手続きを定めている可能性のある追認を条件として、本手続き規程は、FAO及びWHOの事務局長が承認した時点で発効するものとしなければならない。

General of FAO and WHO, subject to such confirmation as may be prescribed by the procedures of the two Organizations. Pending the coming into force of these Rules, they shall apply provisionally.

ならない。本規程が発効するまでは、暫定的に適用されるものとする。

PROCEDURES FOR THE ELABORATION OF CODEX STANDARDS AND RELATED TEXTS

Note: Throughout this text the word "Standard" is meant to include any of the recommendations of the Commission intended to be submitted to Governments for acceptance. Except for provisions relating to acceptance, the Procedures apply *mutatis mutandis* to codes of practice and other texts of an advisory nature.

INTRODUCTION

1. The full procedure for the elaboration of Codex standards is as follows. The Commission decides, taking into account the "Criteria for the Establishment of Work Priorities", that a standard should be elaborated and also which subsidiary body or other body should undertake the work. Decisions to elaborate standards may also be taken by subsidiary bodies of the Commission in accordance with the above-mentioned criteria subject to subsequent approval by the Commission or its Executive Committee at the earliest possible opportunity. The Secretariat arranges for the preparation of a "proposed draft standard" which is circulated to governments for comments and is then considered in the light of these by the subsidiary body concerned which may present the text to the Commission as a "draft standard". If the Commission adopts the "draft standard" it is sent to governments for further comments and in the light of these and after further consideration by the subsidiary body concerned, the Commission reconsiders the draft and may adopt it as a "Codex standard". The procedure is described in Part 1 of this document.
2. The Commission or the Executive Committee, or any subsidiary body, subject to the confirmation of the Commission or the Executive Committee may decide that the urgency of elaborating a Codex standard is such that an accelerated elaboration procedure should be followed. While taking this decision, all appropriate matters shall be taken into consideration, including the likelihood of new scientific information becoming available in the immediate future. The accelerated elaboration procedure is described in Part 2 of this document.
3. The Commission or the subsidiary body or other body concerned may decide that the draft be returned for further work at any appropriate previous Step in the Procedure. The Commission may also decide that the draft be held at Step 8.

コーデックス食品規格及び関連文書の作成手続き

注：この本文中で使用されている「規格[standards]」という用語は、政府の受諾を得ることを目的とする「委員会[Commission]」のすべての勧告を含むものであることを意味している。本手続きは、受諾に関連する規定を除き、必要な変更を加えて取扱い規範及び勧告的性格をもつその他の文書に適用される。

序文

1. コーデックス食品規格を作成するためのすべての手続きは次の通りである。「委員会」では、「作業優先順位の確立及び下部機関の設置に関する基準」を考慮に入れて、規格を作成すべきか判断し、どの下部機関またはその他機関がその作業を担当するかを決定する。規格作成については、可能な限り最も早い時期に「委員会」または執行委員会による承認を受けることを条件とし、上述の基準に従い、「委員会」の下部機関が決定することができる。事務局は「提案規格草案」[proposed draft standard]の作成を手配し、これを各国に配布してコメントを受け、関係する下部機関がこれらのコメントに基づき検討を行い、「規格草案」[draft standard]として「委員会」に提出する。「委員会」がこの「規格草案」を採択すると、さらにコメントを得るため、各国に送付され、関係する下部機関がこれらコメントに基づき再検討した後、「委員会」で草案を再検討し、「コーデックス食品規格」[Codex Standard]として採択されることになる。この手続きについては、本書の第1部に記載してある。
2. 「委員会」若しくは執行委員会、または「委員会」若しくは執行委員会による確認を条件とする任意の下部機関は、コーデックス食品規格を緊急に作成するために早期作成手続きを行うべきか否かを決定することができる。これを決定する場合には、新しい科学情報がごく近い将来利用できる可能性などを含む、すべての適切な関連事項を考慮に入れなければならない。早期作成手続きについては、本書の第2部に記載してある。
3. 「委員会」若しくは関係する下部機関またはその他機関は草案の次の検討において、それを手続きの適切な前のステップに差し戻すべきかを決定することができる。「委員会」では、草案を Step 8で保留するとの決定もできる。

4. The Commission may authorize, on the basis of two-thirds majority of votes cast, the omission of Steps 6 and 7, where such an omission is recommended by the Codex Committee entrusted with the elaboration of the draft. Recommendations to omit steps shall be notified to Members and interested international organizations as soon as possible after the session of the Codex Committee concerned. When formulating recommendations to omit Steps 6 and 7, Codex Committees shall take all appropriate matters into consideration, including the need for urgency, and the likelihood of new scientific information becoming available in the immediate future.

5. The Commission may at any stage in the elaboration of a standard entrust any of the remaining Steps to a Codex Committee or other body different from that to which it was previously entrusted.

6. It will be for the Commission itself to keep under review the revision of "Codex standards". The procedure for revision should, *mutatis mutandis*, be that laid down for the elaboration of Codex standards, except that the Commission may decide to omit any other step or steps of that Procedure where, in its opinion, an amendment proposed by a Codex Committee is either of an editorial nature or of a substantive nature but consequential to provisions in similar standards adopted by the Commission at Step 8.

7. Codex standards are published and governments are invited to notify the Commission's Secretariat of the status or use of the Codex standard in accordance with their established legal and administrative procedures. They are also sent to international organizations to which competence in the matter has been transferred by their Member States. See Part 3 of this document. Details of notifications are published periodically by the Commission's Secretariat.

PART 1: UNIFORM PROCEDURE FOR THE ELABORATION OF CODEX STANDARDS AND RELATED TEXTS

Steps 1, 2 and 3

(1) The Commission decides, taking into account the "Criteria for the Establishment of Work Priorities", to elaborate a World-wide Codex Standard and also decides which subsidiary body or other body should undertake the work. A decision to elaborate a World-wide Codex Standard may also be taken by subsidiary bodies of the Commission in accordance with the above mentioned criteria, subject to subsequent approval by the Commission or its Executive Committee at the earliest possible opportunity. In the case of Codex Regional Standards, the Commission shall base its decision on the proposal of the majority of Members belonging to a given region or group of countries submitted at a session of the Codex Alimentarius Commission.

4.「委員会」は、草案作成を委任されているコーデックス部会により、次の省略が勧告された場合には、投票数の3分の2の賛成多数に基づき、Step 6及びStep 7の省略を是認できる。ステップを省略するという勧告は、当該コーデックス部会の会議終了後できる限り早急に、各加盟国及び関心のある国際組織に通知されなければならない。Step 6及びStep 7の省略に関する勧告を公式に表明する場合、コーデックス部会は、緊急を要するか否か及び新しい科学情報がごく近い将来利用できる可能性などを含め、すべての適切な関連事項を考慮しなければならない。

5.「委員会」は、規格作成のいかなるステップにおいても、以前に委任したものとは異なるコーデックス部会またはその他の機関に残りの任意のステップを委任することができる。

6.「コーデックス食品規格」の改訂を継続して検討するのは、「委員会」自体である。改訂の手続きは、コーデックス食品規格作成のための策定に必要な範囲の変更を加えたものであるべきである。ただし、「委員会」は、コーデックス部会が提案する修正案が文章上の問題または本質的な問題ではあるが「委員会」がStep 8で採択した同様な規格の規定に由来したものである、と自らが判断したとき手続きの任意の他のステップ(単数または複数)の省略を決定することができる。

7.「コーデックス食品規格」は公表され、各国政府に受諾のため送付される。また、加盟国からその問題における作業遂行権限が委譲された国際組織宛にも送付される。本書の第3部を参照のこと。各国政府の受諾に関する詳細は、「委員会」事務局から定期的に発行される。

第1部：コーデックス食品規格及び関連文書の作成に関する統一手続き

Step 1、Step 2及びStep 3

(1)「委員会」は、「作業優先順位の確立及び下部機関設置に関する基準」を考慮に入れ、コーデックス世界規模規格を作成するか否か及びどの下部機関またはその他の組織がその作業を行うべきかを決定する。コーデックス世界規模規格[Worldwide Codex Standards]を作成するとの決定は、決定後の可能な限り最も早い時期に「委員会」または執行委員会による承認を受けることを条件として、上述の基準に従い、「委員会」の下部機関によっても決定することができる。コーデックス地域規格[Codex Regional Standards]の場合には、「委員会」は、コーデックス食品規格委員会の会議において提出された所定の地域または国家グループに属する加盟国の過半数の提案に基づいて、決定しなければならない。

(2) The Secretariat arranges for the preparation of a proposed draft standard. In the case of Maximum Limits for Residues of Pesticides or Veterinary Drugs, the Secretariat distributes the recommendations for maximum limits, when available from the Joint Meetings of the FAO Panel of Experts on Pesticide Residues in Food and the Environment and the WHO Core Assessment Group on Pesticide Residues (JMPR), or the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (JECFA). In the cases of milk and milk products or individual standards for cheeses, the Secretariat distributes the recommendations of the International Dairy Federation (IDF).

(3) The proposed draft standard is sent to Members of the Commission and interested international organizations for comment on all aspects including possible implications of the proposed draft standard for their economic interests.

Step 4

The comments received are sent by the Secretariat to the subsidiary body or other body concerned which has the power to consider such comments and to amend the proposed draft standard.

Step 5

The proposed draft standard is submitted through the Secretariat to the Commission or to the Executive Committee with a view to its adoption as a draft standard.³ In taking any decision at this step, the Commission or the Executive Committee will give due consideration to any comments that may be submitted by any of its Members regarding the implications which the proposed draft standard or any provisions thereof may have for their economic interests. In the case of Regional Standards, all Members of the Commission may present their comments, take part in the debate and propose amendments, but only the majority of the Members of the region or group of countries concerned attending the session can decide to amend or adopt the draft. In taking any decisions at this step, the Members of the region or group of countries concerned will give due consideration to any comments that may be submitted by any of the Members of the Commission regarding the implications which the proposed draft standard or any provisions thereof may have for their economic interests.

³ Without prejudice to any decision that may be taken by the Commission at Step 5, the proposed draft standard may be sent by the Secretariat for government comments prior to its consideration at Step 5, when, in the opinion of the subsidiary body or other body concerned, the time between the relevant session of the Commission and the subsequent session of the subsidiary body or other body concerned requires such action in order to advance the work.

(2) 事務局は、提案規格草案作成の調整を行う。農薬または動物用医薬品の最大残留基準値 [Maximum Limits for Residues of Pesticides or Veterinary Drugs] については、FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議 [Joint Meetings of the FAO Panel of Experts on Pesticide Residues in Food and the Environment and the WHO Panel of Experts on Pesticide Residues] (JMPR) または FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議 [Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives] (JECFA) からの情報が得られる場合は、事務局が最大残留基準値に関する勧告を配布する。乳及び乳製品またはチーズに関する個々の規格については、事務局が国際酪農連盟 [International Dairy Federation] (IDF) の勧告を配布する。

(3) 提案規格草案は、経済的利益に対して提案規格草案が与える可能性のある影響を含め、すべての分野についてのコメントを受け付けるため、「委員会」加盟国及び関心のある国際組織に送付される。

Step 4

受け取られたコメントは、そのコメントについて考察し、提案規格草案を修正する能力のある下部機関またはその他の関連機関宛に事務局により送付される。

Step 5

提案規格草案は、規格草案として採択のため、事務局を通じ、「委員会」または執行委員会に提出される。³ 本ステップで何らかの決定を下す場合、「委員会」または執行委員会は、提案規格草案またはその任意の規定が経済的利益に対し与え得る影響について、いずれかの加盟国から提出されるすべてのコメントを十分考慮する。地域規格の場合、「委員会」のすべての加盟国はそのコメントを提出し、討議に参加し、修正案を提出することができる、しかし、草案の修正または採択については、会議に出席している当該地域の加盟国または国家グループの過半数によってのみ決定することができる。本ステップで何らかの決定を下す場合、当該地域の加盟国または国家グループは、提案規格草案またはその任意の規定が経済的利益に関し与え得る影響について、「委員会」のすべての加盟国から提出され得るすべてのコメントを十分考慮する。

³ Step 5 で「委員会」が下すことのできるいかなる決定にも影響を及ぼすことなく、下部機関またはその他関連機関の意見に基づき、「委員会」の関連性のある会議及びその後の下部機関またはその他の機関の会議の間の期間のため、当該措置が作業を促進するため必要であると判断されたとき、事務局は、Step 5 で検討する以前に、提案規格草案を送付し、各国政府のコメントを受けることができる。

Step 6

The draft standard is sent by the Secretariat to all Members and interested international organizations for comment on all aspects, including possible implications of the draft standard for their economic interests.

Step 7

The comments received are sent by the Secretariat to the subsidiary body or other body concerned, which has the power to consider such comments and amend the draft standard.

Step 8

The draft standard is submitted through the Secretariat to the Commission together with any written proposals received from Members and interested international organizations for amendments at Step 8 with a view to its adoption as a Codex standard. In the case of Regional standards, all Members and interested international organizations may present their comments, take part in the debate and propose amendments but only the majority of Members of the region or group of countries concerned attending the session can decide to amend and adopt the draft.

**PART 2: UNIFORM ACCELERATED PROCEDURE FOR THE
ELABORATION OF CODEX STANDARDS AND RELATED TEXTS**

Steps 1, 2 and 3

(1) The Commission or the Executive Committee between Commission sessions, on the basis of a two-thirds majority of votes cast, taking into account the "Criteria for the Establishment of Work Priorities", shall identify those standards which shall be the subject of an accelerated elaboration process.⁴ The identification of such standards may also be made by subsidiary bodies of the Commission, on the basis of a two-thirds majority of votes cast, subject to confirmation at the earliest opportunity by the Commission or its Executive Committee by a two-thirds majority of votes cast.

(2) The Secretariat arranges for the preparation of a proposed draft standard. In the case of Maximum Limits for Residues of Pesticides or Veterinary Drugs,

⁴ Relevant considerations could include, but need not be limited to, matters concerning new scientific information; new technology(ies); urgent problems related to trade or public health; or the revision or up-dating of existing standards.

Step 6

規格草案は、事務局を通じてすべての加盟国及び関心のある国際組織に送付し、経済的利益に関して規格草案が持ち得る意味を含む、すべての局面についてのコメントを受ける。

Step 7

受け取られたコメントは、かかるコメントについて考察し規格草案を修正する能力のある下部機関またはその他関連機関宛に事務局が送付する。

Step 8

規格草案は、コーデックス食品規格としての採択を目的として、加盟国及び関心のある国際組織から受け取ったStep 8での修正に関する提議文書とともに、事務局を通じて「委員会」に提出される。地域規格の場合、すべての加盟国及び関心のある国際組織は、そのコメントを提出し、討議に参加し、修正案を提出することができるが、草案の修正及び採択については、会議に出席している当該地域または国家グループの加盟国の過半数によってのみ決定することができる。

第2部：コーデックス食品規格及び関連文書の作成に関する早期統一手続き

Step 1、Step 2及びStep 3

(1) 「委員会」または「委員会」会議の開催の間における執行委員会は、投票数の3分の2の賛成多数をもとに、「作業優先順位の確立及び下部機関の設置に関する基準」を考慮に入れ、早期作成手続きの主題となるべき規格を特定できる⁴。これら規格の特定は、投票数の3分の2の賛成多数をもとに、「委員会」の下部機関が行うこともできるが、「委員会」または執行委員会が最も早い機会に投票数の3分の2の賛成多数により確認することを条件とする。

⁴ 関連する考慮事項には、新科学情報、新テクノロジー、貿易または公衆衛生に関連する緊急問題、または既存規格の改訂または更新に関する問題も含まれているが、これらに限定する必要はない。

the Secretariat distributes the recommendations for maximum limits, when available from the Joint Meetings of the FAO Panel of Experts on Pesticide Residues in Food and the Environment and the WHO Core Assessment Group on Pesticide Residues (JMPR), or the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (JECFA). In the cases of milk and milk products or individual standards for cheeses, the Secretariat distributes the recommendations of the International Dairy Federation (IDF).

(3) The proposed draft standard is sent to Members of the Commission and interested international organizations for comment on all aspects including possible implications of the proposed draft standard for their economic interests. When standards are subject to an accelerated procedure, this fact shall be notified to the Members of the Commission and the interested international organizations.

Step 4

The comments received are sent by the Secretariat to the subsidiary body or other body concerned which has the power to consider such comments and to amend the proposed draft standard.

Step 5

In the case of standards identified as being subject to an accelerated elaboration procedure, the draft standard is submitted through the Secretariat to the Commission together with any written proposals received from Members and interested international organizations for amendments with a view to its adoption as a Codex standard. In taking any decision at this step, the Commission will give due consideration to any comments that may be submitted by any of its Members regarding the implications which the proposed draft standard or any provisions thereof may have for their economic interests.

PART 3: SUBSEQUENT PROCEDURE CONCERNING PUBLICATION AND ACCEPTANCE OF CODEX STANDARDS

The Codex standard is published and issued to all Member States and Associate Members of FAO and/or WHO and to the international organizations concerned. Members of the Commission and international organizations to which competence in the matter has been transferred by their Member States notify the Secretariat of the status or use of the Codex standard in accordance with the notification acceptance procedure set out in paragraph 4, paragraph 5 or paragraph 6 of the General Principles of the Codex Alimentarius, whichever is appropriate. Member States and Associate Members of FAO and/or WHO

(2) 事務局は、提案規格草案の作成を手配する。農薬または動物用医薬品の最大残留基準値については、FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR)から、またFAO/WHO合同食品添加物専門家会議(JECFA)からの情報が得られる場合は、事務局が最大残留基準値に関する勧告を配布する。乳及び乳製品またはチーズに関する個々の規格については、事務局が国際酪農連盟(IDF)の勧告を配布する。

(3) 提案規格草案は、「委員会」加盟国及び関心のある国際組織に送付し、経済的利益に関して提案規格草案が持ち得る意味を含む、すべての局面についてのコメントを受ける。これらの規格が早期作成手続きを条件としている場合は、この事実を「委員会」加盟国及び関心のある国際組織に通知しなければならない。

Step 4

受け取られたコメントは、かかるコメントについて考察し提案された規格草案を修正する能力のある下部機関またはその他関連機関に事務局が送付する。

Step 5

早期作成手続きの対象として特定された規格の場合、その規格草案は、「コーデックス食品規格」として採択のため、加盟国及び関心のある国際組織から受け取ったStep 8での修正に関するすべての文書とした提案とともに、事務局により「委員会」に提出される。本ステップで何らかの決定を下す場合、「委員会」は、提案規格草案またはそれに関する任意の規定が経済的利益に関して与え得る影響について、「委員会」のいずれかの加盟国から提出される可能性があるすべてのコメントを十分考慮する。

第3部: コーデックス食品規格の公表及び受諾に関するその後の手続き

コーデックス食品規格は、FAO及び/またはWHOのすべての加盟国及び準加盟国並びに関連のある国際組織に、公表及び伝達される。「委員会」加盟国及び加盟国からその問題における権限が譲渡された国際組織は、コーデックス食品規格一般原則の第4、5、または6項のいずれか該当する規定に定められている受諾手続きに従い、コーデックス食品規格の受諾を事務局に通告する。「委員会」の加盟国でないFAO及び/またはWHOの加盟国及び準加盟国は、そのコーデックス食品規格を受諾する意思があるときは事務局に伝えるよう、要請されている。

事務局は、各国政府及び加盟国からその問題における権限が譲渡された国際組織から受け取った、コーデックス食品規格を受諾するかどうかの通告の詳細を定期的に公表し、この情報に加え、

that are not Members of the Commission are also invited to notify the Secretariat if they wish to accept the Codex standard.

The Secretariat publishes periodically details of notifications received from governments and from international organizations to which competence in the matter has been transferred by their Member States with respect to the acceptance or otherwise of Codex standards and in addition to this information an appendix for each Codex standard (a) listing the countries in which products conforming with such standard may be freely distributed, and (b) where applicable, stating in detail all specified deviations which may have been declared in respect to acceptance.

The above mentioned publications will constitute the *Codex Alimentarius*.

The Secretariat examines deviations notified by governments and reports periodically to the Codex Alimentarius Commission concerning possible amendments to standards which might be considered by the Commission in accordance with the Procedure for the Revision and Amendment of Recommended Codex Standards.

***SUBSEQUENT PROCEDURE CONCERNING PUBLICATION, ACCEPTANCE
AND POSSIBLE EXTENSION OF TERRITORIAL APPLICATION OF THE
STANDARD***

The Codex Regional Standard is published and issued to all Member States and Associate Members of FAO and/or WHO and to the international organizations concerned. Members of the region or group of countries concerned notify the Secretariat of the status and use the Codex Regional Standard in accordance with the notification procedure set out in Section 4 of the General Principles of the Codex Alimentarius. Other Members of the Commission may likewise notify the Secretariat of their use of the standard or of any other measures they propose to adopt with respect thereto, and also submit any observations as to its application. Member States and Associate Members of FAO and/or WHO that are not Members of the Commission are invited to notify the Secretariat of the status or use of the Codex standard.

It is open to the Commission to consider at any time the possible extension of the territorial application of a Codex Regional Standard or its conversion into a World-wide Codex Standard in the light of all notifications received.

***GUIDE TO THE CONSIDERATION OF STANDARDS AT STEP 8 OF THE
PROCEDURE FOR THE ELABORATION OF CODEX STANDARDS INCLUDING
CONSIDERATION OF ANY STATEMENTS RELATING TO ECONOMIC IMPACT***

1. In order:

(a)当該規格に適合する製品を自由に流通させることができる国を列挙し、(b)適用可能であれば、受諾に関して表明されている可能性のある逸脱事項をすべて詳細に明記している、各コーデックス食品規格の付属文書も公表する。

上述の刊行物が、コーデックス食品規格集[Codex Alimentarius]となる。

事務局は、各国政府によって通知された特定差事項を調査し、「勧告コーデックス食品規格の改定及び修正手続き[Procedure for Revision and Amendment of Recommended Codex Standards]」に従い、「委員会」が検討する可能性のある規格の修正に関し、定期的に「委員会」に報告する。

地域規格の公表、受諾及び適用地域拡大の可能性に関するその後の手続き

コーデックス地域規格は、FAO及び/またはWHOのすべての加盟国及び準加盟国、並びに関係国際組織に、公表及び伝達される。地域内の加盟国及び関係する国家グループは、コーデックス食品規格一般原則[General Principles of the Codex Alimentarius]の第4、5、または6項のいずれか該当する規定に定められている受諾手続きに従い、コーデックス地域規格の受諾を事務局に通告する。「委員会」のその他加盟国も、本規格またはそれに関連して採択を提案しているその他の措置の受諾を同様に事務局に通告でき、その適用に関する任意の所見も提出できる。「委員会」の加盟国でないFAO及び/またはWHOの加盟国及び準加盟国は、本規格を受諾する意思があるか否かを事務局に通告するよう、要請されている。

「委員会」では、受け取ったすべての受諾に基づき、コーデックス地域規格の適用地域拡大の可能性、またはそのコーデックス世界規模規格への変換に関して、いつでも検討することができる。

経済的影響にかかわるすべての意見の考察を含め、コーデックス食品規格作成手続きStep 8における規格考察の手引き

1. このことに関しては、下記の通りである。

- (a) to ensure that the work of the Codex committee concerned is not made less valuable by the passage of an insufficiently considered amendment in the Commission;
- (b) at the same time to provide scope for significant amendments to be raised and considered in the Commission;
- (c) to prevent, as far as practicable, lengthy discussion in the Commission on points that have been thoroughly argued in the Codex committee concerned;
- (d) to ensure, as far as practicable, that delegations are given sufficient warning of amendments so that they may brief themselves adequately,

amendments to Codex standards at Step 8 should, as far as practicable, be submitted in writing, although amendments proposed in the Commission would not be excluded entirely, and the following procedure should be employed:

2. When Codex standards are distributed to Member Countries prior to their consideration by the Commission at Step 8, the Secretariat will indicate the date by which proposed amendments must be received; this date will be fixed so as to allow sufficient time for such amendments to be in the hands of governments not less than one month before the session of the Commission.
3. Governments should submit amendments in writing by the date indicated and should state that they had been previously submitted to the appropriate Codex committee with details of the submission of the amendment or should give the reason why the amendment had not been proposed earlier, as the case may be.
4. When amendments are proposed during a session of the Commission, without prior notice, to a standard which is at Step 8, the Chairperson of the Commission, after consultation with the chairperson of the appropriate committee, or, if the chairperson is not present, with the delegate of the chairing country, or, in the case of subsidiary bodies which do not have a chairing country, with other appropriate persons, shall rule whether such amendments are substantive.
5. If an amendment ruled as substantive is agreed to by the Commission, it shall be referred to the appropriate Codex committee for its comments and, until such comments have been received and considered by the Commission, the standard shall not be advanced beyond Step 8 of the Procedure.
6. It will be open to any Member of the Commission to draw to the attention of the Commission any matter concerning the possible implications of a draft standard for its economic interests, including any such matter which has not, in

- (a) 「委員会」において十分に検討されない修正案の可決により、関連するコーデックス部会の作業の有用性が低下することを避けるため；
- (b) 同時に、「委員会」で重要な修正案が取り上げられ検討される機会を与えるため；
- (c) 実行可能な範囲内で、関連するコーデックス部会においてすでに十分に論議されたことのある点について、「委員会」で冗長な論議を避けるため；
- (d) 実行可能な範囲内で、代表団が自国の意見の要約を作成できるように、修正に対する十分な注意を代表団に与えるため。

下記の理由により、「委員会」に提案された修正案が完全に排除されることはないが、Step 8におけるコーデックス食品規格の修正は実行可能である限り、文書で提出されるべきである。またそれは次の手続きによるものとする。

2. 「委員会」がStep 8での検討を行う前に、コーデックス食品規格が加盟国に配布されている場合、事務局は修正案の受取り期日を明示する；この期日は、各国政府が「委員会」の会議開催の1ヶ月以上前で、各国政府による修正案に対する時間的余裕を十分に設けて、設定されることとなる。
3. 各国政府は文書により定められた日までに修正案を提出すべきであり、修正案の詳細とともに、その該当する状況に従い、妥当なコーデックス部会に以前に提出されたことがあるか、または修正案が以前に提出されたことがなかった理由を提起すべきである。
4. 修正案が事前の通告なしにある規格に対し、Step 8で「委員会」の会議を通じて提出されたときは、「委員会」の議長は該当する部会の議長の意見を求めた後、またはその議長が不在の場合は、議長国の代表若しくは議長国の定められていない下部機関のときは他の妥当な者の意見を求めた後、その修正が本質的なものであるか否かの決定を下さなければならない。
5. 修正が「委員会」により本質的なものであると判定されたときは、修正案はコメントを求めるため、妥当なコーデックス部会に委託され、「委員会」によりそのコメントが受け取られて、検討された後でなければ、その規格を手続きのStep 8以後に進めてはならない。
6. 加盟国は、コーデックス食品規格作成手続きにおける初期の段階で十分解決されていないすべての事項を含め、自国の経済的利益に対する規格草案の及ぼす可能性のある影響に関するすべての事項につき、「委員会」の留意を求める自由を有する。「委員会」またはその下部機関での以前のすべての検討結果を含め、問題点に関するすべての情報は、経済的影響を考慮して修正した規

that Member's opinion, been satisfactorily resolved at an earlier step in the Procedure for the Elaboration of Codex Standards. All the information pertaining to the matter, including the outcome of any previous consideration by the Commission or a subsidiary body thereof should be presented in writing to the Commission, together with any draft amendments to the standard which would in the opinion of the country concerned, take into account the economic implications. In considering statements concerning economic implications the Commission should have due regard to the purposes of the Codex Alimentarius concerning the protection of the health of consumers and the ensuring of fair practices in the food trade, as set forth in the General Principles of the Codex Alimentarius, as well as the economic interests of the Member concerned. It will be open to the Commission to take any appropriate action including referring the matter to the appropriate Codex committee for its comments.

***GUIDE TO THE PROCEDURE FOR THE REVISION AND AMENDMENT OF
CODEX STANDARDS***

1. Proposals for the amendment or revision of Codex standards should be submitted to the Commission's Secretariat in good time (not less than three months) before the session of the Commission at which they are to be considered. The proposer of an amendment should indicate the reasons for the proposed amendment and should also state whether the proposed amendment had been previously submitted to and considered by the Codex committee concerned and/or the Commission. If the proposed amendment has already been considered by the Codex committee and/or Commission, the outcome of the consideration of the proposed amendment should be stated.
2. Taking into account such information regarding the proposed amendment as may be supplied in accordance with paragraph 1 above, the Commission will decide whether the amendment or revision of a standard is necessary. If the Commission decides in the affirmative, and the proposer of the amendment is other than a Codex committee, the proposed amendment will be referred for consideration to the appropriate Codex committee, if such committee is still in existence. If such committee is not in existence, the Commission will determine how best to deal with the proposed amendment. If the proposer of the amendment is a Codex committee, it would be open to the Commission to decide that the proposed amendment be circulated to governments for comments prior to further consideration by the sponsoring Codex Committee. In the case of an amendment proposed by a Codex Committee, it will also be open to the Commission to adopt the amendment at Step 5 or Step 8 as appropriate, where in its opinion the amendment is either of an editorial nature or of a substantive nature but consequential to provisions in similar standards adopted by it at Step 8.

格についての草案とともに、委員会へ文書で提出されなくてはならない。経済的影響に関する意見を考慮し、「委員会」は、関係国の経済的利益とともに、コーデックス食品規格一般原則中で定められている、消費者の健康の保護及び食品貿易における公正な取引の確保に関するコーデックス食品規格の目的に十分な配慮を払うべきである。「委員会」は、議題を妥当なコーデックス部会にコメントを求めるため差し戻すことを含め、妥当な措置をとる権限を有する。

コーデックス食品規格の改訂及び修正手続きの指針

1. コーデックス食品規格の修正または改訂に関する提案は、検討が予定される「委員会」の会議の開催前の適当な時期(3ヶ月以上前)に、「委員会」事務局宛に提出されなければならない。修正案の提案者は、提案修正案の理由を明らかにし、当該修正案の提案が以前に提出されたか否か並びに関係あるコーデックス部会及び/または「委員会」で以前に検討されたことがあるか否かについても明らかにすべきである。提案の修正案が、すでにコーデックス部会及び/または「委員会」で検討されたことがあるものである場合は、その検討結果を明らかにすべきである。
2. 「委員会」では、提案修正案に関して上記第1項に従い、提供されることのある情報を考慮し、規格の修正または改訂が必要であるか否かを決定する。「委員会」が必要と認め、その修正案の提案者がコーデックス部会以外からである場合、適切なコーデックス部会が存続しているときは、この提案修正案は、当該部会に検討のため委託される。当該部会が存在しない場合は、「委員会」が提案修正案の最善の処理方法を決定する。修正案の提案者がコーデックス部会である場合は、提案修正案について所轄のコーデックス部会でさらに検討を行う前に、これを各国政府に配布し、コメントを求めべきか否かの決定は、「委員会」の裁量に委ねられている。コーデックス部会が提案した修正案の場合、当該修正案が文章上の問題または本質的な問題のいずれかではあるが、「委員会」がStep 8で採択した同様の規格の規定の修正の結果である、と「委員会」が判断した場合には、かかる修正案をStep 5またはStep 8のいずれか該当する方で採択することも、「委員会」の裁量に任されている。

3. The procedure for amending or revising a Codex standard would be as laid down in paragraphs 3 and 4 of the Introduction to the Procedure for the Elaboration of Codex Standards (see page 19 above).

4. When the Commission has decided to amend or revise a standard, the unrevised standard will remain the applicable Codex standard until the revised standard has been adopted by the Commission.

**ARRANGEMENTS FOR THE AMENDMENT OF CODEX STANDARDS
ELABORATED BY CODEX COMMITTEES WHICH HAVE ADJOURNED SINE
DIE**

1. The need to consider amending or revising adopted Codex standards arises from time to time for a variety of reasons amongst which can be:

(a) changes in the evaluation of food additives, pesticides and contaminants;

(b) finalization of methods of analysis;

(c) editorial amendments of guidelines or other texts adopted by the Commission and related to all or a group of Codex standards e.g. "Guidelines on Date Marking", "Guidelines on Labelling of Non-retail Containers", "Carry-over Principle";

(d) consequential amendments to earlier Codex standards arising from Commission decisions on currently adopted standards of the same type of products;

(e) consequential and other amendments arising from either revised or newly elaborated Codex standards and other texts of general applicability which have been referenced in other Codex standards (Revision of General Principles of Food Hygiene, Codex Standard for the Labelling of Prepackaged Foods);

(f) technological developments or economic considerations e.g. provisions concerning styles, packaging media or other factors related to composition and essential quality criteria and consequential changes in labelling provisions;

(g) modifications of standards being proposed following an examination of government notifications of acceptances and specified deviations by the Secretariat as required in accordance with the Procedure for the Elaboration of Codex standards i.e. "Subsequent Procedure concerning Publication and Acceptance of Codex Standards", page 24.

3. コーデックス食品規格の修正または改訂に関する手続きは、コーデックス食品規格作成手続き序文の第3項及び第4項(原文26ページ参照)に定められているものである。

4. 「委員会」が規格の修正または改訂を決定した場合、改訂された規格が「委員会」により採択されるまでは、改訂前の規格が引き続き適用されるコーデックス食品規格である。

無期休会となったコーデックス部会によって作成されたコーデックス食品規格修正の作業

1. 次のことを含むさまざまな理由により、採択されたコーデックス規格の修正または改訂を検討する必要があることがある。すなわち、

(a) 食品添加物、農薬及び汚染物質の評価結果の変更；

(b) 分析方法の最終的な取りまとめ；

(c) 「委員会」によって採択され、コーデックス食品規格のすべてまたは1群に関連しているガイドラインまたはその他の文書(例えば、「日付表示に関するガイドライン」、「非小売容器の表示に関するガイドライン」、「キャリーオーバーの原則」など)の文言上の修正；

(d) 広く承認された同種類の食品の規格についての「委員会」の決定により、当初のコーデックス食品規格に対する必然的な修正；

(e) 改訂されまたは新たに作成されたコーデックス食品規格及びその他のコーデックス食品規格中で引用されている、一般に適用されるその他の文書から生じる必然的及びその他の修正(食品衛生一般原則、包装食品の表示に関するコーデックス食品規格の修正)。

(f) 技術的な発展または経済上の検討、例えば、外観、充填用媒体[Packaging media]または組織及び必須の品質の基準並びにそれに伴う表示規定に関する他の因子；

(g) 受諾の各国政府による修正及び逸脱に関する事務局による検討の後における、コーデックス食品規格作成手続き「コーデックス食品規格の公表及び受諾に関するその後の手続き」の原文31ページにより提案される規格の修正。

2. The "Guide to the Procedure for the Revision and Amendment of Codex Standards" (see page 26) covers sufficiently amendments to Codex standards which have been elaborated by still active Codex Committees and those mentioned under paragraph 1 (g) above. In the case of amendments proposed to Codex standards elaborated by Codex Committees which have adjourned *sine die*, the procedure places an obligation on the Commission to "determine how best to deal with the proposed amendment". In order to facilitate consideration of such amendments, in particular, those of the type mentioned in para. 1 (a), (b), (c), (d), (e) and (f), the Commission has established more detailed guidance within the existing procedure for the amendment and revision of Codex standards.

3. In the case where Codex committees have adjourned *sine die*:

(a) the Secretariat keeps under review all Codex standards originating from Codex Committees adjourned *sine die* and to determine the need for any amendments arising from decisions of the Commission, in particular amendments of the type mentioned in para. 1(a), (b), (c), (d) and those of (e) if of an editorial nature. If a need to amend the standard appears appropriate then the Secretariat should prepare a text for adoption in the Commission;

(b) amendments of the type in para (f) and those of (e) of a substantive nature, the Secretariat in cooperation with the national secretariat of the adjourned Committee and, if possible, the Chairperson of that Committee, should agree on the need for such an amendment and prepare a working paper containing the wording of a proposed amendment and the reasons for proposing such amendment, and request comments from Member Governments: (a) on the need to proceed with such an amendment and (b) on the proposed amendment itself. If the majority of the replies received from Member Governments is affirmative on both the need to amend the standard and the suitability of the proposed wording for the amendment or an alternative proposed wording, the proposal should be submitted to the Commission with a request to approve the amendment of the standard concerned. In cases where replies do not appear to offer an uncontroversial solution then the Commission should be informed accordingly and it would be for the Commission to determine how best to proceed.

2. コーデックス食品規格の改訂及び修正手続きの指針(原文35ページ参照)は、現在休会となっていないコーデックス部会が作成したコーデックス食品規格及び上記第1項(g)に示した修正を、十分にカバーするものである。無期休会のコーデックス部会が作成したコーデックス食品規格に対する修正案が提案された場合、この手続きでは、「提案された修正案の最善の処理方法を決定する」義務を「委員会」に課している。このような修正、特に第1項の(a)、(b)、(c)、(d)、(e)及び(f)で述べたような種類に関する検討を容易に行うため、「委員会」では、コーデックス食品規格の修正及び改訂に関する既存の手続き中で、さらに詳細な手引きを定めている。

3. コーデックス部会が無期休会である場合は、次の通りとする。すなわち、

(a) 事務局は、無期休会のコーデックス部会が作成したすべてのコーデックス食品規格を常に検討し、「委員会」の決定によりもたらされるすべての修正、特に、第1項の(a)、(b)、(c)、(d)及び文言上の本質のときには(e)で述べたような種類の修正について、その必要性を判断する。規格修正の必要が適切なものであると思われる場合、事務局は「委員会」において採択する文書を作成すべきである。

(b) 第1項の(f)及び本質的な問題の(e)の修正のときには、事務局は、休会する部会の国の事務局と、さらに可能であれば、当該部会の議長と協力し、その修正の必要につき同意し、提案修正案の文言、及び当該修正を提案する理由を記載した作業用文書を作成すべきである。また、(a)かかる修正を行う必要性及び(b)提案修正案そのものについて、加盟国政府にコメントを求めなければならない。加盟国政府からの回答の過半数が、規格修正の必要性及び修正案に関する提案文の文言またはこれに代わる提案文の文言が適切である、と双方に賛成する場合は、当該規格の修正を承認するよう要請し、提案を「委員会」に提出すべきである。各国からの回答が、議論の余地のない解決策を提供するものでないと判断される場合には、その旨を「委員会」に報告し、「委員会」は最善の処理方法を決定することとなろう。

GENERAL PRINCIPLES OF THE CODEX ALIMENTARIUS

PURPOSE OF THE CODEX ALIMENTARIUS

1. The Codex Alimentarius is a collection of internationally adopted food standards presented in a uniform manner. These food standards aim at protecting consumers' health and ensuring fair practices in the food trade. The Codex Alimentarius also includes provisions of an advisory nature in the form of codes of practice, guidelines and other recommended measures intended to assist in achieving the purposes of the Codex Alimentarius. The publication of the Codex Alimentarius is intended to guide and promote the elaboration and establishment of definitions and requirements for foods to assist in their harmonization and in doing so to facilitate international trade.

SCOPE OF THE CODEX ALIMENTARIUS

2. The Codex Alimentarius includes standards for all the principle foods, whether processed, semi-processed or raw, for distribution to the consumer. Materials for further processing into foods should be included to the extent necessary to achieve the purposes of the Codex Alimentarius as defined. The Codex Alimentarius includes provisions in respect of food hygiene, food additives, pesticide residues, contaminants, labelling and presentation, methods of analysis and sampling. It also includes provisions of an advisory nature in the form of codes of practice, guidelines and other recommended measures.

NATURE OF CODEX STANDARDS

3. Codex standards contain requirements for food aimed at ensuring for the consumer a sound, wholesome food product free from adulteration, correctly labelled and presented. A Codex standard for any food or foods should be drawn up in accordance with the Format for Codex Commodity Standards and contain, as appropriate, the criteria listed therein.

ACCEPTANCE OF CODEX COMMODITY STANDARDS

4.A. A Codex standard may be accepted by a country in accordance with its established legal and administrative procedures in respect of distribution of the product concerned, whether imported or home produced, within its territorial jurisdiction in the following ways:

コーデックス食品規格の一般原則

コーデックス食品規格集の目的

1. コーデックス食品規格集は、国際的に採択されている食品規格を統一された方法で記述し、集約したものである。これらの食品規格は、消費者の健康を保護し、食品取引における公正な慣行の確保を目的としている。コーデックス食品規格集にはまた、コーデックス食品規格の目的を達成するために取扱い規範、ガイドライン及びその他の勧告措置の形式での助言的な性質の規定も含んでいる。コーデックス食品規格集の発行は、食品に関する定義及び必要条件の作成及び確立を指導奨励し、その調和を助け、その際の国際取引促進を目的とするものである。

コーデックス食品規格集の範囲

2. コーデックス食品規格集には、加工品、半加工品、または生鮮品を問わず、消費者への流通を目的とするすべての主要食品に関する規格が含まれている。食品にさらに加工される原料については、定義されているコーデックス食品規格の目的を達成するため必要な範囲内で含まれるべきである。コーデックス食品規格集には、食品衛生、食品添加物、残留農薬、汚染物質、表示及び提示、分析及びサンプリング法に関する規定が含まれている。さらに、取扱い規範、ガイドライン及びその他の勧告措置の形式での助言的な性質の規定も含まれている。

コーデックス食品規格の性格

3. コーデックス食品規格には、粗悪品がなく、正しく表示され、提示のなされている安全で、衛生的な食品を消費者のために確保することを目的とした、食品に関する必要条件が含まれている。いかなる食品(単数または複数)に関してもコーデックス食品規格は、コーデックス食品別規格の書式に従って作成し、該当するときは、その中に基準を含めるべきである。

コーデックス食品別規格の受諾

4.A. コーデックス食品別規格[Codex Commodity Standards]は、輸入品、国産品のいずれかにかかわらず、主権管轄領域内における関係食品の流通に関しての自国の法律及び行政手続きに従い、各国が次により受諾できる。すなわち、

(i) Full acceptance

- (a) Full acceptance means that the country concerned will ensure that a product to which the standard applies will be permitted to be distributed freely, in accordance with (c) below, within its territorial jurisdiction under the name and description laid down in the standard, provided that it complies with all the relevant requirements of the standard.
- (b) The country will also ensure that products not complying with the standard will not be permitted to be distributed under the name and description laid down in the standard.
- (c) The distribution of any sound products conforming with the standard will not be hindered by any legal or administrative provisions in the country concerned relating to the health of the consumer or to other food standard matters except for considerations of human, plant or animal health which are not specifically dealt with in the standard.

(ii) Acceptance with specified deviations

Acceptance with specified deviations means that the country concerned gives acceptance, as defined in paragraph 4.A(i), to the standard with the exception of such deviations as are specified in detail in its declaration of acceptance; it being understood that a product complying with the standard as qualified by these deviations will be permitted to be distributed freely within the territorial jurisdiction of the country concerned. The country concerned will further include in its declaration of acceptance a statement of the reasons for these deviations, and also indicate:

- (a) whether products fully conforming to the standard may be distributed freely within its territorial jurisdiction in accordance with paragraph 4.A(i);
- (b) whether it expects to be able to give full acceptance to the standard and, if so, when.

(iii) Free distribution

A declaration of free distribution means that the country concerned undertakes that products conforming with a Codex commodity standard may be distributed freely within its territorial jurisdiction insofar as matters covered by the Codex commodity standard are concerned.

B. A country which considers that it cannot accept the standard in any of the ways mentioned above should indicate:

- (i) whether products conforming to the standard may be distributed freely within its territorial jurisdiction;

(i) 完全受諾

(a) 完全受諾とは、規格の適用される食品が、本規格の全ての関係のある必要条件に適合しているときに限り、規格に定められた品名及び記載により、その主権管轄領域内で下記(c)に従い、自由に流通できることを受諾国が保証することをいう。

(b) 当該国は、本規格に適合しない食品を、本規格に規定された品名及び記載の下では流通できないことも保証することとなる。

(c) 本規格に適合する安全な食品の流通は、本規格において特に取り扱われていない人間、植物または動物の健康に関し考慮するときを除き、消費者の健康またはその他食品規格の問題に関連する、当該国におけるすべての法律上または行政上の規定により妨げられることはない。

(ii) 特定差付き受諾

特定差付き受諾とは、その受諾文書に詳細を記載してある逸脱項目を例外事項として、当該国が本規格に対し、第4.A項(i)で定義した受諾を行うことをいう；これらの特定差付きで変更された規格に適合する食品は、当該国の主権管轄領域内で自由に流通できることをいう。さらに関係国は、この受諾文書に当該特定差の理由を記載し、下記事項についても明示するものとする。

(a) 当該規格に完全に適合する食品を、第4.A(i)項に従い、主権管轄領域内で自由に流通することができるか否か；

(b) 同国が本規格を完全受諾する見込みがあるか否か、及びその場合にはいつ実施できるか。

(iii) 自由流通

自由流通の表明とは、当該国がコーデックス食品別規格に適合している食品を、コーデックス食品規格が対象としている事項に関する範囲内で、主権管轄領域内において自由に流通することができる、と約束する責務を負うことをいう。

B. 本規格を上記のいずれによっても、受諾できないと判断した国は、次につき明らかにすべきである。

(i) 本規格に適合する食品をその主権管轄領域内で自由に流通できるか否か；

- (ii) in what ways its present or proposed requirements differ from the standard, and, if possible the reasons for these differences.

C. (i) A country which accepts a Codex standard according to one of the provisions of 4.A is responsible for the uniform and impartial application of the provisions of the standard as accepted, in respect of all home-produced and imported products distributed within its territorial jurisdiction. In addition, the country should be prepared to offer advice and guidance to exporters and processors of products for export to promote understanding of and compliance with the requirements of importing countries which have accepted a Codex standard according to one of the provisions of 4.A.

(ii) Where, in an importing country, a product claimed to be in compliance with a Codex standard is found not to be in compliance with that standard, whether in respect of the label accompanying the product or otherwise, the importing country should inform the competent authorities in the exporting country of all the relevant facts and in particular the details of the origin of the product in question (name and address of the exporter), if it is thought that a person in the exporting country is responsible for such non-compliance.

ACCEPTANCE OF CODEX GENERAL STANDARDS

5.A. A Codex general standard may be accepted by a country in accordance with its established legal and administrative procedures in respect of the distribution of products to which the general standard applies, whether imported or home-produced, within its territorial jurisdiction in the following ways:

(i) Full acceptance

Full acceptance of a general standard means that the country concerned will ensure, within its territorial jurisdiction, that a product to which the general standard applies will comply with all the relevant requirements of the general standard except as otherwise provided in a Codex commodity standard. It also means that the distribution of any sound products conforming with the standard will not be hindered by any legal or administrative provisions in the country concerned, which relate to the health of the consumer or to other food standard matters and which are covered by the requirements of the general standard.

(ii) Acceptance with specified deviations

Acceptance with specified deviations means that the country concerned gives acceptance, as defined in paragraph 5.A(i), to the general standard with the exception of such deviations as are specified in detail in its declaration of acceptance. The country concerned will further include in its declaration of acceptance a statement of the reasons for these deviations, and also indicate

(ii) 当該国が提示または提案する必要条件が、本規格とどのような点で異なるか及び可能であるときはその異なる理由。

C. (i) 4.Aのいずれか1つの規定に従い、コーデックス食品規格を受諾した国は、当該国の主権管轄領域内で流通されるすべての国産品及び輸入品に関し、受諾した本規格の規定を同様に、公平に適用する義務を負う。さらに、4.Aの規定のいずれか1つに従い、コーデックス食品規格を受諾した輸入国は、自国の必要条件に対する理解を促し、その遵守を促進するため、輸出用食品の輸出業者及び加工業者に対し、助言及び指導を行い、情報提供をすべきである。

(ii) 食品に添付されている表示に関しまたはその他の点について、コーデックス食品規格に適合していると主張されている食品が、輸入国において本規格に適合していないことが判明した場合、その不適合の責任が輸出国内のあるものと考えられるとき、当該輸入国は、輸出国の所管官庁に、すべての関連事実及び特に問題の食品の輸出元に関する詳細(輸出業者の名称及び所在地)を通知すべきである。

コーデックス一般規格の受諾

5.A コーデックス一般規格[Codex General Standards]は、輸入品、国産品を問わず、主権管轄領域内で、一般規格が適用される食品の流通に関し、自国において制定された法律及び行政上の手続きに従い、各国が以下により受諾できる。すなわち、

(i) 完全受諾

一般規格の完全受諾とは、当該国がその主権管轄領域内で、一般規格の適用される食品が、コーデックス食品規格に特に定められているものを除き、当該一般規格の関連するすべての必要条件に適合している、と保証することをいう。また、本規格に適合する安全な食品の流通が、消費者の健康またはその他の食品規格の事項及び一般規格の必要条件の対象とされている、受諾国におけるいかなる法律上または行政上の規定によっても、その流通が妨げられないこともいう。

(ii) 特定差付き受諾

特定差付き受諾とは、その受諾文書に詳細を記載してある逸脱項目を例外事項として、当該国が本規格に対し、第5.A項(i)で定義した受諾を行うことをいう；さらに関係国は、この受諾文書に当該特定差の理由を記載し、同国が一般規格を完全受諾する見込みがあるか否か及びその場合にはいつ実施できるかを明らかにするものとする。

whether it expects to be able to give full acceptance to the general standard and, if so, when.

(iii) Free distribution

A declaration of free distribution means that the country concerned undertakes that products conforming with the relevant requirements of a Codex general standard may be distributed freely within its territorial jurisdiction insofar as matters covered by the Codex general standard are concerned.

B. A country which considers that it cannot accept the general standard in any of the ways mentioned above should indicate in what ways its present or proposed requirements differ from the general standard, and if possible, the reasons for these differences.

C. (i) A country which accepts a general standard according to one of the provisions of paragraph 5.A is responsible for the uniform and impartial application of the provisions of the standard as accepted, in respect of all home produced and imported products distributed within its territorial jurisdiction. In addition, the country should be prepared to offer advice and guidance to exporters and processors of products for export to promote understanding of and compliance with the requirements of importing countries which have accepted a general standard according to one of the provisions of paragraph 5.A.

(ii) Where, in an importing country, a product claimed to be in compliance with a general standard is found not to be in compliance with that standard, whether in respect of the label accompanying the product or otherwise, the importing country should inform the competent authorities in the exporting country of all the relevant facts and in particular the details of the origin of the product in question (name and address of the exporter), if it is thought that a person in the exporting country is responsible for such non-compliance.

**ACCEPTANCE OF CODEX MAXIMUM LIMITS FOR RESIDUES OF
PESTICIDES AND VETERINARY DRUGS IN FOOD**

6.A. A Codex maximum limit for residues of pesticides or veterinary drugs in food may be accepted by a country in accordance with its established legal and administrative procedures in respect of the distribution within its territorial jurisdiction of (a) home-produced and imported food or (b) imported food only, to which the Codex maximum limit applies in the ways set forth below. In addition, where a Codex maximum limit applies to a group of foods not individually named, a country accepting such Codex maximum limit in respect of other than the group of foods, shall specify the foods in respect of which the Codex maximum limit is accepted.

(iii) 自由流通

自由流通の表明とは、当該国がコーデックス一般規格に適合している食品を、コーデックス食品規格が対象としている事項に関する範囲内で、主権管轄領域内において自由に流通することができる、と約束する責務を負うことをいう。

B. 本規格を上記のいずれによっても、受諾できないと判断した国は、自国の現行のまたは提案する必要条件が、一般規格とどの点で異なるか及び可能であるときはその異なる理由につき明らかにすべきである。

C. (i) 5.Aのいずれか1つの規定に従い、一般規格を受諾した国は、当該国の主権管轄領域内で流通されるすべての国産品及び輸入品に関し、受諾した本規格の規定を同様に、公平に適用する義務を負う。さらに、5.Aの規定のいずれか1つに従い、一般規格を受諾した輸入国は、自国の必要条件に対する理解を促し、その遵守を促進するため、輸出用食品の輸出業者及び加工業者に対し、助言及び指導を行い、情報提供すべきである。

(ii) 食品に添付されている表示に関しまたはその他の点について、一般規格に適合していると主張されている食品が、輸入国において本規格に適合していないことが判明したとき、その不適合の責任が輸出国内のものにあると結論づけられたとき、当該輸入国は、輸出国の所管官庁に、すべての関連事実及び特に問題の食品の輸出元に関する詳細(輸出業者の名称及び所在地)を通知すべきである。

食品中の農薬及び動物用医薬品に関するコーデックス最大残留基準値の受諾

6.A. 食品中の農薬及び動物用医薬品に関するコーデックス最大残留基準値は、(a)国産食品及び輸入食品または(b)輸入食品のみについて、主権管轄領域内での流通に関し、自国の制定した法律上及び行政上の手続きに従い、各国が受諾することができ、コーデックス最大基準値は、上記食品に対し次に定めるように適用される。さらに、コーデックス最大基準値が個々に定められていない一連の食品群に適用される場合、当該食品群以外のものに関するコーデックス最大基準値を受諾する国は、コーデックス最大基準値を受諾する食品を指定しなければならない。

(i) Full acceptance

Full acceptance of a Codex maximum limit for residues of pesticides or veterinary drugs in food means that the country concerned will ensure, within its territorial jurisdiction, that a food, whether home-produced or imported, to which the Codex maximum limit applies, will comply with that limit. It also means that the distribution of a food conforming with the Codex maximum limit will not be hindered by any legal or administrative provisions in the country concerned which relate to matters covered by the Codex maximum limit.

(ii) Free distribution

A declaration of free distribution means that the country concerned undertakes that products conforming with the Codex maximum limit for residues of pesticides or veterinary drugs in food may be distributed freely within its territorial jurisdiction insofar as matters covered by the Codex maximum limit are concerned.

B. A country which considers that it cannot accept the Codex maximum limit for residues of pesticides or veterinary drugs in foods in any of the ways mentioned above should indicate in what ways its present or proposed requirements differ from the Codex maximum limit and, if possible, the reasons for these differences.

C. A country which accepts a Codex maximum limit for residues of pesticides or veterinary drugs in food according to one of the provisions of paragraph 6.A should be prepared to offer advice and guidance to exporters and processors of food for export to promote understanding of and compliance with the requirements of importing countries which have accepted a Codex maximum limit according to one of the provisions of paragraph 6.A.

D. Where, in an importing country, a food claimed to be in compliance with a Codex maximum limit is found not to be in compliance with the Codex maximum limit, the importing country should inform the competent authorities in the exporting country of all the relevant facts and, in particular, the details of the origin of the food in question (name and address of the exporter), if it is thought that a person in the exporting country is responsible for such non-compliance.

WITHDRAWAL OR AMENDMENT OF ACCEPTANCE

7. The withdrawal or amendment of acceptance of a Codex standard or a Codex maximum limit for residues of pesticides or veterinary drugs in food by a country shall be notified in writing to the Codex Alimentarius Commission's Secretariat who will inform all Member States and Associate Members of FAO and WHO of the notification and its date of receipt. The country concerned

(i) 完全受諾

食品中の農薬及び動物用医薬品に関するコーデックス最大残留基準値の完全受諾とは、受諾国がその主権管轄領域内で、国産品または輸入品のいずれであるか否かにかかわらず、コーデックス最大基準値が適用される食品が、当該許容値に合致すると保証することをいう。また、本コーデックス最大基準値適合を満たす食品であれば、コーデックス最大基準値の対象となっている事項に関し、当該国におけるいかなる法律上または行政上の規定によっても、その流通が妨げられないことをいう。

(ii) 自由流通

自由流通の表明とは、関係国が食品中の農薬及び動物用医薬品に関するコーデックス最大残留基準値に適合している食品を、その主権管轄領域内において、コーデックス最大基準値に関する限り、自由に流通することができる、と約束する責務を負うことをいう。

B. 上記のいずれの方法によっても、食品中の農薬及び動物用医薬品に関するコーデックス最大残留基準値を受諾することができないと判断する国は、当該国の現在のまたは提案されている必要条件がコーデックス最大基準値とどのように異なるものであるか及び可能であれば、その異なる理由についても明示すべきである。

C. 第6.A項のいずれか1つの規定に従い、食品中の農薬及び動物用医薬品に関するコーデックス最大残留基準値を受諾した国は、第6.A項の規定のいずれか1つに従い、コーデックス最大基準値を受諾した輸入国は、自国の必要条件に対する理解を促し、その遵守を促進するため、輸出入食品の輸出業者及び加工業者に対し、助言及び指導を行い、情報提供をすべきである。

D. コーデックス最大基準値に適合していると主張されている食品が、輸入国において本コーデックス最大基準値に適合していないことが判明した場合、その不適合の責任が輸出国内のものにあると考えられたときは、当該輸入国は、輸出国の所管官庁に、すべての関連事実及び特に問題の食品の輸出元に関する詳細（輸出業者の名称及び所在地）を通知すべきである。

受諾の撤回または修正

7. ある国がコーデックス食品規格または食品中の農薬または動物用医薬品に関するコーデックス最大残留基準値の受諾の撤回または修正するときは、「委員会」事務局宛に文書として通告しなければならない、また、事務局は、FAO及びWHOのすべての加盟国及び準加盟国にその通告及び受領日を伝えることになる。当該国は、上述の第4.A(iii)、5.A(iii)、4.B、5.B、または6.Bの各項のうち、該当するものにつき、義務づけられた情報を提供すべきである。さらに、同国は実

should provide the information required under paragraphs 4.A(iii), 5.A(iii), 4.B, 5.B or 6.B above, whichever is appropriate. It should also give as long a notice of the withdrawal or amendment as is practicable.

REVISION OF CODEX STANDARDS

8. The Codex Alimentarius Commission and its subsidiary bodies are committed to revision as necessary of Codex standards and related texts to ensure that they are consistent with and reflect current scientific knowledge and other relevant information. When required, a standard or related text shall be revised or removed using the same procedures as followed for the elaboration of a new standard. Each member of the Codex Alimentarius Commission is responsible for identifying, and presenting to the appropriate committee, any new scientific and other relevant information which may warrant revision of any existing Codex standards or related texts.

行できる限りは撤回または修正の通知を行うべきである。

コーデックス食品規格の改訂

8. 「委員会」及び下部機関は、必要な場合、コーデックス食品規格及び関連文書の改訂をすることを委ねられている。すなわち、これらが広範な科学的知識及びその他の関連情報と合致し、並びに反響することを確認するものである。改訂するよう要請されたとき、規格または関連文書は、新しい食品規格を作成するのと同じ手続きを用いて改訂し、若しくは取り除かなければならない。「委員会」の各加盟国は、これを承認し、現存するコーデックス食品規格若しくは関連文書の改訂を請負うべく新しく科学的で、またその他の関連情報を適切な部会に提供する責任を負う。

GUIDELINES FOR THE ACCEPTANCE PROCEDURE FOR CODEX STANDARDS

THE IMPORTANCE OF A RESPONSE TO EVERY NOTIFICATION

1. The Codex Alimentarius is the record of Codex Standards and of acceptances or other notifications by Member Countries or international organizations to which competence in the matter has been transferred by their Member States. It is revised regularly to take account of the issue of new or amended standards and the receipt of notifications. It is important that governments respond to every issue of new or amended standards. Governments should aim at giving formal acceptance to the standards. If acceptance or free circulation cannot be given unconditionally, the deviations or conditions, and the reasons, can be included in the response. Early and regular responses will ensure that the Codex Alimentarius can be kept up to date so as to serve as an indispensable reference for governments and international traders.
2. Governments should ensure that the information in the Codex Alimentarius reflects the up to date position. When changing national laws or practices the need for a notification to the Codex Secretariat should always be kept in mind.
3. The Codex procedure for elaboration of standards enables governments to participate at all stages. Governments should be able to make an early response to the issue of a Codex standard and should do their utmost to be ready to do so.

THE CODEX ALIMENTARIUS: NOT A SUBSTITUTE FOR, OR ALTERNATIVE TO, REFERRING TO NATIONAL LEGISLATION

4. Every country's laws and administrative procedures contain provisions which it is essential to understand and comply with. It is usually the practice to take steps to obtain copies of relevant legislation and/or to obtain professional advice about compliance. The Codex Alimentarius is a comparative record of the substantive similarities and differences between Codex Standards and corresponding national legislation. The Codex Standard will not normally deal with general matters of human, plant or animal health or with trade marks. The language which is required on labels will be a matter for national legislation and so will import licences and other administrative procedures.
5. The responses by governments should show clearly which provisions of the Codex Standard are identical to, similar to or different from, the related national requirements. General statements that national laws must be complied

コーデックス食品規格に関する受諾手続きのガイドライン

各通告に対する応答の重要性

1. コーデックス食品規格集は、コーデックス食品規格及び加盟国または加盟国により当該事項における担当権限の委譲を受けている国際組織による受諾またはそれ以外の通告の記録である。食品規格集は、新たなまたは修正された規格の発行及び通告を受けた事項を考慮に入れ、定期的に改訂される。各国政府が新たにまたは修正されたすべての規格に関する事項に応答することが重要である。各国政府は、規格に関する正式な受諾を目指すべきである。受諾または自由流通を無条件に行うことができないときは、逸脱事項または条件及びその理由を応答に盛り込むことができる。早期及び定期的に応答することにより、コーデックス食品規格集が常に最新の情報をとり入れたものとなり、各国政府及び国際的な貿易業者にとって必要不可欠な参照資料とすることができる。

2. 各国政府は、コーデックス食品規格集に掲載されている情報が、最新情報を確実に反映しているものとすべきである。国内の法律または規範を変更するときは、コーデックス事務局へ通告する必要性につき、常に留意すべきである。

3. 規格作成に関するコーデックス手続きは、各国政府があらゆる段階で参加できるようになっている。各国政府は、コーデックス食品規格の問題に対して早期に応答が可能で、すぐに実施できるよう最大の努力を払うべきである。

コーデックス食品規格集—国内法への引用であり、その代替またはそれに代わる選択肢ではない

4. 各国の法律及び行政手続きに含まれる規定には、それを理解し遵守することが必要不可欠なものが記載されている。このためには、関連する制定法の写しを入手し、かつ/または遵守に関する専門的な助言を得るという手段を踏むのが慣例となっている。コーデックス食品規格集は、コーデックス食品規格と対応する国内法との間における本質上の類似点と相違点との比較記録である。コーデックス食品規格は、通常、人間、植物または動物の健康に関する一般的な問題または商標を扱うものではない。表示をするのに義務づけられる言語は、国内制定法の問題であり、輸入許可書及びその他の行政手続きも同様である。

5. 各国政府からの応答には、コーデックス食品規格のどの規定が、対応する国内の必要条件と一致するか、同様であるか、または異なるかが、明確に示されていなければならない。国内の法律を遵守しなければならないという一般的記述は避けるべきであり、または留意しなければならない

with should be avoided or accompanied by details of national provisions which require attention. Judgement will sometimes be required where the national law is in a different form or where it has different provisions.

OBLIGATIONS UNDER THE ACCEPTANCE PROCEDURE

6. The obligations which a country undertakes under the acceptance procedure are included in paragraph 4 of the General Principles. Paragraph 4.A(i)(a) provides for free distribution of conforming products, 4.A(i)(b) with the need to ensure that products which do not conform may not be distributed "under the name and description laid down". Paragraph 4.A(i)(c) is a general requirement not to hinder the distribution of sound products, except for matters relating to human, plant or animal health, not specifically dealt with in the standard. Similar provisions are included in Acceptance with Specified Deviations.

7. The essential difference between acceptances and notifications of free distribution is that a country which accepts, undertakes to enforce the Codex standard and to accept all the obligations set out in the General Principles subject to any specified deviations.

8. The Codex Committee on General Principles (CCGP) and the Commission (CAC) have reviewed the acceptance procedure and notifications by governments on a number of occasions. While recognizing that difficulties can arise from time to time in reconciling the obligations of the acceptance procedure with the laws and administrative procedures of a Member Country, the CCGP and the CAC have determined that the obligations are essential to the work and status of the CAC and that they should not be weakened in any way. The purpose of these guidelines therefore is to assist governments when they are considering how, in the light of the objectives of the acceptance procedure, to respond to Codex Standards.

THE RETURN OF THE RESPONSE

9. The principal decision which is required is whether to notify an acceptance according to one of the methods prescribed, or non acceptance as provided for in 4.B. Free distribution (4.A(iii)) does not carry with it the obligation to prevent non conforming products from being circulated, and it may be useful in cases where there is no corresponding national standard and no intention to introduce one.

ない国内の規定の詳細が添付されているべきである。国内法の形態が異なる場合または異なる規定がある場合は、判断が義務づけられるであろう。

受諾手続きに基づく義務

6. 国の受諾手続きに基づく義務は、一般原則の第4項中に述べられている。第4A(i)(a)項は、適合食品の自由流通を定めており、第4A(i)(b)項は、適合していない食品が「定められた品名及び記載の下では」流通することができないとの保証を定めている。第4A(i)(c)項は、人間、植物または動物の健康に関する問題を除く、この規格では特に取り扱っていない、健全な食品の流通を妨げないための一般必要条件である。同様の規定が特定差付き受諾[Acceptance with Specific Deviations]に含まれている。

7. 受諾と自由流通の通告との本質的な違いは、受諾した国がコーデックス食品規格を施行することと、任意の逸脱事項を条件として一般原則に定められているすべての義務を受け入れることにある。

8. 一般原則規格部会(CCGP)及び「委員会」(CAC)は、多くの機会に各国政府による受諾手続き及び通告を検討してきた。受諾手続きの義務と加盟国の法律及び行政上の手続きとを調和させるにあたり、種々の困難が生じることがあり得るが、CCGP及びCACは、その義務がCACの業務及び立場において必要不可欠であり、いかなる場合にも緩和すべきではない、との判断を下している。したがって、これらガイドラインの目的は、各国政府が受諾手続きに関し、コーデックス食品規格に対してどのように対応するかを考える際に、各国政府を支援することである。

応答の返戻

9. 義務づけられている主要な決定は、定められた方法の1つによる受諾または4Bに定められている不承諾を通告するか否かである。自由流通(4A(iii))には、非適合食品の流通を防止する義務はなく、対応する国内規格がなく、これを導入する意向もない場合に役立つものである。

**THE NEED FOR AN INFORMED, RESPONSIBLE JUDGEMENT WHEN
COMPARING THE CODEX STANDARD WITH NATIONAL LAWS**

10. There will be some occasions when the detail in the Codex Standard is identical with national laws. Difficulties will arise however when national laws are in a different form, contain different figures or no figures at all, or in cases where there may be no standard in the country which corresponds in substance to the Codex Standard. The authority responsible for notifying the response to the CAC is urged to do its best to overcome any such difficulties by the exercise of its best endeavours and to respond, after such consultations as may be appropriate with the national organizations. The grounds on which the judgement has been based can be made clear in the notification. It may well be that they will not be such as to justify an acceptance, because of the obligations to stop the distribution of non conforming products, but a statement of free circulation should be possible on the basis of the facts and practices of each case. If there was a court decision or change in the law or practice subsequently, an amending response should be made.

PRESUMPTIVE STANDARDS

11. A presumptive standard is one which is assumed to be the standard in the absence of any other. (A presumption in law is the assumption of the truth of anything until the contrary is proved.) Some countries have said that a Codex MRL is the presumptive limit for a pesticide residue. Countries may be able and willing to regard a Codex Standard as the presumptive standard in cases where there is no corresponding standard, code of practice or other accepted expression of the "nature, substance or quality" of the food. A country need not apply the presumption to all the provisions of the standard if the details of its additives, contaminants, hygiene or labelling rules are different from those in the standard. In such a case the provisions in the Codex Standard defining the description, essential composition and quality factors relating to the specified name and description could still be the presumptive standard for those matters.

12. The justification for regarding the Codex Standard as a presumptive standard is the fact that it is the minimum standard for a food elaborated in the CAC "so as to ensure a sound, wholesome product free from adulteration, correctly labelled and presented". (General Principles, Paragraph 3.) The word minimum does not have any pejorative connotations: it simply means the level of quality and soundness of a product judged by consensus to be appropriate for trade internationally and nationally.

13. Whether a presumptive standard would merit an acceptance would depend on whether the country concerned could say that non conforming products could not be distributed under the same name and description laid down in the

コーデックス食品規格と国内法との比較における、情報に基づく確実な判断の必要性

10. コーデックス食品規格の詳細が国内法と同一の場合がある。しかし、国内法の形式が異なる場合、数値が異なるかもしくはまったく数値が含まれていない場合またはその国に実質上コーデックス食品規格に対応する規格がない場合は、問題が起こるであろう。CACへの応答を通告する責任のある当局は、最善の努力を尽くしてかかる問題を解決し、国内組織と適切と思われる協議の後、応答するように努める必要がある。判断の基礎となる根拠は、通告で明確にすることができる。非遵守食品の流通を停止する義務があるため、その根拠はおそらく受諾を正当化するようなものとはならないであろう。しかし、それぞれの場合の真実及び慣例を基礎として、自由流通を表明することは可能なはずである。その後、裁判所の決定または法律または慣例の変更があった場合は、修正の応答を行わなければならない。

推定的規格

11. 推定的規格とは、他の規格が何もないため規格と仮定されるものである(法における推定とは、反対が立証されるまで何らかの真実を仮定することである)。国によっては、コーデックスMRLが残留農薬の推定的許容値であるとするところもある。各国では、対応する規格、取扱い規範、またはその他に食品の「性質、内容、または品質」について認められている表現がない場合に、コーデックス食品規格を推定的規格とみなすことが可能であり、それを自発的に行うことができる。自国の添加物、汚染物質、衛生または表示規則の詳細が本規格のものと異なる場合は、この推定を本規格のすべての規定に適用する必要はない。このような場合、特定の名称及び説明に関連して、説明、必須組成及び品質要件について定義しているコーデックス食品規格の規定は、なおもこれら事項に関する推定的規格となり得るはずである。

12. コーデックス食品規格を推定的規格とみなすことを正当化する理由は、これが「粗悪品がなく、正しく表示され、提示のなされている、安全で、衛生的な食品を確保するための」CACで作成された食品に関する最低規格であるということである(一般原則、第3項)。最低という用語には、軽蔑的な暗示的意味は少しも含まれていない。単に、国際的及び国内での売買に適するような、合意により判定された品質及び安全性のレベルを意味する語である。

13. 推定的規格が受諾に値するかどうかは、関係国が非遵守食品を本規格に規定されているものと同様の名称及び説明のもとでは流通できないと明言できるかどうかによって決まるはずである。ただし、自由流通を表明できるとしても、各国はその認識を重大に考えるよう求められる。

standard. However it would enable a declaration of free circulation to be made and countries are asked to give the idea serious consideration.

FORMAT AND CONTENT OF CODEX STANDARDS

SCOPE

14. This section, together with the name of the standard and the name and description laid down in the labelling section, should be examined in order to assess whether the obligations of the acceptance procedure can properly be accepted.

DESCRIPTION, ESSENTIAL COMPOSITION AND QUALITY FACTORS

15. These sections will define the minimum standard for the food. They will be the most difficult to address unless by chance the details are virtually identical (i.e. ignoring significant matters of editorial expression or format). However, a country which has taken part in the elaboration of the standard either by attending the meetings or by sending comments under the Step Procedure has, no doubt, consulted national organizations on the extent to which the draft provisions in the standard would be acceptable nationally. This factual information needs to be turned into a formal response when the standard is sent out for acceptance. Countries are asked to do their best to exercise an informal judgement on lines discussed in Paragraph 7 above. Some of the quality criteria e.g. allowances for defects may represent good manufacturing practice or be left to trade contracts. This will have to be taken into account. A free distribution response ought to be possible in most cases.

FOOD ADDITIVES

16. The food additives included in the standard have been assessed and cleared by JECFA. The Commodity Committee and the CCFAC have assessed technological need and safety in use. If national laws are different, all the detailed differences should be reported. It should be borne in mind, however, that the aim of international food standardization work is to harmonize policies and attitudes as much as possible. Therefore every effort should be made to keep deviations to the minimum.

CONTAMINANTS

17. If national limits apply they should be quoted if not the same as those laid down in the Codex Standard. Where general laws about safety, health or nature of the food apply, the limits quoted in the standard could properly be regarded as representing those which are unavoidable in practice and within safety limits.

コーデックス食品規格の書式及び内容

範囲

14. 規格の名称、並びに表示の項に規定されている名称及び説明とともに、受諾手続きの義務を正しく受け入れられるかどうかを評価するために、この項について考察しなければならない。

説明、必須組成及び品質要件

15. これらの項では、食品の最低規格を定義する。偶然に詳細が事実上同一(すなわち、編集上の表現または書式の重要な問題は無視する)でない限り、これらに取り組むのは最も困難である。しかし、会議に出席するかまたは手続きステップのもとでコメントを送付するかのどちらかの手段を用いて規格の作成に参加した国は、おそらく、本規格における規定草案が国内的に受諾できる範囲について、国内組織と協議を重ねてきている。このような実際の情報は、本規格が受諾のために送付される場合に、公式の応答に替える必要がある。各国は、上記第7項で述べた方向で非公式の判断を下すことに全力を尽くすよう求められる。品質規格、たとえば不良品の許容限度などの中には、優れた製造工程を示すものもあれば、売買契約書に記されるものもある。これは考慮の対象としなければならない。ほとんどの場合、自由流通の応答が可能なはずである。

食品添加物

16. 本規格に記載されている食品添加物は、JECFAによって評価及び承認されたものである。食品別規格部会及びCCFACは、技術的な必要性及び使用上の安全性について評価してきた。国内の法律と異なる場合は、詳細な相違点をすべて報告しなければならない。しかし、国際的な食品標準化作業の目的は、できる限りその方針及び姿勢を一致させることであるということを、念頭に置かなければならない。したがって、すべてにおいて逸脱事項を最小限に抑えるよう努力する必要がある。

汚染物質

17. 国内の基準値を適用する場合は、コーデックス食品規格に規定されている値と異なるのであれば、この基準値を引用しなければならない。食品の安全、衛生、または性質に関する一般の法律を適用する場合は、本規格に引用した基準値を、実際には避けることのできない安全圏内のものを示すものとして、正しく認識することができる。

HYGIENE AND WEIGHTS AND MEASURES

18. If national requirements are different they should be reported.

LABELLING

19. The General Standard for the Labelling of Prepackaged Foods represents the international consensus on information to be included on the labels of all foods.

20. Governments are exhorted to use the General Standard as a basis for their national legislation and to keep differences to an absolute minimum especially those of detail or minutiae. Governments should observe the footnote to the Scope section and should ensure that all compulsory provisions relating to presentation of information which are additional to, and different from, those in the standard should be notified. Any other compulsory provisions in national legislation should also be notified if they are not provided for in the Codex standard. The labelling provisions in Codex standards include sections of the revised General Standard by reference. When accepting a Codex commodity standard, a country which has already accepted and responded to the General Standard can then refer to the terms of that acceptance in any subsequent responses. As much specific information as is relevant and helpful should be given. In particular, this should include the name and description relating to the food, the interpretation of any special requirements relating to the law or custom of the country, any additional details about presentation of the mandatory information and detailed differences if any in the labelling requirements e.g. in relation to class names, declaration of added water, declaration of origin. It will be assumed that the language(s) in which the particulars should be given will be as indicated by national legislation or custom.

METHODS OF ANALYSIS AND SAMPLING

21. The obligations which a country assumes in accepting the following Codex Defining Methods of Analysis included in Codex standards are as follows⁵:

- (a) Codex Defining Methods of Analysis (Type I) are subject to acceptance by governments just as are the provisions which they define and which form part of Codex standards.

⁵ The Committee on General Principles, when elaborating these Guidelines, noted that the Classification of Methods was under review by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling and that the application of Part (b) particularly could be unnecessarily restrictive.

衛生、重量及び分量

18. 国内の必要条件が異なる場合は、報告を行わなければならない。

表示

19. 包装食品表示に関する一般規格とは、すべての食品の表示に記載されている情報に関する国際的な同意を示すものである。

20. 各国政府は、この一般規格を国内制定法の基礎として使用し、相違点、特に詳細部分に関する相違点を最小限に抑えるように勧告を受ける。各国政府は、範囲の項の脚注を遵守し、本規格内の規定に追加する情報及びこれとは異なる情報の提示に関する、すべての必須規定を確実に通告しなければならない。国内制定法におけるその他の必須規定がコーデックス食品規格にない場合は、これらの規定についても通告しなければならない。コーデックス食品規格の表示に関する規定には、参照により、改訂された一般規格の項が含まれている。コーデックス食品別規格を受諾する場合、すでに受諾し、一般規格への応答を行った国は、その後の応答で、その受諾条件について言及することができる。適切で役に立つ特定の情報をできるだけ多く示さなければならない。特に、これには、食品に関する名称及び説明、その国の法律または慣例に関する特別な必要条件の解釈、必須情報の提示に関する補足の詳細事項及び表示必要条件、たとえば等級名、加えた水の公表、原産地の公表などに関する必要条件に相違点がある場合はその詳細などが含まれる。説明に使用しなければならない言語は、国内制定法または慣例が示すとおりであると考えられる。

分析及びサンプリング方法

21. コーデックス食品規格に含まれている下記の分析に関するコーデックス公定方法を受諾する際に各国が負う義務には、次のようなものがある¹。

(a)分析に関するコーデックス公定方法(Type I) は、各国政府が定義し、コーデックス食品規格の一部を形成している規定と同様に、各国政府の受諾が必要である。

¹ 一般原則規格部会は、ガイドラインを作成する際に、方法の分類が分析・サンプリング法規格部会によって再検討中であり、特に(b)項の適用は不必要に制限されることがないことを通告している。

“Full acceptance” of a Codex Defining Method means the acceptance that the value provided for in a Codex standard is defined by means of the Codex method. In determining compliance with the value in the Codex standard, governments undertake to use the Codex Defining Method, especially in cases of disputes involving the results of analysis.

“Non acceptance” of Codex Defining Method or acceptance of Codex standards with substantive deviations in the Codex Defining Methods means acceptance of the Codex standard with specified deviation.

- (b) The “acceptance” of Codex standards containing Codex Reference Methods of Analysis (Type II) means the recognition that Codex Reference Methods are methods the reliability of which has been demonstrated on the basis of internationally acceptable criteria. They are, therefore, obligatory for use, i.e. subject to acceptance by governments, in disputes involving the results of analysis. “Non acceptance” of the Codex Reference Method or acceptance of Codex standards with substantive deviations in the Codex Reference Methods for use in disputes involving methods of analysis, should be taken to mean acceptance of the Codex standard with specified deviation.
- (c) The “acceptance” of Codex standards containing Codex Alternative Approved Methods of Analysis (Type III) means the recognition that Codex Alternative Approved Methods are methods the reliability of which has been demonstrated in terms of internationally acceptable criteria. They are recommended for use in food control, inspection or for regulatory purposes.

“Non acceptance” of a Codex Alternative Approved Method does not constitute a deviation from the Codex standard.
- (d) Since the reliability of the Tentative Methods (Type IV) has not yet been endorsed by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling on the basis of the internationally accepted criteria, it follows that they cannot be regarded as final Codex methods. Type IV methods may, eventually become Type I, II or III methods with the resultant implications regarding the acceptance of Codex methods. Type IV methods are, therefore, not recommended as Codex methods until their reliability has been recognized by the CCMAS. They may be included in draft Codex standards or in Codex standards provided their non approved status is clearly indicated.

コーデックス公定方法の「完全受諾」とは、コーデックス食品規格で規定されている値がコーデックス方法により定義されていると受諾することを意味する。コーデックス食品規格内の値に対する遵守を判断する場合、各国政府は、特に分析結果に関する論議において、コーデックス公定方法を使用することを約束する。

コーデックス公定方法の「拒否」または、コーデックス公定方法における本質的逸脱事項を伴うコーデックス食品規格の受諾とは、コーデックス食品規格の特定差付き受諾を意味する。

(b)分析に関するコーデックス参照方法(Type II)を含むコーデックス食品規格の「受諾」とは、コーデックス参照方法が、国際的に受諾可能な規格を基にその信頼性が立証されている方法であると認識することを意味する。したがって、分析結果に関する論議において必ず使用しなければならない、すなわち、各国による受諾を必要とするものである。コーデックス参照方法の「拒否」または、分析方法に関する論議に使用されるコーデックス参照方法における本質的逸脱事項を伴うコーデックス食品規格の受諾とは、コーデックス食品規格の特定差付き受諾を意味するものでなければならない。

(c)分析に関するコーデックス代替認定方法(Type III)を含むコーデックス食品規格の「受諾」とは、コーデックス代替認定方法が、国際的に受諾可能な規格によってその信頼性が立証されている方法であると認識することを意味する。これは、食品の管理、検査、または規制目的での使用を勧告されている。

コーデックス代替認定方法の「拒否」は、コーデックス食品規格からの逸脱事項を成すものではない。

(d)暫定的な方法(Type IV)の信頼性は、国際的に受諾可能な規格を基にした、分析・サンプリング法規格部会によってまだ保証されていないため、結果的に、最終的なコーデックス方法として認めることはできない。Type IVの方法は、コーデックス方法の受諾に関して結果として生じる含みにより、結局はType I、II、またはIIIの方法になる可能性がある。したがって、Type IVの方法は、CCMASによってその信頼性が認識されるまでは、コーデックス方法としては推奨できない。これらは、コーデックス食品規格草案、またはコーデックス食品規格に含まれる場合があるが、非承認状態が明確に表示されているものとする。

SUMMARY

22. Governments are urged to respond to every issue of Codex standards. The inclusion of responses in the Codex Alimentarius will enable the CAC and Member Governments to address the question of closer approximation of international and national requirements. Governments are urged to take the Codex standard fully into consideration when changing their national laws. The Codex Alimentarius will always be an invaluable reference for governments and for international traders although national legislation must always be consulted and complied with.

要約

22. 各国政府は、コーデックス食品規格の発行ごとに応答するよう要求される。コーデックス食品規格集にこれら応答を盛り込むことで、CAC及び加盟国政府が国際上及び国内の必要条件をより規格に近づけるという問題と取り組むことができる。各国政府は、その国の法律を改正する際に、すべてのコーデックス食品規格を考慮に入れるよう求められる。各国政府及び国際的な貿易業者は、国内の制定法を常に顧慮し、これを遵守しなければならないが、コーデックス食品規格集は、彼らにとって常に大変貴重な参照資料となる。

WORKING PRINCIPLES FOR RISK ANALYSIS FOR APPLICATION IN THE FRAMEWORK OF THE CODEX ALIMENTARIUS

SCOPE

1. These principles for risk analysis are intended for application in the framework of the Codex Alimentarius.
2. The objective of these Working Principles is to provide guidance to the Codex Alimentarius Commission and the joint FAO/WHO expert bodies and consultations, so that food safety and health aspects of Codex standards and related texts are based on risk analysis.
3. Within the framework of the Codex Alimentarius Commission and its procedures, the responsibility for providing advice on risk management lies with the Commission and its subsidiary bodies (risk managers), while the responsibility for risk assessment lies primarily with the joint FAO/WHO expert bodies and consultations (risk assessors).

RISK ANALYSIS - GENERAL ASPECTS

4. The risk analysis used in Codex should be:
 - applied consistently;
 - open, transparent and documented;
 - conducted in accordance with both the *Statements of Principle Concerning the Role of Science in the Codex Decision-Making Process and the Extent to Which Other Factors are Taken into Account* and the *Statements of Principle Relating to the Role of Food Safety Risk Assessment*; and
 - evaluated and reviewed as appropriate in the light of newly generated scientific data.
5. The risk analysis should follow a structured approach comprising the three distinct but closely linked components of risk analysis (risk assessment, risk management and risk communication) as defined by the Codex Alimentarius Commission⁶, each component being integral to the overall risk analysis.

⁶ See *Definitions of Risk Analysis Terms Related to Food Safety*, page 51.

コーデックス食品規格体制においてリスク分析を適用する際の作業原則

適用範囲

1. これらのリスク分析原則は、コーデックス食品規格体制において適用されるためのものである。
2. これらの作業原則の目的は、コーデックス食品規格委員会及び共同FAO/WHO専門家会議・諮問機関等に対して指針を示し、国際食品規格及び関連文書における食品の安全性及び健康面の問題がリスク分析に準拠させることである。
3. コーデックス食品規格委員会の体制及びその手続きにおいて、リスク管理に関する助言を行う責任は食品規格委員会（リスク管理機関）であり、リスク評価に関する責任は共同FAO/WHO専門家会議・諮問機関等（リスク評価機関）にある。

リスク分析——一般面

4. コーデックスにおけるリスク分析は次の通りとすべき。
 - 首尾一貫して適用されること
 - 公開、明白であり、文書化されていること
 - 「コーデックス意思決定プロセスにおける科学の役割に関する原則及びその他考慮されるべき要因の範囲」並びに「食品の安全性リスク評価に関する原則」に従って実施されること
 - 新たに発見された科学的データを踏まえ、適宜、評価及び見直しされること
5. リスク分析は、コーデックス食品規格委員会⁶によって定義された通り、それぞれ全く異なる、しかし緊密に関連性のある三つの要素（リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーション）によって構成される体系的なアプローチをとるべきである。これらの各要素はリスク分析に不可欠である。

⁶ P.51の食品安全性に関するリスク分析用語の定義参照

6. The three components of risk analysis should be documented fully and systematically in a transparent manner. While respecting legitimate concerns to preserve confidentiality, documentation should be accessible to all interested parties⁷.
7. Effective communication and consultation with all interested parties should be ensured throughout the risk analysis.
8. The three components of risk analysis should be applied within an overarching framework for management of food related risks to human health.
9. There should be a functional separation of risk assessment and risk management, in order to ensure the scientific integrity of the risk assessment, to avoid confusion over the functions to be performed by risk assessors and risk managers and to reduce any conflict of interest. However, it is recognized that risk analysis is an iterative process, and interaction between risk managers and risk assessors is essential for practical application.
10. When there is evidence that a risk to human health exists but scientific data are insufficient or incomplete, the Codex Alimentarius Commission should not proceed to elaborate a standard but should consider elaborating a related text, such as a code of practice, provided that such a text would be supported by the available scientific evidence.
11. Precaution is an inherent element of risk analysis. Many sources of uncertainty exist in the process of risk assessment and risk management of food related hazards to human health. The degree of uncertainty and variability in the available scientific information should be explicitly considered in the risk analysis. Where there is sufficient scientific evidence to allow Codex to proceed to elaborate a standard or related text, the assumptions used for the risk assessment and the risk management options selected should reflect the degree of uncertainty and the characteristics of the hazard.
12. The needs and situations of developing countries should be specifically identified and taken into account by the responsible bodies in the different stages of the risk analysis.

RISK ASSESSMENT POLICY

13. Determination of risk assessment policy should be included as a specific component of risk management.

⁷ For the purpose of the present document, the term "interested parties" refers to "risk assessors, risk managers, consumers, industry, the academic community and, as appropriate, other relevant parties and their representative organizations" (see definition of "Risk Communication")

6. リスク分析の三要素は全て体系的に透明な方法で文書化されなければならない。機密保持に配慮するという当然の懸念に留意しつつ、文書化して全ての関係者⁷が入手可能としなければならない。
7. 全ての関係者との効果的なコミュニケーション及び協議は、リスク分析全体を通して確保されるべきである。
8. リスク分析の三要素は、人間の健康における食品関連リスク管理の包括的な体制において適用されるべきである。
9. リスク評価の科学的統合性を確保し、またリスク評価と行機能上の混乱を避けてかつそれぞれの利害の対立を減ずるため、リスク評価とリスク管理は機能的に分離していなければならない。しかしながら、リスク分析は反復プロセスであり、リスク管理機関とリスク評価機関の間の相互作用が実効的な適用のために必要不可欠である。
10. 人間の健康面へのリスクが存在するとの証拠はあるが科学的データが不十分か不完全な場合、コーデックス食品規格委員会は規格の作成を進めてはいけない。そのかわり、文書が入手可能な科学的証拠に基づいているという条件付きで、取扱い規範のような関連文書を作成しなければならない。
11. 警告はリスク分析の内在要素である。人間の健康への食品関連危害のリスク評価及びリスク管理の過程においては、多くの不確定要因が存在する。入手可能な科学的情報における不確定要因と変動要因の程度は、リスク分析の観点から明白にされなければならない。コーデックスが規格又は関連文書の作成を進めてよいと考えるに足りる科学的証拠がある場合、そこで選択されたリスク評価とリスク管理の前提は危害の不確定要因と特性を反映したものでなければならない。

12.

リスク評価方針

13. リスク評価方針の決定は、リスク管理の特定の要素として取り入れられなければならない。

⁷ 文書提示という目的のため、関係者とはリスク評価機関、リスク管理機関、消費者、業界、学会、及び適宜他の関係者及びそれらが代表する機関とする（リスクコミュニケーションの定義参照）。

14. Risk assessment policy should be established by risk managers in advance of risk assessment, in consultation with risk assessors and all other interested parties. This procedure aims at ensuring that the risk assessment is systematic, complete, unbiased and transparent.
15. The mandate given by risk managers to risk assessors should be as clear as possible.
16. Where necessary, risk managers should ask risk assessors to evaluate the potential changes in risk resulting from different risk management options.

RISK ASSESSMENT⁸

17. The scope and purpose of the particular risk assessment being carried out should be clearly stated and in accordance with risk assessment policy. The output form and possible alternative outputs of the risk assessment should be defined
18. Experts responsible for risk assessment should be selected in a transparent manner on the basis of their expertise, experience, and their independence with regard to the interests involved. The procedures used to select these experts should be documented including a public declaration of any potential conflict of interest. This declaration should also identify and detail their individual expertise, experience and independence. Expert bodies and consultations should ensure effective participation of experts from different parts of the world, including experts from developing countries.
19. Risk assessment should be conducted in accordance with the Statements of Principle Relating to the Role of Food Safety Risk Assessment and should incorporate the four steps of the risk assessment, i.e. hazard identification, hazard characterization, exposure assessment and risk characterization.
20. Risk assessment should be based on all available scientific data. It should use available quantitative information to the greatest extent possible. Risk assessment may also take into account qualitative information.
21. Risk assessment should take into account relevant production, storage and handling practices used throughout the food chain including traditional practices, methods of analysis, sampling and inspection and the prevalence of specific adverse health effects.

⁸ Reference is made to the *Statements of Principle Relating to the Role of Food Safety Risk Assessment*: See Appendix: *General Decisions of the Commission*, page 183.

14. リスク評価方針は、リスク評価に先立ち、リスク管理機関がリスク評価機関及び他の関係者と協議のうえ定められなければならない。この手続きは、リスク評価が体系的、完全かつ不偏で、透明性の高いものであることを確保することを目的とする。

15. リスク管理機関がリスク評価機関に課す所掌は、できる限り明瞭でなければいけない。

16. リスク管理機関は、必要であればリスク評価機関に対し、複数の異なるリスク管理上の選択肢を提供したうえで、リスクに起因する潜在的な変化を評価するよう依頼することができる。

リスク評価⁸

⁸ 「食品の安全性リスク評価の役割に関する原則 [Statements of Principle Relating to the Role of Food Safety Risk Assessment] 」に対する参考資料が作成された。付属書類「General Decisions of the Commission」の P.183参照。

17. 実施されようとする特定のリスク評価の適用範囲及び目的は、リスク評価方針に従って明確に提示されなければならない。リスク評価の出力書式及び可能性のある代替出力方法は定義されなければならない。

18. リスク評価の専門家は、各自の専門分野、経験、利害関係者からの独立性を基にして、透明性の高い方法で選出されなければならない。これらの専門家を選出する手続きは、潜在的な利害の対立を有するという公的な表明を含め、文書化されなければならない。この表明は、個々人の専門分野、経験及び独立性について特定し詳細に述べたものでなければならない。専門家機関及び諮問機関は、発展途上の地域を含め、世界中の異なる地域から専門家が効果的に参加できるよう担保しなければならない。

19. リスク評価は、「食品安全性リスク評価の役割に関する原則表明」に従って実行されなければならない。危険要因の特定、危険要因の特性、暴露評価及びリスクの特性描写というリスク評価の4つのステップを盛り込む必要がある。

20. リスク評価は、全ての入手可能な科学的データに基づくものでなければならない。入手可能な限りの定量的情報を最大限に用いなければならない。リスク評価はまた、定性的情報を考慮する必要がある。

21. リスク評価は、伝統的な慣行・分析方法・サンプリング及び検査方法、特定の健康への悪影響の流行などを含む食品流通のなかでの関連する生産、保管、取扱い慣行に考慮しなければならない。

22. Risk assessment should seek and incorporate relevant data from different parts of the world, including that from developing countries. These data should particularly include epidemiological surveillance data, analytical and exposure data. Where relevant data are not available from developing countries, the Commission should request that FAO/WHO initiate time-bound studies for this purpose. The conduct of the risk assessment should not be inappropriately delayed pending receipt of these data; however, the risk assessment should be reconsidered when such data are available.

23. Constraints, uncertainties and assumptions having an impact on the risk assessment should be explicitly considered at each step in the risk assessment and documented in a transparent manner. Expression of uncertainty or variability in risk estimates may be qualitative or quantitative, but should be quantified to the extent that is scientifically achievable.

24. Risk assessments should be based on realistic exposure scenarios, with consideration of different situations being defined by risk assessment policy. They should include consideration of susceptible and high-risk population groups. Acute, chronic (including long-term), cumulative and/or combined adverse health effects should be taken into account in carrying out risk assessment, where relevant.

25. The report of the risk assessment should indicate any constraints, uncertainties, assumptions and their impact on the risk assessment. Minority opinions should also be recorded. The responsibility for resolving the impact of uncertainty on the risk management decision lies with the risk manager, not the risk assessors.

26. The conclusion of the risk assessment including a risk estimate, if available, should be presented in a readily understandable and useful form to risk managers and made available to other risk assessors and interested parties so that they can review the assessment.

RISK MANAGEMENT

27. While recognizing the dual purposes of the Codex Alimentarius are protecting the health of consumers and ensuring fair practices in the food trade, Codex decisions and recommendations on risk management should have as their primary objective the protection of the health of consumers. Unjustified differences in the level of consumer health protection to address similar risks in different situations should be avoided.

ない。

22.リスク評価は、発展途上国を含め世界中の異なる地域の関連データを求め、それらを盛り込まなければならない。これらのデータは特に疫学的な監視データ、解析データ及び暴露データを含んでいなければならない。発展途上国からこれらのデータが入手できない場合は、委員会はFAO/WHOに対し、期限を定めて当該目的のための調査に着手することを要求することができる。リスク評価の行為は、これらのデータを受領するまでは不適切に遅延することのないようにしなければならないが、これらのデータが入手可能になった場合はリスク評価は再考慮される必要がある。

23.リスク評価に影響を及ぼす制約、不確実性及び仮説は、リスク評価の各ステップにおいて明確に考慮され、透明性の高い方法で文書化される必要がある。リスク見積もりにおける不確実性及び変動性についての表現は定量的又は定性的である必要があるが、科学的に達成可能な限度まで定量的でなければならない。

24.リスク評価は、リスク評価方針で定義された異なる状況を考慮し、現実的な暴露シナリオに基づいて行わなければいけない。これらのリスク評価は、影響を受けやすいハイリスクの人口グループを含んでいなければならない。急性・慢性（長期的慢性を含む）・累積の及び／又は複合の健康上の被害がリスク評価に関係ある場合は、これらを考慮に入れてリスク評価を実施しなければならない。

25.リスク評価の報告は、制約、不確実性、仮説があれば、それらの記述及びそれらの影響を提示しなければならない。少数意見も記録されなければならない。リスク管理決定上の不確実性に関する問題を解決する責務はリスク管理機関にあり、リスク評価機関にはこれがない。

26.リスク評価の決定は、リスク見積もりが入手可能である場合はこれを含め、直ちにリスク管理機関が理解し、利用できる形で提示されなければならない。また、この決定は、他のリスク評価機関、利害関係者が査定を見直しできるように入手可能な状態にしなければならない。

リスク管理

27.コーデック食品規格の目的が消費者の健康と食品貿易の公正な慣行の二点を保護するものであるということを認識する一方、リスク管理に関するコーデックスの決定及び勧告の主目的は消費者保護でなければならない。消費者の健康保護のレベル上の正当な根拠のない違いを持ち出して、異なる状況の同様なリスクを解決することは避けるべきである。

28. Risk management should follow a structured approach including preliminary risk management activities⁹, evaluation of risk management options, monitoring and review of the decision taken. The decisions should be based on risk assessment, and taking into account, where appropriate, other legitimate factors relevant for the health protection of consumers and for the promotion of fair practices in food trade, in accordance with the Criteria for the Consideration of the Other Factors Referred to in the Second Statement of Principles¹⁰.

29. The Codex Alimentarius Commission and its subsidiary bodies, acting as risk managers in the context of these Working Principles, should ensure that the conclusion of the risk assessment is presented before making final proposals or decisions on the available risk management options, in particular in the setting of standards or maximum levels, bearing in mind the guidance given in paragraph 10.

30. In achieving agreed outcomes, risk management should take into account relevant production, storage and handling practices used throughout the food chain including traditional practices, methods of analysis, sampling and inspection, feasibility of enforcement and compliance, and the prevalence of specific adverse health effects.

31. The risk management process should be transparent, consistent and fully documented. Codex decisions and recommendations on risk management should be documented, and where appropriate clearly identified in individual Codex standards and related texts so as to facilitate a wider understanding of the risk management process by all interested parties.

32. The outcome of the preliminary risk management activities and the risk assessment should be combined with the evaluation of available risk management options in order to reach a decision on management of the risk.

33. Risk management options should be assessed in terms of the scope and purpose of risk analysis and the level of consumer health protection they achieve. The option of not taking any action should also be considered.

34. In order to avoid unjustified trade barriers, risk management should ensure transparency and consistency in the decision-making process in all cases.

⁹ For the purpose of these Principles, preliminary risk management activities are taken to include: identification of a food safety problem; establishment of a risk profile; ranking of the hazard for risk assessment and risk management priority; establishment of risk assessment policy for the conduct of the risk assessment; commissioning of the risk assessment; and consideration of the result of the risk assessment.

¹⁰ See General Decisions of the Commission - Appendix, page 181.

28.リスク管理は予備的なリスク管理活動⁹、リスク管理オプションの評価、採択された決定事項のモニタリング及びレビューを含む体系的なアプローチをとるべきである。その決定はリスク評価に基づき、適宜、消費者の健康保護に関連した適法要件を考慮し、かつ食品貿易における公正慣行を促進するものでなければならない。また、「[Criteria for the Consideration of the Other Factors Referred to in the Second Statement of Principles]」¹⁰に調和する内容でなければならない。

29.これらの作業原則の文脈においてリスク管理機関となるコーデックス食品規格委員会及びその下部機関は、可能性のあるリスク管理の選択肢を提案又は決定する前に、リスク評価の結論が必ず提示されるよう保証しなければならない。特に最高限度の規格を設定する際には、前第10項記載のガイダンスに留意しなければならない。

30.合意済みの結論に達する際には、リスク管理は伝統的な慣行・分析方法・サンプリング及び検査方法、施行段階での実行可能性及び遵守及び特定の健康への悪影響の流行などを含む食品流通のなかでの関連する生産、保管、取扱い慣行に考慮しなければならない。

31.リスク管理のプロセスは、透明性が高く、首尾一貫して、完全に文書化されなければならない。リスク管理に関するコーデックスの決定及び勧告は文書化され、適宜、全ての関係者がリスク管理をより広く理解することを促進するため、コーデックスの各規格及び関連文書において確認されなければならない。

32.予備的リスク管理活動及びリスク評価の結果は、リスク管理上の決定に到達するため、取り得るリスク管理の選択肢の評価と一体化したものでなければならない。

33.リスク管理の選択肢は、リスク分析の適用範囲及び目的並びにそれらによって達成される消費者の健康保護のレベルという見地から再検討されなければならない。

34.不公正な貿易障壁を避けるため、リスク管理は全てのケースの意志決定プロセスにおいて透明性と首尾一貫性を確保しなければならない。リスク管理の選択肢の全審査は、可能な限りそれらの潜在的な利点及び不利点の評価を考慮しなければならない。消費者の健康保護の観点から同等に効果的な異なるリスク管理の選択肢があり、そのなかから一つの決定をなすとき、委員会及びその下部機関は当該決定によって加盟国間の貿易にもたらされるであろう潜在的な影響力を考慮し、必要以上に貿易規制をもたらすことのないような方策を選択しなければならない。

⁹ これらの原則の目的のため、予備的なリスク管理活動は含まれなければならない：食品の安全性に関する問題の特定、リスクプロファイルの確立、リスク評価及びリスク管理上の優先順位付けのための危害のランク付け、リスク評価実施のためのリスク評価方針の確立、リスク評価の仮実施及びリスク評価の結果の検討

¹⁰ 付属書類P.181「General Decisions of the Commission」参照

Examination of the full range of risk management options should, as far as possible, take into account an assessment of their potential advantages and disadvantages. When making a choice among different risk management options, which are equally effective in protecting the health of the consumer, the Commission and its subsidiary bodies should seek and take into consideration the potential impact of such measures on trade among its Member countries and select measures that are no more trade-restrictive than necessary.

35. Risk management should take into account the economic consequences and the feasibility of risk management options. Risk management should also recognize the need for alternative options in the establishment of standards, guidelines and other recommendations, consistent with the protection of consumers' health. In taking these elements into consideration, the Commission and its subsidiary bodies should give particular attention to the circumstances of developing countries.

36. Risk management should be a continuing process that takes into account all newly generated data in the evaluation and review of risk management decisions. Food standards and related texts should be reviewed regularly and updated as necessary to reflect new scientific knowledge and other information relevant to risk analysis.

RISK COMMUNICATION

37. Risk communication should :

- i) promote awareness and understanding of the specific issues under consideration during the risk analysis ;
- ii) promote consistency and transparency in formulating risk management options/recommendations;
- iii) provide a sound basis for understanding the risk management decisions proposed;
- iv) improve the overall effectiveness and efficiency of the risk analysis ;
- v) strengthen the working relationships among participants;
- vi) foster public understanding of the process, so as to enhance trust and confidence in the safety of the food supply;
- vii) promote the appropriate involvement of all interested parties; and
- viii) exchange information in relation to the concerns of interested parties about the risks associated with food.

38. Risk analysis should include clear, interactive and documented communication, amongst risk assessors (Joint FAO/WHO expert bodies and consultations)

35. リスク管理は、経済的影響及びリスク管理の実行可能性を考慮しなければならない。リスク管理は、規格、ガイドライン及び他の勧告を確立する際には、消費者の健康保護に合致するような代替的選択肢の必要性を認識する必要がある。これらの要素を考慮に入れ、委員会及びその下部機関は、発展途上国の環境に特段の注意を払わなければならない。

36. リスク管理は継続するプロセスであるので、リスク管理上の決定を評価・再検討するため、常に新たに発見されたデータを考慮するしなければならない。食品規格及び関連文書は定期的に再検討され、筆商に応じて新たな科学上の知識及びその他リスク分析関連の情報を反映させて最新のものにしなければならない。

リスクコミュニケーション

37. リスクコミュニケーションは次の通りであるべきである；

- i) リスク分析検討における特定の事項についての意識及び理解を促進させる、
- ii) リスク管理の選択肢／勧告の考案において一貫性と透明性を促進させる、
- iii) 提案されたリスク管理上の決定がより理解されるよう、健全な基盤を提供する、
- iv) リスク分析の全般的な効率性及び有効性を向上させる、
- v) 関係者間の業務上の関係を強化させる、
- vi) 食品流通における信頼・信用性を高めるため、公衆のプロセス理解を助長する、
- vii) 全ての関係者が適宜関与を促進させる、さらに
- viii) 食品関連リスクについて関係者が情報交換する。

38. リスク分析は、その全てのプロセスにおいてリスク評価機関（共同FAO/WHO専門機関及び諮問機関）とリスク管理機関（コーデックス食品規格委員会及びその下部機関）間の明確な双方向の文書化されたコミュニケーションを通して行われるべきであり、かつ加盟国と全ての関係者との相互的なコミュニケーションを含むものでなければならない。

and risk managers (Codex Alimentarius Commission and its subsidiary bodies), and reciprocal communication with member countries and all interested parties in all aspects of the process.

39. Risk communication should be more than the dissemination of information. Its major function should be to ensure that all information and opinion required for effective risk management is incorporated into the decision making process.

40. Risk communication involving interested parties should include a transparent explanation of the risk assessment policy and of the assessment of risk, including the uncertainty. The need for specific standards or related texts and the procedures followed to determine them, including how the uncertainty was dealt with, should also be clearly explained. It should indicate any constraints, uncertainties, assumptions and their impact on the risk analysis, and minority opinions that had been expressed in the course of the risk assessment (see para. 25).

41. The guidance on risk communication in this document is addressed to all those involved in carrying out risk analysis within the framework of Codex Alimentarius. However, it is also of importance for this work to be made as transparent and accessible as possible to those not directly engaged in the process and other interested parties while respecting legitimate concerns to preserve confidentiality (See para. 6).

39. リスクコミュニケーションは、単なる情報の普及であってはならない。その主な機能は、効果的なリスク管理に必要な全ての情報及び意見が意志決定プロセスに盛り込まれることを確保しなければならない。

40. 関係者を含んだリスクコミュニケーションは、不確実要素を含んだリスク評価方針とリスクのアセスメントの透明度の高い説明が盛り込まれたいなければならない。特定の規格、関連文書及びそれらを決定するために必要な手続きは、不確実要素がどのように処理されたかという点とともに明確に説明されていなくてはならない。それはいかなる制約、不確実要素や仮定及びそれらがリスク分析にもたらす影響、またはリスク評価の仮定において表明された少数意見も含んで示されなくてはならない（第25項参照）。

41. 本文書におけるリスクコミュニケーションの指導事項は、コーデックス食品規格体制における全ての関係者に向けられている。しかし、この作業においては重要なことは、機密保持に関する法的要件に留意しつつ、プロセスに直接関与していない人やその他関係者にとってできる限り透明性があり、入手使用可能なものでなければならないということである（第6項参照）。

DEFINITIONS FOR THE PURPOSES OF THE CODEX ALIMENTARIUS

For the purposes of the Codex Alimentarius:

Food means any substance, whether processed, semi-processed or raw, which is intended for human consumption, and includes drink, chewing gum and any substance which has been used in the manufacture, preparation or treatment of "food" but does not include cosmetics or tobacco or substances used only as drugs.

Food hygiene comprises conditions and measures necessary for the production, processing, storage and distribution of food designed to ensure a safe, sound, wholesome product fit for human consumption.

Food additive means any substance not normally consumed as a food by itself and not normally used as a typical ingredient of the food, whether or not it has nutritive value, the intentional addition of which to food for a technological (including organoleptic) purpose in the manufacture, processing, preparation, treatment, packing, packaging, transport or holding of such food results, or may be reasonably expected to result, (directly or indirectly) in it or its by-products becoming a component of or otherwise affecting the characteristics of such foods. The term does not include "contaminants" or substances added to food for maintaining or improving nutritional qualities.

Contaminant means any substance not intentionally added to food, which is present in such food as a result of the production (including operations carried out in crop husbandry, animal husbandry and veterinary medicine), manufacture, processing, preparation, treatment, packing, packaging, transport or holding of such food or as a result of environmental contamination. The term does not include insect fragments, rodent hairs and other extraneous matter.

Pesticide means any substance intended for preventing, destroying, attracting, repelling, or controlling any pest including unwanted species of plants or animals during the production, storage, transport, distribution and processing of food, agricultural commodities, or animal feeds or which may be administered to animals for the control of ectoparasites. The term includes substances intended for use as a plant growth regulator, defoliant, desiccant, fruit thinning agent, or sprouting inhibitor and substances applied to crops either before or after harvest to protect the commodity from deterioration during storage and transport. The term normally excludes fertilizers, plant and animal nutrients, food additives, and animal drugs.

コーデックス食品規格における定義

コーデックス食品規格においては、下記の通りである。すなわち、

「食品」とは、加工、半加工、または未加工を問わず、人間による摂取を目的とするすべての物質をいい、飲料、チューインガム及び「食品」の製造、調整、または処理において使用されるすべての物質も含むが、化粧品若しくはタバコまたは医薬品としてのみ使用される物質は含まない。

食品衛生」には、人間の摂取に適する安全で、適切で、健全性ある製品を確保することを目的とする食品の製造、加工、保管及び流通で必要な条件及び方法が含まれる。

「食品添加物」とは、それ単独では食品として通常摂取されず、その物質が栄養価をもつか否かに係わらず、食品の主な成分としては通常使用されないような物質であって、当該食品の製造、加工、調理、処理、充填、包装、輸送、または保存における(官能的な目的を含め)技術的な目的のため、食品に意図的に添加されることによって、(直接的若しくは間接的に)食品中に存在するもの若しくは存在すると合理的と考えられるもの、または副生したものがその食品の成分となり若しくはその特性に影響を及ぼすもの、をいう。この用語には、「汚染物質」または栄養上の品質を維持若しくは向上させるため、食品に添加される物質は含まれない。

「汚染物質」とは、意図的に食品に加えられたものではなく、当該食品の生産(農作物栽培、家畜飼育及び家畜医療で行われる操作を含め)、製造、加工、調理、処理、充填、包装、輸送、若しくは保存の結果または環境汚染の結果、当該食品に存在する物質をいう。この用語には、昆虫の断片、ゲッ歯類の毛及びその他の異物は含まれない。

「農薬」とは、食品、農産物若しくは動物飼料の生産、貯蔵、輸送、流通及び加工中に、望ましくない動植物種をも含めたいかなる病虫害を予防、駆除、誘引、忌避、若しくは抑制するための物質または外部寄生虫[ectoparasite]の管理のために動物に投与される物質をいう。この用語には、植物生長調節剤、枯葉剤、乾燥剤、摘果剤、または発芽抑制剤として使用される物質及び保管及び輸送中の食品の劣化を防止するため、収穫前または収穫後に作物に散布される物質も含まれる。この用語には、通常、肥料、植物及び動物の栄養素、食品添加物、及び動物用医薬品は含まれない。

Pesticide Residue means any specified substance in food, agricultural commodities, or animal feed resulting from the use of a pesticide. The term includes any derivatives of a pesticide, such as conversion products, metabolites, reaction products, and impurities considered to be of toxicological significance.

Good Agricultural Practice in the Use of Pesticides (GAP) includes the nationally authorized safe uses of pesticides under actual conditions necessary for effective and reliable pest control. It encompasses a range of levels of pesticide applications up to the highest authorised use, applied in a manner which leaves a residue which is the smallest amount practicable.

Authorized safe uses are determined at the national level and include nationally registered or recommended uses, which take into account public and occupational health and environmental safety considerations.

Actual conditions include any stage in the production, storage, transport, distribution and processing of food commodities and animal feed.

Codex maximum limit for pesticide residues (MRLP) is the maximum concentration of a pesticide residue (expressed as mg/kg), recommended by the Codex Alimentarius Commission to be legally permitted in or on food commodities and animal feeds. MRLs are based on GAP data and foods derived from commodities that comply with the respective MRLs are intended to be toxicologically acceptable.

Codex MRLs, which are primarily intended to apply in international trade, are derived from estimations made by the JMPR following:

- (a) toxicological assessment of the pesticide and its residue; and
- (b) review of residue data from supervised trials and supervised uses including those reflecting national good agricultural practices. Data from supervised trials conducted at the highest nationally recommended, authorized or registered uses are included in the review. In order to accommodate variations in national pest control requirements, Codex MRLs take into account the higher levels shown to arise in such supervised trials, which are considered to represent effective pest control practices.

Consideration of the various dietary residue intake estimates and determinations both at the national and international level in comparison with the ADI, should indicate that foods complying with Codex MRLs are safe for human consumption.

Veterinary drug means any substance applied or administered to any food producing animal, such as meat or milk producing animals, poultry, fish or bees,

「残留農薬」とは、農薬の使用に起因して、食品、農産物、または動物飼料に含まれる特定の物質を意味する。この用語には、分解物、代謝物、反応生成物及び毒性学上有意であると判断される不純物のような農薬のすべての誘導体が含まれている。

「農薬使用における適正農業規範[Good Agricultural Practice in the Use of Pesticides](GAP)」には、実際の条件下で有害生物を効果的かつ確実に制御するため各国で認可された農薬の安全な使用が含まれる。GAPは、認可された最高濃度までの一連の農薬使用を対象とし、残留物が実現可能な最小量しか残らないやり方で適用される。

認可された安全な使用は各国別に定められ、公衆及び作業者の健康及び環境影響を考慮に入れた各国ごとの登録されたまたは勧告された使用が含まれている。

実際の条件には食品产品及び動物飼料の生産、貯蔵、輸送、流通及び加工におけるすべての工程が含まれている。

「農薬のコーデックス最大残留基準値[Codex maximum limit for pesticide residues] (MRLP)」は、コーデックス食品規格委員会より食品產品または動物用飼料の表面またはその中に合理的に許可されるべきである、と勧告されている残留農薬の最大基準値(mg/kgにより表された)である。MRLはGAPのデータ及びそれぞれのMRLに適合する食品產品から製造された食品が、毒性学上容認できることに基づいている。

国際貿易に適用することを主目的とするコーデックスのMRLは、JMPRにより作成された推定値から次のように求められる。すなわち、

a) 農薬及びその残留物の毒性学上の評価：及び

b) 適正農業規範を反映した監督下での試験及び監督下での使用からの残留データの評価。

各国で勧告、許可、登録された最高濃度回数の使用法で実施された監督下の試験からのデータの評価も含まれる。自国内での害虫の変動に役立てるため、コーデックスのMRLは、有効な害虫の管理規範に対応すると判断される管理された試験に含めることが明らかにされているかなり高い濃度を含んでいる。

食品からの摂取量に関する各国毎及び国際的なレベルでの推定値及び測定値をADIとの比較により検討することで、コーデックスMRLに適合する食品が人の摂取において安全であるか否かが明らかになるであろう。

「動物用医薬品」とは、治療、予防若しくは診断のいずれかまたは生理学的な機能若しくは行動の

whether used for therapeutic, prophylactic or diagnostic purposes or for modification of physiological functions or behaviour.

Residues of veterinary drugs include the parent compounds and/or their metabolites in any edible portion of the animal product, and include residues of associated impurities of the veterinary drug concerned.

Codex maximum limit for residues of veterinary drugs (MRLVD) is the maximum concentration of residue resulting from the use of a veterinary drug (expressed in mg/kg or µg/kg on a fresh weight basis) that is recommended by the Codex Alimentarius Commission to be legally permitted or recognized as acceptable in or on a food.

It is based on the type and amount of residue considered to be without any toxicological hazard for human health as expressed by the Acceptable Daily Intake (ADI), or on the basis of a temporary ADI that utilizes an additional safety factor. It also takes into account other relevant public health risks as well as food technological aspects.

When establishing an MRL, consideration is also given to residues that occur in food of plant origin and/or the environment. Furthermore, the MRL may be reduced to be consistent with good practices in the use of veterinary drugs and to the extent that practical analytical methods are available.

Good Practice in the Use of Veterinary Drugs (GPVD) is the official recommended or authorized usage including withdrawal periods, approved by national authorities, of veterinary drugs under practical conditions.

Processing aid means any substance or material, not including apparatus or utensils, and not consumed as a food ingredient by itself, intentionally used in the processing of raw materials, foods or its ingredients, to fulfil a certain technological purpose during treatment or processing and which may result in the non-intentional but unavoidable presence of residues or derivatives in the final product.

DEFINITIONS OF RISK ANALYSIS TERMS RELATED TO FOOD SAFETY

Hazard: A biological, chemical or physical agent in, or condition of, food with the potential to cause an adverse health effect.

Hazard Identification: The identification of biological, chemical, and physical agents capable of causing adverse health effects and which may be present in a particular food or group of foods.

Hazard Characterization: The qualitative and/or quantitative evaluation of the nature of the adverse health effects associated with biological, chemical and physical agents which may be present in food. For chemical agents, a dose-

改善のいずれかを問わず、食肉若しくは乳を産生する動物、食鳥肉、魚またはミツバチのようなすべての食品を産生する動物に使用または投与されるすべての物質をいう。

「動物用医薬品の残留物」は動物の可食部分の中の親化合物及び/またはその代謝生成物を含み、対象の動物用医薬品の関連不純物を含む。

「動物用医薬品のコーデックス最大残留基準値[Codex Maximum limit for residues of veterinary drugs]」(MRLVD)とは、動物用医薬品の使用に起因する残留物の最大限度(生鮮重量に対し、mg/kgまたは $\mu\text{g/kg}$ で表示)であり、コーデックス食品規格委員会が食品上または食品中容認し得るとして、法的に許可または承認するよう勧告したものである。

MRLVDは一日摂取許容量[Acceptable Daily Intake](ADI)または追加の安全性因子を適用した暫定ADIとして示された人の健康に、いかなる毒性学上の危害も存在しないと判断される残留物の種類及び量に基づいている。また、食品の技術的な分野とともに、その他の関係のある公衆衛生上のリスクについても考慮している。

MRLを設定する場合は、植物由来の食品中に存在する及び/または環境中に存在する残留物についても考慮が払われている。さらに、MRLは動物用医薬品の使用における適正規範と適合させ、また実際の分析方法が適用できる範囲まで、引き下げられることがあり得る。

「動物用医薬品使用適正規範[Good Practice in the Use of Veterinary Drugs]」(GPVD)は、国家当局が承認し、休薬期間[withdrawal period]を含め、各国当局者により許可された、実際の条件下での動物用医薬品の公式に勧告されまたは認可された使用法である。

「加工助剤[processing aids]」は、装置または用具を含まず、それ自体は食品の成分として摂取されず、処理または加工のとき特定の技術的な目的を達成するため、原材料、食品またはその成分の加工のとき意図的に用いられるが、最終製剤中に意図的にではなく、不可避免的に残留物または誘導体の存在をもたらすものをいう。

食品安全性に関連するリスク分析用語の定義

「危害[hazard]」とは、健康上の弊害をもたらす能性のある生物学的、化学的又は物理的な因子(agent)で、食品中に存在するものもしくはそのような食品の状態をいう。

「危害の特定」とは、特定の食品又は食品群のなかに存在する可能性がある生物学的、科学的又は物理的な因子で、健康上の弊害をもたらす性質を有するものを特定することをいう。

response assessment should be performed. For biological or physical agents, a dose-response assessment should be performed if the data are obtainable.

Dose-Response Assessment: The determination of the relationship between the magnitude of exposure (dose) to a chemical, biological or physical agent and the severity and/or frequency of associated adverse health effects (response).

Exposure Assessment: The qualitative and/or quantitative evaluation of the likely intake of biological, chemical, and physical agents via food as well as exposures from other sources if relevant.

Risk: A function of the probability of an adverse health effect and the severity of that effect, consequential to a hazard(s) in food.

Risk Analysis: A process consisting of three components : risk assessment, risk management and risk communication.

Risk Assessment: A scientifically based process consisting of the following steps: (i) hazard identification, (ii) hazard characterization, (iii) exposure assessment, and (iv) risk characterization.

Risk Assessment Policy: Documented guidelines on the choice of options and associated judgements for their application at appropriate decision points in the risk assessment such that the scientific integrity of the process is maintained.

Risk Characterization: The qualitative and/or quantitative estimation, including attendant uncertainties, of the probability of occurrence and severity of known or potential adverse health effects in a given population based on hazard identification, hazard characterization and exposure assessment.

Risk Communication: The interactive exchange of information and opinions throughout the risk analysis process concerning hazards and risks, risk-related factors and risk perceptions, among risk assessors, risk managers, consumers, industry, the academic community and other interested parties, including the explanation of risk assessment findings and the basis of risk management decisions.

Risk Estimate: The quantitative estimation of risk resulting from risk characterization.

Risk Management: The process, distinct from risk assessment, of weighing policy alternatives, in consultation with all interested parties, considering risk assessment and other factors relevant for the health protection of consumers and for the promotion of fair trade practices, and, if needed, selecting appropriate prevention and control options.

Risk Profile: The description of the food safety problem and its context

「危害の特性付け」とは、特定の食品又は食品群のなかに存在する可能性がある生物学的、科学的又は物理的な因子で、健康上の弊害をもたらす性質を有するものを定性的及び／又は定量的に評価することをいい、用量反応評価を行わなければならない。

「用量反応評価」とは、生物学的、科学的、又は物理的因子に対する投与量（dose）と関連する健康上の弊害（response）の重大度及び／又は頻度との間の関連性を測定することをいう。

「暴露評価」とは、食品を通して摂取しうる生物学的、科学的、又は物理的因子及び関連性がある場合は食品以外のソースから摂取可能な因子の暴露の定性的及び／又は定量的評価のことをいう。

「リスク」とは、健康上弊害を引き起こす可能性のある機能及び食品中の危害によって引き起こされた影響もしくは結果のことをいう。

「リスク分析」とは、三要素によって構成される。すなわち（i）リスク評価、（ii）リスク管理及び（iii）リスクコミュニケーションである。

「リスク評価」とは、科学的根拠に基づいたプロセスであり、次の各ステップにより構成される。すなわち（i）危害特定、（ii）危害の特性付け、（iii）暴露評価及び（iv）リスクの特性付けである。

「リスク評価方針」とは、文書化されたガイドラインで、リスク評価の適切な決定段階で選択肢を選んだり関連決定を下す際に適用されるべきものである。リスク評価プロセス上で科学的インテグリティが確保されなければならない。

「リスク特性付け」とは、危害特定、危害特性付け及び暴露評価に基づき、特定の人的集団において公知の又は潜在的な健康上の弊害の発生頻度及び重大度の定性的及び／又は定量的見積もりのことをいい、付随する不確定要素を含むものである。

「リスクコミュニケーション」とは、付随する不確定要素を含んだ定性的及び／又は定量的な見積もりである。

「リスク見積もり」とは、リスク特性付けの結果判明したリスクの定量的見積もりのことをいう。

「リスク管理」とは、リスク評価とは別個のもので、代替性のあるいくつかの方針を比較検討するプロセスであり、全ての関係者と協議の上、リスク評価と及び消費者の健康保護・公正な貿易

慣行の促進等のその他の要因を考慮しつつ、必要であれば適切な防止策及び管理策の選択肢をとることをいう。

「リスクプロファイル」とは、食品安全性上の問題の記述及びその記述文書をいう。

SECTION II**Guidelines for Codex Committees and Task Forces****Principles for the Participation of International Non-governmental Organizations in the Work of Codex****Criteria for Work Priorities and for Establishing Subsidiary Bodies****Guidelines for the Inclusion of Specific Provisions in Codex Standards****Reference System for Documents****Format of Codex Standards****Relations between Codex Committees****Core Functions of Codex Contact Points****Contents of this Section**

This Section of the Procedural Manual sets out the working procedures of the subsidiary bodies of the Codex Alimentarius Commission. It is primarily addressed to the Chairpersons and the Host Government Secretariats of individual Codex Committees and *ad hoc* Inter-governmental Task Forces.

The Guidelines for Codex Committees and Task Forces describe the organization and conduct of meetings and the preparation and distribution of working papers and reports and principles for admitting NGOs to Observer status. The Codex Reference System for documents is explained.

The Format of Codex standards and an explanatory note on how Committees and Task Forces should draft Codex standards are described here. A section describes the criteria for the establishment of work priorities and for establishing new subsidiary bodies.

To ensure that the appropriate sections of Codex Commodity Standards have been reviewed for food safety, nutrition, consumer protection and food analysis, a section on the Relations between Commodity Committees and General Committees is included for guidance to Codex Committees and Task Forces.

A section on Core Functions of Codex Contact Points lists the main tasks of Codex Contact Points at the national level and describes their interaction with the Codex Commission, Committees and Task Forces.

第 II 節

コーデックス部会及び特別部会のガイドライン 国際非政府組織によるコーデックス食品規格委員会参加に関する原則 作業優先順位の確立に関する基準及び下部機関設置に関する基準 コーデックス食品規格及び関連文書で特定規定に入れるためのガイドライン 文書参照システム 規格の書式 コーデックス部会間の相互関係 コーデックス連絡所の主な機能

本節の内容

本手続きマニュアル第II節では、コーデックス食品規格委員会の下部機関が行う作業手続きについて詳説する。これは主として、個々のコーデックス部会及び政府間特別部会の議長及び開催国政府の事務局に対する解説である。

コーデックス部会及び特別部会のガイドラインでは、会議の組織、運営方法、作業用文書及び報告書の作成配布及びNGOをオブザーバーとして参加資格を与える原則について記述している。コーデックスの文書参照システムについては、本項で説明されている。

コーデックス食品規格の書式及び各部会並びに特別部会がコーデックス食品規格草案並びに注釈を作成する方法に関する解説的内容がここで説明されている。本セクションではまた、作業優先順位の設定に関する基準及び下部組織の設置基準について記述している。

コーデックスの各食品規格部会がその規格を食品安全性、栄養、消費者保護、食品分析の観点から再検討できるよう、本セクションでは食品規格委員会と一般問題委員会の関係の項では各部会と特別部会との関係についても言及している。

コーデックス連絡所の主な機能の項では、その国内レベルにおける責務が列举されており、コーデックス委員会、各部会及び特別部会との関係についても説明されている。

GUIDELINES FOR CODEX COMMITTEES AND *Ad Hoc* INTERGOVERNMENTAL TASK FORCES

INTRODUCTION

1. By virtue of Article 7 of the Statutes of the Codex Alimentarius Commission and Rule IX.1(b) of its Rules of Procedure, the Commission has established a number of Codex Committees and *ad hoc* Intergovernmental Task Forces to prepare standards in accordance with the Procedure for the Elaboration of Codex Standards and Coordinating Committees to exercise general coordination of its work in specific regions or groups of countries. The Rules of Procedure of the Commission shall apply, *mutatis mutandis*, to Codex Committees, Coordinating Committees and *ad hoc* Intergovernmental Task Forces. The Guidelines applying to Codex Committees as described in this Section apply also to Codex *ad hoc* Intergovernmental Task Forces.

COMPOSITION OF CODEX COMMITTEES

MEMBERSHIP

2. Membership of Codex Committees is open to Members of the Commission who have notified the Director-General of FAO or WHO of their desire to be considered as members thereof or to selected members designated by the Commission. Membership of Regional Coordinating Committees is open only to Members of the Commission belonging to the region or group of countries concerned.

OBSERVERS

3. Any other Member of the Commission or any Member or Associate Member of FAO or WHO which has not become a Member of the Commission may participate as an observer at any Codex Committee if it has notified the Director-General of FAO or WHO of its wish to do so. Such countries may participate fully in the discussions of the Committee and shall be provided with the same opportunities as other Members to express their point of view (including the submission of memoranda), but without the right to vote or to move motions either of substance or of procedure. International organizations which have formal relations with either FAO or WHO should also be invited to attend in an observer capacity sessions of those Codex Committees which are of interest to them.

コーデックス部会及び政府間特別部会のガイドライン

序文

1. コーデックス食品規格委員会規約第7条及びその手続き規定第IX.1(b)項に基づき、「委員会」は、コーデックス食品規格作成及び政府間特別部会に関する手続きに従い、規格を作成するため、多くのコーデックス食品規格部会を、さらに、特定地域または国家グループ内の一般的な作業を調整するために地域調整委員会を設けた。「委員会」の手続き規定は、必要な変更を加え、食品規格部会、地域調整委員会及び政府間特別部会に適用されなければならない。本セクションで食品規格部会に適用されるガイドラインは、同様に政府間特別部会にも適用される。

コーデックス部会の構成

加盟資格

2. コーデックス部会の加盟国となる資格は、加盟国となることを希望する旨、FAOまたはWHOの事務局長宛に通告した「委員会」の加盟国または「委員会」が指名する特定加盟国に認められている。地域調整委員会の加盟国となる資格は、当該地域または国家グループに属している「委員会」の加盟国にのみ認められている。

オブザーバー

3. 「委員会」のその他加盟国または「委員会」の加盟国となっていないFAO若しくはWHOの加盟国若しくは準加盟国は、参加希望をFAOまたはWHOの事務局長宛に通告すれば、任意のコーデックス部会にオブザーバーとして参加できる。その国は、「部会」の討議に、正式に参加することが可能であり、他の加盟国と同様に(覚書の提出を含め)自らの見解を表明する機会が与えられなければならない。ただし、投票権または実質若しくは手続きのいずれについても投票権若しくは動議を提出する権利をもたない。FAOまたはWHOのいずれかと正式な関係をもつ国際組織も、関心があるコーデックス部会の会議にオブザーバーとして、出席するよう招請されるべきである。

ORGANIZATION AND DUTIES**CHAIR**

4. The Codex Alimentarius Commission will designate a member country of the Commission, which has indicated its willingness to accept financial and all other responsibility, as having responsibility for appointing a chairperson of the Committee. The member country concerned is responsible for appointing the chairperson of the Committee from among its own nationals. Should this person for any reason be unable to take the chair, the member country concerned shall designate another person to perform the functions of the chairperson for as long as the chairperson is unable to do so. A Committee may appoint at any session one or more rapporteurs from among the delegates present.

SECRETARIAT

5. A member country to which a Codex Committee has been assigned is responsible for providing all conference services including the secretariat. The secretariat should have adequate administrative support staff able to work easily in the languages used at the session and should have at its disposal adequate word processing and document reproducing equipment. Interpretation, preferably simultaneous, should be provided from and into all languages used at the session, and if the report of the session is to be adopted in more than one of the working languages of the Committee, then the services of a translator should be available. The Committee secretariat and the Joint FAO/WHO (Codex) Secretariat are charged with the preparation of the draft report in consultation with the rapporteurs, if any.

DUTIES AND TERMS OF REFERENCE

6. The duties of a Codex Committee shall include:

- (a) the drawing up of a list of priorities as appropriate, among the subjects and products within its terms of reference,
- (b) consideration of the types of safety and quality elements (or recommendations) to be covered, whether in standards for general application or in reference to specific food products,
- (c) consideration of the types of product to be covered by standards, e.g., whether materials for further processing into food should be covered,
- (d) preparation of draft Codex standards within its terms of reference,
- (e) reporting to each session of the Commission on the progress of its work and, where necessary, on any difficulties caused by its terms of reference, together with suggestions for their amendment.

組織及び義務

議長職

4. コーデックス食品規格委員会は、財政上及びその他すべての責任を引き受ける意思を表明している「委員会」加盟国の1ヶ国を、「部会」の議長に指名する責務を負う国として指名する。その関係加盟国は、自国籍の者から、「部会」の議長を指名する責任を負う。この者が、何らかの理由により議長を受けられないとき、その加盟国は、当該議長が職務を遂行できない間、議長の職責を果たす別の者を指名しなければならない。「部会」は、すべての会議において、出席した代表の中から1名以上の報告書作成者を指名することができる。

事務局

5. コーデックス部会を委託された加盟国は、事務局を含むすべての会議事務サービスを提供する責任を負う。事務局は、会議で使用される言語を自由に用い業務を遂行できる適切な行政事務スタッフを採用し、自由に使用できるワープロ及び文書複写機器を用意しているべきである。会議で使用されるすべての言語からまたはその言語への通訳者、望ましくは同時通訳者も準備すべきであり、会議の報告書が「部会」で使用されている複数の公用語で採択されるときには、翻訳者のサービスも利用できるようにすべきである。「部会」事務局及びFAO/WHO合同（コーデックス）事務局は、必要なときには、報告書作成者と協議し、報告書草案を作成する義務を負っている。

任務及び委託事項

6. コーデックス部会の任務には、次が含まなければならない。すなわち、
 - (a) 委託事項の範囲内での主題及び製品につき、必要があるときには、優先順位リストの作成、
 - (b) 一般用法の規格にしてまたは特定の食料製品を参照して対象となる安全及び品質要因（または勧告）の種類の検討、
 - (c) 規格の対象となる製品の種類の検討。例えば、食品に更に加工される原料を対象とするか否かなど、
 - (d) 委託事項の範囲内のコーデックス食品規格草案の作成、
 - (e) 作業の進行状況及び必要なときは、委託事項の範囲によってもたらされた何らかの問題

- (f) the review and, as necessary, revision of existing standards and related texts on a scheduled, periodic basis to ensure that the standards and related texts within its terms of reference are consistent with current scientific knowledge and other relevant information.

SESSIONS

INVITATIONS AND PROVISIONAL AGENDA

7. Sessions of Codex Committees and Coordinating Committees will be convened by the Directors-General of FAO and WHO in consultation with the chairperson of the respective Codex Committee. The letter of invitation and provisional agenda shall be prepared by the Chief, Joint FAO/WHO Food Standards Programme, FAO, Rome, in consultation with the chairperson of the committee for issue by the Directors-General to all Members and Associate Members of FAO and WHO or, in the case of Coordinating Committees, to the countries of the region or group of countries concerned, Codex Contact Points and interested international organizations in accordance with the official mailing lists of FAO and WHO. Chairpersons should, before finalizing the drafts, inform and consult with the national Codex Contact Point where one has been established, and, if necessary, obtain clearance from the national authorities concerned (Ministry of Foreign Affairs, Ministry of Agriculture, Ministry of Health, or as the case may be). The invitation and Provisional Agenda will be translated and distributed by FAO/WHO in the working languages of the Commission at least four months before the date of the meeting.

8. Invitations should include the following:

- (a) title of the Codex Committee,
- (b) time and date of opening and date of closing of the session,
- (c) place of the session,
- (d) languages to be used and arrangements for interpretation, i.e., whether simultaneous or not,
- (e) if appropriate, information on hotel accommodation,
- (f) request for the names of the chief delegate and other members of the delegation, and for information on whether the chief delegate of a government will be attending as a representative or in the capacity of an observer.

9. Replies to invitations will normally be requested to be sent to reach the chairperson as early as possible and in any case not less than 30 days before the

点に関する報告書を、その修正に関する提案とともに、「委員会」の各会議に提出すること。

(f) 規格及び関連文書が委託事項の範囲であることを確実にするため、計画的、定期的に現在の規格及び関連文書の再検討、及び必要な場合は改訂を最新の科学知識及び他の関連知識をもって絶えず行うこと。

会議

招請状及び仮議題

7. コーデックス部会及び調整委員会の会議は、FAO及びWHOの事務局長が、それぞれのコーデックス部会の議長と協議の上、招集される。招請状草案及び仮議題は、議長と相談してローマFAOのFAO/WHO合同食品規格計画の責任者により準備され、両事務局長はこれをFAO及びWHOのすべての加盟国及び準加盟国に、あるいは、調整委員会の場合は地域または関連国のグループ、コーデックス連絡所、並びに関心のある国際組織宛に、FAO及びWHOの公式の発送先名簿に従い、発送しなければならない。議長は、この草案を最終のものとする前に、すでに設置されている国内のコーデックス連絡所に連絡し協議を行わなければならない。さらに必要であれば、関係する国の当局(外務省、農務省、厚生省、またはその他必要に応じ)から了解を得なければならない。招請状及び仮議題は、会議日程の少なくとも4ヶ月前までにFAO/WHOによって「委員会」の公用語に翻訳され、配布される。

8. 招請状は下記事項が含まれるものとする。

- (a) コーデックス部会の名称
- (b) 会議の開会日時及び閉会日
- (c) 会議の開催地
- (d) 使用される言語及び通訳の手配、すなわち、同時通訳の有無など
- (e) 必要に応じたホテル宿泊に関する情報

(f) 代表責任者及びその他代表団構成員の名前、及び政府の代表責任者が代表者として出席するかまたはオブザーバーとして出席するかに関する情報の要請

9. 招請状に対する回答は通常、できる限り早く、いかなる場合にも会議開会30日前までに議長宛に送付するよう要請される。コピー1部は、ローマFAOのFAO/WHO合同食品規格計画の責任者宛にも送付しなければならない。参加を予定しているすべての国家政府及び国際組織が、要請された期日までに招請状に対する回答を送付することが、最も重要である。この回答には、必要書類のコピー部数及び言語を記載するものとする。

session. A copy should be sent also to the Chief, Joint FAO/WHO Food Standards Programme, FAO, Rome. It is of the utmost importance that by the date requested a reply to invitations should be sent by all those governments and international organizations which intend to participate. The reply should specify the number of copies and the language of the documents required.

10. The Provisional Agenda should state the time, date and place of the meeting and should include the following items:

- (a) adoption of the agenda,
- (b) if considered necessary, election of rapporteurs,
- (c) items relating to subject matter to be discussed, including, where appropriate, the step in the Commission's Procedure for the Elaboration of Standards at which the item is being dealt with at the session. There should also be reference to the Committee papers relevant to the item,
- (d) any other business,
- (e) consideration of date and place of next session,
- (f) adoption of draft report.

11. The work of the Committee and the length of the meeting should be so arranged as to leave sufficient time at the end of the session for a report of the Committee's transactions to be agreed.

ORGANIZATION OF WORK

12. A Codex or Coordinating Committee may assign specific tasks to countries, groups of countries or to international organizations represented at meetings of the Committee and may ask member countries and international organizations for views on specific points. *Ad hoc* working groups established to accomplish specific tasks shall be disbanded once the tasks have been accomplished as determined by the Committee. Reports of *ad hoc* working groups shall be distributed to all members of the Committee and observers in time to allow full consideration of the working groups' recommendations. A Codex or Coordinating Committee may not set up standing sub-committees, whether open to all Members of the Commission or not, without the specific approval of the Commission.

PREPARATION AND DISTRIBUTION OF PAPERS

13. Papers for a session should be sent by the chairperson of the Codex Committee concerned at least two months before the opening of the session to the following: (i) all Codex Contact Points, (ii) chief delegates of member

10. 仮議題には、会議の日時及び場所を明記し、以下の項目を含むものとする。

- (a) 当該議題の採択
- (b) 必要と思われる場合は、報告者の選出
- (c) 討議する議題に関する項目、これにはこの項目が会議で扱われる規格作成に関する「委員会」手続きのステップが含まれる。また、この項目に関する「部会」文書についても言及していなければならない。
- (d) その他作業
- (e) 次回会議の期日及び場所の検討
- (f) 報告書草案の採択

11. 「部会」の作業及び会議日程は、会期終了時に、「部会」議事録を承認するだけの十分な時間が残っているように手配しなければならない。

作業組織

12. コーデックス部会及び調整委員会は、各国、国家グループ、または「部会」の会議で代表を務める国際組織に対して、特定の業務を割り当てることができる。また、加盟国及び国際組織に対して、特定の問題に関する見解を求めることができる。特定処理をするために設置された特別ワーキンググループは、「部会」にその仕事が遂行されたと認められた場合解散させられる。特別ワーキンググループの報告書は、すべての加盟国及びオブザーバーにワーキンググループの勧告がただちに十分検討できるように配布される。コーデックス部会及び調整委員会は、「委員会」のすべての加盟国にその資格があるかどうかにかかわらず、「委員会」で特別の承認を得ずに常設の小部会を設置することはできない。

文書の準備作成及び配布

13. 会議用文書は、関係するコーデックス部会の議長が、少なくとも会議開催の2カ月前までに、次の関係各位、すなわち、(i) すべてのコーデックス連絡所、(ii) 加盟国、オブザーバー国、及び国際組織の代表責任者、及び(iii) その他受け取った回答に基づく参加者、に送付しなければならない。関係部会で使用されている各言語につきすべての文書のコピー20部を、ローマFAOのFAO/WHO合同食品規格計画の責任者宛に送付しなければならない。

countries, of observer countries and of international organizations, and (iii) other participants on the basis of replies received. Twenty copies of all papers in each of the languages used in the Committee concerned should be sent to the Chief, Joint FAO/WHO Food Standards Programme, FAO, Rome.

14. Papers for a session prepared by participants must be drafted in one of the working languages of the Commission, which should, if possible, be one of the languages used in the Codex Committee concerned. These papers should be sent to the chairperson of the Committee, with a copy to the Chief, Joint FAO/WHO Food Standards Programme, FAO, Rome, in good time (see paragraph 13) to be included in the distribution of papers for the session.

15. Documents circulated at a session of a Codex Committee other than draft documents prepared at the session and ultimately issued in a final form, should subsequently receive the same distribution as other papers prepared for the Committee.

16. Codex Contact Points will be responsible for ensuring that papers are circulated to those concerned within their own country and for ensuring that all necessary action is taken by the date specified.

17. Consecutive reference numbers in suitable series should be assigned to all documents of Codex Committees. The reference number should appear at the top right-hand corner of the first page together with a statement of the language in which the document was prepared and the date of its preparation. A clear statement should be made of the provenance (origin or author country) of the paper immediately under the title. The text should be divided into numbered paragraphs. At the end of these guidelines is a series of references for Codex documents adopted by the Codex Alimentarius Commission for its own sessions and those of its subsidiary bodies.

18. Members of the Codex Committees should advise the Committee chairperson through their Codex Contact Point of the number of copies should advise the Committee chairperson through their Codex Contact Point of the number of copies of documents normally required.

19. Working papers of Codex Committees may be circulated freely to all those assisting a delegation in preparing for the business of the Committee; they should not, however, be published. There is, however, no objection to the publication of reports of the meetings of committees or of completed draft standards.

CONDUCT OF MEETINGS

20. Meetings of Codex and Coordinating Committees shall be held in public unless the Committee decides otherwise. Member countries responsible for

14. 関係者が準備作成する会議用文書は、「委員会」公用語のうちの1言語で草案を作成しなければならない。可能であれば、その言語は、関係するコーデックス部会で使用されている言語のうちの1つであるものとする。これら文書は、会議用配布文書に含めることが間に合うように「部会」の議長宛に送付され(第13項参照)、コピー1部をローマFAOのFAO/WHO合同食品規格計画の責任者宛に送付するものとする。
15. 会議で準備作成され最終書式で最後に発行された草案文書以外に、コーデックス部会の会議で配布される文書は、「部会」用に準備作成された他の文書と同じ配布物として、その後、配布しなければならない。
16. コーデックス連絡所は、これらの文書が自国内の関係箇所に確実に配布されているかどうか、及び指定期日までに必要な処置がすべて確実にとられているかどうかを確認する義務を負う。
17. 適当な一連の連続参照番号がコーデックス部会のすべての文書に対して割り当てなければならない。この参照番号は、当該文書を作成した言語及びその作成期日とともに、最初のページの右上隅に明記することとする。表題のすぐ下には、その文書の発行元(出典または著作国)を明記しなければならない。本文は、各項に分け、それぞれ番号を付けなければならない。さらに、本ガイドラインの末尾には、コーデックス食品規格委員会が独自の会議及び下部機関の会議に関して採用したコーデックス文書に関する一連の参照資料を明記してある。
18. コーデックス部会の加盟国は、コーデックス連絡所を通して「部会」議長に対して通常要求される文書のコピー部数を、コーデックス連絡所を通じて通告するものとする。
19. コーデックス部会の作業用文書は、「部会」の作業に関する準備を行う際に、代表団を補佐するすべての人に自由に回覧することができるが、これを発行することは禁止されている。しかし、「部会」の会議に関する報告書、または完成した規格草案の発行は差し支えない。

会議の運営

20. コーデックス部会及び調整委員会の会議は、「部会」による特別の決定がない限り、公に開催される。コーデックス部会及び調整委員会に対する責務を負う加盟国は、代理として会議を開会する人物を決定しなければならない。議長は、仮議題に関連して「部会」の加盟国から所見を求め、かかる所見に照らして仮議題または修正した議題の採択を「部会」に要請しなければ

Codex and Coordinating Committees shall decide who should open meetings on their behalf. The chairperson should invite observations from members of the Committee concerning the Provisional Agenda and in the light of such observations formally request the Committee to adopt the Provisional Agenda or the amended agenda. Meetings should be conducted in accordance with the Rules of Procedure of the Codex Alimentarius Commission. Attention is particularly drawn to Rule VI.7 which reads: "The provisions of Rule XII of the General Rules of FAO shall apply *mutatis mutandis* to all matters which are not specifically dealt with under Rule VI of the present Rules." Rule XII of the General Rules of FAO, a copy of which will be supplied to all chairpersons of Codex and Coordinating Committees, gives full instructions on the procedures to be followed in dealing with voting, points of order, adjournment and suspension of meetings, adjournment and closure of discussions on a particular item, reconsideration of a subject already decided and the order in which amendments should be dealt with.

21. Chairpersons of Codex Committees should ensure that all questions are fully discussed, in particular statements concerning possible economic implications of standards under consideration at Steps 4 and 7. Chairpersons should also ensure that the written comments of members not present at the session are considered by the Committee; that all issues are put clearly to the Committee. This can usually best be done by stating what appears to be the generally acceptable view and asking delegates whether they have any objection to its being adopted. The chairpersons should always try to arrive at a consensus and should not ask the Committee to proceed to voting if agreement on the Committee's decision can be secured by consensus.

22. Delegations and delegations from observer countries who wish their opposition to a decision of the Committee to be recorded may do so, whether the decision has been taken by a vote or not, by asking for a statement of their position to be contained in the report of the Committee. This statement should not merely use a phrase such as: "The delegation of X reserved its position" but should make clear the extent of the delegation's opposition to a particular decision of the Committee and state whether they were simply opposed to the decision or wished for a further opportunity to consider the question.

23. Only the chief delegates of member countries, or of observer countries or of international organizations have the right to speak unless they authorize other members of their delegations to do so.

REPORTS

24. In preparing reports, the following points shall be borne in mind:

ばならない。会議は、コーデックス食品規格委員会の手続き規程に従って運営するものとする。特に、第VI.7項の「FAOの一般規程の第XII規定の条項は、現行規定の第VI規定のもとで特に定められていないすべての問題に対して必要な変更を加えて適用するものとする」という文言に留意する。FAO一般規程の第XII規定は、投票、議事進行上の問題、会議の休会及び延期、特定の議題に関する討議の延期及び終了、すでに決定された主題の再考察、並びに修正を取り扱う順序などを処理する際に従うべき手続きについて、十分な指示を与えるものである。そのコピー1部は、コーデックス部会及び調整委員会のすべての議長に配布される。

21. コーデックス部会の議長は、すべての議題について、特にStep 4及びStep 7での考察のもとで発生する可能性のある経済的な意味に関する特定の意見において、十分な討議が行われることを確認しなければならない。さらに議長は、会議に出席していない加盟国の文書によるコメントが、「部会」で考慮されていることも確認しなければならない。また、すべての論題が「部会」に明確に提出されていることも確認しなければならない。これには、一般的に承認できる見解と思われるものを申し立て、採択されることに対して異論があるかどうかを代表に尋ねることが、最善の方法である。議長は、常に合意に達するよう努力し、「部会」の決定に関する合意が総意によって保証される場合は、「部会」に投票を行うよう要請しないものとする。
22. 「部会」の決定に対して反対を示すことを希望する代表团及びオブザーバー国からの代表团は、その決定が投票によるものであるとなかろうと、「部会」の報告書に自らの立場の表明を明記するように要求することで、それを実行することができる。この表明は、単に、「Xの代表团は立場を留保した」という表現を使用するのではなく、「部会」の特定の決定事項に対して代表团が反対している程度を明確に示し、決定事項に単に反対するものであるか、または当該議題についてさらに考察する機会を希望するものであるかを表明しなければならない。
23. 加盟国、オブザーバー国、または国際組織の代表責任者のみが、発言権を有する。ただし、自分の代表団の他の構成員にそれを委任していない場合に限る。

報告書

24. 報告書作成にあたり、下記の点に留意しなければならない。

- (a) decisions should be clearly stated; action taken in regard to economic impact statements should be fully recorded; all decisions on draft standards should be accompanied by an indication of the step in the Procedure that the standards have reached;
 - (b) if action has to be taken before the next meeting of the committee, the nature of the action, who is to take it and when the action must be completed should be clearly stated;
 - (c) where matters require attention by other Codex committees, this should be clearly stated;
 - (d) if the report is of any length, summaries of points agreed and the action to be taken should be included at the end of the report, and in any case, a section should be included at the end of the report showing clearly in summary form:
 - standards considered at the session and the steps they have reached;
 - standards at any step of the Procedure, the consideration of which has been postponed or which are held in abeyance and the steps which they have reached;
 - new standards proposed for consideration, the probable time of their consideration at Step 2 and the responsibility for drawing up the first draft.
25. The following appendices should be attached to the report:
- (a) list of participants with full postal addresses,
 - (b) draft standards with an indication of the step in the Procedure which has been reached.
26. The Joint FAO/WHO Secretariat should ensure that, as soon as possible and in any event not later than one month after the end of the session, copies of the final report, as adopted, are sent to all participants, and all Codex Contact Points.

DRAWING UP OF CODEX STANDARDS

27. A Codex committee, in drawing up standards and related texts, should bear in mind the following:
- (a) the guidance given in the General Principles of the Codex Alimentarius;
 - (b) that all standards and related texts should have a preface containing the following information:

- (a) 決定事項は明確に記載しなければならない。経済的影響評価に関してとられる処置はすべて記録しなければならない。規格草案に関するすべての決定事項は、規格が到達した手続きのステップ明示を添えるものとする。
- (b) 「当部会」の次回会議までに処置を講じる必要がある場合は、その処置の性格、誰がそれを講じるか、いつまでに完了しなければならないかなどを明確に記載しなければならない。
- (c) 他のコーデックス部会の対応が必要な問題がある場合は、明確に記載しなければならない。
- (d) 本報告書がどのような長さであっても、合意事項の要約と講じるべき処置を報告書の最後に含めなければならない、いかなる場合においても、報告書の最後には、要約形式で次のような事項を含めて記載するものとする。

— 会議で検討された規格及び到達したステップ

— 手続きが任意のステップにあり、検討が延期されたかまたは棚上げになっている規格、及び到達したステップ

— 検討が提案された新規規格、Step 2での検討推定時間、及び最初の草案作成に関する責任

25. 報告書には、以下の付録を添付するものとする。

- (a) 郵送用の正式な住所を記載した参加者のリスト
- (b) 手続きにおいて到達したステップを明示した規格草案

26. FAO/WHO合同事務局は、できる限り早急に、いかなる場合でも会期終了後1ヶ月以内に、採択された最終報告書のコピーを、すべての参加者及びすべてのコーデックス連絡所宛に確実に送付しなければならない。

コーデックス食品規格の作成

27. コーデックス部会は、規格及び関連文書を作成するにあたり、以下の事項に留意しなければならない。

- (a) コーデックス食品規格の一般原則に規定された手引き
- (b) すべての規格及び関連文書に下記事項を含む序文を設けること。

- the description of the standard or related text,
 - a brief description of the scope and purpose(s) of the standard or related text,
 - references including the step which the standard or related text has reached in the Commission's Procedures for the Elaboration of Standards, together with the date on which the draft was approved,
 - matters in the draft standard or related text requiring endorsement or action by other Codex Committees.
- (c) that for standards or any related text for a product which includes a number of sub-categories, the Committee should give preference to the development of a general standard or related text with specific provisions as necessary for sub-categories with different requirements.

—規格及び関連文書の説明

—規格または関連文書の範囲及び目的の概略

—草案の承認日とともに、規格作成に関する「委員会」の手続きにおいて、規格または関連文書が到達したステップを含む参照資料

—規格草案または関連文書において、他のコーデックス部会の承認または処置を必要とする事項

(c) いくつかの小分類を含む製品に関する規格または関連文書に対して、「部会」は、小分類について異なる要件を必要とするので、特殊規定のある一般規格または関連文書を作成することを優先させること。

**PRINCIPLES CONCERNING THE PARTICIPATION OF
INTERNATIONAL NON-GOVERNMENTAL ORGANIZATIONS IN THE
WORK OF THE CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION**

1. PURPOSE

The purpose of collaboration with International Non-Governmental Organizations is to secure for the Codex Alimentarius Commission, expert information, advice and assistance from international non-governmental organizations and to enable organizations which represent important sections of public opinion and are authorities in their fields of professional and technical competence to express the views of their members and to play an appropriate role in ensuring the harmonizing of intersectoral interests among the various sectoral bodies concerned in a country, regional or global setting.

Arrangements made with such organizations shall be designed to advance the purposes of the Codex Alimentarius Commission by securing maximum cooperation from International Non-Governmental Organizations in the execution of its programme.

2. TYPES OF RELATIONSHIP

Only one category of relationship shall be recognized, namely "Observer Status"; all other contacts, including working relations, shall be considered to be of an informal character.

3. ORGANIZATIONS ELIGIBLE FOR "OBSERVER STATUS"

The following shall be eligible for Observer Status:

- International Non-Governmental Organizations in consultative status, specialized consultative status or liaison status with FAO;
- International Non-Governmental Organizations having official relations with WHO; and
- International Non-Governmental Organizations that:
 - (a) are international in structure and scope of activity, and representative of the specialized field of interest in which they operate;
 - (b) are concerned with matters covering a part or all of the Commission's field of activity;

国際的非政府組織によるコーデックス食品規格委員会の 作業への参加に関する原則

1. 目的

国際的な非政府組織と連携する目的は、コーデックス食品規格委員会がそれらの組織から専門的知識、助言及び支援を得ることを確保するためである。国際的な非政府組織は公衆の意見の重要な部分を代表し、また個々の専門分野において高度かつ技術的な優位性を持つので、それらの組織のメンバーが意見を表明し適切な役割を担うことによって、国・地域又は国際的規模にわたる様々な分野の機関が横断的な分野にわたる事項について協調することを図ることを目的とする。

これらの組織との取り決めは、コーデックス食品規格委員会がプログラムを実行する際にそれらの国際的非政府組織が最大限に委員会に協力し、その目的を進展させることができるよう企画されなければならない。

2. 関与形態

ひとつの形態の関与の仕方しか認められていない、すなわち「オブザーバー」である。実務関係などを含むその他全ての接触関係は、非公式な性格を有すると解される。

3. 「オブザーバー」適性資格を有する組織

オブザーバー資格の対象は次の通りである。

- FAO の諮問機関・特別諮問機関又は連絡機関[liaison]としての資格を有する国際的な非政府組織
- WHO と公的な関係にある国際的な非政府組織
- 次の国際的非政府組織
 - (a) 活動の体制及び範囲が国際的であり、それが活動する特殊分野を代表すること
 - (b) 委員会の活動分野の一部又は全部において関係があること

- (c) have aims and purposes in conformity with the Statutes of the Codex Alimentarius Commission; and
- (d) have a permanent directing body, authorized representatives and systematic procedures and machinery for communicating with its membership in various countries. Its members shall exercise voting rights in relation to its policies or action or shall have other appropriate mechanisms to express their views.

4. PROCEDURE FOR OBTAINING "OBSERVER STATUS"

4.1 INTERNATIONAL NON-GOVERNMENTAL ORGANIZATIONS HAVING STATUS OR OFFICIAL RELATIONS WITH FAO AND WHO

"Observer status" shall be accorded to those International Non-Governmental Organizations in consultative status, specialized consultative status or liaison status with FAO or International Non-Governmental Organizations having official relations with WHO that inform the Secretary of the Codex Alimentarius Commission of their desire to participate in the work of the Commission and/or any or all of the Commission's subsidiary bodies¹¹ on a regular basis. They may also request invitations to participate at specific sessions of the Commission or its subsidiary bodies on an *ad hoc* basis.

4.2 NON-GOVERNMENTAL ORGANIZATIONS NOT HAVING STATUS OR OFFICIAL RELATIONS WITH FAO AND WHO

Before any form of formal relationship is established with a Non-Governmental Organization, such Organization shall supply the Secretary of the Commission with the information outlined in the Annex to these Procedures. The Secretary shall transmit this information to the Directors-General of FAO and WHO.

Upon confirmation that the Directors-General are satisfied that the applicant Organization is in a position to make a significant contribution in advancing the purposes of the Codex Alimentarius Commission, Observer Status shall be granted to the applicant Organization.

Observer Status at specific meetings will not normally be granted to individual organizations that are members of a larger organization authorized and that intends to represent them at these meetings.

¹¹ The term "subsidiary bodies" means any body established under Rule IX of the Commission's Rules of Procedure.

- (c) コーデックス食品規格委員会の規約に相当した目標と目的を有すること
- (d) 永続的な執行機関、承認された代表者、体系的な手続き及び様々な国のメンバーとの連絡通信機器を有すること。そのメンバーは組織の方針又は処置に関して投票権を行使するか、又は他の適切な仕組みにより自らの意見を表明できること。

4. 「オブザーバー資格」の取得手続き

4.1 FAO 又は WHO と公的な関係にある国際的な非政府組織の取得手続き

「オブザーバー資格」は、FAO の諮問機関・特別諮問機関又は連絡機関としての資格を有する国際的非政府組織又は WHO と公的な関係にある国際的非政府組織が、コーデックス食品規格委員会又はその下部機関¹¹の一部及び／又は全ての作業に定期的に参加を希望する旨を委員会の事務局宛に通知することにより付与される。

¹¹「下部機関」とは、委員会の手続き規定IXに定められた機関をいう。

4.2 FAO 又は WHO と公的な関係にない国際的な非政府組織の取得手続き

非政府組織と公的な関係を持つ前に、当該非政府組織は委員会の事務局宛に本手続き規定の付則記載の情報を提供しなければならない。委員会の事務局は、受領した当該情報を FAO 及び WHO の事務局長当てに送付しなければならない。

申請団体がコーデックス食品規格委員会の目的を前進させる多大な貢献をもたらす立場にあると事務局長が確認できた場合、その申請団体にオブザーバー資格が付与される。

個々の非政府組織がメンバーとなるすでに承認されているより大きく上位の非政府組織があり、その上位の組織がコーデックスの会議で代表を務める意志がある場合は、通常、個々の非政府組織には特定の会議におけるオブザーバー資格は付与されない。

5. PRIVILEGES AND OBLIGATIONS

International Non-governmental Organizations in Observer status shall have the following privileges and obligations:

5.1 PRIVILEGES OF INTERNATIONAL NON-GOVERNMENTAL ORGANIZATIONS IN "OBSERVER STATUS"

An Organization in Observer Status:

- (a) shall be entitled to send an observer (without the right to vote) to sessions of the Commission, who may be accompanied by advisers; to receive from the Secretary of the Commission, in advance of the session, all working documents and discussion papers; to circulate to the Commission its views in writing, without abridgement; and to participate in discussions when invited by the Chairperson¹²;
- (b) shall be entitled to send an observer (without the right to vote) to sessions of specified Subsidiary Bodies, who may be accompanied by advisers; to receive from the Secretaries of the Subsidiary Bodies, in advance of the session, all working documents and discussion papers; to circulate to these Bodies its views in writing, without abridgement; and to participate in discussions when invited by the Chairperson¹²;
- (c) may be invited by the Directors-General to participate in meetings or seminars on subjects organized under the Joint FAO/WHO Food Standards Programme which fall within its fields of interest, and if it does not so participate it may submit its views in writing to any such meeting or seminar;
- (d) will receive documentation and information about meetings planned on subjects agreed upon with the Secretariat;
- (e) may submit, under the authority of its governing body, written statements on matters before the Commission, in one of the languages of Commission, to the Secretary, who may communicate them to the Commission or the Executive Committee as appropriate.

5.2 OBLIGATIONS OF INTERNATIONAL NON-GOVERNMENTAL ORGANIZATIONS IN "OBSERVER STATUS"

An Organization in Observer Status shall undertake:

¹² An invitation to a Codex meeting and representation thereat by an observer shall not imply the granting to an international non-governmental organization of a status different from that which it already enjoys.

5. 特権及び義務

5.1 オブザーバーとしての国際非政府組織の特権

オブザーバーとしての国際非政府組織は次の特権を有する。

- (a) (投票権のない) オブザーバーを委員会の諸会議に派遣し、アドバイザーを随行させることができる。会議の前に委員会の事務局から全ての作業文書及び討議文書を受領し、委員会に所見を文書にて省略せずに公開し、また議長に招請される場合は討議に参加することができる¹²。
- (b) (委投票権のない) オブザーバーを特定の下部機関に派遣し、アドバイザーを随行させることができる。会議の前に下部機関の事務局から全ての作業文書及び討議文書を受領し、下部機関に所見を文書にて省略せずに公開し、また議長に招請される場合は討議に参加することができる¹²。

¹² オブザーバーとしてのコーデックスの会議への招請及び表明は、その国際的非政府組織に今までと異なる地位資格を与えるものではない。

- (c) FAO/WHO 合同食品規格計画が組織する会議の主題が国際的非政府組織の所掌分野である場合、事務局長はその組織に会議に参加するよう招請できる。当該組織が招請された会議またはセミナーに参加しない場合でも、当該組織は所見を提出することができる。
- (d) 事務局と合意した主題についての会議書類又は情報を受領する。
- (e) その運営機関の承認を得て、委員会の前に委員会の言語のうちのひとつの言語で問題点に対する意見を文書にて事務局宛に送付することができる。事務局はこの意見を適宜、委員会又は執行委員会に対して連絡する。

5.2 オブザーバーとしての国際的非政府組織の義務

オブザーバーとしての国際非政府組織は次の義務を有する。

- (a) to cooperate fully with the Codex Alimentarius Commission for the furtherance of the objectives of the Joint FAO/WHO Food Standards Programme;
- (b) in cooperation with the Secretariat, to determine the ways and means of co-ordinating activities within the scope of the Joint FAO/WHO Food Standards Programme, with a view to avoiding duplication and overlapping;
- (c) to contribute, as far as possible, and at the request of the Directors-General, to the promotion of a better knowledge and understanding of the Codex Alimentarius Commission and the Joint FAO/WHO Food Standards Programme through appropriate discussions or other forms of publicity;
- (d) to send to the Secretary of the Commission on an exchange basis, its reports and publications concerned with matters covering all or part of the Commission's field of activity;
- (e) to keep the Secretary of the Commission informed of changes in its structure and membership, as well as of important changes in its secretariat.

6. REVIEW OF "OBSERVER STATUS"

The Directors-General may terminate arrangements for Observer Status which are no longer considered necessary or appropriate in the light of changing programmes or other circumstances, and will report such action to the Commission. However, the international non-governmental organization concerned may appeal the termination of Observer Status.

An international non-governmental organization in Observer Status which has not shown any interest and has not attended any meetings during a period of four years may be deemed not to have sufficient interest to warrant the continuance of such relationship.

The Secretary shall report to the Codex Alimentarius Commission on the relations between the Codex Alimentarius Commission and international non-governmental organizations established in accordance with the present Procedures and shall provide a list of organizations granted Observer Status, with an indication of the membership that they represent.

The Commission shall periodically review these principles and procedures and shall consider, as necessary, any amendments which may seem desirable.

- (a) FAO/WHO 合同食品規格計画の目的の助長のため、コーデックス食品規格委員会に全面的に協力する。
- (b) 事務局と協力して重複を避け、FAO/WHO 合同食品規格計画の適用範囲におけるその調整活動の方法と手段を決定する。
- (c) できる限り、そして事務局長の依頼により、コーデックス食品規格委員会および FAO/WHO 合同食品規格計画の知識及び理解を促進するため、適宜、討議その他表明手段を用いてできる限り協力する。
- (d) 委員会の事務局宛に、相互交換的に委員会の活動分野が管轄するすべて又は一部の事項に関する自らが作成した報告書及び出版物を送付する。
- (e) 委員会の事務局に対して、その組織の体制、メンバー、その他事務局方の重要な変更点について常に情報提供する。

6. 「オブザーバー資格」の見直し

事務局長は、計画の変更、他の状況の変化等に応じて不必要になった又は適切でなくなったと判断した場合はオブザーバー資格についての取り決めに終了させることができ、その処置を委員会に報告する。しかし、関連国際非政府組織は、オブザーバー資格を終了させることを申し出ることもできる。

オブザーバーとしての非政府国際組織は、4 年間何ら自らの関与を示さず、会議にも出席しない場合は、オブザーバーとしての関係性の継続を保証する行為に十分な関心がなくなったとみなされる。

事務局は、現手続きにおいて構築された委員会と国際非政府組織間の関係について委員会に報告し、それぞれが代表する加盟資格の注記を付したオブザーバー資格を与えられている組織名の一覧を委員会に提出する。

委員会は定期的に原則及び手続きを再検討し、必要に応じて望ましい方向でこれらを修正する。

**ANNEX: INFORMATION REQUIRED OF NON-GOVERNMENTAL
ORGANIZATIONS REQUESTING "OBSERVER STATUS"**

- (a) Official name of the organization in different languages (with initials)
- (b) Full postal address, Telephone, Telex address, Facsimile and Email as appropriate
- (c) Aims and subject fields (mandate) of organization, and methods of operation. (Enclose charter, constitution, by-laws, rules of procedures, etc.)
- (d) Member organizations (name and address of each national affiliate, method of affiliation, giving number of members where possible, and names of principal officers. If the organization has individual members, please indicate approximate number in each country)
- (e) Structure (assembly or conference; council or other form of governing body; type of general secretariat; commissions on special topics, if any; etc.)
- (f) Indication of source of funding (e.g., membership contributions, direct funding, external contributions, or grants)
- (g) Meetings (indicate frequency and average attendance; send report of previous meeting, including any resolutions passed) that are concerned with matters covering all or part of the Commission's field of activity
- (h) Relations with other international organizations:
 - (i) UN and organs (indicate consultative status or other relationship, if any)
 - (j) Other international organizations
- (k) Expected contribution to the Joint FAO/WHO Food Standards Programme
- (l) Past activities on behalf of, or in relation to, the Codex Alimentarius Commission and the Joint FAO/WHO Food Standards Programme (indicate any relationship by national affiliates with the Regional Coordinating Committees and/or the National Codex Contact Points or Committees)
- (m) Area of activity in which participation as an observer is requested (Commission and/or Subsidiary Bodies). If more than one organization with similar interests is requesting observer status in any field of activity, such organizations will be encouraged to form themselves into a federation or association for the purpose of participation. If the formation of such a single organization is not feasible, the application should explain why this is so.

付属文書： 国際非政府組織がオブザーバー資格を申請する際に必要な情報

- (a) 複数の言語表記による組織の正式名称（イニシャルを付記すること）
- (b) 郵送用の正式な住所、電話番号、テレックスアドレス、適宜ファックス番号及びEメールアドレス
- (c) 組織の目標及び主な分野（所掌・権限[mandate]）、運営方法、（設立綱領、付属定款、手続き規定などを同封）
- (d) 加盟組織（各国支部の名称及び所在地、加盟方法、可能であればメンバー数および主要役員の氏名。個人会員がいる場合、各国における大体の会員数）
- (e) 体制（総会又は会議体、評議会又は他の運営形態；全般的な事務局の形態、該当する場合は特定の主題についての委任事項等）
- (f) 資金源の表示（例；メンバーからの出資、直接金融、外部の出資、補助金交付等）
- (g) 委員会の活動分野の全部又は一部に関連する会議（開催頻度及び平均出席率を表記。決定事項がある場合それを含んだ前回会議の報告書を送付）
- (h) 他の国際組織との関係
- (i) UN 及び機関（諮問の関係にあるかその他の関係にあるか等）
- (j) その他国際組織
- (k) FAO/WHO 合同食品規格計画に対して予測される貢献内容
- (l) コーデックス食品規格委員会及び FAO/WHO 合同食品規格計画のための、又はそれらに関連した過去の活動（その各国支部による委員会の地域調整委員会、国内コーデックス連絡所又は各部会との関係）
- (m) オブザーバーとして参加を希望する活動分野（委員会及び／又は下部機関）。どの分野においても、ひとつの事項について複数の組織が参加を希望する場合、それらの組織はひとつの連盟又は連合に統合するよう要請される。そのようなひとつの連合体を組織することが現実不可能な場合は、申請書にはなぜ実現不可能であるか理由を記さなければならない。

- (n) Language (English, French or Spanish) in which documentation should be sent to the international non-governmental organizations
- (o) Name, Function and address of the person providing the information
- (p) Signature and date

- (n) その国際非政府組織に送達されるべき文書の言語（英語、フランス語又はスペイン語）
- (o) 上記情報の提供者の氏名、職務及び所在地
- (p) 署名及び年月日

CRITERIA FOR THE ESTABLISHMENT OF WORK PRIORITIES

When a Codex Committee proposes to elaborate a standard, code of practice or related text within its terms of reference, it should first consider the priorities established by the Commission in the Medium-Term Plan of Work, any specific relevant strategic project currently being undertaken by the Commission and the prospect of completing the work within a reasonable period of time. It should also assess the proposal against the criteria set out below.

If the proposal falls in an area outside the Committee's terms of reference the proposal should be reported to the Commission in writing together with proposals for such amendments to the Committee's terms of reference as may be required.

CRITERIA***Criteria applicable to general subjects***

- (a) Consumer protection from the point of view of health and fraudulent practices.
- (b) Diversification of national legislations and apparent resultant or potential impediments to international trade.
- (c) Scope of work and establishment of priorities between the various sections of the work.
- (d) Work already undertaken by other international organizations in this field.

Criteria applicable to commodities

- (a) Consumer protection from the point of view of health and fraudulent practices.
- (b) Volume of production and consumption in individual countries and volume and pattern of trade between countries.
- (c) Diversification of national legislations and apparent resultant or potential impediments to international trade.
- (d) International or regional market potential.
- (e) Amenability of the commodity to standardization.
- (f) Coverage of the main consumer protection and trade issues by existing or proposed general standards.

作業優先順位の確立に関する基準

あるコーデックス部会が、その委託事項内の規格、取扱い規範または関連文書を作成する旨提案する場合は、委員会の中期作業計画[Medium-Term Plan of Work]で確立されている優先順位、関連性のある委員会によって現在進行中の特定戦略プロジェクト、合理的期限内に委員会が作業を完了する見込みであるか等をまず検討しなければならない。

提案が委員会の委託事項外である場合は、提案を実行するためには委員会の委託事項を修正する必要がある旨の注記を付して、その提案を委員会宛に文書にて報告しなければならない。

基準

一般的問題に適用可能な基準

- (a) 健康及び不正行為の見地から見た消費者保護。
- (b) 国内制定法の多様性及びその結果生じる明らかな国際貿易障害。
- (c) 種々の作業区分間での作業範囲及び優先順位の確立
- (d) その分野ですでに他の国際組織により引き受けられている作業

商品に適用可能な基準

- (a) 健康及び不正行為の見地から見た消費者保護。
- (b) 各国における生産量及び摂取量、そして各国間の貿易量及び貿易パターン
- (c) 国内制定法の多様性及びその結果生じる明らかな国際貿易障害。
- (d) 国際又は地域でのマーケットポテンシャル
- (e) 食品規格の対応能力[amenability]
- (f) 既存の又は提案された一般的規格の主な消費者保護と貿易問題の適用範囲

- (g) Number of commodities which would need separate standards indicating whether raw, semi processed or processed.
- (h) Work already undertaken by other international organizations in this field.

- (g) 未加工、半加工、加工の別を示し、分離した規格が必要になる商品数
- (h) その分野ですでに他の国際組織によって引き受けられている作業

CRITERIA FOR THE ESTABLISHMENT OF SUBSIDIARY BODIES OF THE CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION

When there is a proposal for the elaboration of a standard, code of practice or related text in an area not covered by the terms of reference of any existing subsidiary body¹³, or the revision of standards, codes of practice or other texts elaborated by subsidiary bodies adjourned *sine die*, such a proposal should be accompanied by a written statement to the Commission explaining its justification in light of the Commission's Medium-Term Objectives and containing, as far as practicable, the information contained in the Criteria for the Establishment of Work Priorities.

Should the Commission decide to establish a Subsidiary Body for the purpose of elaborating an appropriate draft standard or related text or for the purpose of revising an existing standard(s) or related text(s), first consideration should be given to the establishment of an *ad hoc* Intergovernmental Task Force under Rule IX.1(b)(i) of the Commission's Rules of Procedure under the following conditions:

1. TERMS OF REFERENCE:

- the terms of reference of the proposed *ad hoc* Intergovernmental Task Force shall be limited to the immediate task at hand and normally shall not be subsequently modified;
- the terms of reference shall clearly state the objective(s) to be achieved by the establishment of the *ad hoc* Intergovernmental Task Force;
- the terms of reference shall clearly state either (i) the number of sessions to be convened, or (ii) the date (year) by which the work is expected to be completed, which in any case shall not exceed five years.

2. REPORTING:

The *ad hoc* Intergovernmental Task Force shall report to the Codex Alimentarius Commission and to the Executive Committee on the progress of its work. The reports of the *ad hoc* Intergovernmental Task Force shall be transmitted to all Members of the Commission and interested international organization.

¹³ The Commission may wish to consider extending the Terms of Reference of an appropriate existing body to accommodate the proposal.

コーデックス食品規格委員会の下部機関設置に関する基準

既存のコーデックスの下部機関の委託事項にない規格、取扱い規範または関連文書を作成する提案を行う場合、又は無期休会となった下部機関¹³により作成された規格、取り扱い規範又は関連文書を改訂する提案を行う場合、委員会の中期目標の見地からして正当性のある説明を文書にして提案とともに委員会に提出しなければならない。それらの書類は作業優先順位に関する基準に含まれている情報を実行可能な限り盛り込まなければならない。

委員会が適切な規格草案、取扱い規範及び関連文書を作成する目的で、又は既存の規格、取扱い規範及び関連文書を改訂する目的で下部機関を設置する場合、第一に次の条件で手続き規定IX (b)(i)に則った政府間特別部会の設置を検討するべきである。

¹³ 委員会は提案に対応するため、既存の適切な下部機関の委託事項の拡大を検討することを希望する場合がある。

1. 委託事項

- 提案された特別の政府間タスクフォースの委託事項は当面の課題に限定されており、通常はその後の変更を予定すべきではない。
- 委託事項は当該タスクフォース設置によって到達されるべき目的が明確に記載されていなければならない。
- 委託事項は、(i)召集される会議数、又は(ii)いかなる場合でも5年を超えない作業終了予定期限を明確に記載しなければならない。

2. 報告

特別の政府間タスクフォースは、コーデックス食品規格委員会及び執行委員会宛に作業進捗状況を報告しなければならない。特別の政府間タスクフォースの報告書は、委員会の全加盟団体及び関連国際組織に送付されなければならない。

3. OPERATING EXPENSES:

No provision shall be made concerning the operating expenditures of the *ad hoc* Intergovernmental Task Force in the estimate of expenditures of the Joint FAO/WHO Food Standards Programme, except insofar as costs involved in preparatory work are recognized as operating expenses of the Commission in accordance with Article 10 of its Statutes.

4. HOST GOVERNMENT ARRANGEMENTS:

The Commission, at the time of the establishment of the *ad hoc* Intergovernmental Task Force shall ascertain that there will be appropriate host government arrangements adequate to ensure the functioning of the Task Force for the duration of its assignment.¹⁴

5. WORKING PROCEDURES:

Ad hoc Intergovernmental Task Forces shall be open to all Members of the Commission and the Rules of Procedure of the Codex Alimentarius Commission and the Uniform Procedure for the Elaboration of Codex Standards and Related Texts shall apply *mutatis mutandis* to *ad hoc* Intergovernmental Task Forces.

6. DISSOLUTION:

The *ad hoc* Intergovernmental Task Force shall be dissolved after the specified work has been completed or when the number of sessions or the time limit allocated for the work has expired.

¹⁴ This may involve Host Government arrangements with one or more Members of the Commission.

3.運営費

特別の政府間タスクフォースの経費については、委員会規約第10条に合致する運営費であると認められる予備的作業に関する費用を除き、FAO/WHO合同食品規格計画の見積もりとはみなされず、費用の提供はない。

4.主催国の取り決め

特別の政府間タスクフォースの設置の際には、タスクフォースがその任期期間中適切に機能するよう、主催国について取り決めるものとする¹⁴。

¹⁴委員会のうちひとつ又は複数のメンバーを含む場合がある。

5.作業手順

特別の政府間タスクフォースは、委員会の全メンバーを対象とし、コーデックスの手続き規定及びコーデックス規格及び関連文書の統一作成手続きは、必要な変更を加えて、特別の政府間タスクフォースに適用される。

6.解散

特別の政府間タスクフォースは、特定業務の終了又は予定会議開催数又は予定期限の失効により、解散となる。

**GUIDELINES FOR THE INCLUSION OF SPECIFIC PROVISIONS IN
CODEX STANDARDS AND RELATED TEXTS**

***GUIDELINES ON THE ELABORATION AND/OR REVISION OF
CODES OF HYGIENIC PRACTICE FOR SPECIFIC COMMODITIES***

The establishment of additional food hygiene requirements for specific food items or food groups should be limited to the extent necessary to meet the defined objectives of individual codes.

Codex Codes of Hygienic Practice should serve the primary purpose of providing advice to governments on the application of food hygiene provisions within the framework of national and international requirements.

The Revised Recommended International Code of Practice - General Principles of Food Hygiene (including the Guidelines for the Application of the Hazard Analysis Critical Control Point (HACCP) System) and the Revised Principles for the Establishment and Application of Microbiological Criteria for Foods are the base documents in the field of food hygiene.

All Codex Codes of Hygienic Practice applicable to specific food items or food groups shall refer to the General Principles of Food Hygiene and shall only contain material additional to the General Principles which is necessary to take into account the particular requirements of the specific food item or food group.

Provisions in Codex Codes of Hygienic Practice should be drafted in a sufficiently clear and transparent manner such that extended explanatory material is not required for their interpretation.

The above considerations should also apply to Codex Codes of Practice which contain provisions relating to food hygiene.

***PRINCIPLES FOR THE ESTABLISHMENT OF CODEX METHODS
OF ANALYSIS*****PURPOSE OF CODEX METHODS OF ANALYSIS**

The methods are primarily intended as international methods for the verification of provisions in Codex standards. They should be used for reference, in calibration of methods in use or introduced for routine examination and control purposes.

コーデックス食品規格及び関連文書で 特殊規定に入れるためのガイドライン

特定食品に関する衛生取扱い規範を作成及び／又は改訂する際のガイドライン

特定の食品の品目又は食品群の食品衛生要件の追加作成は、個別の規範に定められている目的に合致する範囲内に限定されるべきである。

コーデックスの衛生取扱い規範は、国内及び国際的な枠組みの中で食品衛生規定を適用するよう各国に勧告することをその主目的とすべきである。

食品衛生の分野において基礎となる文書は、改訂版国際取扱い規範勧告 - 食品衛生の一般原則（危害分析重要管理点方式[HACCP]の適用ガイドラインを含む）及び改訂版食品に関する微生物学的基準の設定及び応用の原則である。

特定の食品の品目又は食品群に適用される全てのコーデックスの衛生取扱い規範は、食品衛生の一般原則を参照し、一般原則にはない特定の食品の品目又は食品群に要求される特段の事項のみを一般原則に加味するものに限定する必要がある。

コーデックスの衛生取扱い規範の規定は、規定の解釈をする説明資料が必要ない程度に十分に明確で透明性の高い方法で草案化しなければならない。

上記の考慮材料は、食品衛生関連のコーデックス取扱い規範に適用される。

コーデックス分析方法の設定の原則

コーデックス分析方法の目的

これらの分析方法はコーデックス食品規格の規定を証明するための国際的方法とすることを主目的としている。これらの分析方法はルーチン検査及び管理目的のために使用または導入される方法の検量[calibration]において、参考として用いられるべきである。

METHODS OF ANALYSIS***Definition of types of methods of analysis*****(a) Defining Methods (Type I)**

Definition: A method which determines a value that can only be arrived at in terms of the method per se and serves by definition as the only method for establishing the accepted value of the item measured.

Examples: Howard Mould Count, Reichert-Meissl value, loss on drying, salt in brine by density.

(b) Reference Methods (Type II)

Definition: A Type II method is the one designated Reference Method where Type I methods do not apply. It should be selected from Type III methods (as defined below). It should be recommended for use in cases of dispute and for calibration purposes.

Example: Potentiometric method for halides.

(c) Alternative Approved Methods (Type III)

Definition: A Type III Method is one which meets the criteria required by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling for methods that may be used for control, inspection or regulatory purposes.

Example: Volhard Method or Mohr Method for chlorides

(d) Tentative Method (Type IV)

Definition: A Type IV Method is a method which has been used traditionally or else has been recently introduced but for which the criteria required for acceptance by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling have not yet been determined.

Examples: chlorine by X-ray fluorescence, estimation of synthetic colours in foods.

General Criteria for the Selection of Methods of Analysis

- (a) Official methods of analysis elaborated by international organizations occupying themselves with a food or group of foods should be preferred.
- (b) Preference should be given to methods of analysis the reliability of which have been established in respect of the following criteria, selected as appropriate:
 - (i) specificity

分析方法

分析の種類及び目的の定義

(a) 公定方法[Defining Methods](Type I)

定義：その方法自体のみによって到達可能な値を決定する方法であり、また測定項目の容認できる値を得るための唯一の方法として、定義によって用いられる方法である。

例：ハワードのカビ集落計測法[Howard Mould Count]、ライヘルト・マイスル値[Reichert–Meissel Value]、乾燥減量、重量法による塩水中の食塩濃度

(b) 参照方法[Reference Methods](Type II)

定義：Type IIの方法はType Iの方法が適用できない場合に、選定された1つの方法である。この方法はType III(次に定義を示す)の方法から選定されるべきである。この方法は論争のあったとき及び検量の目的で使用されるべきである。

例：ハロゲン化物の電位差滴定法[Potentiometric method]

(c) 代替認定方法[Alternative Approved Methods](Type III)

定義：Type IIIの方法は管理、検査または規制の目的で用い得る方法として、分析・サンプリング法規格部会により義務づけられた基準に適合させる方法である。

例：塩化物の分析に用いるフォルハルド法[Volhard Method]またはモール法[Mohr Method]である。

(d) 暫定的な方法(Type IV)

定義：Type IVの方法は以前から用いられていた方法または最近導入された方法ではあるが、分析・サンプリング法規格部会による受諾のときに義務づけられている基準に基づいた決定が、下されていない方法である。

例：蛍光X線[X-ray fluorescence]による塩素、食品中の合成着色料の測定

分析方法選定の一般的な基準

(a) 食品または一群の食品に関与している国際的な組織により作成された公式な分析方法を選ぶべきである。

(b) 該当するとして選定された次の基準に関する信頼性[reliability]が確証されている分析方法を選定すべきである。

(i) 特異性[specificity]

- (ii) accuracy
 - (iii) precision; repeatability intra-laboratory (within laboratory), reproducibility inter-laboratory (within laboratory and between laboratories)
 - (iv) limit of detection
 - (v) sensitivity
 - (vi) practicability and applicability under normal laboratory conditions
 - (vii) other criteria which may be selected as required.
- (c) The method selected should be chosen on the basis of practicability and preference should be given to methods which have applicability for routine use.
- (d) All proposed methods of analysis must have direct pertinence to the Codex Standard to which they are directed.
- (e) Methods of analysis which are applicable uniformly to various groups of commodities should be given preference over methods which apply only to individual commodities.

General Criteria for the Selection of Methods of Analysis using the Criteria Approach

In the case of Codex Type II and Type III methods, method criteria may be identified and values quantified for incorporation into the appropriate Codex commodity standard. Method criteria which are developed will include the criteria in section Methods of Analysis, paragraph (c) above together with other appropriate criteria, e.g., recovery factors."

WORKING INSTRUCTIONS FOR THE IMPLEMENTATION OF THE CRITERIA APPROACH IN CODEX

Any Codex Commodity Committee may continue to propose an appropriate method of analysis for determining the chemical entity, or develop a set of criteria to which a method used for the determination must comply. In some cases a Codex Commodity Committee may find it easier to recommend a specific method and request the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling (CCMAS) to "convert" that method into appropriate criteria. The Criteria will then be considered by the CCMAS for endorsement and will, after the endorsement, form part of the commodity standard replacing the recommended method of analysis. If a Codex Commodity Committee wishes to develop the criteria by itself rather than allowing the CCMAS to do so, it should

(ii) 精確さ[accuracy]

(iii) 精度[precision] ;

検査機関内の併行精度[repeatability intra-laboratory](検査機関内)、

検査機関間の再現精度[reproducibility intra-laboratory](検査機関内及び検査機関

間)

(iv) 検出限界[limit of detection]

(v) 感度[sensitivity]

(vi) 通常の検査機関の状態下での実用性[practicability]及び適合力 [applicability]

(vii) 必要により選定されるその他の基準

(c) 選定される方法は実用性に基づき行われるべきであり、ルーチンの使用に適用できる方法が選定されるべきである。

(d)提案された全ての分析方法は、コーデックス食品規格が目標とする規格に対して直接的に妥当性[direct-pertinence]があるべきである。

(e)食品の種々の群に一樣に適用できる分析方法については、個々の食品のみに適用される方法よりも、優先して選定されるべきである。

基準アプローチを用いた分析方法選定に関する一般的な基準

Type I と Type IIの使用にあたっては、適切な食品規格に盛り込むため、手法基準が特定され、かつ数値データが定量化されていなければならない。作成される手法基準は、回収率などのその他適切な基準とともに、「分析方法」セクションの第 c 項記載の基準を含まなければならない。

食品規格における基準アプローチ実施の作業手引き

食品別規格部会は、化学物質特定のための適切な分析方法を提案し、またはそのような化学物質特定のために遵守しなければならない一連の基準を作成することができる。食品別規格部会が特定の方法を推奨し、分析・サンプリング法部会(CCMAS)にその方法を適切な基準に転換する方が容易であると判断する場合があるかもしれない。その場合、基準はCCMASによって承認され、推奨された分析方法に代わり、食品規格の一部をなすことになる。食品別規格委員会がCCMASに委託するのではなく、みずから基準を作成しようとする場合、次に記載の通り、特定の基準作成にあたっての一定の指示に従わなければならない。これらの基準は、問題となっている決定方法について承認を受ける必要がある。

follow instructions given for the development of specific criteria as outlined below. These criteria must be approved for the determination in question.

However, the primary responsibility for supplying methods of analysis and criteria resides with the Commodity Committee. If the Commodity Committee fails to provide a method of analysis or criteria despite numerous requests, then the CCMAS may supply an appropriate method and "convert" that method into appropriate criteria.

The minimum "approved" Codex analytical characteristics will include the following numeric criteria as well as the general criteria for methods laid down in the Analytical Terminology for Codex Use (see page ##):

- precision (within and between laboratories, but generated from collaborative trial data rather than measurement uncertainty considerations)
- recovery
- selectivity (interference effects etc.)
- applicability (matrix, concentration range and preference given to 'general' methods)
- detection/determination limits if appropriate for the determination being considered
- linearity

CCMAS will generate the data corresponding to the above criteria.

CONVERSION OF SPECIFIC METHODS OF ANALYSIS TO METHOD CRITERIA BY THE CCMAS

When a Codex Commodity Committee submits a Type II or Type III method to CCMAS for endorsement, it should also submit information on the criteria listed below to enable the CCMAS to convert it into suitable generalized analytical characteristics:

- accuracy
- applicability (matrix, concentration range and preference given to 'general' methods)
- detection limit
- determination limit

しかし、分析方法又は基準を提供する主要な責務は食品規格委員会にある。多数の要望があるにもかかわらず食品規格委員会が分析方法又は基準を提供しない場合、CCMASが適切な方法を提供し、その方法を適切な基準に転用することができる。

最低限に承認されたコーデックスの分析特性は、「コーデックスのための分析用語集(Analytical Terminology for Codex Use)」(ページ##参照)にて規定の一般方法基準とともに、次の数値基準を含む

- 精度；
検査機関内の併行精度(検査機関内及び検査機関間)、
検査機関間の再現精度(検査機関内及び検査機関間)
- 回収率[recovery]
- 選択性 (干渉効果[interference effects])
- 適合力 (「一般的な」方法に対するマトリックス、濃度範囲、優先傾向[preference])
- 必要であれば、検討中の測定のための検出限界／測定限界[determination limits]
- 直線性[linearity]

CCMASは上記基準に対応したデータを生成するものとする。

CCMASによる特定の分析方法から法基準への転換

各食品別規格部会がTypeⅡまたはTypeⅢの方法をCCMASに提出する場合、CCMASがそれを適切な一般化した分析特性に転換できるよう、部会は次に記載のリストをCCMASに情報として提出しなければならない。

- 精確さ
- 適合力 (「一般的な」方法に対するマトリックス、濃度範囲、優先傾向)
- 検出限界
- 測定限界

- precision; repeatability intra-laboratory (within laboratory), reproducibility inter-laboratory (within laboratory and between laboratories), but generated from collaborative trial data rather than measurement uncertainty considerations
- recovery
- selectivity
- sensitivity
- linearity

These terms are defined in the Analytical Terminology for Codex Use (see page ##), as are other terms of importance.

The CCMAS will assess the actual analytical performance of the method which has been determined in its validation. This will take account of the appropriate precision characteristics obtained in collaborative trials which may have been carried out on the method together with results from other development work carried out during the course of the method development. The set of criteria that are developed will form part of the report of the CCMAS and will be inserted in the appropriate Codex Commodity Standard.

In addition, the CCMAS will identify numeric values for the criteria for which it would wish such methods to comply.

ASSESSMENT OF THE ACCEPTABILITY OF THE PRECISION CHARACTERISTICS OF A METHOD OF ANALYSIS

The calculated repeatability and reproducibility values can be compared with existing methods and a comparison made. If these are satisfactory then the method can be used as a validated method. If there is no method with which to compare the precision parameters then theoretical repeatability and reproducibility values can be calculated from the Horwitz equation. (M. Thompson, *Analyst*, 2000, 125, 385-386).

ANALYTICAL TERMINOLOGY FOR CODEX USE

Result: The final value reported for a measured or computed quantity, after performing a measuring procedure including all sub-procedures and evaluations.

Notes:

When a result is given, it should be made clear whether it refers to:

- the indication [signal];

- 精度；

検査機関内の併行精度(検査機関内)、

検査機関間の再現精度(検査機関内及び検査機関間)

- 必要であれば、検討中の測定のための検出限界／測定限界
- 回収率
- 選択性
- 感度
- 直線性

これらの用語は、他の重要な用語とともに、コーデックス使用のための分析用語集（ページ##参照）にて定義されている。

CCMASは、バリデーション（妥当性確認）で測定された方法の実際の性能を評価する。この評価には、方法を開発する過程で実施された他の開発作業の結果とともに実施されたであろうクロスチェック試験で得られた精度特性を考慮する。開発された基準はCCMASの報告書の一部となり、適切な食品規格に挿入される。

さらに、CCMASはそのような方法において遵守させたい基準がある場合は、数値を設定することができる。

分析方法の精度特性の受容性の評価

計算された併行精度及び再現精度のデータを既存の方法と比較する。これらが満足 of いくものである場合、方法は妥当性のあるものとして使用することができる。精度パラメータと比較すべき方法がない場合、理論上の併行精度及び再現精度データはホーウィッツの方程式[Howitz equation]を使って計算する。(M. Thompsonの「Analyst」2000,125,385-386より)。

コーデックスのための分析用語集

「結果(Result)」とは：全ての副次的手続き及び評価を含んだ測定手続きを実施した後の、測定又は算出された最終報告データをいう。

注： 結果が出た場合、次のことを参照しているか否かにかかわらず、その結果を明確にしなければならない：

- 暗示（シグナル）

- the uncorrected result;
- the corrected result; and
- whether several values were averaged.

A complete statement of the result of a measurement includes information about the uncertainty of measurement.

Specificity: The property of a method to respond exclusively to the characteristic or analyte defined in the Codex standard.

Notes:

Specificity may be achieved by many means: It may be inherent in the molecule (e.g., infrared or mass spectrometric identification techniques), or attained by separations (e.g., chromatography), mathematically (e.g., simultaneous equations), or biochemically (e.g., enzyme reactions). Very frequently methods rely on the absence of interferences to achieve specificity (e.g., determination of chloride in the absence of bromide and iodide).

In some cases specificity is not desired (e.g., total fat, fatty acids, crude protein, dietary fibre, reducing sugars).

Accuracy (as a concept): The closeness of agreement between the reported result and the accepted reference value.

Notes:

The term accuracy, when applied to a set of test results, involves a combination of random components and a common systematic error or bias component. When the systematic error component must be arrived at by a process that includes random error, the random error component is increased by propagation of error considerations and is reduced by replication.

Accuracy (as a statistic): The closeness of agreement between a reported result and the accepted reference value.

Notes:

Accuracy as a statistic applies to the single reported final test result; accuracy as a concept applies to single, replicate, or averaged values.

Trueness: The closeness of agreement between the average value obtained from a series of test results and an accepted reference value.

Notes:

The measure of trueness is usually expressed in terms of bias.

Trueness has been referred to as "accuracy of the mean".

- 校正不要の結果、
- 校正済の結果、及び
- 複数の数値が平均化されているか

測定結果の完全な表示は、測定の不確かさに関する情報を含まなければならない。

「特異性」とは：コーデックス規格に規定されている特徴又は測定物質のみに対応した方法特性である。

注： 特異性は多くの手段により測定することが可能である。特異性は、微分子[molecule]に内在している場合もあるし（例；赤外線又は大量光度の識別テクニックなど）、分離によって（例：クロマトグラフ分析法）数学的に（例：連立方程式）得られる場合もあるし、あるいは生化学的に（例：酵素反応）得られる場合もある。非常に頻繁にあることだが、特異性の達成は干渉の欠如によるところが大きい（例；臭化物とヨウ化物がないときは、クロル定量法）。

特異性が望ましくないケースもある（例；総脂質、脂肪性酸、粗蛋白質、植物繊維、還元糖など）

「精確さ」（概念として）；は、報告された結果と採択された参照値の間の近似度を言う。

注： 精確さという用語が一連の試験結果に用いられる場合、偶然要因と共通の系統誤差の要因の組み合わせ又はバイアス要因の双方を含む。系統誤差の要因が系統誤差を含む過程で達成されるとき、偶然誤差の要因は誤差の考慮材料の分布により増大し、反復[replication]によって減少する。

「精確さ」（統計値としての）；報告結果と認容されている参考値の間の一致の程度をいう。

注： 統計上の精確さが単一の報告された最終試験結果に用いられる場合、概念としての精確さは単一の、反復の、又は平均化されたデータをいう。

「真実性」[trueness]とは；一連の試験結果によって得られる平均値と認容されている参考値の間の近似をいう。

注： 真実性の測定は、通常バイアスの見地から表示される
真実性は「平均精度[reference value]」とも呼ばれている。

Bias: The difference between the expectation of the test results and an accepted reference value.

Notes:

Bias is the total systematic error as contrasted to random error. There may be one or more systematic error components contributing to bias. A larger systematic difference from the accepted reference value is reflected by a larger bias value.

When the systematic error component(s) must be arrived at by a process that includes random error, the random error component is increased by propagation of error considerations and reduced by replication.

Precision: The closeness of agreement between independent test results obtained under stipulated conditions.

Notes:

Precision depends only on the distribution of random errors and does not relate to the true value or to the specified value.

The measure of precision is usually expressed in terms of imprecision and computed as a standard deviation of the test results. Less precision is reflected by a larger standard deviation.

“Independent test results” means results obtained in a manner not influenced by any previous result on the same or similar test object. Quantitative measures of precision depend critically on the stipulated conditions. Repeatability and reproducibility conditions are particular sets of extreme conditions.

Repeatability [Reproducibility]: Precision under repeatability [reproducibility] conditions.

Repeatability conditions: Conditions where independent test results are obtained with the same method on identical test items in the same laboratory by the same operator using the same equipment within short intervals of time.

Reproducibility conditions: Conditions where test results are obtained with the same method on identical test items in different laboratories with different operators using different equipment.

Notes:

When different methods give test results that do not differ significantly, or when different methods are permitted by the design of the experiment, as in a proficiency study or a material-certification study for the establishment of a consensus value of a reference material, the term “reproducibility” may be applied to the resulting parameters. The conditions must be explicitly stated.

「バイアス」とは；試験結果の期待値と採択された参考値の間の相違をいう。

注： バイアスは偶然誤差との対比で完全に系統誤差である。バイアスの原因となる要因はひとつ以上の系統誤差の可能性がある。採択された参照値との系統相違が大きければ大きいほど、バイアス値も大きくなる。

系統誤差の要因が偶然誤差を含む過程で発生する場合は、偶然誤差の要因は誤差の考慮材料の分布によって増大し、また反復によって減少する。

「精度」とは；（同一試料に対する）定められた条件のもとで得られる独立の測定結果の一致の程度をいう。

注： 精度は偶然誤差の分布にのみ依存し、真の値や特定の値には関係しない。

精度の測定は、通常、不精密[imprecision]の観点から表現され、測定結果の標準偏差として計算される。標準偏差が大きければ大きいほど、それだけ精度も落ちる。

「独立な測定結果」とは、同一若しくは類似した測定対象物の過去の測定結果の影響を受けない測定結果のことをいう。精度の定量的観測は、定められた条件に決定的に依存する。極端な条件は併行精度及び再現精度である。

「併行精度（再現精度）」とは；併行精度（再現精度）の条件下での精度をいう。

「併行条件[repeatability conditions]」とは；同一試料の測定において、研究機関・方法・実験者・装置が同一で、かつ短い間隔で実施して得られる独立な測定結果の条件をいう。

「再現条件[reproducibility conditions]」とは；同一試料の測定において、方法は同一だが、異なる実験者・装置を用いて実施して得られる測定結果の条件をいう。

注： 研究所実施研究[proficiency study]や物質証明[material-certification]を用いて合意値又は参照資料を設置しようとする際に、異なる方法で試験を行った結果に重大な差異がない場合、又は異なる実験手法が認められている場合、「併行精度」という用語は結果としてのパラメータに適用することができる。この条件は明確に記述されなければならない。

Repeatability [Reproducibility] standard deviation: The standard deviation of test results obtained under repeatability [reproducibility] conditions.

Notes:

Repeatability [Reproducibility] standard deviation is a measure of the dispersion of the distribution of test results under repeatability [reproducibility] conditions.

Similarly “repeatability [reproducibility] variance” and “repeatability [reproducibility] coefficient of variation” could be defined and used as measures of the dispersion of test results under repeatability [reproducibility] conditions.

Repeatability [Reproducibility] limit: The value less than or equal to which the absolute difference between two test results obtained under repeatability [reproducibility] conditions may be expected to be with a probability of 95%.

Notes:

The symbol used is r [R].

When examining two single test results obtained under repeatability [reproducibility] conditions, the comparison should be made with the repeatability [reproducibility] limit r [R] = 2.8 sr[sR] .

When groups of measurements are used as the basis for the calculation of the repeatability [reproducibility] limits (now called the critical difference), more complicated formulae are required that are given in ISO 5725-6:1994, 4.2.1 and 4.2.2.

Interlaboratory Study: A study in which several laboratories measure a quantity in one or more “identical” portions of homogeneous, stable materials under documented conditions, the results of which are compiled into a single document.

Notes:

The larger the number of participating laboratories, the greater the confidence that can be placed in the resulting estimates of the statistical parameters. The IUPAC-1987 protocol (Pure & Appl. Chem., **66**, 1903-1911(1994)) requires a minimum of eight laboratories for method-performance studies.

Method-Performance Study: An interlaboratory study in which all laboratories follow the same written protocol and use the same test method to measure a quantity in sets of identical test samples. The reported results are used to estimate the performance characteristics of the method. Usually these characteristics are within-laboratory and among-laboratories precision, and when necessary and possible, other pertinent characteristics such as systematic

「併行精度（再現精度）標準偏差」とは；併行条件（又は再現条件）のもとで得られる測定結果の標準偏差をいう。

注： 併行精度（又は再現精度）標準偏差は、併行条件（又は再現条件）における測定結果の分布分散の指標である。

同様に、「併行精度（又は再現精度）の分散[variance]」及び「反復（又は回収率）の変動係数は定義され、併行条件（又は再現条件）における測定結果の分散の指標として使用される。

「併行許容差[repeatability limit]」とは、併行条件（又は再現条件）下におけるふたつの測定結果の絶対差異[difference]以下であるかそれと同一であるところの値は、確率95%以内であることが求められる。

注： 記号は $r[R]$ を使用する。

併行条件（又は再現条件）下でのふたつの単一試験結果を検査するとき、並行（又は再現）許容差 $r[R]=2.8sr[sR]$ で比較しなければならない。

複数の測定群が併行条件（又は再現条件）（それらを決定的差異と総称する）の計算の基として使用される場合、ISO 5725-6:1994, 4.2.1及び4.2.2で規定の通り、さらに複雑な公式が必要となる。

「検査機関内研究」とは；複数の検査機関が均質で安定したひとつ以上の材料の同一の部分の量を書式化された条件で測定する研究のことで、その結果はひとつのドキュメントにまとめられる。

注： 参加検査機関が多ければ多いほど、統計パラメータの結果となる推定値に対する信頼度は増す。IUPAC-1987プロトコール[protocol] (Pure & Appl. Chem., 66, 1903-1911(1994)) によると、方法性能研究 [Method-Performance Study] には少なくとも8検査機関の参加を要する。

「方法性能研究」とは；全ての検査機関が同一の試料群について定量測定をする場合、同一の記載されたプロトコールに従い、同一の試験方法を使用することをいう。報告された測定値は方法の性能特性を見積もるために使用される。通常これらの特性は検査機関内または検査機関間における精度であり、必要又は可能な場合、系統誤差、回収率、内部品質管理パラメータ[internal quality control parameters]、敏感度、測定限界及び適合性などの関連特性である。

error, recovery, internal quality control parameters, sensitivity, limit of determination, and applicability.

Notes:

The materials used in such a study of analytical quantities are usually representative of materials to be analyzed in actual practice with respect to matrices, amount of test component (concentration), and interfering components and effects. Usually the analyst is not aware of the actual composition of the test samples but is aware of the matrix.

The number of laboratories, number of test samples, number of determinations, and other details of the study are specified in the study protocol. Part of the study protocol is the procedure which provides the written directions for performing the analysis.

The main distinguishing feature of this type of study is the necessity to follow the same written protocol and test method exactly.

Several methods may be compared using the same test materials. If all laboratories use the same set of directions for each method and if the statistical analysis is conducted separately for each method, the study is a set of method-performance studies. Such a study may also be designated as a method-comparison study.

Laboratory-Performance (Proficiency) Study: An interlaboratory study that consists of one or more measurements by a group of laboratories on one or more homogeneous, stable, test samples by the method selected or used by each laboratory. The reported results are compared with those from other laboratories or with the known or assigned reference value, usually with the objective of improving laboratory performance.

Notes:

Laboratory-performance studies can be used to support accreditation of laboratories or to audit performance. If a study is conducted by an organization with some type of management control over the participating laboratories—organizational, accreditation, regulatory, or contractual—the method may be specified or the selection may be limited to a list of approved or equivalent methods. In such situations, a single test sample is insufficient to judge performance.

A laboratory-performance study may be used to select a method of analysis that will be used in a method-performance study. If all laboratories, or a sufficiently large subgroup, of laboratories, use the same method, the study may also be interpreted as a method-performance study, provided that the test samples cover the range of concentration of the analyte.

注： そのような分析量の研究に使用される材料は、通常マトリクス、試験成分[component]（濃度）量及び干渉成分・干渉効果に関する実際の慣行において分析される材料の代表的なものである。分析者が実際の試験サンプルの構成を知らないが、マトリクスについては知っているということが通常である。

検査機関数、試験サンプル数、測定数[number of determinations]及び試験についての他の詳細は研究プロトコルのなかで特定されている。研究プロトコルの一部には、分析実施にあたっての指示が手続きとして記載されている。

この類型の研究の主な特徴は、同一の記述されたプロトコル及び試験方法に正確に従う必要があるということである。

同一試験材料を用いた複数の方法が比較されることもある。もし全ての検査機関が各方法に同じ一連の指示を使用し、各方法について個別の異なる統計分析が実施された場合、その研究は一連の方法性能研究といえる。そのような研究は方法比較研究として指名されることもある。

「検査機関性能（熟達[Proficiency]）研究」とは；各検査機関で選択されたもしくは使用された方法により一つ以上の均質で安定した試験サンプルについて検査機関群が実施したひとつ以上の測定値で構成される検査機関間の研究のことである。測定結果は、多くの場合検査機関性能の向上を目的として、他の検査機関の測定結果又は基地のもしくは指定された参照値と比較される。

注： 検査機関性能研究は、検査機関の認定をサポートするため、又は性能を監査するために使用することができる。参加検査機関に対して運営上の支配力—組織上の、認定上の、法規制上の、又は契約上の支配力など—を持つ組織がこの研究を行う場合、その方法が指定又は承認されたもしくは同等の方法のリストに制限を加えるような選択がされる可能性がある。そのような状況においては、単一の試験サンプルでは性能を評価するのに不十分である。

検査機関性能研究は、方法性能研究に用いられる分析方法の選定に使用される場合もある。全ての検査機関又はそのうちで必要十分な数の検査機関が同一の方法を使用する場合、試験サンプルが被分析物濃度範囲を網羅しているという条件で、研究は方法性能研究とみなされる場合もある。単一の組織に属するが独立した施設、機器、検量装置などを有する複数の検査機関は、それぞれがひとつの検査機関とみなされる。

Laboratories of a single organization with independent facilities, instruments, and calibration materials, are treated as different laboratories.

Material-Certification Study: An interlaboratory study that assigns a reference value ("true value") to a quantity (concentration or property) in the test material, usually with a stated uncertainty.

Note:

A material-certification study often utilizes selected reference laboratories to analyze a candidate reference material by a method(s) judged most likely to provide the least-biased estimates of concentration (or of a characteristic property) and the smallest associated uncertainty.

Applicability: The analytes, matrices, and concentrations for which a method of analysis may be used satisfactorily to determine compliance with a Codex standard.

Note:

In addition to a statement of the range of capability of satisfactory performance for each factor, the statement of applicability (scope) may also include warnings as to known interference by other analytes, or inapplicability to certain matrices and situations.

Sensitivity: Change in the response divided by the corresponding change in the concentration of a standard (calibration) curve; i.e., the slope, s_i , of the analytical calibration curve.

Note:

This term has been used for several other analytical applications, often referring to capability of detection, to the concentration giving 1% absorption in atomic absorption spectroscopy, and to ratio of found positives to known, true positives in immunological and microbiological tests. Such applications to analytical chemistry should be discouraged.

A method is said to be sensitive if a small change in concentration, c , or quantity, q , causes a large change in the measure, x ; that is, when the derivative dx/dc or dx/dq is large.

Although the signal may vary with the magnitude of c_i or q_i , the slope, s_i , is usually constant over a reasonable range of concentrations. s_i may also be a function of the c or q of other analytes present in the sample.

Ruggedness: The ability of a chemical measurement process to resist changes in results when subjected to minor changes in environmental and procedural variables, laboratories, personnel, etc.

「物質認可研究[material certification study]」とは；通常、記述された不確かさを加味して、試験材料中の参照値（「真の値」）を分量（濃度又は属性[property]）に代入する研究をいう。

注： 物質認可研究は、最も偏りの少ない濃度（又は特徴的属性）及び最も不確かさの少ない濃度推定値を提供しそうな方法を用いて候補となる参照物質を分析するよう選定された関連検査機関を利用することがしばしばある。

「適合性」とは；コーデックス規格に順守しているか測定するため、分析方法が十分に使用されているところの被分析物、マトリクス及び濃度をいう。

注： 各要因の満足のいく性能の幅の記述に加え、他の被分析物または特定のマトリクスもしくは状態への不適合についての既知の適合性（範囲）の記述も警告に加えられるかもしれない。

「感度」とは；規格（検量）曲線[*curve*]の濃度中の対応する変化によって分けられる反応の変化、例えば傾き[*slope*]、分析検量曲線の s_i などをいう。

注： この用語は従来他の複数の分析アプリケーションに用いられ、しばしば検出能力、原子吸収分光学における1%の吸収を発生せしめる濃度、免疫学的又は微生物学的な試験において正数であると知られるようになった率のことを意味する場合に使用されてきた。この用語を分析化学においてそのような意味で使用することは控えるべきである。

濃度（ c ）、又は分量（ q ）中のわずかな変化によって測定（ x ）中で大きな変化が引き起こされる場合、方法は感度があるという。すなわち、誘導体[*derivative*] dx/dc 又は dx/dq は大きいという。

シグナルは c_i 又は q_i の大きさにより変動するが、かたむき[*slope*] s_i は合理的な濃度範囲では通常一定に保たれる。 s_i はまた存在する他の被分析物の c 又は q の作用[*function*]である場合もある。

「耐久性[Ruggedness]」とは；化学の測定プロセスにおいて環境上及び手続き上の変数や施設・人員などの軽微な変化があった場合、結果の中の変化抵抗能力のことをいう。

TERMS TO BE USED IN THE CRITERIA APPROACH

Detection Limit: The detection limit is conventionally defined as field blank + 3σ , where σ is the standard deviation of the field blank value signal (IUPAC definition).

However, an alternative definition which overcomes most of the objections to the above approach (i.e. the high variability at the limit of measurement can never be overcome) is to base it on the rounded value of the reproducibility relative standard deviation when it goes out of control (where $3\sigma_R = 100\%$; $\sigma_R = 33\%$, rounded to 50% because of the high variability). Such a value is directly related to the analyte and to the measurement system and is not based on the local measurement system.

Determination limit: As for detection limit except that 6σ or 10σ is required rather than 3σ .

However, an alternative definition that corresponds to that proposed for the detection limit is to use $\sigma_R = 25\%$. This value does not differ much from that assigned to the detection limit because the upper limit of the detection limit merges indistinguishably into the lower limit of the determination limit.

Recovery: Proportion of the amount of analyte present or added to the test material which is extracted and presented for measurement.

Selectivity: Selectivity is the extent to which a method can determine particular analyte(s) in mixtures or matrices without interferences from other components.

Selectivity is the recommended term in analytical chemistry to express the extent to which a particular method can determine analyte(s) in the presence of interferences from other components. Selectivity can be graded. The use of the term specificity for the same concept is to be discouraged as this often leads to confusion.

Linearity: The ability of a method of analysis, within a certain range, to provide an instrumental response or results proportional to the quantity of analyte to be determined in the laboratory sample. This proportionality is expressed by an a priori defined mathematical expression. The linearity limits are the experimental limits of concentrations between which a linear calibration model can be applied with a known confidence level (generally taken to be equal to 1%).

基準アプローチにおいて使用される用語

「検出限界」とは；従来 σ がフィールドブランク[field blank]の標準偏差値のシグナル（IUPAC 定義による）の標準偏差である場合に、フィールドブランク $+3\sigma$ と定義されている。

しかし、上記のアプローチに対する異論を克服することのできる代替的な定義（例えば、測定限界における高い変動性は決して克服することはできない）は、再現精度関係の標準偏差が制御不能になった場合、その値の端数を切り捨てることをベースにしている（例えば、 $3\sigma_r=100\%$ ； $\sigma_r=33\%$ の場合、変動性が高いため、50%に切り捨てる）。そのような値は直接被分析物及び測定システムに関係し、ローカルな測定システムをベースにはしていない。

「測定限界」とは； 3σ ではなく、むしろ 6σ 又は 10σ が要求される場合の検出限界をいう。

しかし、検出限界のために提案されるそれに対応する代替的な定義では、 $\sigma_r=25\%$ を用いる。実際は検出限界の上限は測定限界の下限と区別のつかないくらいのところで出現するので、この値は検出限界に割り当てられた値とはそれほど異ならない。

「回収率」とは；試験材料に存在している、または付加された被分析物の量の比率をいい、測定のために抽出され提示される。

「選択性」とは；他の成分に干渉されない混合物中の特定の被分析物又はマトリクスを

選択性は、他の成分からの干渉のあるところで被分析物を測定する特定のの方法の範囲をあらわすのに用いられる分析化学上推奨される用語である。選択性は段階に分けられる。しばしば混乱を招くので、同じ概念で特異性という用語を用いることはひかえるべきである。

「直線性[linearity]」とは；一定範囲における分析方法の計測反応や、検査機関のサンプルで測定される被分析物の質に対する比例する結果を提供する能力のことである。この比例は先験的に定義された数式であらわされる。直線性限度は、既知の信頼度水準（一般的に1%に等しいとされている）で直線検量モデルを適用することができる濃度の実験的な限界である。

PRINCIPLES FOR THE ESTABLISHMENT OR SELECTION OF CODEX SAMPLING PROCEDURES

PURPOSE OF CODEX METHODS OF SAMPLING

Codex Methods of Sampling are designed to ensure that fair and valid sampling procedures are used when food is being tested for compliance with a particular Codex commodity standard. The sampling methods are intended for use as international methods designed to avoid or remove difficulties which may be created by diverging legal, administrative and technical approaches to sampling and by diverging interpretation of results of analysis in relation to lots or consignments of foods, in the light of the relevant provision(s) of the applicable Codex standard.

METHODS OF SAMPLING

Types of Sampling Plans and Procedures

(a) Sampling Plans for Commodity Defects:

These are normally applied to visual defects (e.g. loss of colour, mis-graded for size, etc.) and extraneous matter. They will normally be attributes plans, and plans such as those included in the *FAO/WHO Codex Alimentarius Sampling Plans for Prepackaged Foods (AQL 6.5)*¹⁵ may be applied.

(b) Sampling Plans for Net Contents:

These are sampling plans which apply to pre-packaged foods generally and are intended to serve to check compliance of lots or consignments with provisions for net contents.

(c) Sampling Plans for Compositional Criteria:

Such plans are normally applied to analytically determined compositional criteria (e.g., loss on drying in white sugar, etc.). They are predominantly based on variable procedures with unknown standard deviation.

(d) Specific Sampling Plans for Health-related Properties:

Such plans are generally applied to heterogeneous conditions, e.g., in the assessment of microbiological spoilage, microbial by-products or sporadically occurring chemical contaminants.

¹⁵ Codex Alimentarius: Volume 13.

コーデックスサンプリング方法の設定または選定の原則

コーデックスのサンプリング方法の目的

コーデックスのサンプリング方法[Codex Methods of Sampling]は食品の特定のコーデックス食品別規格への適合を試験するとき用いられる。このサンプリング方法はサンプリングの異なる法的、行政上及び技術的アプローチによる問題点、または適用されるコーデックス食品規格の関連規定(単数または複数)に対するロット、若しくは積荷に関する分析結果の異なる解釈により生じる問題点を避け、若しくは排除するための国際的な方法として、用いることを目的としている。

サンプリング方法

サンプリング方法の種類及び手順

(a)食品の欠陥に関するサンプリング方法

この方法は通常、外観上の欠陥(例えば、退色、大きさの分類の相違など)及び異物に対して適用される。サンプリング法は通常、属性方法[attribute plan]であり、包装食品についてのコーデックス食品規格サンプリング手法[FAO/WHO Codex Alimentarius Sampling Plans for Packaged Foods] (AQL 6.5)¹⁵ に記載されているような方法を用い得る。

¹⁵ コーデックス食品規格： 第13版

(b)正味内容量に関するサンプリング方法

これらのサンプリング方法は包装食品全般に適用される方法で、ロットまたは積荷の正味内容量の規定への適合をチェックするため用いるものである。

(c)組成の基準に関するサンプリング方法

この方法は通常、分析により測定される組成の基準に適用される(例えば、精糖の乾燥による重量減など)。これらの方法は未知の標準偏差の異なる多くの方法に顕著に基づく。

(d)健康に関わる性質に関する特異的なサンプリング方法

これらのサンプリング方法は不均質状態[heterogeneous conditions]、例えば、微生物による汚染、微生物の副生成物または偶発的に起こる化学的な汚染物質に一般に適用される。

General Instructions for the Selection of Methods of Sampling

(a) Official methods of sampling as elaborated by international organizations occupying themselves with a food or a group of foods are preferred. Such methods, when attracted to Codex standards, may be revised using Codex recommended sampling terms (to be elaborated).

(b) The appropriate Codex Commodity Committee should indicate, before it elaborates any sampling plan, or before any plan is endorsed by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling, the following:

- (i) the basis on which the criteria in the Codex Commodity standards have been drawn up (e.g. whether on the basis that every item in a lot, or a specified high proportion, shall comply with the provision in the standard or whether the average of a set of samples extracted from a lot must comply and, if so, whether a minimum or maximum tolerance, as appropriate, is to be given);
- (ii) whether there is to be any differentiation in the relative importance of the criteria in the standards and, if so, what is the appropriate statistical parameter each criterion should attract, and hence, the basis for judgement when a lot is in conformity with a standard.

(c) Instructions on the procedure for the taking of samples should indicate the following:

- (i) the measures necessary in order to ensure that the sample taken is representative of the consignment or of the lot;
- (ii) the size and the number of individual items forming the sample taken from the lot or consignment;
- (iii) the administrative measures for taking and handling the sample.

(d) The sampling protocol may include the following information:

- (i) the statistical criteria to be used for acceptance or rejection of the lot on the basis of the sample;
- (ii) the procedures to be adopted in cases of dispute.

GENERAL CONSIDERATIONS

(a) The Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling should maintain closest possible relations with all interested organizations working on methods of analysis and sampling.

サンプリング方法の選定の一般的な指針

(a) 食品または一群の食品に関与している国際的な組織により作成された公式なサンプリング方法が望ましい。コーデックス食品規格にとり入れられるときは、これらの方法を現コーデックスが勧めている(作成される予定の)用語を用い、修正することができる。

(b) サンプリング方法の作成前または何らかの分析方法が分析・サンプリング法規格部会で承認される前に、該当する食品別規格部会は次の点を明らかにすべきである。すなわち、

(i)コーデックス食品別規格中の基準が作成されたときの根拠(例えば、ロット中のすべての製品または定められた高い比率の製品が基準中の規定に適合しなければならないか否か、または1つのロットから抽出した1群のサンプルの平均値が適合しなければならないか否か、及びそのときには、最低値または最高値の許容限度[tolerance]のいずれかに該当するものが示されているべきか否か)；

(ii)規格中の基準の相対的な重要度に何らかの差が存在するか否か及びもし差が存在するときには、各基準に入れるべき妥当な統計学上の基準が何であるか、及びあるロットが規格に適合しているとの判断の根拠。

(c)サンプル採取の手順の指示書は以下のことを明らかにすべきである。すなわち、

- (i)採取したサンプルが積荷またはロットを代表していると保証するため必要な措置；
- (ii)ロットまたは積荷から採取されたサンプルを形成する個々の品物の大きさ及び数；
- [(iii)サンプルの採取及び取り扱いに関する行政措置。

(d)サンプリング法のプロトコールには次の情報を含めても差し支えない。すなわち、

- (i)サンプルに基づくロットの受入または拒否のため用いる統計学上の基準；
- (ii)論争のとき、用いられる手順；

一般的検討

(a)分析・サンプリング法規格部会は、分析及びサンプリング方法につき作業を行っているすべての関係機関とできるだけ密接な関係を保持すべきである。

- (b) The Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling should organize its work in such a manner as to keep under constant review all methods of analysis and sampling published in the Codex Alimentarius.
- (c) In the Codex methods of analysis, provision should be made for variations in reagent concentrations and specifications from country to country.
- (d) Codex methods of analysis which have been derived from scientific journals, theses, or publications, either not readily available or available in languages other than the official languages of FAO and WHO, or which for other reasons should be printed in the Codex Alimentarius *in extenso*, should follow the standard layout for methods of analysis as adopted by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling.
- (e) Methods of analysis which have already been printed as official methods of analysis in other available publications and which are adopted as Codex methods need only be quoted by reference in the Codex Alimentarius.

(b)分析・サンプリング法規格部会は、コーデックス食品規格集に公表されたすべての分析及びサンプリング方法を常時、再評価している状態に保てるよう作業を組織的に行うべきである。

(c)コーデックス分析方法は、国ごとにおける試薬の濃度及び規格の変動に対する規定を設けるべきである。

(d)学術雑誌、論文、刊行物から引用されたコーデックス分析方法で、これらの学術雑誌、論文、刊行物のいずれもが容易には入手できない若しくはFAOまたはWHOの公用語以外の言語でしか入手できないとき、またはその他の理由のためコーデックス食品規格集に詳細に記載される必要のあるときは、分析・サンプリング法規格部会により採用されている分析方法の記述方法に従い、記述されるべきである。

(e)他の入手可能な刊行物中に公式な分析方法としてすでに記載されている分析方法及びコーデックスの方法として用いられている方法は、コーデックス食品規格集に所在を明らかにし、引用すれば十分である。

UNIFORM SYSTEM OF REFERENCES FOR CODEX DOCUMENTS

In referencing Codex documents, the Document Reference given in the table below appear first, followed by the year in which the session will be held, the session number, and finally the consecutive number of the document.

For example, documents prepared for the 20th session of the Codex Committee on General Principles meeting in 2004, are identified by the series CX/GP 04/20/1, 2, 3 etc.

Prior to 2003, most documents are identified by the Document Reference, year, and series number only (except for the Executive Committee).

Statutory Body	Document Reference
Codex Alimentarius Commission	ALINORM
Executive Committee	CX/EXEC
Codex Committees	
General Principles	CX/GP
Food Additives and Contaminants	CX/FAC
Food Hygiene	CX/FH
Food Labelling	CX/FL
Methods of Analysis and Sampling	CX/MAS
Pesticide Residues	CX/PR
Residues of Veterinary Drugs in Foods	CX/RVDF
Food Import and Export Inspection and Certification Systems	CX/FICS
Nutrition and Foods for Special Dietary Uses	CX/NFSDU
Cereals, Pulses and Legumes	CX/CPL
Cocoa Products and Chocolate	CX/CPC

コーデックス文書の参照を容易にする統一システム

コーデックス文書の参照を容易にするため、以下の文書上の参照記号が最初に記載され、次に会議の開催年、開催回数、最後に当該文書の続き番号が記載される。

たとえば、2004年開催の第20回コーデックスの一般原則委員会会議用に作成された文書は、CX/GP 04/20/1, 2, 3などのように特定される。

2003年以前は、ほとんど全ての文書は文書上の参照記号、開催年、続き番号のみの表記であった(執行委員会を除く)。

規約上の機関名

文書上の参照記号

コーデックス食品規格委員会
執行委員会

--- ALINORM
--- CX/EXEC

コーデックス規格部会

一般原則
食品添加物・汚染物質
食品衛生
食品表示
分析・サンプリング法
残留農薬
残留動物用医薬品
食品輸出入検査及び認証制度
栄養・特殊用途食品
穀類、豆類
ココア製品・チョコレート

--- CX/GP
--- CX/FAC
--- CX/FH
--- CX/FL
--- CX/MAS
--- CX/PR
--- CX/RVDF
--- CX/FICS
--- CX/NFSDU
--- CX/CPL
--- CX/CPC

Statutory Body	Document Reference
Fats and Oils	CX/FO
Fish and Fishery Products	CX/FFP
Milk and Milk Products	CX/MMP
Meat and Poultry Hygiene	CX/MPH
Natural Mineral Waters	CX/NMW
Processed Fruits and Vegetables	CX/PFV
Sugars	CX/S
Vegetable Proteins	CX/VP
Fresh Fruits and Vegetables	CX/FFV
Regional Coordinating Committees	
Coordinating Committee for Africa	CX/AFRICA
Coordinating Committee for Asia	CX/ASIA
Coordinating Committee for Europe	CX/EURO
Coordinating Committee for Latin America and the Caribbean	CX/LAC
Coordinating Committee for the Near East	CX/NEA
Coordinating Committee for North America and the South West Pacific	CX/NASWP
<i>Ad hoc</i> Intergovernmental Task Forces	
Fruit Juices	CX/FJ
Animal Feeding Practices	CX/AF
Statutory Bodies Abolished or Dissolved	
(for archival reference only)	
<i>Ad hoc</i> Intergovernmental Task Force on Foods	CX/FBT

規約上の機関名

文書上の参照記号

油脂	----	CX/FO
魚類・水産製品	----	CX/FFP
乳・乳製品	----	CX/MMP
食肉・食鳥肉衛生	----	CX/MPH
ナチュラルミネラルウォーター	----	CX/NMW
加工果実・野菜	----	CX/PFV
糖類	----	CX/S
植物タンパク	----	CX/VP
生鮮果実・野菜	----	CX/FFV

地域調整委員会

アフリカ地域調整委員会	----	CX/AFRICA
アジア地域調整委員会	----	CX/ASIA
ヨーロッパ地域調整委員会	----	CX/EURO
ラテンアメリカ・カリブ海地域調整委員会	----	CX/LAC
近東地域調整委員会	----	CX/NEA
北アメリカ・南西太平洋地域調整委員会	----	CX/NASWP

特別の非政府間タスクフォース（特別部会）

果汁	----	CX/FJ
動物用飼料	----	CX/AF

廃止又は解散した規約上の機関（委託事項の完了による）

バイオテクノロジー応用食品	----	CX/FBT
---------------	------	--------

Statutory Body	Document Reference
derived from Biotechnology	
Codex Committee on Edible Ices	CX/IE
Codex Committee on Soups and Broths	CX/SB
Codex Committee on Processed Meat and Poultry Products	CX/PMPP
Joint ECE/Codex Alimentarius Group of Experts on the Standardization of Fruit Juices	CX/FJ
Joint ECE/Codex Alimentarius Group of Experts on the Standardization of Quick Frozen Foods	CX/QFF

規約上の機関名

文書上の参照記号

食用氷	---	CX/EI
スープ・ブロス	---	CX/SB
加工食肉・食鳥肉製品	---	CX/PMPP
果汁の規格化に関する ECE/CAC 専門家会議	---	CX/FJ
急速冷凍食品の規格化に関する ECE/CAC 専門家会議	---	CX/QFF

FORMAT FOR CODEX COMMODITY STANDARDS

INTRODUCTION

The Format is also intended for use as a guide by the subsidiary bodies of the Codex Alimentarius Commission in presenting their standards, with the object of achieving, as far as possible, a uniform presentation of commodity standards. The Format also indicates the statements which should be included in standards as appropriate under the relevant headings of the standard. The sections of the Format require to be completed in a standard only insofar as such provisions are appropriate to an international standard for the food in question.

NAME OF THE STANDARD**SCOPE****DESCRIPTION****ESSENTIAL COMPOSITION AND QUALITY FACTORS****FOOD ADDITIVES****CONTAMINANTS****HYGIENE****WEIGHTS AND MEASURES****LABELLING****METHODS OF ANALYSIS AND SAMPLING****NOTES ON THE HEADINGS****NAME OF THE STANDARD**

The name of the standard should be clear and as concise as possible. It should usually be the common name by which the food covered by the standard is known or, if more than one food is dealt with in the standard, by a generic name covering them all. If a fully informative title should be inordinately long, a subtitle could be added.

SCOPE

This section should contain a clear, concise statement as to the food or foods to which the standard is applicable unless this is self-explanatory in the name of the standard. In the case of a general standard covering more than one specific

コーデックス食品別規格の書式

序文

この書式は、コーデックス食品規格委員会の下部機関が、可能な限り食品規格の統一表示を達成することを目標として、その規格を表す際に手引きとして使用するためのものでもある。さらに、規格の関連表題の下に、必要に応じて規格に含めるべき文章を表示してある。本書式の各項は、かかる規定が懸案の食品に関する国際規格に適したものである限り、規格の中に入れる必要がある。

規格の名称

範囲

説明

必須組成及び品質要件

食品添加物

汚染物質

衛生

重量及び分量

表示

分析及びサンプリング法

表題に関する注釈

規格の名称

規格の名称は明確で、できる限り簡潔なものとする。通常は、規格の対象となっている食品につけられた一般的な名称であり、規格に複数の食品がある場合は、それらすべてを総称して呼ぶ名称とする。十分に内容を表すような表題にすると長すぎる場合は、副題を付けるとよい。

範囲

本項は、規格の名称だけでは明白でない場合に限り、規格の適用が可能な食品(単数または複数)に関する明確で簡潔な文章を記載するものとする。複数の特定食品を対象としている一般規格の

product, it should be made clear as to which specific products the standard applies.

DESCRIPTION

This section should contain a definition of the product or products with an indication, where appropriate, of the raw materials from which it is derived and any necessary references to processes of manufacture. It may also include references to types and styles of product and to type of pack. There may also be additional definitions when these are required to clarify the meaning of the standard.

ESSENTIAL COMPOSITION AND QUALITY FACTORS

This section should contain all quantitative and other requirements as to composition including, where necessary, identity characteristics, provisions on packing media and requirements as to compulsory and optional ingredients. It should also include quality factors which are essential for the designation, definition or composition of the product concerned. Such factors could include the quality of the raw material, with the object of protecting the health of the consumer, provisions on taste, odour, colour and texture which may be apprehended by the senses, and basic quality criteria for the finished products, with the object of preventing fraud. This section may refer to tolerances for defects, such as blemishes or imperfect material, but this information should be contained in an appendix to the standard or in another advisory text.

FOOD ADDITIVES

This section should contain the names of the additives permitted and, where appropriate, the maximum amount permitted in the food. It should be prepared in accordance with guidance given on page 96 and may take the following form:

"The following provisions in respect of food additives and their specifications as contained in section of the Codex Alimentarius are subject to endorsement [have been endorsed] by the Codex Committee on Food Additives and Contaminants."

Then should follow a tabulation, viz.:

"Name of additive, maximum level (in percentage or mg/kg)."

場合、その規格がどの特定食品に適用されるかを、明確にしなければならない。

説明

本項は、食品(単数または複数)の定義を記載するものとする。また、必要に応じてその食品の原材料表示及び製造工程に関する必要な言及などを付記すること。さらに、食品の種類及び形態、並びに包装の種類に関する言及も記載される場合がある。規格の趣意を明らかにするために必要であれば、補足定義も記載する。

必須組成及び品質要件

本項は、構成要素に関するすべての量的及びその他の必要条件を記載するものとする。構成要素には、必要に応じて一致特性、包装媒体に関する規定、及び必須並びに任意の成分に関する必要条件が含まれる。また、関連食品の指定、定義、または構成要素に必要な不可欠な品質要件も含んでいるものとする。これらの要件には、消費者の健康を保護する目的を伴う原材料の品質、感覚によって察知される味、におい、色、感触などに関する規定、及び不正手段を防止する目的を伴う最終食品の基本的な品質基準などが含まれる場合がある。本項では、きずや材料に欠陥のある不良品の許容範囲に言及する場合もあるが、この情報は規格の付録部分または別の勧告文書に記載すべきものである。

食品添加物

本項は、認可されている添加物の名称と、必要に応じて、食品への使用を許可されている最高限度を記載するものとする。これは、原文96ページに示す手引きに従って作成しなければならず、以下のような形式をとることができる。

「コーデックス食品規格集の.....項に記載されている食品添加物及びその規格に関する下記規定は、食品添加物・汚染物質規格部会の承認を受けなければならない(承認を受けたものである)。」

次に、次のような表を続けなければならない。

「添加物の名称、最高限度(%またはmg/kg)」

CONTAMINANTS***Pesticide Residues:***

This section should include, by reference, any levels for pesticide residues that have been established by the Codex Alimentarius Commission for the product concerned.¹⁶

Other Contaminants:

In addition, this section should contain the names of other contaminants and where appropriate the maximum level permitted in the food, and the text to appear in the standard may take the following form:

"The following provisions in respect of contaminants, other than pesticide residues, are subject to endorsement [have been endorsed] by the Codex Committee on Food Additives and Contaminants."

Then should follow a tabulation, viz.:

"Name of contaminant, maximum level (in percentage or mg/kg)."

HYGIENE

Any specific mandatory hygiene provisions considered necessary should be included in this section. They should be prepared in accordance with the guidance given on page 97. Reference should also be made to applicable codes of hygienic practice. Any parts of such codes, including in particular any end-product specifications, should be set out in the standard, if it is considered necessary that they should be made mandatory. The following statement should also appear:

"The following provisions in respect of the food hygiene of this product are subject to endorsement [have been endorsed] by the Codex Committee on Food Hygiene."

WEIGHTS AND MEASURES

This section should include all provisions, other than labelling provisions, relating to weights and measures, e.g. where appropriate, fill of container, weight, measure or count of units determined by an appropriate method of sampling and analysis. Weights and measures should be expressed in S.I. units. In the case of standards which include provisions for the sale of products in standardized amounts, e.g. multiples of 100 grams, S.I. units should be used, but

¹⁶ N.B. This Procedure has not been followed for practical reasons. Codex maximum limits for pesticide residues are published separately in Volume 2 of the *Codex Alimentarius*.

汚染物質

残留農薬

本項は、残留農薬に関するコーデックス食品規格委員会が設定した、関係製品についての残留農薬基準値を、参考として記載するものとする。¹⁶

¹⁶ 注意：実施上の理由から、この手続きには従っていない。コーデックス最大残留基準値は、コーデックス食品規格集の第2巻として、別に発行されている。

その他汚染物質

さらに、本項は、その他汚染物質の名称と、必要に応じて食品に許容されている最高限度を記載するものとする。また、規格に記載する文は、次のような形式をとることができる。

「残留農薬以外の汚染物質に関する下記規定は、食品添加物・汚染物質規格部会の承認を受けなければならない(承認を受けたものである)。」

次に、次のような表を続けなければならない。

「汚染物質の名称、最高限度(%またはmg/kg)」

衛生

本項は、必要とみなされる特定の強制的な衛生規定を記載するものとする。これらは、原文97ページに示す手引きに従って作成しなければならない。適用可能な衛生取扱い規範についても参考にすることとする。特に任意の最終食品仕様を含むこれら規範のいずれの部分も、義務的にする必要があると思われる場合は、規格に盛り込まなければならない。次の文章も記載することとする。

「本食品の食品衛生に関する下記規定は、食品衛生規格部会の承認を受けなければならない(承認を受けたものである)。」

重量及び分量

本項は、表示規定以外の重量と分量に関連するすべての規定、例えば容器の量、重量、分量または適切なサンプリング及び分析方法で決定された単位での計測を適宜含むものとする。重量及び分量は、S.I.単位で表示しなければならない。100gの倍数など、規格量での食品の販売に関す

this would not preclude additional statements in the standards of these standardized amounts in approximately similar amounts in other systems of weights and measures.

LABELLING

This section should include all the labelling provisions contained in the standard and should be prepared in accordance with the guidance given on page 95. Provisions should be included by reference to the General Standard for the Labelling of Prepackaged Foods. The section may also contain provisions which are exemptions from, additions to, or which are necessary for the interpretation of the General Standard in respect of the product concerned provided that these can be justified fully. The following statement should also appear:

"The following provisions in respect of the labelling of this product are subject to endorsement [have been endorsed] by the Codex Committee on Food Labelling."

METHODS OF ANALYSIS AND SAMPLING

This section should include, either specifically or by reference, all methods of analysis and sampling considered necessary and should be prepared in accordance with the guidance given on page 97. If two or more methods have been proved to be equivalent by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling, these could be regarded as alternative and included in this section either specifically or by reference. The following statement should also appear:

"The methods of analysis and sampling described hereunder are to be endorsed [have been endorsed] by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling." ¹⁷

¹⁷ Methods of analysis should be indicated as being "defining", "reference", "alternative approved" or "tentative" methods, as appropriate. See page 73.

る規定を含む規格の場合、S.I.単位を使用しなければならないが、これらの規格に、他の度量衡体系によるほぼ同程度の規格量を補足文として追記することが許される。

表示

本項は、規格に含まれているすべての表示規定を記載しなければならないが、原文95ページに示す手引きに従って作成するものとする。規定は、容器包装食品の表示に関する一般規格を参照することによって記載される。本項には、十分根拠がある場合は、関連食品に関する一般規格から免除、追加、またはその解釈に必要な規定も含めることができる。また次の文章も記載しなければならない。

「本食品の表示に関する下記規定は、食品表示規格部会の承認を受けなければならない (承認を受けたものである)。」

分析及びサンプリング方法

本項は、必要と思われるすべての分析及びサンプリング方法を明確にまたは参照として記載しなければならないが、原文97ページに示す手引きに従って作成するものとする。分析・サンプリング法規格部会によって、複数の方法が同等であると証明された場合は、これらを代替方法とみなし、明確にまたは参照として本項に記載することができる。次の文章も記載しなければならない。

「下記に記載した分析及びサンプリング方法は、分析・サンプリング法規格部会の承認を受けなければならない(承認を受けたものである)。」¹⁷

¹⁷ 分析方法は、必要に応じて「公定」方法、「参照」方法、「代替認定」方法、または「暫定的」方法として表示すること。(原文73ページ参照)

RELATIONS BETWEEN COMMODITY COMMITTEES AND GENERAL COMMITTEES

Codex Committees may ask the advice and guidance of committees having responsibility for matters applicable to all foods on any points coming within their province.

The Codex Committees on Food Labelling; Food Additives and Contaminants; Methods of Analysis and Sampling; Food Hygiene; Nutrition and Foods for Special Dietary Uses; and Food Import and Export Inspection and Certification Systems may establish general provisions on matters within their terms of reference. These provisions should only be incorporated into Codex Commodity Standards by reference unless there is a need for doing otherwise.

Codex Commodity standards shall contain sections on hygiene, labelling and methods of analysis and sampling and these sections should contain all of the relevant provisions of the standard. Provisions of Codex General Standards, Codes or Guidelines shall only be incorporated into Codex Commodity Standards by reference unless there is a need for doing otherwise. Where Codex Committees are of the opinion that the general provisions are not applicable to one or more commodity standards, they may request the responsible Committees to endorse deviations from the general provisions of the Codex Alimentarius. Such requests should be fully justified and supported by available scientific evidence and other relevant information. Sections on hygiene, labelling, and methods of analysis and sampling which contain specific provisions or provisions supplementing the Codex General Standards, Codes or Guidelines shall be referred to the responsible Codex Committees at the most suitable time during Steps 3, 4 and 5 of the Procedure for the Elaboration of Codex Standards and Related Texts, though such reference should not be allowed to delay the progress of the standard to the subsequent steps of the Procedure.

Subject and commodity Committees should refer to the principles and guidelines developed by the Codex Committee on Food Import and Export Inspection and Certification Systems when developing provisions and/or recommendations on inspection and certification and make any appropriate amendments to the standards, guidelines and codes within the responsibility of the individual committees at the earliest convenient time.

食品別規格部会と一般問題規格部会との関係

コーデックスの各規格部会はその作業に関するすべての点に関し、全食品に該当する問題に責任をもつ部会の助言及び指導を受けることができる。

食品表示；食品添加物・汚染物質；分析・サンプリング法；食品衛生；栄養・特殊用途食品さらに食品輸出入検査及び認証制度のコーデックス各規格部会は委託事項内で内容に応じた一般規定を作成することができる。これらの規定は、別の方法で行う必要性がない場合、委託によりコーデックス食品別規格に組み込むことだけできる。

コーデックス食品別規格は、衛生、表示、分析・サンプリング法の部門を含み、これらの部門は全ての関連規定を含まなくてはならない。コーデックス一般規格、規範またはガイドラインは、別の方法で行う必要性がない限り、委託によりコーデックス食品別規格に組み込むことのみできる。コーデックス規格部会が、一般規定がひとつ以上の食品別規格に適さないとの見解を持った場合、コーデックス食品規格の一般規定からはずすよう責任部会に要求することができる。そのような要求は有効な科学的証拠及び他の関連資料により十分に正当化され支持されなくてはならない。特殊規定またはコーデックス一般規格の規範及びガイドラインを補足する規定を含む衛生、表示、分析・サンプリング法に関する部門は、コーデックス規格及び関連文書を作成する手続きのStep 3,4,5における最適な時期に責任のあるコーデックス規格部会に委託しなくてはならない。しかし、そのような委託により手続きの次のステップへの規格の進行を遅延させることは許されない。

一般問題規格部会及び食品別規格部会は、検査及び認証に関する規定及び/若しくは勧告を検討する際、食品輸出入検査及び認証制度規格部会により作られた原則及びガイドラインを参照し、最も早く適切な時期に個別の規格部会の責任範囲内で規格、ガイドライン及び規範を適宜、修正すべきである。

FOOD LABELLING

The provisions on food labelling should be included by reference to the Codex General Standard for the Labelling of Prepackaged Foods (CODEX STAN 1-1985). Exemptions from, or additions to, the General Standard which are necessary for its interpretation in respect of the product concerned should be justified fully, and should be restricted as much as possible.

Information specified in each draft standard should normally be limited to the following:

- a statement that the product shall be labelled in accordance with the Codex General Standard for the Labelling of Prepackaged Foods (CODEX STAN 1-1985)
- the specified name of the food
- date marking and storage instructions (only if the exemption foreseen in Section 4.7.1 of the General Standard is applied)

Where the scope of the Codex Standard is not limited to prepackaged foods, a provision for labelling of non retail containers may be included.

In such cases the provision may specify that:

"Information on ...¹⁸ shall be given either on the container or in accompanying documents, except that the name of the product, lot identification, and the name and address of the manufacturer or packer shall appear on the container."¹⁹

However, lot identification, and the name and address of the manufacturer or packer may be replaced by an identification mark provided that such a mark is clearly identifiable with the accompanying documents."

In respect of date marking (Section 4.7 of the General Standard), a Codex Committee may, in exceptional circumstances, determine another date or dates as defined in the General Standard, either to replace or to accompany the date of minimum durability, or alternatively decide that no date marking is necessary. In such cases, a full justification for the proposed action should be submitted to the Codex Committee on Food Labelling.

¹⁸ Codex Committees should decide which provisions are to be included.

¹⁹ Codex Committees may decide that further information is required on the container. In this regard, special attention should be given to the need for storage instructions to be included on the container.

食品表示

食品表示に関する規定は包装食品の表示に関するコーデックス一般規格[Codex General Standard for the Labelling of Prepackaged Foods](CODEX STAN 1-1985)を引用して記載されているべきである。対象となる食品の細目についての解釈のため、必要となる一般規格の適用除外または追加は、十分に根拠があるものであるべきであり、またできるだけ限定されるべきである。

各規格草案中に定める情報は通常、下記に限定すべきである。すなわち、

- 食品は包装食品の表示に関するコーデックス一般規格(CODEX STAN 1-1985)に従って表示されなければならない、との記載
- 食品の固有名称
- 日付表示[date marking]及び貯蔵条件(一般規格の第4.7.1項により適用免除の予想されるときに限る)

コーデックス規格の範囲が包装食品に限定されないときには、非小売用の容器への表示の規定を加えることができる。

上記の場合、食品の名称、ロット(特定)番号、製造業者または包装業者の名称及び所在地は、容器の表面¹⁹に記載されなければならないことを除き、規定により、「……に関する情報¹⁸」は容器の表面上または添付書類中に示されなければならない、と定めることができる。

しかし、ロット番号、及び製造業者または包装業者の名称及び所在地は、当該表示が添付書類により明らかに確認できるときに限り、固有記号[identification mark]により代えることができる。

日付表示に関しては(一般規格の第4.7項)、コーデックス規格部会は特別な場合において、品質保持期限[date of minimum durability]に代えまたはそれとともに、一般規格で定められた他の日付(単数または複数)を用いる、または日付表示が不要である、と決定することができる。これらの場合、提案された措置の完全な根拠を食品表示規格部会に提出すべきである。

¹⁸ コーデックスの各規格部会がどの項目を含めるべきか定めるべきである。

¹⁹ コーデックスの各規格部会はさらに多くの情報を容器上に記載するよう義務づけることができる。これとの関連で、容器に貯蔵条件を加える必要があるかにつき、注意すべきである。

FOOD ADDITIVES AND CONTAMINANTS

Codex commodity committees should prepare a section on food additives in each draft commodity standard and this section should contain all the provisions in the standard relating to food additives. The section should include the names of those additives which are considered to be technologically necessary or which are widely permitted for use in the food within maximum levels where appropriate.

All provisions in respect of food additives (including processing aids) and contaminants contained in Codex commodity standards should be referred to the Codex Committee on Food Additives and Contaminants preferably after the Standards have been advanced to Step 5 of the Procedure for the Elaboration of Codex Standards or before they are considered by the Commodity Committee concerned at Step 7, though such reference should not be allowed to delay the progress of the Standard to the subsequent Steps of the Procedure.

All provisions in respect of food additives will require to be endorsed by the Codex Committee on Food Additives and Contaminants, on the basis of technological justification submitted by the commodity committees and of the recommendations of the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives concerning the safety-in-use (acceptable daily intake (ADI) and other restrictions) and an estimate of the potential and, where possible, the actual intake of the food additives, ensuring conformity with the General Principles for the Use of Food Additives.

In preparing working papers for the Codex Committee on Food Additives, the Secretariat should make a report to the Committee concerning the endorsement of provisions for food additives (including processing aids), on the basis of the General Principles for the Use of Food Additives. Provisions for food additives should indicate the International Numbering System (INS) number, the ADI, technological justification, proposed level, and whether the additive was previously endorsed (or temporarily endorsed).

When commodity standards are sent to governments for comment at Step 3, they should contain a statement that the provisions "in respect of food additives and contaminants are subject to endorsement by the Codex Committee on Food Additives and Contaminants and to incorporation into the General Standard for Food Additives or the General Standard for Contaminants and Toxins in Foods."

When establishing provisions for food additives, Codex committees should follow the General Principles for the Use of Food Additives and the Preamble of the General Standard for Food Additives. Full explanation should be provided for any departure from the above recommendations.

食品添加物および汚染物質

各食品別規格部会はすべての食品規格案中に食品添加物に関する項目を定めるべきであり、この項目には食品添加物に関する規格のすべての規定が含まれるべきである。この項目には技術的に必要であるかまたは適切とする最高限度以内で、食品中に広く使用が認められている食品添加物の名称が含まれるべきである。

コーデックス食品規格中の食品添加物(加工助剤を含む)及び汚染物質に関するすべての規定は、望ましくは、コーデックス食品規格作成手続き[Procedure for Elaboration of the Codex Standards]のStep 5に進められたときまたは該当する食品規格部会においてStep 7で検討される以前に、食品添加物・汚染物質規格部会に委託されるべきである、しかし、この委託により手続きのその後のステップへの規格の進行を遅延させることは許されない。

食品添加物に関するすべての規定は、各食品別規格部会から提出された技術的根拠並びに使用上の安全性(一日摂取許容量(ADI)及びその他の制限)及び当該食品添加物の潜在の、また可能な場合は実際の摂取量の推定値に関するFAO/WHO合同食品添加物専門家会議の勧告に基づき、食品添加物・汚染物質規格部会により承認されることが求められ、このようにして「食品添加物の使用に関する一般原則」への適合が計られる。

事務局は食品添加物・汚染物質規格部会の作業用文書の作成に当たり、食品添加物(加工助剤を含む)に対する諸規定の承認に関して、食品添加物の使用に関する一般原則に基づき、当部会宛ての報告書を作成すべきである。食品添加物の文言は、国際ナンバリング・システム

(International Numbering System[INS])上のナンバーを使用し、ADI、科学的根拠、提案レベル、および添加物が以前承認されていたか(または暫定的に承認されていたか)などの事項を含まなければならない。

食品別規格がStep 3において、コメントを求めるため各国政府に送付されるとき、その文書には「食品添加物に関する規定は食品添加物・汚染物質規格部会の承認を受け、同規格部会により作成された食品添加物のすべての一般リストに従うものとする。」との文言を含めるべきである。

コーデックス各規格部会が食品添加物の規定を作成する際は、食品添加物の使用に関する一般原則に従い、また食品添加物の使用に関する一般原則の序文を使用しなくてはならない。上記勧告から逸脱して規定を設定するときは、いかなる場合も逸脱について十分な説明が行われるべきである。

When an active commodity committee exists, proposals for the use of additives in any commodity standard under consideration should be prepared by the committee concerned, and forwarded to the Codex Committee on Food Additives and Contaminants for endorsement. When the Codex Committee on Food Additives and Contaminants decides not to endorse specific additives provisions (use of the additive, or level in the end-product), the reason should be clearly stated. The section under consideration should be referred back to the Committee concerned if further information is needed, or for information if the Codex Committee on Food Additives and Contaminants decides to amend the provision.

When no active commodity committee exists, proposals for new additive provisions or amendment of existing provisions, should be forwarded directly by member countries to the Codex Committee on Food Additives and Contaminants.

Good Manufacturing Practice means that:

- the quantity of the additive added to food does not exceed the amount reasonably required to accomplish its intended physical nutritional or other technical effect in food;
- the quantity of the additive that becomes a component of food as a result of its use in the manufacturing, processing or packaging of a food and which is not intended to accomplish any physical, or other technological effect in the food itself, is reduced to the extent reasonably possible;
- the additive is of appropriate food grade quality and is prepared and handled in the same way as a food ingredient. Food grade quality is achieved by compliance with the specifications as a whole and not merely with individual criteria in terms of safety.

FOOD HYGIENE

Commodity Committees should use in the commodity standards the following text:

- It is recommended that the products covered by the provisions of this standard be prepared and handled in accordance with the appropriate sections of the Recommended International Code of Practice - General Principles of Food Hygiene (CAC/RCP 1-1969, Rev 3-1997), and other relevant Codex texts such as Codes of Hygienic Practice and Codes of Practice.

部会が活動中であり、検討中の食品規格に関する添加物使用についての提案は当部会が準備し、その後食品添加物・汚染物質規格部会に送付し承認を求めなければならない。食品添加物・汚染物質規格部会が特定の添加物の文言（添加物の使用、最終産物中のレベルなど）を承認しないと決定した場合は、明確に理由を提示しなければならない。さらに情報な場合、または食品添加物・汚染物質規格部会が文言を改訂するのに情報として必要である場合、検討中の部分は当部会に差し戻される。

活動中の適切な規格部会が存在せず、既存の文言について新規文言の追加又は修正提案を行う場合、加盟国から直接、食品添加物・汚染物質規格部会に提案を送付するものとする。

適正製造規範とは、下記をいう。すなわち、

- 食品に加えられる食品添加物の量は、食品中で意図されている物理学的栄養学的 [physical nutritional] または他の技術的効果を達成するため、通常必要とされる量を超えない；
- ある食品の製造、加工、または包装のときのその使用のため食品の一成分となり、食品自体の中で何らかの物理的または他の技術的効果を果たすことを目的としない添加物の量は、合理的に可能程度まで低減される；
- 添加物は適切な食品品質のものであり、食品の原材料と同様の方法で製造され、取り扱われる。食品品質は規格のすべてを順守することにより得られ、単に安全に関する個々の基準のみの順守によっては得られるものではない。

食品衛生

食品別規格部会は、その食品別規格において次の文言を使用すべきである。すなわち、

- この規格の規定の対象となる食品は、コーデックス食品規格委員会により勧告された食品衛生一般原則の該当する項(Ref. No. CAC/RCP 1-1969, Rev. 2-1997) 及び衛生取扱い規範、取扱い規範などのコーデックスの関連文書に基づき加工および・取扱わなければならない。

- The products should comply with any microbiological criteria established in accordance with the Principles for the Establishment and Application of Microbiological Criteria for Foods (CAC/GL 21-1997).

METHODS OF ANALYSIS AND SAMPLING

NORMAL PRACTICE

Except for methods of analysis and sampling associated with microbiological criteria, when Codex committees have included provisions on methods of analysis or sampling in a Codex commodity standard, these should be referred to the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling at Step 4, to ensure Government comments at the earliest possible stage in the development of the standard. A Codex Committee should, whenever possible, provide to the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling information, for each individual analytical method proposed, relating to specificity, accuracy, precision (repeatability, reproducibility) limit of detection, sensitivity, applicability and practicability, as appropriate. Similarly a Codex Committee should, whenever possible, provide to the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling information for each sampling plan relating to the scope or field of application, the type of sampling (e.g. bulk or unit), sample sizes, decision rules, details of plans (e.g. "Operating characteristic" curves), inferences to be made to lots or processes, levels of risk to be accepted and pertinent supportive data.

Other criteria may be selected as required. Methods of analysis should be proposed by the Commodity Committees in consultation if necessary with an expert body.

At Step 4 Codex Commodity Committees should discuss and report to the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling on matters connected with:

- Provisions in Codex standards which require analytical or statistical procedure;
- Provisions for which elaboration of specific methods of analysis or sampling are required;
- Provisions which are defined by the use of Defining Methods (Type I);
- All proposals to the extent possible should be supported by appropriate documentation; especially for Tentative Methods (Type IV);
- Any request for advice or assistance.

- この食品は、食品の微生物学的基準の設置および適用 (Establishment and Application of Microbiological Criteria for Foods[CAC/GL 21-1997]) に従って設定された微生物学的基準を遵守しなければならない。

分析・サンプリング法

通常の実務

微生物学的基準関連の分析・サンプリング法を除き、下記の第(v)小節の規定を条件とし、食品別規格部会がコーデックス食品規格中に分析法またはサンプリング法の規定を含めたときは、規格の作成の可能な限り早い時点で、各国政府のコメントを得るため、Step 4において、これら規定を分析・サンプリング法規格部会に委託すべきである。コーデックス諸部会は可能なときは、各々の提案された個別の分析法について、特異性、精確さ、精度(併行精度)、再現性、検出限界、感度、適合の可能性及び実用性の該当するものの情報を分析・サンプリング法規格部会に提供すべきである。同様に、可能なときは、食品別規格部会は範囲または分野、サンプリングの様式(例えば、無包装物[bulk]または包装単位[unit]、試料採取量[sample size]、決定の規則[decision rule]、計画の詳細(例えば「操作特性曲線["Operating characteristic" curve]」、ロットまたは製造工程に対して行われる推定、容認されるべきリスク及び関係する裏付けデータに関する情報を提供すべきである。

他の基準を必要により選定することができる。分析法は必要なときは、食品別規格部会が専門家の機関と協議し、提案されるべきである。

食品別規格部会は下記に関わる事項につき、分析・サンプリング法規格部会とStep4において討議し、報告すべきである。すなわち、

- 分析法または統計学的手続きが必要な食品別規格中の規定；
- 分析またはサンプリングの特別な方法の作成が必要となる規定；
- 公定方法[Defining Methods]の使用により定められる規定(Type I)；
- すべての提案は可能な範囲内で適切な文書により裏づけられているべきである；特に暫定的な方法のときは裏づけられているべきである(Type IV)；
- 助言または援助に関するすべての要請

The Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling should undertake a coordinating role in matters relating to the elaboration of Codex methods of analysis and sampling. The originating committee is, however, responsible for carrying out the Steps of the Procedure.

When it is necessary, the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling should try to ensure elaboration and collaborative testing of methods by other recognized bodies with expertise in the field of analysis.

The Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling will assess the actual analytical performance of the method which has been determined in its validation. This will take account of the appropriate precision characteristics obtained in collaborative trials which may have been carried out on the method together with results from other development work carried out during the course of the method development. The set of criteria that are developed will form part of the report of the endorsement by the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling and will be inserted in the appropriate Codex Commodity Standard.

In addition, the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling will identify numeric values for the criteria for which it would wish such methods to comply.

METHODS OF ANALYSIS AND SAMPLING OF GENERAL APPLICATION TO FOODS

When the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling itself elaborates methods of analysis and sampling which are of general application to foods, it is responsible for carrying out the steps of the Procedure.

METHODS OF ANALYSIS OF FOOD ADDITIVES AS SUCH

Methods of analysis included in Codex Advisory Food Additives Specifications, for the purpose of verifying the criteria of purity and identity of the food additive, need not be referred to the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling for endorsement. The Codex Committee on Food Additives and Contaminants is responsible for carrying out the steps of the Procedure.

METHODS OF ANALYSIS OF PESTICIDE RESIDUES IN FOOD

The methods for determining the levels of pesticide residues in food need not be referred to the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling for endorsement. The Codex Committee on Pesticide Residues is responsible for carrying out the steps of the Procedure.

分析・サンプリング法規格部会は、コーデックス分析及びサンプリング法の作成に関する事項の調整役を引き受けるべきである。しかし、原案を提出した諸部会が作成手続きのステップを進める責任を負っている。

必要な場合、分析・サンプリング法規格部会は確実に作成の作業を行い、分析の分野で能力を有している他の承認された機関との分析方法のクロスチェック試験を試みるべきである。

分析・サンプリング法規格部会は、バリデーション（妥当性チェック）の結果決定された方法の実際の分析パフォーマンスを評価する。これは、方法作成の過程で行われた他の作成作業かに得られる結果とともに、方法上で行なわれたかもしれない他の機関とのクロスチェック試験によって得られた適切な精確特性を考慮する。作成された一連の基準は分析・サンプリング法規格部会による承認書類の一部となり、適切な食品別規格に盛り込まれる。

加えて、分析・サンプリング法規格部会は、当該方法を遵守させたい規準における具体的な数値を定めることができる。

食品全般に適用される分析及びサンプリング法

分析・サンプリング法規格部会自体が食品全般に適用される分析及びサンプリング法を作成するときは、同部会が作成手続きのステップを進める責任を負っている。

食品添加物自体の分析法

食品添加物の純度及び同定の基準を確証する目的のコーデックス食品添加物勧告規格 [Codex Advisory Food Additives Specifications]に記載されている分析方法是、分析・サンプリング法規格部会に承認を受ける必要はない。食品添加物・汚染物質規格部会が作成手続きのステップを進める責任を負っている。

食品中の残留農薬の分析方法

食品中の残留農薬を測定する方法は、分析・サンプリング法規格部会に承認を受ける必要はない。残留農薬規格部会が作成手続きのステップを進める責任を負っている。

MICROBIOLOGICAL METHODS OF ANALYSIS AND SAMPLING

When Codex committees have included provisions on microbiological methods of analysis and sampling for the purpose of verifying hygiene provisions, they should be referred to the Codex Committee on Food Hygiene at the most suitable time during Steps 3, 4 and 5 of the Procedure for the Elaboration of Codex Standards, which will ensure that government comments on the methods of analysis and sampling are available to the Codex Committee on Food Hygiene. The procedure to be followed will be as in the normal practice described above, substituting the Codex Committee on Food Hygiene for the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling. Microbiological methods of analysis and sampling elaborated by the Codex Committee on Food Hygiene for inclusion in Codex commodity standards for the purpose of verifying hygiene provisions need not be referred to the Codex Committee on Methods of Analysis and Sampling for endorsement.

分析及びサンプリングの微生物学的方法

コーデックスの諸部会が衛生上の規定を確認する目的で分析及びサンプリングの微生物学的方法の規定を加えるときには、その規定をコーデックス食品別規格作成手続きのStep 3、4及び5の最も適した時点に、食品衛生規格部会に委託すべきである。これにより食品衛生規格部会は、分析及びサンプリング法に関する各国政府のコメントを確実に入手可能となる。とられる手続きは、分析・サンプリング法規格部会を食品衛生規格部会に置き換える点を除き、上記の第(i)小節と同様である。コーデックス食品別規格に加えるため、食品衛生規格部会により、衛生上の規定を確認する目的で作成された分析及びサンプリングの微生物学的方法は、分析・サンプリング法規格部会に承認を受ける必要はない。

CORE FUNCTIONS OF CODEX CONTACT POINTS

The operation of Codex Contact Points will differ in each country depending on national legislation, government structures and practices.

CODEX CONTACT POINTS:

1. Act as the link between the Codex Secretariat and Member countries;
2. Coordinate all relevant Codex activities within their own countries;
3. Receive all Codex final texts (standards, codes of practice, guidelines and other advisory texts) and working documents of Codex sessions and ensure that they are circulated to those concerned within their own countries;
4. Send comments on Codex documents or proposals to the Codex Alimentarius Commission or its subsidiary bodies and/or the Codex Secretariat;
5. Work in close cooperation with the national Codex committee, where such a committee has been established. The Codex Contact Point acts as the liaison point with the food industry, consumers, traders and all other concerned to ensure that the government is provided with an appropriate balance of policy and technical advice upon which to base decisions relating to issues raised in the context of the Codex work;
6. Act as a channel for the exchange of information and coordination of activities with other Codex Members;
7. Receive the invitation to Codex sessions and inform the relevant chairpersons and the Codex Secretariat of the names of participants from their own countries;
8. Maintain a library of Codex final texts; and
9. Promote Codex activities throughout their own countries.

コーデックス連絡所の主な機能

コーデックス連絡所の運営は、国内制定法・統治体制および慣行により、各国により異なる。

コーデックス連絡所

1. コーデックス事務局と加盟国間のリンクとして活動する。
2. 各国間のコーデックス関連の活動を調整する。
3. コーデックスの全ての最終的な文書（規格、取扱い規範、ガイドライン及び他の諮問的文書）及びコーデックス諸会議の作業資料を受領し、それらを確実に自国内の関係者に配布する。
4. コーデックスの書類又は提案についてのコメントを、コーデックス食品規格委員会又はその下部機関に及び／又は事務局に送付する。
5. 自国内に食品規格部会が設置された場合、当該部会と緊密に連携する。コーデックス連絡所は、食品業界・消費者・業者及びすべての関係者との連絡窓口[liaison point]となり、自国内でコーデックスの業務に関連する問題が生じた場合、問題の決定の基礎となる政策や技術的アドバイスを適宜自国政府に提供する。
6. 情報交換の場、及び他のコーデックスメンバーとの活動の調整を図る。
7. コーデックス諸会議の招請状を受領し、該当議長及びにコーデックスの事務局に自国からの参加者名を通知する。
8. コーデックスの最終文書を目録[library]にして維持する。
9. 自国内においてコーデックスの活動を促進する。

SECTION III**Subsidiary Bodies****Membership****Contact Points****Organigram****Contents of this Section**

This Section contains factual information about the Codex Alimentarius Commission, including a list of the Commission's Sessions and sessions of the Executive Committee.

The list of the Commission's Subsidiary Bodies gives the Terms of Reference of all Codex Committees established under Rule IX.1 of the Commission's Rules of Procedure. Each body (including the Commission and the Executive Committee) is also identified by its unique reference code used in all official correspondence. The meetings of each Committee are listed. The structure of the Commission's subsidiary bodies is shown diagrammatically on the inside back cover.

The countries which form the Commission's Membership are listed (as of July 1999) together with a list of the national Codex Contact Points. These lists are subject to frequent changes. The Secretariat of the Joint FAO/WHO Food Standards Programme provides up-dated information at regular intervals.

第 III 節

下 部 機 関

加 盟 国

連絡所

組 織 図

当項目の内容

当項目は、「委員会」会議リストを含め、コーデックス食品規格委員会に関する実情
報を含む。

「委員会」下部機関のリストは、「委員会」手続き規定IX.1 に基づいて制定された
すべての食品規格部会の委託事項を示す。また、各部会（委員会及び執行委員会を含む）
は、独自の委託コードにより識別され、この委託コードは全ての公式書類に付されるこ
とになっている。各部会の会議は表に記されている

「委員会」下部機関の組織は、図表化して裏表紙内側(訳注：日本語訳は本節最終頁)に
示されている。

「委員会」の加盟国は、各国の連絡所（コーデックス 連絡所）一覧表とともに記さ
れている（1999年7月現在）。これらのリストは、たびたび変更される。FAO/WHO合
同食品規格計画事務局は、一定期間ごとに最新情報を提供するものとする。

SESSIONS OF THE CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION

(CX-701)²⁰

SESSION	PLACE AND DATES
1 st	Rome, Italy, 25 June - 3 July 1963
2 nd	Geneva, Switzerland, 28 September - 7 October 1964
3 rd	Rome, Italy, 19-28 October 1965
4 th	Rome, Italy, 7-14 November 1966
5 th	Rome, Italy, 20 February - 1 March 1968
6 th	Geneva, Switzerland, 4-14 March 1969
7 th	Rome, Italy, 7-17 April 1970
8 th	Geneva, Switzerland, 30 June - 9 July 1971
9 th	Rome, Italy, 6-17 November 1972
10 th	Rome, Italy, 1-11 July 1974
11 th	Rome, Italy, 29 March - 9 April 1976
12 th	Rome, Italy, 17-28 April 1978
13 th	Rome, Italy, 3-14 December 1979
14 th	Geneva, Switzerland, 29 June - 10 July 1981
15 th	Rome, Italy 4-15 July 1983
16 th	Geneva Switzerland, 1-12 July 1985
17 th	Rome, Italy, 29 June - 10 July 1987
18 th	Geneva, Switzerland, 3-12 July 1989
19 th	Rome, Italy, 1-10 July 1991
20 th	Geneva, Switzerland, 28 June - 7 July 1993
21 st	Rome, Italy, 3-8 July 1995
22 nd	Geneva, Switzerland, 23-28 June 1997
23 rd	Rome, Italy, 28 June - 3 July 1999
24 th	Geneva, Switzerland, 2 - 7 July 2001
25 th	Geneva, Switzerland, 13 - 15 February 2003 ²¹

²⁰ The reference code, followed by the number of the session, used in official correspondence.

²¹ Extraordinary session.

コーデックス食品規格委員会の会議

(CX701)²⁰

各会期・開催年月日・場所

1st Rome, Italy, 25 June - 3 July 1963

2nd Geneva, Switzerland, 28 September - 7 October 1964

3rd Rome, Italy, 19-28 October 1965

4th Rome, Italy, 7-14 November 1966

5th Rome, Italy, 20 February - 1 March 1968

6th Geneva, Switzerland, 4-14 March 1969

7th Rome, Italy, 7-17 April 1970

8th Geneva, Switzerland, 30 June - 9 July 1971

9th Rome, Italy, 6-17 November 1972

10th Rome, Italy, 1-11 July 1974

11th Rome, Italy, 29 March - 9 April 1976

12th Rome, Italy, 17-28 April 1978

13th Rome, Italy, 3-14 December 1979

14th Geneva, Switzerland, 29 June - 10 July 1981

15th Rome, Italy 4-15 July 1983

16th Geneva Switzerland, 1-12 July 1985

17th Rome, Italy, 29 June - 10 July 1987

18th Geneva, Switzerland, 3-12 July 1989

19th Rome, Italy, 1-10 July 1991

20th Geneva, Switzerland, 28 June - 7 July 1993

21st Rome, Italy, 3-8 July 1995

22nd Geneva, Switzerland, 23-28 June 1997

23rd Rome, Italy, 28 June - 3 July 1999

24th Geneva, Switzerland, 2 - 7 July 2001

25th Geneva, Switzerland, 13 - 15 February 2003²¹

26th Rome, Italy, 30 June - 7 July 2003

²⁰ 参照コード及び直後の会期番号は、公式の通信に使用される。

SESSION
26th

PLACE AND DATES
Rome, Italy, 30 June - 7 July 2003

26th Rome, Italy, 30 June - 7 July 2003

**SESSIONS OF THE EXECUTIVE COMMITTEE OF THE
CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION**

(CX-702)

SESSION	PLACE AND DATES
1 st	Rome, Italy, 3 July 1963
2 nd	Washington D.C., USA, 25-26 May 1964
3 rd	Geneva, Switzerland, 25-26 September 1964
4 th	Geneva, Switzerland, 7 October 1964
5 th	Rome, Italy, 3-4 June 1965
6 th	Rome, Italy, 18 October 1965
7 th	Rome, Italy, 28 October 1965
8 th	Rome, Italy, 14-16 June 1966
9 th	Rome, Italy, 4 November 1966
10 th	Rome, Italy, 16-18 May 1967
11 th	Rome, Italy, 19 February 1968
12 th	Rome, Italy, 5-7 June 1968
13 th	Geneva, Switzerland, 3 March 1969
14 th	Rome, Italy, 17-19 September 1969
15 th	Rome, Italy, 3 April 1970
16 th	Geneva, Switzerland, 9-11 February 1971
17 th	Geneva, Switzerland, 25 June 1971
18 th	Rome, Italy, 15-18 May 1972
19 th	Geneva, Switzerland, 3-5 July 1973
20 th	Rome, Italy, 28 June 1974
21 st	Geneva, Switzerland, 17-19 June 1975
22 nd	Rome, Italy, 23-24 March 1976
23 rd	Geneva, Switzerland, 12-15 July 1977
24 th	Rome, Italy, 13-14 April 1978
25 th	Geneva, Switzerland, 10-13 July 1979
26 th	Rome, Italy, 26-27 November 1979
27 th	Geneva, Switzerland, 13-17 October 1980
28 th	Geneva, Switzerland, 25-26 June 1981
29 th	Geneva, Switzerland, 12-16 July 1982
30 th	Rome, Italy, 30 June – 1 July 1983
31 st	Geneva, Switzerland, 25-29 June 1984
32 nd	Geneva, Switzerland, 27-28 June 1985

コーデックス食品規格委員会の執行委員会の会議

(CX702)

各会期・開催年月日・場所

1st Rome, Italy, 3 July 1963

2nd Washington D.C., USA, 25-26 May 1964

3rd Geneva, Switzerland, 25-26 September 1964

4th Geneva, Switzerland, 7 October 1964

5th Rome, Italy, 3-4 June 1965

6th Rome, Italy, 18 October 1965

7th Rome, Italy, 28 October 1965

8th Rome, Italy, 14-16 June 1966

9th Rome, Italy, 4 November 1966

10th Rome, Italy, 16-18 May 1967

11th Rome, Italy, 19 February 1968

12th Rome, Italy, 5-7 June 1968

13th Geneva, Switzerland, 3 March 1969

14th Rome, Italy, 17-19 September 1969

15th Rome, Italy, 3 April 1970

16th Geneva, Switzerland, 9-11 February 1971

17th Geneva, Switzerland, 25 June 1971

18th Rome, Italy, 15-18 May 1972

19th Geneva, Switzerland, 3-5 July 1973

20th Rome, Italy, 28 June 1974

21st Geneva, Switzerland, 17-19 June 1975

22nd Rome, Italy, 23-24 March 1976

23rd Geneva, Switzerland, 12-15 July 1977

24th Rome, Italy, 13-14 April 1978

25th Geneva, Switzerland, 10-13 July 1979

26th Rome, Italy, 26-27 November 1979

27th Geneva, Switzerland, 13-17 October 1980

28th Geneva, Switzerland, 25-26 June 1981

29th Geneva, Switzerland, 12-16 July 1982

30th Rome, Italy, 30 June – 1 July 1983

31st Geneva, Switzerland, 25-29 June 1984

SESSION	PLACE AND DATES
33 rd	Rome, Italy, 30 June – 4 July 1986
34 th	Rome, Italy, 26-26 June 1987
35 th	Geneva, Switzerland, 4-8 July 1988
36 th	Geneva, Switzerland, 29-30 June 1989
37 th	Rome, Italy, 3-6 July 1990
38 th	Rome, Italy, 27-28 June 1991
39 th	Geneva, Switzerland, 30 June-3 July 1992
40 th	Geneva, Switzerland, 24-25 June 1993
41 st	Rome, Italy, 28-30 June 1994
42 nd	Rome, Italy, 28-30 June 1995
43 rd	Geneva, Switzerland, 4-7 June 1996
44 th	Geneva, Switzerland, 19-20 June 1997
45 th	Rome, Italy, 3-5 June 1998
46 th	Rome, Italy, 24-25 June 1999
47 th	Geneva, Switzerland, 28-30 June 2000
48 th	Geneva, Switzerland, 28-29 June 2001
49 th	Geneva, Switzerland, 26-27 September 2001 ²²
50 th	Rome, Italy, 26-28 June 2002
51 st	Geneva, Switzerland, 10-11 February 2003 ²²
52 nd	Rome, Italy, 26-27 June 2003

²² Extraordinary session.

32nd Geneva, Switzerland, 27-28 June 1985
33rd Rome, Italy, 30 June – 4 July 1986
34th Rome, Italy, 26-26 June 1987
35th Geneva, Switzerland, 4-8 July 1988
36th Geneva, Switzerland, 29-30 June 1989
37th Rome, Italy, 3-6 July 1990
38th Rome, Italy, 27-28 June 1991
39th Geneva, Switzerland, 30 June-3 July 1992
40th Geneva, Switzerland, 24-25 June 1993
41st Rome, Italy, 28-30 June 1994
42nd Rome, Italy, 28-30 June 1995
43rd Geneva, Switzerland, 4-7 June 1996
44th Geneva, Switzerland, 19-20 June 1997
45th Rome, Italy, 3-5 June 1998
46th Rome, Italy, 24-25 June 1999
47th Geneva, Switzerland, 28-30 June 2000
48th Geneva, Switzerland, 28-29 June 2001
49th Geneva, Switzerland, 26-27 September 2001²²
50th Rome, Italy, 26-28 June 2002
51st Geneva, Switzerland, 10-11 February 2003²²
52nd Rome, Italy, 26-27 June 2003

SUBSIDIARY BODIES OF THE CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION

SUBSIDIARY BODY UNDER RULE X.1(A)
JOINT FAO/WHO COMMITTEE OF GOVERNMENT EXPERTS ON THE CODE OF PRINCIPLES CONCERNING MILK AND MILK PRODUCTS (CX-703)

Established by FAO and WHO in 1958 and integrated into the Joint FAO/WHO Food Standards Programme in 1962 as a subsidiary body of the Codex Alimentarius Commission under Rule X.1(a). Re-named "Codex Committee on Milk and Milk Products" in 1993 and re-established as a subsidiary body under Rule X.1(b)(i) see page 127.

Sessions

1 st	Rome, Italy, 8-12 September 1958
2 nd	Rome, Italy, 13-17 April 1959
3 rd	Rome, Italy, 22-26 February 1960
4 th	Rome, Italy, 6-10 March 1961
5 th	Rome, Italy, 2-6 April 1962
6 th	Rome, Italy, 17-21 June 1963
7 th	Rome, Italy, 4-8 May 1964
8 th	Rome, Italy, 24-29 May 1965
9 th	Rome, Italy, 20-25 June 1966
10 th	Rome, Italy, 25-31 August 1967
11 th	Rome, Italy, 10-15 June 1968
12 th	Rome, Italy, 7-12 July 1969
13 th	Rome, Italy, 15-20 June 1970
14 th	Rome, Italy, 6-11 September 1971
15 th	Rome, Italy, 25-30 September 1972
16 th	Rome, Italy, 10-15 September 1973
17 th	Rome, Italy, 14-19 April 1975
18 th	Rome, Italy, 13-18 September 1976
19 th	Rome, Italy, 12-17 June 1978
20 th	Rome, Italy, 26-30 April 1982
21 st	Rome, Italy, 2-6 June 1986
22 nd	Rome, Italy, 5-9 November 1990

コーデックス食品規格委員会の下部機関

食品規格委員会手続き規定X.1(A)に基づく下部機関

共同FAO/WHO乳及び乳製品原則規範に関する政府専門家委員会(CX-703)

本委員会は、1958年にFAO及びWHOによって設置され、1962年に食品規格委員会手続き規定IX.1(a)に基づく下部機関としてFAO/WHO合同食品規格計画に統合された。1993年に「乳・乳製品規格部会」と改称され、手続き規定X.1(b)(i)に基づく下部機関として改めて設置された。原文127頁参照。

各会期・開催年月日・場所

- 1st Rome, Italy, 8-12 September 1958
- 2nd Rome, Italy, 13-17 April 1959
- 3rd Rome, Italy, 22-26 February 1960
- 4th Rome, Italy, 6-10 March 1961
- 5th Rome, Italy, 2-6 April 1962
- 6th Rome, Italy, 17-21 June 1963
- 7th Rome, Italy, 4-8 May 1964
- 8th Rome, Italy, 24-29 May 1965
- 9th Rome, Italy, 20-25 June 1966
- 10th Rome, Italy, 25-31 August 1967
- 11th Rome, Italy, 10-15 June 1968
- 12th Rome, Italy, 7-12 July 1969
- 13th Rome, Italy, 15-20 June 1970
- 14th Rome, Italy, 6-11 September 1971
- 15th Rome, Italy, 25-30 September 1972
- 16th Rome, Italy, 10-15 September 1973
- 17th Rome, Italy, 14-19 April 1975
- 18th Rome, Italy, 13-18 September 1976
- 19th Rome, Italy, 12-17 June 1978
- 20th Rome, Italy, 26-30 April 1982
- 21st Rome, Italy, 2-6 June 1986
- 22nd Rome, Italy, 5-9 November 1990

Terms of Reference:

To establish international codes and standards concerning milk and milk products.

SUBSIDIARY BODIES UNDER RULE X.1(B)(1)**CODEx COMMITTEE ON GENERAL PRINCIPLES (CX-716)****Host Government: France****Sessions:**

1 st	Paris, 4-8 October 1965
2 nd	Paris, 16-19 October 1967
3 rd	Paris, 9-13 December 1968
4 th	Paris, 4-8 March 1974
5 th	Paris, 19-23 January 1976
6 th	Paris, 15-19 October 1979
7 th	Paris, 6-10 April 1981
8 th	Paris, 24-28 November 1986
9 th	Paris, 24-28 April 1989
10 th	Paris, 7-11 September 1992
11 th	Paris, 25-29 April 1994
12 th	Paris, 25-28 November 1996
13 th	Paris, 7-11 September 1998
14 th	Paris, 19-23 April 1999
15 th	Paris, 10-14 April 2000
16 th	Paris, 23-27 April 2001
17 th	Paris, 15-19 April 2002
18 th	Paris, 7-11 April 2003

Terms of Reference:

To deal with such procedural and general matters as are referred to it by the Codex Alimentarius Commission. Such matters have included the establishment of the General Principles which define the purpose and scope of the Codex Alimentarius, the nature of Codex standards and the forms of acceptance by countries of Codex standards; the development of Guidelines for Codex Committees; the development of a mechanism for examining any economic impact statements submitted by governments concerning possible implications for their economies of some of the individual standards or some of

委託事項：

乳及び乳製品に関する国際的な規範並びに規格を制定する。

食品規格委員会手続き規定X.1(B)(I)に基づく下部機関

一般原則規格部会(CX-716)

主催国：フランス

1st Paris, 4-8 October 1965

2nd Paris, 16-19 October 1967

3rd Paris, 9-13 December 1968

4th Paris, 4-8 March 1974

5th Paris, 19-23 January 1976

6th Paris, 15-19 October 1979

7th Paris, 6-10 April 1981

8th Paris, 24-28 November 1986

9th Paris, 24-28 April 1989

10th Paris, 7-11 September 1992

11th Paris, 25-29 April 1994

12th Paris, 25-28 November 1996

13th Paris, 7-11 September 1998

14th Paris, 19-23 April 1999

15th Paris, 10-14 April 2000

16th Paris, 23-27 April 2001

17th Paris, 15-19 April 2002

18th Paris, 7-11 April 2003

委託事項：

食品規格委員会が当部会に委託している手続き並びに一般的な事項を取り扱う。それらの事項としては、次のものが含まれる：食品規格の目的及び範囲、食品規格の性質及び各国による食品規格の採択の様式を定義する一般原則の制定；規格部会に対するガイドラインの開発；個別規格または規格の規定が有する経済上の可能性ある示唆に関して、各国政府から提出された経済的衝撃の声明を検討する機構の開発；食品の国際貿易に対する倫理綱領の制定。

the provisions thereof; the establishment of a Code of Ethics for the International Trade in Food.

CODEx COMMITTEE ON FOOD ADDITIVES AND CONTAMINANTS (CX-711)

Host Government: Netherlands

Sessions:

- | | |
|------------------|---------------------------------------|
| 1 st | The Hague, 19-22 May 1964 |
| 2 nd | The Hague, 10-14 May 1965 |
| 3 rd | The Hague, 9-13 May 1966 |
| 4 th | The Hague, 11-15 September 1967 |
| 5 th | Arnhem, 18-22 March 1968 |
| 6 th | Arnhem, 15-22 October 1969 |
| 7 th | The Hague, 12-16 October, 1970 |
| 8 th | Wageningen, 29 May - 2 June 1972 |
| 9 th | Wageningen, 10-14 December 1973 |
| 10 th | The Hague, 2-7 June 1975 |
| 11 th | The Hague, 31 May - 6 June 1977 |
| 12 th | The Hague, 10-16 October 1978 |
| 13 th | The Hague, 11-17 September 1979 |
| 14 th | The Hague, 25 Nov. - 1 Dec. 1980 |
| 15 th | The Hague, 16-22 March 1982 |
| 16 th | The Hague, 22-28 March 1983 |
| 17 th | The Hague, 10-16 April 1984 |
| 18 th | The Hague, 5-11 November 1985 |
| 19 th | The Hague, 17-23 March 1987 |
| 20 th | The Hague, 7-12 March 1988 |
| 21 st | The Hague, 13-18 March 1989 |
| 22 nd | The Hague, 19-24 March 1990 |
| 23 rd | The Hague, 4-9 March 1991 |
| 24 th | The Hague, 23-28 March 1992 |
| 25 th | The Hague, 22-26 March 1993 |
| 26 th | The Hague, 7-11 March 1994 |
| 27 th | The Hague, 20-24 March 1995 |
| 28 th | Manila, Philippines, 18-22 March 1996 |
| 29 th | The Hague, 17-21 March 1997 |
| 30 th | The Hague, 9-13 March 1998 |
| 31 st | The Hague, 22-26 March 1999 |
| 32 nd | Beijing, China, 20-24 March 2000 |
| 33 rd | The Hague, 12-16 March 2001 |
| 34 th | Rotterdam, 11-15 March 2002 |
| 35 th | Arusha, Tanzania, 17-21 March 2003 |

食品添加物・汚染物質規格部会(CX-711)

主催国：オランダ

- 1st The Hague, 19-22 May 1964
- 2nd The Hague, 10-14 May 1965
- 3rd The Hague, 9-13 May 1966
- 4th The Hague, 11-15 September 1967
- 5th Arnhem, 18-22 March 1968
- 6th Arnhem, 15-22 October 1969
- 7th The Hague, 12-16 October, 1970
- 8th Wageningen, 29 May - 2 June 1972
- 9th Wageningen, 10-14 December 1973
- 10th The Hague, 2-7 June 1975
- 11th The Hague, 31 May - 6 June 1977
- 12th The Hague, 10-16 October 1978
- 13th The Hague, 11-17 September 1979
- 14th The Hague, 25 Nov. - 1 Dec. 1980
- 15th The Hague, 16-22 March 1982
- 16th The Hague, 22-28 March 1983
- 17th The Hague, 10-16 April 1984
- 18th The Hague, 5-11 November 1985
- 19th The Hague, 17-23 March 1987
- 20th The Hague, 7-12 March 1988
- 21st The Hague, 13-18 March 1989
- 22nd The Hague, 19-24 March 1990
- 23rd The Hague, 4-9 March 1991
- 24th The Hague, 23-28 March 1992
- 25th The Hague, 22-26 March 1993
- 26th The Hague, 7-11 March 1994
- 27th The Hague, 20-24 March 1995
- 28th Manila, Philippines, 18-22 March 1996
- 29th The Hague, 17-21 March 1997
- 30th The Hague, 9-13 March 1998
- 31st The Hague, 22-26 March 1999
- 32nd Beijing, China, 20-24 March 2000
- 33rd The Hague, 12-16 March 2001
- 34th Rotterdam, 11-15 March 2002

Terms of reference:

- (a) to establish or endorse permitted maximum or guideline levels for individual food additives, for contaminants (including environmental contaminants) and for naturally occurring toxicants in foodstuffs and animal feeds;
- (b) to prepare priority lists of food additives and contaminants for toxicological evaluation by the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives;
- (c) to recommend specifications of identity and purity for food additives for adoption by the Commission;
- (d) to consider methods of analysis for their determination in food; and
- (e) consider and elaborate standards or codes for related subjects such as the labelling of food additives when sold as such, and food irradiation.

CODEX COMMITTEE ON FOOD HYGIENE (CX-712)**Host Government: U.S.A.****Sessions:**

1 st	Washington D.C., 27-28 May 1964
2 nd	Rome, 14-16 June 1965
3 rd	Rome, 31 May - 3 June 1966
4 th	Washington D.C., 12-16 June 1967
5 th	Washington D.C., 6-10 May 1968
6 th	Washington D.C., 5-9 May 1969
7 th	Washington D.C., 25-29 May 1970
8 th	Washington D.C., 14-18 June 1971
9 th	Washington D.C., 19-23 June 1972
10 th	Washington D.C., 14-18 May 1973
11 th	Washington D.C., 10-14 June 1974
12 th	Washington D.C., 12-16 May 1975
13 th	Rome, 10-14 May 1976
14 th	Washington D.C., 29 August - 2 September 1977
15 th	Washington D.C., 18-22 September 1978
16 th	Washington D.C., 23-27 July 1979
17 th	Washington D.C., 17-21 November 1980
18 th	Washington D.C., 22-26 February 1982
19 th	Washington D.C., 26-30 September 1983

35th Arusha, Tanzania, 17-21 March 2003

委託事項：

- (a) 個々の食品添加物、汚染物質（環境的汚染物質を含む）並びに食品及び動物飼料中の天然毒物の許容最高限度または許容限度ガイドラインの制定または承認を行う。
- (b) FAO/WHO合同食品添加物専門家会議による毒物学的評価を受けるため食品添加物及び汚染物質の優先リストを作成する。
- (c) 「委員会」による採択のため、食品添加物の同定と純度の規格を勧告する。
- (d) 食品中の添加物（汚染物質）測定のための分析方法を検討する。
- (e) 食品添加物自体を販売する際の表示や食品照射等の関連事項の規格または規範を検討、作成する。

食品衛生規格部会(CX-712)

主催国：アメリカ

1st Washington D.C., 27-28 May 1964

2nd Rome, 14-16 June 1965

3rd Rome, 31 May - 3 June 1966

4th Washington D.C., 12-16 June 1967

5th Washington D.C., 6-10 May 1968

6th Washington D.C., 5-9 May 1969

7th Washington D.C., 25-29 May 1970

8th Washington D.C., 14-18 June 1971

9th Washington D.C., 19-23 June 1972

10th Washington D.C., 14-18 May 1973

11th Washington D.C., 10-14 June 1974

12th Washington D.C., 12-16 May 1975

13th Rome, 10-14 May 1976

14th Washington D.C., 29 August - 2 September 1977

15th Washington D.C., 18-22 September 1978

16th Washington D.C., 23-27 July 1979

17th Washington D.C., 17-21 November 1980

18th Washington D.C., 22-26 February 1982

20 th	Washington D.C., 1-5 October 1984
21 st	Washington D.C., 23-27 September 1985
22 nd	Washington D.C., 20-24 October 1986
23 rd	Washington D.C., 21-25 March 1988
24 th	Washington D.C., 16-20 October 1989
25 th	Washington D.C., 28 October - 1 November 1991
26 th	Washington D.C., 1-5 March 1993
27 th	Washington D.C., 17-21 October 1994
28 th	Washington D.C., 27 November - 1 December 1995
29 th	Washington D.C., 21-25 October 1996
30 th	Washington D.C., 20-24 October 1997
31 st	Orlando, Florida, 26-30 October 1998
32 nd	Washington D.C., 29 November - 4 December 1999
33 rd	Washington D.C., 23-28 October 2000
34 th	Bangkok, Thailand, 8-13 October 2001
35 th	Orlando, Florida, 27 January-1 February 2003

Terms of reference:

- (a) to draft basic provisions on food hygiene applicable to all food²³;
- (b) to consider, amend if necessary and endorse provisions on hygiene prepared by Codex commodity committees and contained in Codex commodity standards, and
- (c) to consider, amend if necessary, and endorse provisions on hygiene prepared by Codex commodity committees and contained in Codex codes of practice unless, in specific cases, the Commission has decided otherwise, or
- (d) to draft provisions on hygiene applicable to specific food items or food groups, whether coming within the terms of reference of a Codex commodity committee or not;
- (e) to consider specific hygiene problems assigned to it by the Commission;
- (f) to suggest and prioritize areas where there is a need for microbiological risk assessment at the international level and to develop questions to be addressed by the risk assessors;

²³ The term "hygiene" includes, where necessary, microbiological specifications for food and associated methodology.

19th Washington D.C., 26-30 September 1983
20th Washington D.C., 1-5 October 1984
21st Washington D.C., 23-27 September 1985
22nd Washington D.C., 20-24 October 1986
23rd Washington D.C., 21-25 March 1988
24th Washington D.C., 16-20 October 1989
25th Washington D.C., 28 October - 1 November 1991
26th Washington D.C., 1-5 March 1993
27th Washington D.C., 17-21 October 1994
28th Washington D.C., 27 November - 1 December 1995
29th Washington D.C., 21-25 October 1996
30th Washington D.C., 20-24 October 1997
31st Orlando, Florida, 26-30 October 1998
32nd Washington D.C., 29 November - 4 December 1999
33rd Washington D.C., 23-28 October 2000
34th Bangkok, Thailand, 8-13 October 2001
35th Orlando, Florida, 27 January-1 February 2003

委託事項：

- (a) すべての食品に適用できる食品衛生に関する基礎的な規定案を作成する。²³
- (b) 食品別規格部会により作成され、各食品別規格に含まれている食品衛生に関する規定を検討し、必要あれば修正し、さらにそれを承認する。
- (c) 食品別規格部会により作成され、各食品規格の取扱い規範に含まれている食品衛生に関する規定を検討し、必要あれば修正し、さらにそれを承認する。ただし、特殊な場合で、「委員会」が別に決定した場合は除く。
- (d) 一食品別規格部会の委託事項の範囲内において生じるか否かに関わらず、特定の食品または食品グループに適用できる衛生に関する規定案を作成する。
- (e) 「委員会」より当部会に指示された特定の衛生問題を検討する。
- (f) 国際的なレベルで微生物学的なリスク査定を実施する必要がある分野を提案し、それらに優先順位を付け、リスク評価機関に問題を提起する。

²³「衛生」という用語は、適宜、食品に対する微生物学的な明細事項及び関連する方法論を含むものとする。

(g) to consider microbiological risk management matters in relation to food hygiene and in relation to the risk assessment of FAO and WHO.

CODEx COMMITTEE ON FOOD LABELLING (CX-714)

Host Government: Canada

Sessions:

1 st	Ottawa, 21-25 June 1965
2 nd	Ottawa, 25-29 July 1966
3 rd	Ottawa, 26-30 June 1967
4 th	Ottawa, 23-28 September 1968
5 th	Rome, 6 April 1970
6 th	Geneva, 28-29 June 1971
7 th	Ottawa, 5-10 June 1972
8 th	Ottawa, 28 May - 1 June 1973
9 th	Rome, 26-27 June 1974
10 th	Ottawa, 26-30 May 1975
11 th	Rome, 25-26 March 1976
12 th	Ottawa, 16-20 May 1977
13 th	Ottawa, 16-20 July 1979
14 th	Rome, 28-30 November 1979
15 th	Ottawa, 10-14 November 1980
16 th	Ottawa, 17-21 May 1982
17 th	Ottawa, 12-21 October 1983
18 th	Ottawa, 11-18 March 1985
19 th	Ottawa, 9-13 March 1987
20 th	Ottawa, 3-7 April 1989
21 st	Ottawa, 11-15 March 1991
22 nd	Ottawa, 26-30 April 1993
23 rd	Ottawa, 24-28 October 1994
24 th	Ottawa, 14-17 May 1996
25 th	Ottawa, 15-18 April 1997
26 th	Ottawa, 26-29 May 1998
27 th	Ottawa, 27-30 April 1999
28 th	Ottawa, 5-9 May 2000
29 th	Ottawa, 1-4 May 2001
30 th	Halifax, 6-10 May 2002
31 st	Ottawa, 28 April - 2 May 2003

(g) 微生物学的なリスク管理事項を、食品衛生及びFAO並びWHOのリスク査定に関連させて検討する。

食品表示規格部会(CX-714)

主催国：カナダ

1st Ottawa, 21-25 June 1965

2nd Ottawa, 25-29 July 1966

3rd Ottawa, 26-30 June 1967

4th Ottawa, 23-28 September 1968

5th Rome, 6 April 1970

6th Geneva, 28-29 June 1971

7th Ottawa, 5-10 June 1972

8th Ottawa, 28 May - 1 June 1973

9th Rome, 26-27 June 1974

10th Ottawa, 26-30 May 1975

11th Rome, 25-26 March 1976

12th Ottawa, 16-20 May 1977

13th Ottawa, 16-20 July 1979

14th Rome, 28-30 November 1979

15th Ottawa, 10-14 November 1980

16th Ottawa, 17-21 May 1982

17th Ottawa, 12-21 October 1983

18th Ottawa, 11-18 March 1985

19th Ottawa, 9-13 March 1987

20th Ottawa, 3-7 April 1989

21st Ottawa, 11-15 March 1991

22nd Ottawa, 26-30 April 1993

23rd Ottawa, 24-28 October 1994

24th Ottawa, 14-17 May 1996

25th Ottawa, 15-18 April 1997

26th Ottawa, 26-29 May 1998

27th Ottawa, 27-30 April 1999

28th Ottawa, 5-9 May 2000

29th Ottawa, 1-4 May 2001

30th Halifax, 6-10 May 2002

31st Ottawa, 28 April - 2 May 2003

Terms of reference:

- (a) to draft provisions on labelling applicable to all foods;
- (b) to consider, amend if necessary, and endorse draft specific provisions on labelling prepared by the Codex Committees drafting standards, codes of practice and guidelines;
- (c) to study specific labelling problems assigned to it by the Commission;
- (d) to study problems associated with the advertisement of food with particular reference to claims and misleading descriptions.

CODEx COMMITTEE ON METHODS OF ANALYSIS AND SAMPLING (CX-715)

Host Government: *Federal Republic of Germany (1st to 6th sessions), Hungary*

Sessions:

1 st	Berlin, 23-24 September 1965
2 nd	Berlin, 20-23 September 1966
3 rd	Berlin, 24-27 October 1967
4 th	Berlin, 11-15 November 1968
5 th	Cologne, 1-6 December 1969
6 th	Bonn Bad Godesberg, 24-28 January 1971
7 th	Budapest, 12-18 September 1972
8 th	Budapest, 3-7 September 1973
9 th	Budapest, 27-31 October 1975
10 th	Budapest, 24-28 October 1977
11 th	Budapest, 2-6 July 1979
12 th	Budapest, 11-15 May 1981
13 th	Budapest, 29 November - 3 December 1982
14 th	Budapest, 26-30 November 1984
15 th	Budapest, 10-14 November 1986
16 th	Budapest, 14-19 November 1988
17 th	Budapest, 8-12 April 1991
18 th	Budapest, 9-13 November 1992
19 th	Budapest, 21-25 March 1994
20 th	Budapest, 2-6 October 1995
21 st	Budapest, 10-14 March 1997
22 nd	Budapest, 23-27 November 1998
23 rd	Budapest, 26 February – March 2001
24 th	Budapest, 18-22 November 2002

委託事項：

- (a) すべての食品に適用できる表示に関する規定案を作成する。
- (b) 食品規格、取扱い規範及びガイドラインを作成する各食品別規格部会によって作成される特定の表示規定案を検討し、必要あれば修正し、さらにそれを承認する。
- (c) 「委員会」が当部会に指示した特定の表示問題を研究する。
- (d) 特に強調及び誤解を招く記述事項に関する食品の広告についての問題を研究する。

分析・サンプリング法規格部会(CX-715)

主催国：西ドイツ（第1回から第6回会議まで）

ハンガリー

- 1st Berlin, 23-24 September 1965
- 2nd Berlin, 20-23 September 1966
- 3rd Berlin, 24-27 October 1967
- 4th Berlin, 11-15 November 1968
- 5th Cologne, 1-6 December 1969
- 6th Bonn Bad Godesberg, 24-28 January 1971
- 7th Budapest, 12-18 September 1972
- 8th Budapest, 3-7 September 1973
- 9th Budapest, 27-31 October 1975
- 10th Budapest, 24-28 October 1977
- 11th Budapest, 2-6 July 1979
- 12th Budapest, 11-15 May 1981
- 13th Budapest, 29 November - 3 December 1982
- 14th Budapest, 26-30 November 1984
- 15th Budapest, 10-14 November 1986
- 16th Budapest, 14-19 November 1988
- 17th Budapest, 8-12 April 1991
- 18th Budapest, 9-13 November 1992
- 19th Budapest, 21-25 March 1994
- 20th Budapest, 2-6 October 1995
- 21st Budapest, 10-14 March 1997
- 22nd Budapest, 23-27 November 1998
- 23rd Budapest, 26 February - March 2001
- 24th Budapest, 18-22 November 2002

Terms of reference:

- (a) to define the criteria appropriate to Codex Methods of Analysis and Sampling;
- (b) to serve as a coordinating body for Codex with other international groups working in methods of analysis and sampling and quality assurance systems for laboratories;
- (c) to specify, on the basis of final recommendations submitted to it by the other bodies referred to in (b) above, Reference Methods of Analysis and Sampling appropriate to Codex Standards which are generally applicable to a number of foods;
- (d) to consider, amend, if necessary, and endorse, as appropriate, methods of analysis and sampling proposed by Codex (Commodity) Committees, except that methods of analysis and sampling for residues of pesticides or veterinary drugs in food, the assessment of micro biological quality and safety in food, and the assessment of specifications for food additives, do not fall within the terms of reference of this Committee;
- (e) to elaborate sampling plans and procedures, as may be required;
- (f) to consider specific sampling and analysis problems submitted to it by the Commission or any of its Committees;
- (g) to define procedures, protocols, guidelines or related texts for the assessment of food laboratory proficiency, as well as quality assurance systems for laboratories.

CODEX COMMITTEE ON PESTICIDE RESIDUES (CX-718)**Host Government: Netherlands****Sessions:**

- | | |
|-----------------|--|
| 1 st | The Hague, 17-21 January 1966 |
| 2 nd | The Hague, 18-22 September 1967 |
| 3 rd | Arnhem, 30 September-4 October 1968 |
| 4 th | Arnhem, 6-14 October 1969 |
| 5 th | The Hague, 28 September - 6 October 1970 |
| 6 th | The Hague, 16-23 October 1972 |
| 7 th | The Hague, 4-9 February 1974 |
| 8 th | The Hague, 3-8 March 1975 |
| 9 th | The Hague, 14-21 February 1977 |

委託事項：

- (a) 国際食品規格の分析方法及びサンプリング方法に適合した基準を定義する。
- (b) 分析及びサンプリング方法並びに品質保証について作業をしているその他の国際グループに対し、食品規格のための調整機関として奉仕する。
- (c) 上記 (b) で言及されている機関によって当部会に提出された最終勧告に基づいて、多数の食品に一般的に適用できる食品規格に適している分析及びサンプリングの参照方法を特定する。
- (d) (食品別) 規格部会によって提案された分析及びサンプリング方法を検討し、必要であれば修正し、適切であれば承認する。ただし、食品中の残留農薬または残留動物用医薬品に対する分析及びサンプリング方法、食品中の微生物学的な品質及び安全性の評価、食品添加物の明細事項の評価は、当部会の委託事項の範囲には入らない。
- (e) 必要であれば、サンプリング方法及び手続きを作成する。
- (f) 「委員会」またはその部会のいずれかにより当部会に提出された特定のサンプリング及び分析の問題を検討する。
- (g) 研究機関の品質保証システムと同様、食品試験機関制度の評価のための手続き、原案、ガイドラインまたは関連文書を明示する。

残留農薬規格部会(CX-718)

主催国：オランダ

1st The Hague, 17-21 January 1966

2nd The Hague, 18-22 September 1967

3rd Arnhem, 30 September-4 October 1968

4th Arnhem, 6-14 October 1969

5th The Hague, 28 September - 6 October 1970

6th The Hague, 16-23 October 1972

7th The Hague, 4-9 February 1974

8th The Hague, 3-8 March 1975

9th The Hague, 14-21 February 1977

10th The Hague, 29 May - 5 June 1978

11th The Hague, 11-18 June 1979

12th The Hague, 2-9 June 1980

13th The Hague, 15-20 June 1981

14th The Hague, 14-21 June 1982

10 th	The Hague, 29 May - 5 June 1978
11 th	The Hague, 11-18 June 1979
12 th	The Hague, 2-9 June 1980
13 th	The Hague, 15-20 June 1981
14 th	The Hague, 14-21 June 1982
15 th	The Hague, 3-10 October 1983
16 th	The Hague, 24 May - 4 June 1984
17 th	The Hague, 25 March - 1 April 1985
18 th	The Hague, 21-28 April 1986
19 th	The Hague, 6-13 April 1987
20 th	The Hague, 18-25 April 1988
21 st	The Hague, 10-17 April 1989
22 nd	The Hague, 23-30 April 1990
23 rd	The Hague, 15-22 April 1991
24 th	The Hague, 6-13 April 1992
25 th	Havana, Cuba, 19-26 April 1993
26 th	The Hague, 11-18 April 1994
27 th	The Hague, 24 April-1 May 1995
28 th	The Hague, 15-20 April 1996
29 th	The Hague, 7-12 April 1997
30 th	The Hague, 20-25 April 1998
31 st	The Hague, 12-17 April 1999
32 nd	The Hague, 1-8 May 2000
33 rd	The Hague, 2-7 April 2001
34 th	The Hague, 13-18 May 2002
35 th	Rotterdam, 31 March - 5 April 2003

Terms of reference:

- (a) to establish maximum limits for pesticide residues in specific food items or in groups of food;
- (b) to establish maximum limits for pesticide residues in certain animal feeding stuffs moving in international trade where this is justified for reasons of protection of human health;
- (c) to prepare priority lists of pesticides for evaluation by the Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues (JMPR);
- (d) to consider methods of sampling and analysis for the determination of pesticide residues in food and feed;

15th The Hague, 3-10 October 1983
16th The Hague, 24 May - 4 June 1984
17th The Hague, 25 March - 1 April 1985
18th The Hague, 21-28 April 1986
19th The Hague, 6-13 April 1987
20th The Hague, 18-25 April 1988
21st The Hague, 10-17 April 1989
22nd The Hague, 23-30 April 1990
23rd The Hague, 15-22 April 1991
24th The Hague, 6-13 April 1992
25th Havana, Cuba, 19-26 April 1993
26th The Hague, 11-18 April 1994
27th The Hague, 24 April-1 May 1995
28th The Hague, 15-20 April 1996
29th The Hague, 7-12 April 1997
30th The Hague, 20-25 April 1998
31st The Hague, 12-17 April 1999
32nd The Hague, 1-8 May 2000
33rd The Hague, 2-7 April 2001
34th The Hague, 13-18 May 2002
35th Rotterdam, 31 March - 5 April 2003

委託事項：

- (a) 特定の食品または食品グループ中の農薬に対する最大残留基準値を制定する。
- (b) 国際貿易で動いている動物飼料中の農薬に対する最大残留基準値を制定する。ただし、その貿易で、このことが人間の健康を保護する理由で正当化される場合に限る。
- (c) FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR)による評価のための農薬の優先リストを作成する。
- (d) 食品及び飼料中の残留農薬を測定するためのサンプリング及び分析方法を検討する。

(e) to consider other matters in relation to the safety of food and feed containing pesticide residues; and

(f) to establish maximum limits for environmental and industrial contaminants showing chemical or other similarity to pesticides, in specific food items or groups of food.

**CODEX COMMITTEE ON RESIDUES OF VETERINARY DRUGS IN FOODS
(CX-730)**

Host Government: United States of America

Sessions:

1 st	Washington, D.C. 27-31 October, 1986
2 nd	Washington, D.C. 30 November - 4 December 1987
3 rd	Washington, D.C. 31 October - 4 November 1988
4 th	Washington, D.C. 24-27 October 1989
5 th	Washington, D.C. 16-19 October 1990
6 th	Washington, D.C. 22-25 October 1991
7 th	Washington, D.C., 20-23 October 1992
8 th	Washington, D.C., 7-10 June 1994
9 th	Washington, D.C., 5-8 December 1995
10 th	San José (Costa Rica), 29 October - 1 November 1996
11 th	Washington D.C., 15-18 September 1998
12 th	Washington, D.C., 28-31 March 2000
13 th	Charleston, South Carolina, 4 - 7 December 2001
14 th	Arlington, Virginia, 4 - 7 March 2003

Terms of reference:

- (a) to determine priorities for the consideration of residues of veterinary drugs in foods;
- (b) to recommend maximum levels of such substances;
- (c) to develop codes of practice as may be required;
- (d) to consider methods of sampling and analysis for the determination of veterinary drug residues in foods.

(e) 農薬を残留している食品及び飼料の安全性に関する他の事項を検討する。

(f) 特定の食品または食品グループ中において農薬と同じような化学的にまたは他の類似性を呈している環境及び産業汚染物質に対する最大基準値を制定する。

残留動物用医薬品規格部会(CX-730)

主催国：アメリカ

1st Washington, D.C. 27-31 October, 1986

2nd Washington, D.C. 30 November - 4 December 1987

3rd Washington, D.C. 31 October - 4 November 1988

4th Washington, D.C. 24-27 October 1989

5th Washington, D.C. 16-19 October 1990

6th Washington, D.C. 22-25 October 1991

7th Washington, D.C., 20-23 October 1992

8th Washington, D.C., 7-10 June 1994

9th Washington, D.C., 5-8 December 1995

10th San José (Costa Rica), 29 October - 1 November 1996

11th Washington D.C., 15-18 September 1998

12th Washington, D.C., 28-31 March 2000

13th Charleston, South Carolina, 4 - 7 December 2001

14th Arlington, Virginia, 4 - 7 March 2003

委託事項：

(a) 食品中の残留動物用医薬品を検討するための優先順位を決定する。

(b) これらの物質の最大基準値を勧告する。

(c) 必要であれば、取扱い規範を開発する。

(d) 食品中の残留動物用医薬品を測定するために使用される分析方法の基準を決定する。

CODEX COMMITTEE ON FOOD IMPORT AND EXPORT CERTIFICATION AND INSPECTION SYSTEMS (CX-733)***Host Government, Australia******Sessions:***

1 st	Canberra, 21-25 September 1992
2 nd	Canberra, 29 November-3 December 1993
3 rd	Canberra, 27 February-3 March 1995
4 th	Sydney, 19-23 February 1996
5 th	Sydney, 17-21 February 1997
6 th	Melbourne, 23-27 February 1998
7 th	Melbourne, 22-26 February 1999
8 th	Adelaide, 21-25 February 2000
9 th	Perth, 11-15 December 2000
10 th	Brisbane, 25 February - 1 March 2002
11 th	Adelaide, 2-6 December 2002

Terms of reference:

- (a) to develop principles and guidelines for food import and export inspection and certification systems with a view to harmonising methods and procedures which protect the health of consumers, ensure fair trading practices and facilitate international trade in foodstuffs;
- (b) to develop principles and guidelines for the application of measures by the competent authorities of exporting and importing countries to provide assurance where necessary that foodstuffs comply with requirements, especially statutory health requirements;
- (c) to develop guidelines for the utilisation, as and when appropriate, of quality assurance systems²⁴ to ensure that foodstuffs conform with requirements and to promote the recognition of these systems in facilitating trade in food products under bilateral/multilateral arrangements by countries;
- (d) to develop guidelines and criteria with respect to format, declarations and language of such official certificates as countries may require with a view towards international harmonization;

²⁴ *Quality assurance* means all those planned and systematic actions necessary to provide adequate confidence that a product or service will satisfy given requirements for quality (ISO-8402 Quality - Vocabulary)

食品輸出入検査及び認証制度規格部会(CX-733)

主催国：オーストラリア

1st Canberra, 21-25 September 1992

2nd Canberra, 29 November-3 December 1993

3rd Canberra, 27 February-3 March 1995

4th Sydney, 19-23 February 1996

5th Sydney, 17-21 February 1997

6th Melbourne, 23-27 February 1998

7th Melbourne, 22-26 February 1999

8th Adelaide, 21-25 February 2000

9th Perth, 11-15 December 2000

10th Brisbane, 25 February - 1 March 2002

11th Adelaide, 2-6 December 2002

委託事項：

(a) 消費者の健康を保護し、公正な貿易の実施を保証し、かつ食品の国際貿易を促進する方法と手続きを調和させる目的で、食品輸出入検査及び認証制度のための原則及びガイドラインを開発する。

(b) 必要に応じて、食品が諸要件—特に健康に関する法令上の要件—に適合するという保証を与えるために、各輸出入国の所管官庁による手段適用のための原則及びガイドラインを開発する。

(c) 適宜、食品が諸要件に適合することを保証するために品質保証制度²⁴の利用のためのガイドラインを開発する。さらに、各国の双務的・多边的協定に基づいて食品の貿易を促進する際、これらの制度の承認を奨励する。

(d) 各国が国際調和の目的で要求し得る当該公式証明書の書式、内容及び言語に関するガイドライン及び基準を開発する。

²⁴「品質保証」とは、ある製品またはサービスが、品質の所与の要求水準を満たしているという十分な確証を与えるために必要なすべての計画的かつ体系的な処置を意味するものである。(ISO-8402 品質—語彙)

- (e) to make recommendations for information exchange in relation to food import/export control;
- (f) to consult as necessary with other international groups working on matters related to food inspection and certification systems;
- (g) to consider other matters assigned to it by the Commission in relation to food inspection and certification systems.

**CODEx COMMITTEE ON NUTRITION AND FOODS FOR SPECIAL DIETARY USES
(CX-720)**

Host Government: Federal Republic of Germany

Sessions:

- 1st Freiburg in Breisgau, 2-5 May 1966
- 2nd Freiburg in Breisgau, 6-10 November 1967
- 3rd Cologne, 14-18 October 1968
- 4th Cologne, 3-7 November 1969
- 5th Bonn, 30 November-4 December 1970
- 6th Bonn, 6-10 December 1971
- 7th Cologne, 10-14 October 1972
- 8th Bonn Bad Godesberg, 9-14 September 1974
- 9th Bonn, 22-26 September 1975
- 10th Bonn, 28 February - 4 March 1977
- 11th Bonn Bad Godesberg, 23-27 October 1978
- 12th Bonn Bad Godesberg, 29 September - 3 October 1980
- 13th Bonn Bad Godesberg, 20-24 September 1982
- 14th Bonn Bad Godesberg, 24 January - 1 February 1985
- 15th Bonn Bad Godesberg, 12-16 January 1987
- 16th Bonn Bad Godesberg, 29 September - 7 October 1988
- 17th Bonn Bad Godesberg, 18-22 February 1991
- 18th Bonn Bad Godesberg, 28 September - 2 October 1992
- 19th Bonn Bad Godesberg, 27-31 March 1995
- 20th Bonn Bad Godesberg, 7-11 October 1996
- 21st Berlin, 21-25 September 1998
- 22nd Berlin, 19-23 June 2000
- 23rd Berlin, 26-30 November 2001
- 24th Berlin, 4-8 November 2002

- (e) 食品の輸出入管理に関する情報交換のための勧告を行う。
- (f) 必要であれば、食品の検査及び認証制度に関する事項について作業しているその他の国際的グループと協議する。
- (g) 食品の検査及び認証制度に関して「委員会」から当部会に指示されたその他の事項を検討する。

栄養・特殊用途食品規格部会(CX-720)

主催国：ドイツ

- 1st Freiburg in Breisgau, 2-5 May 1966
- 2nd Freiburg in Breisgau, 6-10 November 1967
- 3rd Cologne, 14-18 October 1968
- 4th Cologne, 3-7 November 1969
- 5th Bonn, 30 November-4 December 1970
- 6th Bonn, 6-10 December 1971
- 7th Cologne, 10-14 October 1972
- 8th Bonn Bad Godesberg, 9-14 September 1974
- 9th Bonn, 22-26 September 1975
- 10th Bonn, 28 February - 4 March 1977
- 11th Bonn Bad Godesberg, 23-27 October 1978
- 12th Bonn Bad Godesberg, 29 September - 3 October 1980
- 13th Bonn Bad Godesberg, 20-24 September 1982
- 14th Bonn Bad Godesberg, 24 January - 1 February 1985
- 15th Bonn Bad Godesberg, 12-16 January 1987
- 16th Bonn Bad Godesberg, 29 September - 7 October 1988
- 17th Bonn Bad Godesberg, 18-22 February 1991
- 18th Bonn Bad Godesberg, 28 September - 2 October 1992
- 19th Bonn Bad Godesberg, 27-31 March 1995
- 20th Bonn Bad Godesberg, 7-11 October 1996
- 21st Berlin, 21-25 September 1998
- 22nd Berlin, 19-23 June 2000
- 23rd Berlin, 26-30 November 2001
- 24th Berlin, 4-8 November 2002

Terms of reference:

- (a) to study specific nutritional problems assigned to it by the Commission and advise the Commission on general nutrition issues;
- (b) to draft general provisions, as appropriate, concerning the nutritional aspects of all foods;
- (c) to develop standards, guidelines or related texts for foods for special dietary uses, in cooperation with other committees where necessary;
- (d) to consider, amend if necessary, and endorse provisions on nutritional aspects proposed for inclusion Codex standards, guidelines and related texts.

CODEX COMMITTEE ON COCOA PRODUCTS AND CHOCOLATE (CX-708)**Host Government: Switzerland****Sessions:**

- 1st Neuchâtel, 5-6 November 1963
- 2nd Montreux, 22-24 April 1964
- 3rd Zürich, 10-12 March 1965
- 4th Berne, 15-17 March 1966
- 5th Lugano, 9-12 May 1967
- 6th Montreux, 2-5 July 1968
- 7th Horgen, (Zürich), 23-27 June 1969
- 8th Lucerne, 29 June - 3 July 1970
- 9th Neuchâtel, 27 September - 1 October 1971
- 10th Lausanne, 7-11 May 1973
- 11th Zürich, 2-6 December 1974
- 12th Bienne, 1-5 November 1976
- 13th Aarau, 2-6 April 1979
- 14th Lausanne, 21-25 April 1980
- 15th Neuchâtel, 29 March - 2 April 1982
- 16th Thun, 30 September - 2 October 1996
- 17th Berne, 16-18 November 1998
- 18th Fribourg, 2-4 November 2000
- 19th Fribourg, 3-5 October 2001

Adjourned *sine die*

Terms of reference:

To elaborate world wide standards for cocoa products and chocolate.

委託事項：

- (a) 「委員会」から当部会に指示された特定の栄養上の問題を研究し、また「委員会」に対して一般的な栄養面に関するアドバイスを行う。
- (b) すべての食品の栄養面に関する規定案を作成する。
- (c) 適宜、他の部会と協力して、特殊用途食品の規格、ガイドライン及び関連書類を作成する。
- (d) 食品規格部会及び全般問題規格部会に、当該部会が責任を有する規格の中の栄養面について勧告する。さらに、この目的のためのガイドラインを作成する。
- (e) 栄養面に関する事項で国際食品規格に含めるべきとの提案を受けた案件について規定を検討し、必要であれば修正し、かつ承認する。

ココア製品・チョコレート規格部会(CX-708)

主催国：スイス

- 1st Neuchâtel, 5-6 November 1963
 - 2nd Montreux, 22-24 April 1964
 - 3rd Zürich, 10-12 March 1965
 - 4th Berne, 15-17 March 1966
 - 5th Lugano, 9-12 May 1967
 - 6th Montreux, 2-5 July 1968
 - 7th Horgen, (Zürich), 23-27 June 1969
 - 8th Lucerne, 29 June - 3 July 1970
 - 9th Neuchâtel, 27 September - 1 October 1971
 - 10th Lausanne, 7-11 May 1973
 - 11th Zürich, 2-6 December 1974
 - 12th Bienne, 1-5 November 1976
 - 13th Aarau, 2-6 April 1979
 - 14th Lausanne, 21-25 April 1980
 - 15th Neuchâtel, 29 March - 2 April 1982
 - 16th Thun, 30 September - 2 October 1996
 - 17th Berne, 16-18 November 1998
 - 18th Fribourg, 2-4 November 2000
 - 19th Fribourg, 3-5 October 2001
- 無期休会

CODEX COMMITTEE ON SUGARS (CX-710)**Host Government: United Kingdom****Sessions:**

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1 st | London, 3-5 March 1964 |
| 2 nd | London, 2-4 March 1965 |
| 3 rd | London, 1-3 March 1966 |
| 4 th | London, 18-21 April 1967 |
| 5 th | London, 10-12 September 1968 |
| 6 th | London, 19-22 March 1974 |
| 7 th | London, 9-11 February 2000 |

Adjourned *sine die***Terms of reference:**

To elaborate world wide standards for all types of sugars and sugar products.

CODEX COMMITTEE ON PROCESSED FRUITS AND VEGETABLES (CX-713)**Host Government: United States of America****Sessions:**

- | | |
|------------------|--|
| 1 st | Washington, D.C., 29-30 May 1964 |
| 2 nd | Rome, 8-11 June 1965 |
| 3 rd | Rome, 6-10 June 1966 |
| 4 th | Washington, D.C., 19-23 June 1967 |
| 5 th | Washington, D.C., 13-17 May 1968 |
| 6 th | Washington, D.C., 12-16 May 1969 |
| 7 th | Washington, D.C., 1-5 June 1970 |
| 8 th | Washington, D.C., 7-11 June 1971 |
| 9 th | Washington, D.C., 12-16 June 1972 |
| 10 th | Washington, D.C., 21-25 May 1973 |
| 11 th | Washington, D.C., 3-7 June 1974 |
| 12 th | Washington, D.C., 19-23 May 1975 |
| 13 th | Washington, D.C., 9-13 May 1977 |
| 14 th | Washington, D.C., 25-29 September 1978 |
| 15 th | Washington, D.C., 17-21 March 1980 |
| 16 th | Washington, D.C., 22-26 March 1982 |
| 17 th | Washington, D.C., 13-17 February 1984 |
| 18 th | Washington, D.C., 10-14 March 1986 |

委託事項：ココア製品及びチョコレートの世界規模規格を作成する。

糖類規格部会(CX-710)

主催国：イギリス

1st London, 3-5 March 1964

2nd London, 2-4 March 1965

3rd London, 1-3 March 1966

4th London, 18-21 April 1967

5th London, 10-12 September 1968

6th London, 19-22 March 1974

7th London, 9-11 February 2000

無期休会

委託事項：全種類の砂糖及び砂糖製品の世界規模規格を作成する。

加工果実・野菜規格部会(CX-713)

主催国：アメリカ

1st Washington, D.C., 29-30 May 1964

2nd Rome, 8-11 June 1965

3rd Rome, 6-10 June 1966

4th Washington, D.C., 19-23 June 1967

5th Washington, D.C., 13-17 May 1968

6th Washington, D.C., 12-16 May 1969

7th Washington, D.C., 1-5 June 1970

8th Washington, D.C., 7-11 June 1971

9th Washington, D.C., 12-16 June 1972

10th Washington, D.C., 21-25 May 1973

11th Washington, D.C., 3-7 June 1974

12th Washington, D.C., 19-23 May 1975

13th Washington, D.C., 9-13 May 1977

14th Washington, D.C., 25-29 September 1978

15th Washington, D.C., 17-21 March 1980

16th Washington, D.C., 22-26 March 1982

17th Washington, D.C., 13-17 February 1984

18th Washington, D.C., 10-14 March 1986

19 th	Washington, D.C., 16-20 March 1998
20 th	Washington, D.C., 11-15 September 2000
21 st	San Antonio, Texas, 23-27 September 2002

Terms of reference:

To elaborate world wide standards for all types of processed fruits and vegetables including dried products, canned dried peas and beans, jams and jellies, but not dried prunes, or fruit and vegetable juices. The Commission has also allocated to this Committee the work of revision of standards for quick frozen fruits and vegetables (see page 138).

CODEX COMMITTEE ON FATS AND OILS (CX-709)***Host Government: United Kingdom******Sessions:***

1 st	London, 25-27 February 1964
2 nd	London, 6-8 April 1965
3 rd	London, 29 March - 1 April 1966
4 th	London, 24-28 April 1967
5 th	London, 16-20 September 1968
6 th	Madrid, 17-20 November 1969
7 th	London, 25-29 March 1974
8 th	London, 24-28 November 1975
9 th	London, 28 November - 2 December 1977
10 th	London, 4-8 December 1978
11 th	London, 23-27 June 1980
12 th	London, 19-23 April 1982
13 th	London, 23-27 February 1987
14 th	London, 27 September - 1 October 1993
15 th	London, 4-8 November 1996
16 th	London, 8-12 March 1999
17 th	London, 19-23 February 2001
18 th	London, 3-7 February 2003

Terms of reference:

To elaborate world wide standards for fats and oils of animal, vegetable and marine origin including margarine and olive oil.

19th Washington, D.C., 16-20 March 1998

20th Washington, D.C., 11-15 September 2000

21st San Antonio, Texas, 23-27 September 2002

委託事項：全種類の加工果実及び野菜の世界規模規格を作成する。これには、乾燥製品、乾燥えんどうとビーンズの缶詰、ジャム及びゼリーを含むが、乾燥すももあるいは果実ジュース並びに野菜ジュースは含めない。「委員会」はまた、当部会に急速冷凍果実及び野菜の規格改訂の作業を委託した（P.138参照）

油脂規格部会(CX-709)

主催国：イギリス

1st London, 25-27 February 1964

2nd London, 6-8 April 1965

3rd London, 29 March - 1 April 1966

4th London, 24-28 April 1967

5th London, 16-20 September 1968

6th Madrid, 17-20 November 1969

7th London, 25-29 March 1974

8th London, 24-28 November 1975

9th London, 28 November - 2 December 1977

10th London, 4-8 December 1978

11th London, 23-27 June 1980

12th London, 19-23 April 1982

13th London, 23-27 February 1987

14th London, 27 September - 1 October 1993

15th London, 4-8 November 1996

16th London, 8-12 March 1999

17th London, 19-23 February 2001

18th London, 3-7 February 2003

委託事項：動物性、植物性の油脂及び海産起原の油脂の世界規模規格を作成する。これには、マーガリン及びオリーブ油を含める。

CODEX COMMITTEE ON MEAT (CX-717)***Host Government: Federal Republic of Germany******Sessions:***

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| 1 st | Kulmbach, 28-30 October 1965 |
| 2 nd | Kulmbach, 5-8 July 1966 |
| 3 rd | Kulmbach, 15-17 November 1967 |
| 4 th | Kulmbach, 18-20 June 1969 |
| 5 th | Bonn, 16-20 November 1970 |
| 6 th | Kulmbach, 1-5 November 1971 |
| 7 th | Kulmbach, 25-29 June 1973 |

Dissolved by the 16th Session of the Commission in 1985.

Terms of reference:

To elaborate world wide standards and/or descriptive texts and/or codes of practice as may seem appropriate for the classification, description and grading of carcasses and cuts of beef, veal, mutton, lamb and pork.

CODEX COMMITTEE ON MEAT HYGIENE (CX-723)

Established as the Codex Committee on Meat Hygiene by the 8th Session of the Codex Alimentarius Commission (1971). The terms of reference and the name of the Committee were amended by the 24th Session of the Commission (2001) to include poultry. The specific reference to poultry was removed by the 26th Session of the Commission (2003).

Host Government: New Zealand***Sessions:***

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1 st | London, 10-15 April 1972 |
| 2 nd | London, 18-22 June 1973 |
| 3 rd | London, 25-29 November 1974 |
| 4 th | London, 18-22 May 1981 |
| 5 th | London, 11-15 October 1982 |
| 6 th | Rome, 14-18 October 1991 |
| 7 th | Rome, 29 March - 2 April 1993 |
| 8 th | Wellington, 18-22 February 2002 |
| 9 th | Wellington, 17-21 February 2003 |

食肉規格部会(CX-717)

主催国：ドイツ

1st Kulmbach, 28-30 October 1965

2nd Kulmbach, 5-8 July 1966

3rd Kulmbach, 15-17 November 1967

4th Kulmbach, 18-20 June 1969

5th Bonn, 16-20 November 1970

6th Kulmbach, 1-5 November 1971

7th Kulmbach, 25-29 June 1973

1985年の第16回食品規格委員会で解散した。

委託事項：肉牛、肉用仔牛、羊、仔羊及び豚の屠体並びにそれらのカット肉の分類、記述及び格付けに対して適当と思われる世界規模規格及び／または記述的文書及び／または取扱い規範を作成する。

食肉衛生規格部会(CX-723)

コーデックス食品規格委員会の第8回会議(1971年)において食肉衛生規格部会として設置された。

委託事項及び部会の名称は、2001年の第24回会議において食鳥肉を含んだものに変更された。

食鳥肉に関する特定の委託事項は、2003年の第26回会議において削除された。

主催国：ニュージーランド

1st London, 10-15 April 1972

2nd London, 18-22 June 1973

3rd London, 25-29 November 1974

4th London, 18-22 May 1981

5th London, 11-15 October 1982

6th Rome, 14-18 October 1991

7th Rome, 29 March - 2 April 1993

8th Wellington, 18-22 February 2002

9th Wellington, 17-21 February 2003

Terms of reference:

To elaborate world-wide standards and/or codes of practice as appropriate for meat hygiene.

CODEx COMMITTEE ON PROCESSED MEAT AND POULTRY PRODUCTS (CX-721)

Host Government: *Denmark*

Sessions:

1 st	Kulmbach, 4-5 July 1966
2 nd	Copenhagen, 2-6 October 1967
3 rd	Copenhagen, 24-28 June 1968
4 th	Copenhagen, 9-13 June 1969
5 th	Copenhagen, 23-27 November 1970
6 th	Copenhagen, 17-21 April 1972
7 th	Copenhagen, 3-7 December 1973
8 th	Copenhagen, 10-14 March 1975
9 th	Copenhagen, 29 November - 3 December 1976
10 th	Copenhagen, 20-24 November 1978
11 th	Copenhagen, 22-26 September 1980
12 th	Copenhagen, 4-8 October 1982
13 th	Copenhagen, 23-26 October 1984
14 th	Copenhagen, 12-16 September 1988
15 th	Copenhagen, 8-12 October 1990

Abolished by the 23rd Session of the Commission (1999).

Terms of reference:

To elaborate world wide standards for processed meat products, including consumer packaged meat, and for processed poultry meat products.

CODEx COMMITTEE ON FISH AND FISHERY PRODUCTS (CX-722)

Host Government: *Norway*

Sessions:

1 st	Bergen, 29 August - 2 September 1966
2 nd	Bergen, 9-13 October 1967
3 rd	Bergen, 7-11 October 1968
4 th	Bergen, 29 September 8 - October 1969

委託事項：食肉衛生に関して適当と思われる世界規模規格及び／または取扱い規範を作成する。

加工食肉・食鳥肉製品規格部会(CX-721)

主催国：デンマーク

1st Kulmbach, 4-5 July 1966

2nd Copenhagen, 2-6 October 1967

3rd Copenhagen, 24-28 June 1968

4th Copenhagen, 9-13 June 1969

5th Copenhagen, 23-27 November 1970

6th Copenhagen, 17-21 April 1972

7th Copenhagen, 3-7 December 1973

8th Copenhagen, 10-14 March 1975

9th Copenhagen, 29 November - 3 December 1976

10th Copenhagen, 20-24 November 1978

11th Copenhagen, 22-26 September 1980

12th Copenhagen, 4-8 October 1982

13th Copenhagen, 23-26 October 1984

14th Copenhagen, 12-16 September 1988

15th Copenhagen, 8-12 October 1990

1999年の第23回食品規格委員会で解散した。

委託事項：消費者用包装済食肉を含む加工食肉製品及び加工食鳥肉製品の世界規模規格を作成する。

魚類・水産製品規格部会(CX-722)

主催国：ノルウェー

1st Bergen, 29 August - 2 September 1966

2nd Bergen, 9-13 October 1967

3rd Bergen, 7-11 October 1968

4th Bergen, 29 September 8 - October 1969

5th Bergen, 5-10 October 1970

6th Bergen, 4-8 October 1971

7th Bergen, 2-7 October 1972

8th Bergen, 1-6 October 1973

5 th	Bergen, 5-10 October 1970
6 th	Bergen, 4-8 October 1971
7 th	Bergen, 2-7 October 1972
8 th	Bergen, 1-6 October 1973
9 th	Bergen, 30 September - 5 October 1974
10 th	Bergen, 29 September - 4 October 1975
11 th	Bergen, 27 September - 2 October 1976
12 th	Bergen, 3-8 October 1977
13 th	Bergen, 7-11 May 1979
14 th	Bergen, 5-10 May 1980
15 th	Bergen, 3-8 May 1982
16 th	Bergen, 7-11 May 1984
17 th	Oslo, 5-9 May 1986
18 th	Bergen, 2-6 May 1988
19 th	Bergen, 11-15 June 1990
20 th	Bergen, 1-5 June 1992
21 st	Bergen, 2-6 May 1994
22 nd	Bergen, 6-10 May 1996
23 rd	Bergen, 8-12 June 1998
24 th	Ålesund, 5-9 June 2000
25 th	Ålesund, 3-7 June 2002

Terms of reference:

To elaborate world wide standards for fresh, frozen (including quick frozen) or otherwise processed fish, crustaceans and molluscs.

CODEX COMMITTEE ON EDIBLE ICES (CX-724)***Host Government: Sweden******Sessions:***

1 st	Stockholm, 18-22 February 1974
2 nd	Stockholm, 23-27 June 1975
3 rd	Stockholm, 11-15 October 1976

Abolished by the 22nd Session of the Commission 1997.

Terms of reference:

To elaborate world wide standards as appropriate for all types of edible ices, including mixes and powders used for their manufacture.

9th Bergen, 30 September - 5 October 1974
10th Bergen, 29 September - 4 October 1975
11th Bergen, 27 September - 2 October 1976
12th Bergen, 3-8 October 1977
13th Bergen, 7-11 May 1979
14th Bergen, 5-10 May 1980
15th Bergen, 3-8 May 1982
16th Bergen, 7-11 May 1984
17th Oslo, 5-9 May 1986
18th Bergen, 2-6 May 1988
19th Bergen, 11-15 June 1990
20th Bergen, 1-5 June 1992
21st Bergen, 2-6 May 1994
22nd Bergen, 6-10 May 1996
23rd Bergen, 8-12 June 1998
24th Ålesund, 5-9 June 2000
25th Ålesund, 3-7 June 2002

委託事項：生鮮、冷凍（急速冷凍を含む）またはその他の加工した魚、甲殻類及び軟体動物の世界規模規格を作成する。

食用氷規格部会(CX-724)

主催国：スウェーデン

1st Stockholm, 18-22 February 1974
2nd Stockholm, 23-27 June 1975
3rd Stockholm, 11-15 October 1976

1997年の第22回食品規格委員会で解散した。

委託事項：全種類の食用氷及びそれらを製造するのに使用されるミックス類及びパウダー類の世界規模規格を作成する。

CODEx COMMITTEE ON SOUPS AND BROTHS (CX-726)**Host Government: Switzerland****Sessions:**

- 1st Berne, 3-7 November 1975
- 2nd St. Gallen, 7-11 November 1977

Abolished by the 24th Session of the Commission 2001

Terms of reference:

To elaborate world wide standards for soups, broths, bouillons and consommés.

CODEx COMMITTEE ON CEREALS, PULSES AND LEGUMES (CX-729)**Host Government: United States of America****Sessions:**

- 1st Washington, D.C., 24-28 March 1980
- 2nd Washington, D.C., 27 April - 1 May 1981
- 3rd Washington, D.C., 25-29 October 1982
- 4th Washington, D.C., 24-28 September 1984
- 5th Washington, D.C., 17-21 March 1986
- 6th Washington, D.C., 24-28 October 1988
- 7th Washington, D.C., 22-26 October 1990
- 8th Washington, D.C., 26-30 October 1992
- 9th Washington, D.C., 31 October - 4 November 1994

Adjourned *sine die*.

Terms of reference:

To elaborate world wide standards and/or codes of practice as may be appropriate for cereals, pulses, legumes and their products.

CODEx COMMITTEE ON VEGETABLE PROTEINS (CX-728)**Host Government: Canada****Sessions:**

- 1st Ottawa, 3-7 November 1980
- 2nd Ottawa, 1-5 March 1983
- 3rd Ottawa, 6-10 February 1984

スープ・ブロス規格部会(CX-726)

主催国：スイス

1st Berne, 3-7 November 1975

2nd St. Gallen, 7-11 November 1977

2001年の第24回食品規格委員会で解散した。

委託事項：スープ類、ブロス類、ブイヨン類及びコンソメ類の世界規模規格を作成する。

穀類・豆類規格部会(CX-729)

主催国：アメリカ

1st Washington, D.C., 24-28 March 1980

2nd Washington, D.C., 27 April - 1 May 1981

3rd Washington, D.C., 25-29 October 1982

4th Washington, D.C., 24-28 September 1984

5th Washington, D.C., 17-21 March 1986

6th Washington, D.C., 24-28 October 1988

7th Washington, D.C., 22-26 October 1990

8th Washington, D.C., 26-30 October 1992

9th Washington, D.C., 31 October - 4 November 1994

無期休会

委託事項：適宜、穀類、豆類及びそれらの製品の世界規模規格及び／または取扱い規範を作成する。

植物タンパク規格部会(CX-728)

主催国：カナダ

1st Ottawa, 3-7 November 1980

2nd Ottawa, 1-5 March 1983

3rd Ottawa, 6-10 February 1984

- 4th Havana, 2-6 February 1987
5th Ottawa, 6-10 February 1989

Adjourned *sine die*.

Terms of reference:

To elaborate definitions and world wide standards for vegetable protein products deriving from any member of the plant kingdom as they come into use for human consumption, and to elaborate guidelines on utilization of such vegetable protein products in the food supply system, on nutritional requirements and safety, on labelling and on other aspects as may seem appropriate.

CODEX COMMITTEE ON FRESH FRUITS AND VEGETABLES (CX-731)

Established by the 17th Session of the Commission (1987) as the Codex Committee on Tropical Fresh Fruits and Vegetables. Its name and Terms of Reference were amended by the 21st Session of the Commission (1995).

Host Government: Mexico

Sessions:

- 1st Mexico City, 6-10 June 1988
2nd Mexico City, 5-9 March 1990
3rd Mexico City, 23-27 September 1991
4th Mexico City, 1-5 February 1993
5th Mexico City, 5-9 September 1994
6th Mexico City, 29 January - 2 February 1996
7th Mexico City, 8-12 September 1997
8th Mexico City, 1-5 March 1999
9th Mexico City, 9-13 October 2000
10th Mexico City, 10-14 June 2002

Terms of Reference:

- (a) to elaborate world wide standards and codes of practice as may be appropriate for fresh fruits and vegetables;
- (b) to consult with the UN/ECE Working Party on Standardization of Perishable Produce in the elaboration of world wide standards and codes of

4th Havana, 2-6 February 1987

5th Ottawa, 6-10 February 1989

無期休会

委託事項：人間の摂取に使用されてきた植物源に由来する植物タンパク食品の定義及び世界規模規格を作成する。さらに、食品供給システムにおける植物タンパク食品の利用に関するガイドライン、栄養の基準並びに安全性に関するガイドライン、表示に関するガイドライン及び適当と思われる他の面に関するガイドラインを作成する。

生鮮果実・野菜規格部会(CX-731)

「委員会」の1987年の第17回会議において熱帯生鮮果実・野菜規格部会として設置された。その名称及び委託事項は、1995年の第21回会議までに変更になっている。

主催国：メキシコ

1st Mexico City, 6-10 June 1988

2nd Mexico City, 5-9 March 1990

3rd Mexico City, 23-27 September 1991

4th Mexico City, 1-5 February 1993

5th Mexico City, 5-9 September 1994

6th Mexico City, 29 January - 2 February 1996

7th Mexico City, 8-12 September 1997

8th Mexico City, 1-5 March 1999

9th Mexico City, 9-13 October 2000

10th Mexico City, 10-14 June 2002

委託事項：

(a) 生鮮果実及び野菜に対して適当と思われる世界規模規格及び取扱い規範を作成する。

(b) 世界規模規格及び取扱い規範の作成に当たっては、腐敗しやすい製品の規格化作業を行う UN/ECE作業パーティと、とりわけ規格または取扱い規範の重複がないこと並びにそれらが同様の広範な書式に従うことを保証する点に関して協議する。²⁵

practice with particular regard to ensuring that there is no duplication of standards or codes of practice and that they follow the same broad format²⁵;

(c) to consult, as necessary, with other international organizations which are active in the area of standardization of fresh fruits and vegetables.

CODEx COMMITTEE ON MILK AND MILK PRODUCTS (CX-703)

Host Government: New Zealand

Sessions:

1 st	Rome, 28 November - 2 December 1994
2 nd	Rome, 27-31 May 1996
3 rd	Montevideo (Uruguay), 18-22 May 1998
4 th	Wellington, 28 February – March 2000
5 th	Wellington, 8-12 April 2002

Terms of reference:

To elaborate world-wide standards, codes and related texts for milk and milk products.

²⁵ The Working Party on Standardization of Perishable Produce of the United Nations Economic Commission for Europe:

1. may recommend that a world wide Codex standard for fresh fruits and vegetables should be elaborated and submit its recommendation either to the Codex Committee on Fresh Fruits and Vegetables for consideration or to the Commission for approval;
2. may prepare “proposed draft standards” for fresh fruits or vegetables at the request of the Codex Committee on Fresh Fruits and Vegetables or of the Commission for distribution by the Codex Secretariat at Step 3 of the Codex Procedure, and for further action by the Codex Committee on Fresh Fruits and Vegetables;
3. may wish to consider “proposed draft standards” and “draft standards” for fresh fruits and vegetables and transmit comments on them to the Codex Committee on Fresh Fruits and Vegetables at Steps 3 and 6 of the Codex Procedure; and
4. may perform specific tasks in relation to the elaboration of standards for fresh fruits and vegetables at the request of the Codex Committee on Fresh Fruits and Vegetables.

Codex “proposed draft standards” and “draft standards” for fresh fruits and vegetables at Steps 3 and 6 of the Codex Procedure should be submitted to the UN/ECE Secretariat for obtaining comments.

(c)必要であれば、生鮮果実及び野菜に関する規格化の分野で活動している他の国際機関と協議する。

乳・乳製品規格部会(CX-703)

主催国：ニュージーランド

1st Rome, 28 November - 2 December 1994

2nd Rome, 27-31 May 1996

3rd Montevideo (Uruguay), 18-22 May 1998

4th Wellington, 28 February – March 2000

5th Wellington, 8-12 April 2002

委託事項：乳及び乳製品に関する国際的な規格、規範及び関連文書を作成する。

²⁵：腐敗しやすい製品の規格化作業を行うUN/ECE（国連欧州経済委員会）の作業パーティは：

1. 生鮮果実及び野菜のための世界規模食品規格が作成されるよう勧告できる。さらに、その勧告を、検討のため生鮮果実・野菜規格部会、または承認のため「委員会」に提出することができる。
2. 生鮮果実・野菜規格部会あるいは「委員会」の要請に応じて、コーデックス手続きのStep 3でのコーデックス事務局による配布、さらに生鮮果実・野菜規格部会による、さらなる手続きをとるために、生鮮果実・野菜に関する「提案規格草案」を作成することができる。
3. 生鮮果実及び野菜に対する「提案規格草案」及び「規格草案」の検討を期待し、コーデックス手続きのStep 3及び6でそれらの規格草案に関する意見を生鮮果実・野菜規格部会に伝達することができる。
4. 生鮮果実及び野菜の規格作成に関して、生鮮果実・野菜規格部会の要請に応じて特定の任務を遂行することができる。

コーデックス手続きのStep 3及び6における生鮮果実及び野菜のための「提案規格草案」及び「規格草案」は、コメント要請のためUN/ECE事務局に提出されなければならない。

CODEx COMMITTEE ON NATURAL MINERAL WATERS (CX-719)

The Committee was established by the Commission as a Regional (European) Codex Committee, but has since been allocated the task of elaborating world-wide standards for natural mineral waters and bottled (packaged) water other than natural mineral water.

Host Government: Switzerland**Sessions:**

- | | |
|-----------------|--|
| 1 st | Baden/Aarzan, 24-25 February 1966 |
| 2 nd | Montreux, 6-7 July 1967 |
| 3 rd | Bad Ragaz, - 9 May 1968 |
| 4 th | Vienna, 12-13 June 1972 |
| 5 th | Thun, 3-5 October 1996 |
| 6 th | Berne, 19-21 November 1998 |
| 7 th | Fribourg, 30 October – 1 November 2000 |

Adjourned *sine die*.

Terms of reference:

To elaborate regional standards for natural mineral waters.

**AD HOC CODEX INTERGOVERNMENTAL TASK FORCES
UNDER RULE X.1(B)(I)**

**AD HOC CODEX INTERGOVERNMENTAL TASK FORCE ON FRUIT AND
VEGETABLE JUICES (CX-801)****Host Government: Brazil****Sessions:**

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 1 st | Brasília, 18-22 September 2000 |
| 2 nd | Rio de Janeiro, 23-26 April 2002 |
| 3 rd | Salvador (Bahia), 6 - 10 May 2003 |

Terms of Reference:

The *ad hoc* Task Force shall:

- (a) revise and consolidate the existing Codex standards and guidelines for fruit and vegetable juices and related products, giving preference to general standards;

ナチュラルミネラルウォーター規格部会(CX-719)

主催国：スイス

1st Badan/Aarzan, 24-25 February 1966

2nd Montreux, 6-7 July 1967

3rd Bad Ragaz, - 9 May 1968

4th Vienna, 12-13 June 1972

5th Thun, 3-5 October 1996

6th Berne, 19-21 November 1998

7th Fribourg, 30 October – 1 November 2000

無期休会

委託事項：ナチュラルミネラルウォーターの地域規模規格を作成する。

食品規格委員会手続き規定X.1(B)(I)に基づく政府間特別部会

果汁及・野菜ジュースに関する政府間特別部会(CX-801)

主催国：ブラジル

1st Brasília, 18-22 September 2000

2nd Rio de Janeiro, 23-26 April 2002

3rd Salvador (Bahia), 6 - 10 May 2003

委託事項：当特別部会の委託事項は次の通りとする。

(a) 果汁、野菜ジュース及び関連商品に関する既存の国際食品規格及びガイドラインを改訂統合し、その際には一般原則を優先的に考慮しながら作業する。

(b) revise and up-date the methods of analysis and sampling for these products;

(c) complete its work prior to the 28th Session of the Commission (2005).

AD HOC CODEX INTERGOVERNMENTAL TASK FORCE ON FOODS DERIVED FROM BIOTECHNOLOGY (CX-802)

Host Government: Japan

Sessions:

1 st	Chiba, 14-17 March 2000
2 nd	Chiba, 25-29 March 2001
3 rd	Yokohama, 4-8 March 2002
4 th	Yokohama, 11-14 March 2003

Dissolved by the 26th Session of the Commission (2003) upon completion of its mandate.

Objectives

To develop standards, guidelines or recommendations, as appropriate, for foods derived from biotechnology or traits introduced into foods by biotechnology, on the basis of scientific evidence, risk analysis and having regard, where appropriate, to other legitimate factors relevant to the health of consumers and the promotion of fair trade practices.

Time frame

The Task Force shall complete its work within four years. The Task Force should first submit a preliminary report to the Commission in 2001, a mid-term report, where appropriate, to the Executive Committee in 2002, and a full report in 2003.

Terms of Reference

(a) To elaborate standards, guidelines, or other principles, as appropriate, for foods derived from biotechnology;

(b) To coordinate and closely collaborate, as necessary, with appropriate Codex Committees within their mandate as relates to foods derived from biotechnology; and

(c) To take full account of existing work carried out by national authorities, FAO, WHO, other international organizations and other relevant international fora.

(b) 前述の商品の分析方法及びサンプリング方法を改訂及び更新する。

(c) 当特別部会の作業は、2005年28回食品規格委員会までに終えるものとする。

バイオテクノロジー応用食品に関する政府間特別部会(CX-802)

主催国：日本

1st Chiba, 14-17 March 2000

2nd Chiba, 25-29 March 2001

3rd Yokohama, 4-8 March 2002

4th Yokohama, 11-14 March 2003

当該目的事項完了のため、2003年の第26回食品規格委員会で解散した。

目的：科学的証拠、リスク分析、必要であれば消費者の健康に関する法的要因並びに公正な貿易慣行の促進に考慮し、バイオテクノロジー応用食品に関する規格、ガイドライン又は勧告を作成する。

作業期間：当特別部会はその作業を4年以内に終了させる。当特別部会はまず2001年に食品規格委員会に予備報告を提出し、必要であれば2002年に執行委員会あてに中間報告を提出し、2003年に最終報告を提出する。

委託事項：

(a) 適宜、バイオテクノロジー応用食品に関する規格、ガイドライン及びその他原則を作成する。

(b) 必要であれば、バイオテクノロジー応用食品に関連する適当な食品規格部会と綿密に連携協力し、それらの任務とのすりあわせを行う。

(c) 各国の政府機関、FAO、WHO、その他機関及び関連国際司法によって遂行中の作業を全て考慮する。

**AD HOC CODEX INTERGOVERNMENTAL TASK FORCE ON ANIMAL FEEDING
(CX-803)****Host Government: Denmark****Sessions:**

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1 st | Copenhagen, 13-15 June 2000 |
| 2 nd | Copenhagen, 19-21 March 2001 |
| 3 rd | Copenhagen, 17-20 June 2002 |
| 4 th | Copenhagen, 25-28 March 2003 |

Objectives

With the aim of ensuring the safety and quality of foods of animal origin, the Task Force should develop guidelines or standards as appropriate on Good Animal Feeding practices.

Time Frame

The Task Force shall complete its work within four years. The Task Force should first submit a preliminary report to the Commission in 2001 and a full report in 2003.

The mandate of the Task Force was extended by one year by the 26th Session of the Commission (2003) in order to allow completion of its work.

Terms of Reference

- (a) To complete and extend the work already done by relevant Codex Committees on the Draft Code of Practice for Good Animal Feeding.
- (b) To address other aspects which are important for food safety, such as problems related to toxic substances, pathogens, microbial resistance, new technologies, storage, control measures, traceability, etc.
- (c) To take full account of and collaborate with, as appropriate, work carried out by relevant Codex Committees, and other relevant international bodies, including FAO, WHO, OIE and IPPC.

動物用飼料に関する政府間特別部会(CX-803)

主催国：デンマーク

1st Copenhagen, 13-15 June 2000

2nd Copenhagen, 19-21 March 2001

3rd Copenhagen, 17-20 June 2002

4th Copenhagen, 25-28 March 2003

目的：動物性起源の食品の安全性及び品質を保証するため、必要であれば適正農業規範に則り、当特別部会はガイドライン又は規格を作成する。

作業期間：当特別部会はその作業を4年以内に終了させる。当特別部会はまず2001年に食品規格委員会に予備報告を提出し、2003年に最終報告を提出する。

当特別部会の委託期間は、当該作業を完了させるため、2003年第26回食品規格委員会において1年延長された。

委託事項：

(a) 既に関連する食品規格委員会の部会で作成された適正動物用飼料の使用に関する取扱い規範草案を完了及び改良する。

(b) 毒性物質、病原体、微生物の抵抗、新たなテクノロジー、保管、管理方法、トレーサビリティ等、食品の安全性に関してその他重要と思われる事項について喚起する。

(c) 適宜、関連する食品規格委員会の部会及びFAO・WHO・OIE・IPPCを含むその他国際機関によって遂行中の任務を全て考慮する。

SUBSIDIARY BODIES UNDER RULE X.1(B)(II)**FAO/WHO COORDINATING COMMITTEE FOR AFRICA (CX-707)****Membership:**

Membership of the Committee is open to all Member Nations and Associate Members of FAO and/or WHO which are members of the Codex Alimentarius Commission, within the geographic location of Africa.

Terms of reference:

- (a) defines the problems and needs of the region concerning food standards and food control;
- (b) promotes within the Committee contacts for the mutual exchange of information on proposed regulatory initiatives and problems arising from food control and stimulates the strengthening of food control infrastructures;
- (c) recommends to the Commission the development of world wide standards for products of interest to the region, including products considered by the Committee to have an international market potential in the future;
- (d) develops regional standards for food products moving exclusively or almost exclusively in intra regional trade;
- (e) draws the attention of the Commission to any aspects of the Commission's work of particular significance to the region;
- (f) promotes coordination of all regional food standards work undertaken by international governmental and non-governmental organizations within the region;
- (g) exercises a general coordinating role for the region and such other functions as may be entrusted to it by the Commission;
- (h) promotes the acceptance of Codex standards and maximum limits for residues by member countries.

Sessions:

1 st	Rome, 24-27 June 1974
2 nd	Accra, 15-19 September 1975
3 rd	Accra, 26-30 September 1977
4 th	Dakar, 3-7 September 1979
5 th	Dakar, 25-29 May 1981
6 th	Nairobi, 31 October - 5 November 1983
7 th	Nairobi, 12-18 February 1985

食品規格委員会手続き規定X.1(B)(II)に基づく政府間特別部会

アフリカ地域調整委員会(CX-707)

加盟資格：当委員会は、アフリカ地域内にある食品規格委員会加盟国でFAO及び／またはWHOのすべての加盟国及び準加盟国に公開されている。

委託事項：

- (a) この地域における食品規格及び食品管理の問題及びニーズの輪郭をはっきり示す。
- (b) 提案された規制上の発議の作成及び食品管理から生じる問題に関する情報の相互交換のため、当委員会内の連絡を促進する。さらに、食品の管理基盤の強化を促進する。
- (c) 当委員会が、将来国際市場力を潜在的に有すると考えられる製品も含めて、この地域に利害関係のある製品の世界規模規格の開発を「委員会」に勧告する。
- (d) 専らまたはほとんど専ら地域内貿易で移動している食品の地域規格を開発する。
- (e) この地域に特に意義のある食品規格委員会の仕事のあらゆる面に、「委員会」の注意を喚起する。
- (f) この地域内で、国際的な政府間及び非政府間機関によって着手されたすべての地域食品規格事業の調整を促進する。
- (g) 当地域に対する一般的な調整及び当委員会に「委員会」が委託できる他の機能を行使する。
- (h) 加盟国によるコーデックス食品規格及び最大残留基準値の採択を促進する。

1st Rome, 24-27 June 1974

2nd Accra, 15-19 September 1975

3rd Accra, 26-30 September 1977

4th Dakar, 3-7 September 1979

5th Dakar, 25-29 May 1981

6th Nairobi, 31 October - 5 November 1983

7th Nairobi, 12-18 February 1985

8 th	Cairo, 29 November - 3 December 1988
9 th	Cairo, 3-7 December 1990
10 th	Abuja, 3-6 November 1992
11 th	Abuja, 8-11 May 1995
12 th	Harare, 19-22 November 1996
13 th	Harare, 3-6 November 1998
14 th	Kampala, 27-30 November 2000
15 th	Kampala, 26-29 November 2002

FAO/WHO COORDINATING COMMITTEE FOR ASIA (CX-727)***Membership:***

Membership of the Committee is open to all Member Nations and Associate Members of FAO and/or WHO which are members of the Codex Alimentarius Commission, within the geographic location of Asia.

Terms of reference:

- (a) defines the problems and needs of the region concerning food standards and food control;
- (b) promotes within the Committee contacts for the mutual exchange of information on proposed regulatory initiatives and problems arising from food control and stimulates the strengthening of food control infrastructures;
- (c) recommends to the Commission the development of world wide standards for products of interest to the region, including products considered by the Committee to have an international market potential in the future;
- (d) develops regional standards for food products moving exclusively or almost exclusively in intra regional trade;
- (e) draws the attention of the Commission to any aspects of the Commission's work of particular significance to the region;
- (f) promotes coordination of all regional food standards work undertaken by international governmental and non-governmental organizations within the region;
- (g) exercises a general coordinating role for the region and such other functions as may be entrusted to it by the Commission;
- (h) promotes the acceptance of Codex standards and maximum limits for residues by member countries.

8th Cairo, 29 November - 3 December 1988

9th Cairo, 3-7 December 1990

10th Abuja, 3-6 November 1992

11th Abuja, 8-11 May 1995

12th Harare, 19-22 November 1996

13th Harare, 3-6 November 1998

14th Kampala, 27-30 November 2000

15th Kampala, 26-29 November 2002

アジア地域調整委員会(CX-727)

加盟資格：当委員会は、アジア地域内にある食品規格委員会加盟国でFAO及び／またはWHOのすべての加盟国及び準加盟国に公開されている。

委託事項：

- (a) この地域における食品規格及び食品管理の問題及びニーズの輪郭をはっきり示す。
- (b) 提案された規制上の発議の作成及び食品管理から生じる問題に関する情報の相互交換のため、当委員会内の連絡を促進する。さらに、食品の管理基盤の強化を促進する。
- (c) 当委員会が、将来国際市場力を潜在的に有すると考えられる製品も含めて、この地域に利害関係のある製品の世界規模規格の開発を「委員会」に勧告する。
- (d) 専らまたはほとんど専ら地域内貿易で移動している食品の地域規格を開発する。
- (e) この地域に特に意義のある食品規格委員会の仕事のあらゆる面に、「委員会」の注意を喚起する。
- (f) この地域内で、国際的な政府間及び非政府間の機関によって着手されたすべての地域食品規格事業の調整を促進する。
- (g) 当地域に対する一般的な調整及び当委員会に「委員会」が委託できる他の機能を行使する。
- (h) 加盟国によるコーデックス食品規格及び最大残留基準値の採択を促進する。

Sessions:

- | | |
|------------------|--|
| 1 st | New Delhi, 10-16 January 1977 |
| 2 nd | Manila, 20-26 March 1979 |
| 3 rd | Colombo, 2-8 February 1982 |
| 4 th | Phetchburi, 28 February - 5 March 1984 |
| 5 th | Yogyakarta, 8-14 April 1986 |
| 6 th | Denpasar, 26 January - 1 February 1988 |
| 7 th | Chiang-Mai, 5-12 February 1990 |
| 8 th | Kuala Lumpur, 27-31 January 1992 |
| 9 th | Beijing, 24-27 May 1994 |
| 10 th | Tokyo, 5-8 March 1996 |
| 11 th | Chiang Rai, 16-19 December 1997 |
| 12 th | Chaing-Mai, 23-26 November 1999 |
| 13 th | Kuala Lumpur, 17-20 September 2002 |

FAO/WHO COORDINATING COMMITTEE FOR EUROPE (CX-706)**Membership:**

This Committee is open to all Member Governments of FAO and/or WHO within the geographic area of Europe, including Israel, Turkey and the Russian Federation and its Chairperson is, ex officio, the Coordinator for Europe.

Terms of reference:

- (a) defines the problems and needs of the region concerning food standards and food control;
- (b) promotes within the Committee contacts for the mutual exchange of information on proposed regulatory initiatives and problems arising from food control and stimulates the strengthening of food control infrastructures;
- (c) recommends to the Commission the development of world wide standards for products of interest to the region, including products considered by the Committee to have an international market potential in the future;
- (d) develops regional standards for food products moving exclusively or almost exclusively in intra regional trade;
- (e) draws the attention of the Commission to any aspects of the Commission's work of particular significance to the region;
- (f) promotes coordination of all regional food standards work undertaken by international governmental and non-governmental organizations within the region;

1st New Delhi, 10-16 January 1977
2nd Manila, 20-26 March 1979
3rd Colombo, 2-8 February 1982
4th Phetchburi, 28 February - 5 March 1984
5th Yogyakarta, 8-14 April 1986
6th Denpasar, 26 January - 1 February 1988
7th Chiang-Mai, 5-12 February 1990
8th Kuala Lumpur, 27-31 January 1992
9th Beijing, 24-27 May 1994
10th Tokyo, 5-8 March 1996
11th Chiang Rai, 16-19 December 1997
12th Chaing-Mai, 23-26 November 1999
13th Kuala Lumpur, 17-20 September 2002

ヨーロッパ地域調整委員会(CX-706)

加盟資格：当委員会は、イスラエル、トルコ及びロシアを含むヨーロッパ地域内にあるFAO及び／またはWHOのすべての加盟国政府に公開されている。当委員会の議長は、その職権によりヨーロッパ調整官を兼ねる。

委託事項：

- (a) この地域における食品規格及び食品管理の問題及びニーズの輪郭をはっきり示す。
- (b) 提案された規制上の発議の作成及び食品管理から生じる問題に関する情報の相互交換のため、当委員会内の連絡を促進する。さらに、食品の管理基盤の強化を促進する。
- (c) 当委員会が、将来国際市場力を潜在的に有すると考えられる製品も含めて、この地域に利害関係のある製品の世界規模規格の開発を「委員会」に勧告する。
- (d) 専らまたはほとんど専ら地域内貿易で移動している食品の地域規格を開発する。
- (e) この地域に特に意義のある食品規格委員会の仕事のあらゆる面に、「委員会」の注意を喚起する。
- (f) この地域内で、国際的な政府間及び非政府間の機関によって着手されたすべての地域食品規格事業の調整を促進する。

(g) exercises a general coordinating role for the region and such other functions as may be entrusted to it by the Commission;

(h) promotes the acceptance of Codex standards and maximum limits for residues by member countries.

Sessions:

1 st	Berne, 1-2 July 1965
2 nd	Rome, 20 October 1965
3 rd	Vienna, 24-27 May 1966
4 th	Rome, 8 November 1966
5 th	Vienna, 6-8 September 1967
6 th	Vienna, 4-8 November 1968
7 th	Vienna, 7-10 October 1969
8 th	Vienna, 27-29 October 1971
9 th	Vienna, 14-16 June 1972
10 th	Vienna, 13-17 June 1977
11 th	Innsbruck, 28 May - 1 June 1979
12 th	Innsbruck, 16-20 March 1981
13 th	Innsbruck, 27 September - 1 October 1982
14 th	Thun, 4-8 June 1984
15 th	Thun, 16-20 June 1986
16 th	Vienna, 27 June - 1 July 1988
17 th	Vienna, 28 May - 1 June 1990
18 th	Stockholm, 11-15 May 1992
19 th	Stockholm, 16-20 May 1994
20 th	Uppsala, 23-26 April 1996
21 st	Madrid, 5-8 May 1998
22 nd	Madrid, 3-6 October 2000
23 rd	Bratislava, 10-13 September 2002

FAO/WHO COORDINATING COMMITTEE FOR LATIN AMERICA AND THE CARIBBEAN (CX-725)

Membership:

Membership of the Committee is open to all Member Nations and Associate Members of FAO and/or WHO which are members of the Codex Alimentarius Commission, within the geographic location of Latin America and the Caribbean.

(g) 当地域に対する一般的な調整及び当委員会に「委員会」が委託できる他の機能を行使する。

(h) 加盟国によるコーデックス食品規格及び最大残留基準値の採択を促進する。

1st Berne, 1-2 July 1965

2nd Rome, 20 October 1965

3rd Vienna, 24-27 May 1966

4th Rome, 8 November 1966

5th Vienna, 6-8 September 1967

6th Vienna, 4-8 November 1968

7th Vienna, 7-10 October 1969

8th Vienna, 27-29 October 1971

9th Vienna, 14-16 June 1972

10th Vienna, 13-17 June 1977

11th Innsbruck, 28 May - 1 June 1979

12th Innsbruck, 16-20 March 1981

13th Innsbruck, 27 September - 1 October 1982

14th Thun, 4-8 June 1984

15th Thun, 16-20 June 1986

16th Vienna, 27 June - 1 July 1988

17th Vienna, 28 May - 1 June 1990

18th Stockholm, 11-15 May 1992

19th Stockholm, 16-20 May 1994

20th Uppsala, 23-26 April 1996

21st Madrid, 5-8 May 1998

22nd Madrid, 3-6 October 2000

23rd Bratislava, 10-13 September 2002

ラテンアメリカ・カリブ海地域調整委員会(CX-725)

加盟資格：当委員会は、ラテンアメリカ及びカリブ海地域内にある食品規格委員会加盟国でFAO及び／またはWHOのすべての加盟国及び準加盟国に公開されている。

Terms of reference:

- (a) defines the problems and needs of the region concerning food standards and food control;
- (b) promotes within the Committee contacts for the mutual exchange of information on proposed regulatory initiatives and problems arising from food control and stimulates the strengthening of food control infrastructures;
- (c) recommends to the Commission the development of world wide standards for products of interest to the region, including products considered by the Committee to have an international market potential in the future;
- (d) develops regional standards for food products moving exclusively or almost exclusively in intra regional trade;
- (e) draws the attention of the Commission to any aspects of the Commission's work of particular significance to the region;
- (f) promotes coordination of all regional food standards work undertaken by international governmental and non-governmental organizations within the region;
- (g) exercises a general coordinating role for the region and such other functions as may be entrusted to it by the Commission;
- (h) promotes the acceptance of Codex standards and maximum limits for residues by member countries.

Sessions:

1 st	Rome, 25-26 March 1976
2 nd	Montevideo, 9-15 December 1980
3 rd	Havana, 27 March - 2 April 1984
4 th	Havana, 17-22 April 1985
5 th	Havana, 11-16 February 1987
6 th	San José, 20-24 February 1989
7 th	San José, 1-10 July 1991
8 th	Brasília, 16-20 March 1993
9 th	Brasília, 3-7 April 1995
10 th	Montevideo, 25-28 February 1997
11 th	Montevideo, 8-11 December 1998
12 th	Santo Domingo, 13-16 February 2001
13 th	Santo Domingo, 9-13 December 2002

委託事項：

- (a) この地域における食品規格及び食品管理の問題及びニーズの輪郭をはっきり示す。
- (b) 提案された規制上の発議の作成及び食品管理から生じる問題に関する情報の相互交換のため、当委員会内の連絡を促進する。さらに、食品の管理基盤の強化を促進する。
- (c) 当委員会が、将来国際市場力を潜在的に有すると考えられる製品も含めて、この地域に利害関係のある製品の世界規模規格の開発を「委員会」に勧告する。
- (d) 専らまたはほとんど専ら地域内貿易で移動している食品の地域規格を開発する。
- (e) この地域に特に意義のある食品規格委員会の仕事のあらゆる面に、「委員会」の注意を喚起する。
- (f) この地域内で、国際的な政府間及び非政府間機関によって着手されたすべての地域食品規格事業の調整を促進する。
- (g) 当地域に対する一般的な調整及び当委員会に「委員会」が委託できる他の機能を行使する。
- (h) 加盟国によるコーデックス食品規格及び最大残留基準値の採択を促進する。

1st Rome, 25-26 March 1976

2nd Montevideo, 9-15 December 1980

3rd Havana, 27 March - 2 April 1984

4th Havana, 17-22 April 1985

5th Havana, 11-16 February 1987

6th San José, 20-24 February 1989

7th San José, 1-10 July 1991

8th Brasília, 16-20 March 1993

9th Brasília, 3-7 April 1995

10th Montevideo, 25-28 February 1997

11th Montevideo, 8-11 December 1998

12th Santo Domingo, 13-16 February 2001

13th Santo Domingo, 9-13 December 2002

FAO/WHO COORDINATING COMMITTEE FOR THE NEAR EAST (CX-734)***Membership:***

Membership of the Committee is open to all Member Nations and Associate Members of FAO and/or WHO that are members of the Codex Alimentarius Commission, within the geographic locations of the Near East as defined by FAO or the Eastern Mediterranean by WHO.

Terms of reference:

- (a) defines the problems and needs of the region concerning food standards and food control;
- (b) promotes within the Committee contacts for the mutual exchange of information on proposed regulatory initiatives and problems arising from food control and stimulates the strengthening of food control infrastructures;
- (c) recommends to the Commission the development of world wide standards for products of interest to the region, including products considered by the Committee to have an international market potential in the future;
- (d) develops regional standards for food products moving exclusively or almost exclusively in intra regional trade;
- (e) draws the attention of the Commission to any aspects of the Commission's work of particular significance to the region;
- (f) promotes coordination of all regional food standards work undertaken by international governmental and non-governmental organizations within the region;
- (g) exercises a general coordinating role for the region and such other functions as may be entrusted to it by the Commission;
- (h) promotes the acceptance of Codex standards and maximum limits for residues by member countries.

Sessions:

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 1 st | Cairo, 29 January - 1 February 2001 |
| 2 nd | Cairo, 20-23 January 2003 |

近東地域調整委員会(CX-734)

加盟資格：当委員会は、FAO定義による近東又はWHO定義による東地中海地域内にある食品規格委員会加盟国でFAO及び／またはWHOのすべての加盟国及び準加盟国に公開されている。

委託事項：

- (a) この地域における食品規格及び食品管理の問題及びニーズの輪郭をはっきり示す。
- (b) 提案された規制上の発議の作成及び食品管理から生じる問題に関する情報の相互交換のため、当委員会内の連絡を促進する。さらに、食品の管理基盤の強化を促進する。
- (c) 当委員会が、将来国際市場力を潜在的に有すると考えられる製品も含めて、この地域に利害関係のある製品の世界規模規格の開発を「委員会」に勧告する。
- (d) 専らまたはほとんど専ら地域内貿易で移動している食品の地域規格を開発する。
- (e) この地域に特に意義のある食品規格委員会の仕事のあらゆる面に、「委員会」の注意を喚起する。
- (f) この地域内で、国際的な政府間及び非政府間の機関によって着手されたすべての地域食品規格事業の調整を促進する。
- (g) 当地域に対する一般的な調整及び当委員会に「委員会」が委託できる他の機能を行使する。
- (h) 加盟国によるコーデックス食品規格及び最大残留基準値の採択を促進する。

Sessions:

1st Cairo, 29 January - 1 February 2001

2nd Cairo, 20-23 January 2003

FAO/WHO COORDINATING COMMITTEE FOR NORTH AMERICA AND THE SOUTH WEST PACIFIC (CX-732)***Membership:***

Membership of the Committee is open to all Member Nations and Associate Members of FAO and/or WHO which are members of the Codex Alimentarius Commission, with the geographic locations of North America and the South West Pacific.

Terms of reference:

- (a) defines the problems and needs of the region concerning food standards and food control;
- (b) promotes within the Committee contacts for the mutual exchange of information on proposed regulatory initiatives and problems arising from food control and stimulates the strengthening of food control infrastructures;
- (c) recommends to the Commission the development of world wide standards for products of interest to the region, including products considered by the Committee to have an international market potential in the future;
- (d) develops regional standards for food products moving exclusively or almost exclusively in intra regional trade;
- (e) draws the attention of the Commission to any aspects of the Commission's work of particular significance to the region;
- (f) promotes coordination of all regional food standards work undertaken by international governmental and non-governmental organizations within the region;
- (g) exercises a general coordinating role for the region and such other functions as may be entrusted to it by the Commission;
- (h) promotes the acceptance of Codex standards and maximum limits for residues by member countries.

Sessions:

- | | |
|-----------------|---|
| 1 st | Honolulu, 30 April - 4 May 1990 |
| 2 nd | Canberra, 2-6 December 1991 |
| 3 rd | Vancouver, 31 May - 3 June 1994 |
| 4 th | Rotorua, 30 April - 3 May 1996 |
| 5 th | Seattle, 6-9 October 1998 |
| 6 th | Perth, 5-8 December 2000 |
| 7 th | Vancouver, 29 October - 1 November 2002 |

北アメリカ・南西太平洋地域調整委員会(CX-732)

加盟資格：当委員会は、北アメリカ及び南西太平洋地域内にある食品規格委員会加盟国でFAO及び／またはWHOのすべての加盟国及び準加盟国に公開されている。

委託事項：

- (a) この地域における食品規格及び食品管理の問題及びニーズの輪郭をはっきり示す。
- (b) 提案された規制上の発議の作成及び食品管理から生じる問題に関する情報の相互交換のため、当委員会内の連絡を促進する。さらに、食品の管理基盤の強化を促進する。
- (c) 当委員会が、将来国際市場力を潜在的に有すると考えられる製品も含めて、この地域に利害関係のある製品の世界規模規格の開発を「委員会」に勧告する。
- (d) 専らまたはほとんど専ら地域内貿易で移動している食品の地域規格を開発する。
- (e) この地域に特に意義のある食品規格委員会の仕事のあらゆる面に、「委員会」の注意を喚起する。
- (f) この地域内で、国際的な政府間及び非政府間の機関によって着手されたすべての地域食品規格事業の調整を促進する。
- (g) 当地域に対する一般的な調整及び当委員会に「委員会」が委託できる他の機能を行行使する。
- (h) 加盟国によるコーデックス食品規格及び最大残留基準値の採択を促進する。

Sessions:

1st Honolulu, 30 April - 4 May 1990

2nd Canberra, 2-6 December 1991

3rd Vancouver, 31 May - 3 June 1994

4th Rotorua, 30 April - 3 May 1996

5th Seattle, 6-9 October 1998

6th Perth, 5-8 December 2000

7th Vancouver, 29 October - 1 November 2002

**JOINT ECE/CODEX ALIMENTARIUS GROUPS OF EXPERTS ON
STANDARDIZATION²⁶*****Quick Frozen Foods (CX-705)******Sessions:***

1 st	Geneva, 6-10 September 1965
2 nd	Geneva, 5-9 September 1966
3 rd	Rome, 18-22 September 1967
4 th	Geneva, 2-6 September 1968
5 th	Rome, 22-26 September 1969
6 th	Rome, 27-31 July 1970
7 th	Geneva, 6-10 December 1971
8 th	Geneva, 30 April - 4 May 1973
9 th	Rome, 7-11 October 1974
10 th	Geneva, 6-10 October 1975
11 th	Geneva, 14-18 March 1977
12 th	Rome, 30 October - 6 November 1978
13 th	Rome, 15-19 September 1980

Abolished by the 23rd Session of the Commission (1999). The work of the Joint Group of Experts was transferred to the Codex Committee on Processed Fruits and Vegetables (see page 120).

Terms of reference:

The Joint ECE/Codex Alimentarius Group of Experts on the Standardization of Quick Frozen Foods will be responsible for the development of standards for quick frozen foods in accordance with the General Principles of the Codex Alimentarius. The Joint Group will be responsible for general considerations, definitions, a framework of individual standards for quick frozen food products and for the actual elaboration of standards for quick frozen food products not specifically allotted by the Commission to another Codex Committee, such as Fish and Fishery Products, Meat, Processed Meat and Poultry Products.

²⁶ These Joint ECE/Codex Alimentarius committees were not subsidiary bodies under any specific rule of the Codex Alimentarius Commission but follow the same procedure as Codex Commodity Committees for the elaboration of Codex standards.

ECE/CAC規格化専門家会議²⁶

²⁶この専門家会議は、食品規格委員会の特定の規則に基づいた下部機関ではないが、各食品別規格部会におけるコーデックス食品規格作成手続きに従う。

急速冷凍食品(CX-705)

1st Geneva, 6-10 September 1965

2nd Geneva, 5-9 September 1966

3rd Rome, 18-22 September 1967

4th Geneva, 2-6 September 1968

5th Rome, 22-26 September 1969

6th Rome, 27-31 July 1970

7th Geneva, 6-10 December 1971

8th Geneva, 30 April - 4 May 1973

9th Rome, 7-11 October 1974

10th Geneva, 6-10 October 1975

11th Geneva, 14-18 March 1977

12th Rome, 30 October - 6 November 1978

13th Rome, 15-19 September 1980

1999年の第23回食品規格委員会で解散した。当専門家会議の作業は、加工果実・野菜部会に移管された（P.120参照）。

委託事項：ECE/CAC規格化専門家会議は、食品規格一般原則に従って、急速冷凍食品の規格を開発する責務を有する。この専門家会議は、急速冷凍食品の般的な検討、定義、個別規格の枠組に対して責任を有している。また、魚類及び水産製品、食肉、加工食肉及び食鳥肉製品のように、「委員会」より各規格部会に特に指示されない急速冷凍食品規格の実際の作成に対して責任を有している。各食品別規格部会によって作成される急速冷凍食品の規格は、ECE/ CAC急速冷凍食品専門家会議により制定された一般規格に適合しなければならない。また、その規格は、適当な段階において当専門家会議に調整の目的で委任されなければならない。

Standards drawn up by Codex commodity committees for quick frozen foods should be in accordance with the general standard laid down by the Joint ECE/Codex Alimentarius Group of Experts on the Standardization of Quick Frozen Foods and should, at an appropriate stage, be referred to it for coordination purposes.

Fruit Juices (CX-704)

Sessions:

1 st	Geneva, 6-10 April 1964
2 nd	Geneva, 29 March - 2 April 1965
3 rd	Geneva, 21-25 February 1966
4 th	Geneva, 10-14 April 1967
5 th	Rome, 25-29 March 1968
6 th	Geneva, 27-31 October 1969
7 th	Rome, 20-24 July 1970
8 th	Geneva, 8-12 March 1971
9 th	Rome, 20-24 March 1972
10 th	Geneva, 16-20 July 1973
11 th	Rome, 14-18 October 1974
12 th	Geneva, 19-23 July 1976
13 th	Geneva, 26-30 June 1978
14 th	Geneva, 9-13 June 1980
15 th	Rome, 8-12 February 1982
16 th	Geneva, 30 April - 4 May 1984
17 th	Rome, 26-30 May 1986
18 th	Geneva, 16-20 May 1988
19 th	Rome 12-16 November 1990

Abolished by the 23rd Session of the Commission (1999). The work of the Joint Group was transferred to the Codex *ad hoc* Intergovernmental Task Force on Fruit Juices (see page 128).

Terms of reference:

To elaborate world wide standards for fruit juices, concentrated fruit juices and nectars.

果汁(CX-704)

1999年の第23回食品規格委員会で解散した。この専門家会議の作業は、果汁に関する政府間特別部会に移管された（P.128参照）。

1st Geneva, 6-10 April 1964

2nd Geneva, 29 March - 2 April 1965

3rd Geneva, 21-25 February 1966

4th Geneva, 10-14 April 1967

5th Rome, 25-29 March 1968

6th Geneva, 27-31 October 1969

7th Rome, 20-24 July 1970

8th Geneva, 8-12 March 1971

9th Rome, 20-24 March 1972

10th Geneva, 16-20 July 1973

11th Rome, 14-18 October 1974

12th Geneva, 19-23 July 1976

13th Geneva, 26-30 June 1978

14th Geneva, 9-13 June 1980

15th Rome, 8-12 February 1982

16th Geneva, 30 April - 4 May 1984

17th Rome, 26-30 May 1986

18th Geneva, 16-20 May 1988

19th Rome 12-16 November 1990

委託事項：果汁、濃縮果汁及びネクターの世界規模規格を作成する。

MEMBERSHIP OF THE CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION

Africa

1. Angola
2. Benin
3. Botswana
4. Burkina Faso
5. Burundi
6. Cameroon
7. Cape Verde
8. Central African Republic
9. Chad
10. Congo, Democratic Rep.
11. Congo, Republic of
12. Côte d'Ivoire
13. Equatorial Guinea
14. Eritrea
15. Ethiopia
16. Gabon
17. Gambia
18. Ghana
19. Guinea
20. Guinea Bissau
21. Kenya
22. Lesotho
23. Liberia
24. Madagascar
25. Malawi
26. Mali
27. Mauritania
28. Mauritius
29. Morocco
30. Mozambique
31. Namibia
32. Niger
33. Nigeria
34. Rwanda
35. Senegal
36. Seychelles
37. Sierra Leone

38. South Africa
39. Swaziland
40. Togo
41. Uganda
42. United Republic of Tanzania
43. Zambia
44. Zimbabwe

Asia

45. Bangladesh
46. Brunei Darussalam
47. Bhutan
48. Cambodia
49. China
50. Democratic People's Republic of Korea
51. India
52. Indonesia
53. Japan
54. Kazakhstan
55. Laos
56. Malaysia
57. Mongolia
58. Myanmar
59. Nepal
60. Pakistan
61. Philippines
62. Republic of Korea
63. Singapore
64. Sri Lanka
65. Thailand
66. Viet Nam

Europe

67. Albania
68. Armenia

コーデックス食品規格委員会加盟国

Africa

1. Angola
2. Benin
3. Botswana
4. Burkina Faso
5. Burundi
6. Cameroon
7. Cape Verde
8. Central African Republic
9. Chad
10. Congo, Democratic Rep.
11. Congo, Republic of
12. Côte d'Ivoire
13. Equatorial Guinea
14. Eritrea
15. Ethiopia
16. Gabon
17. Gambia
18. Ghana
19. Guinea
20. Guinea Bissau
21. Kenya
22. Lesotho
23. Liberia
24. Madagascar
25. Malawi
26. Mali
27. Mauritania
28. Mauritius
29. Morocco
30. Mozambique
31. Namibia
32. Niger
33. Nigeria
34. Rwanda
35. Senegal
36. Seychelles
37. Sierra Leone

38. South Africa
39. Swaziland
40. Togo
41. Uganda
42. United Republic of Tanzania
43. Zambia
44. Zimbabwe

Asia

45. Bangladesh
46. Brunei Darussalam
47. Bhutan
48. Cambodia
49. China
50. Democratic People's Republic of Korea
51. India
52. Indonesia
53. Japan
54. Kazakhstan
55. Laos
56. Malaysia
57. Mongolia
58. Myanmar
59. Nepal
60. Pakistan
61. Philippines
62. Republic of Korea
63. Singapore
64. Sri Lanka
65. Thailand
66. Viet Nam

Europe

67. Albania
68. Armenia

69. Austria
70. Belgium
71. Bulgaria
72. Croatia
73. Cyprus
74. Czech Republic
75. Denmark
76. Estonia
77. Finland
78. France
79. Georgia
80. Germany
81. Greece
82. Hungary
83. Iceland
84. Ireland
85. Israel
86. Italy
87. Latvia
88. Lithuania
89. Luxembourg
90. Malta
91. Moldova
92. Netherlands
93. Norway
94. Poland
95. Portugal
96. Romania
97. Russian Federation
98. Serbia and Montenegro
99. Slovak Republic
100. Slovenia
101. Spain
102. Sweden
103. Switzerland
104. The Former Yugoslav Republic of Macedonia
105. Turkey
106. United Kingdom

Latin America and the Caribbean

107. Antigua and Barbuda

108. Argentina
109. Bahamas
110. Barbados
111. Belize
112. Bolivia
113. Brazil
114. Chile
115. Colombia
116. Costa Rica
117. Cuba
118. Dominica
119. Dominican Republic
120. Ecuador
121. El Salvador
122. Grenada
123. Guatemala
124. Guyana
125. Haiti
126. Honduras
127. Jamaica
128. Mexico
129. Nicaragua
130. Panama
131. Paraguay
132. Peru
133. Saint Kitts and Nevis
134. Saint Lucia
135. Suriname
136. Trinidad and Tobago
137. Uruguay
138. Venezuela

Near East

139. Algeria
140. Bahrain
141. Egypt
142. Iran (Islamic Republic of)
143. Iraq
144. Jordan
145. Kuwait
146. Lebanon
147. Libyan Arab Jamahiriya

- 69. Austria
- 70. Belgium
- 71. Bulgaria
- 72. Croatia
- 73. Cyprus
- 74. Czech Republic
- 75. Denmark
- 76. Estonia
- 77. Finland
- 78. France
- 79. Georgia
- 80. Germany
- 81. Greece
- 82. Hungary
- 83. Iceland
- 84. Ireland
- 85. Israel
- 86. Italy
- 87. Latvia
- 88. Lithuania
- 89. Luxembourg
- 90. Malta
- 91. Moldova
- 92. Netherlands
- 93. Norway
- 94. Poland
- 95. Portugal
- 96. Romania
- 97. Russian Federation
- 98. Serbia and Montenegro
- 99. Slovak Republic
- 100. Slovenia
- 101. Spain
- 102. Sweden
- 103. Switzerland
- 104. The Former Yugoslav Republic
of Macedonia
- 105. Turkey
- 106. United Kingdom

Latin America and the Caribbean

- 107. Antigua and Barbuda

- 108. Argentina
- 109. Bahamas
- 110. Barbados
- 111. Belize
- 112. Bolivia
- 113. Brazil
- 114. Chile
- 115. Colombia
- 116. Costa Rica
- 117. Cuba
- 118. Dominica
- 119. Dominican Republic
- 120. Ecuador
- 121. El Salvador
- 122. Grenada
- 123. Guatemala
- 124. Guyana
- 125. Haiti
- 126. Honduras
- 127. Jamaica
- 128. Mexico
- 129. Nicaragua
- 130. Panama
- 131. Paraguay
- 132. Peru
- 133. Saint Kitts and Nevis
- 134. Saint Lucia
- 135. Suriname
- 136. Trinidad and Tobago
- 137. Uruguay
- 138. Venezuela

Near East

- 139. Algeria
- 140. Bahrain
- 141. Egypt
- 142. Iran (Islamic Republic of)
- 143. Iraq
- 144. Jordan
- 145. Kuwait
- 146. Lebanon
- 147. Libyan Arab Jamahiriya

Membership

- 148. Mauritania
- 149. Oman
- 150. Qatar
- 151. Saudi Arabia
- 152. Sudan
- 153. Syrian Arab Republic
- 154. Tunisia
- 155. United Arab Emirates
- 156. Yemen

Codex Alimentarius Commission

North America

- 157. Canada
- 158. United States of America

South-West Pacific

- 159. Australia
- 160. Cook Islands
- 161. Fiji
- 162. Kiribati
- 163. Micronesia, Federated
States of
- 164. New Zealand
- 165. Papua New Guinea
- 166. Samoa
- 167. Solomon Islands
- 168. Tonga
- 169. Vanuatu

- 148. Mauritania
- 149. Oman
- 150. Qatar
- 151. Saudi Arabia
- 152. Sudan
- 153. Syrian Arab Republic
- 154. Tunisia
- 155. United Arab Emirates
- 156. Yemen

North America

- 157. Canada
- 158. United States of America

South-West Pacific

- 159. Australia
- 160. Cook Islands
- 161. Fiji
- 162. Kiribati
- 163. Micronesia, Federated
States of
- 164. New Zealand
- 165. Papua New Guinea
- 166. Samoa
- 167. Solomon Islands
- 168. Tonga
- 169. Vanuatu

CODEX CONTACT POINTS²⁷

- Albania** Directorate of Food Quality and Inspection
Documentation Centre
Ministry of Agriculture and Food
Skenderbe sq
Tirana
Fax: +355 42 279244
- Algeria** Ministère de l'Economie
Direction générale de la concurrence et des prix
Direction de la qualité et de la consommation
Palais du Gouvernement
Alger
- Angola** Gabinete de Segurança Alimentar
Ministerio da Agricultura e do Desenvolvimento
Rural
C.P. 527
Luanda
Fax: +244 2 320553 +244 2321943
- Antigua and Barbuda** Director
Antigua and Barbuda Bureau of Standards (ABBS)
P.O. Box 1550, Redcliff Street
St. John's, Antigua
Phone: +854 462 1625
Fax: +854 462 1532
Email: abbs@candw.ag

²⁷ This list is subject to frequent changes. Contact Points of new Members are notified by Circular Letter. Revised lists are circulated at regular intervals and an up-dated list is maintained on the Codex Internet pages on the World-Wide Web at the following address: <http://www.codexalimentarius.net>

コーデックス連絡所

- Argentina** Dr Alfredo Nader
Coordinador de la Subsecretario de Política Agropecuaria
Secretaría de Agricultura, Ganadería, Pesca y Alimentación (SAGPYA)
Paseo Colón 982, Primer Piso, Oficina 68
(1063) Buenos Aires
Phone: +54 11 4349 2356
Fax: +54 11 4349 2161
Email: codex@sagpya.minproduccion.gov.ar
- Armenia** Dr. A. Malkhassian
Director, State Enterprise "Paren"
Ministry of Food and Purchase
375023 Yerevan
Gorvetca str. 4
Phone: +374 252 46 86 +374 252 46 87
Fax: +374 2 52 88 43
Telex: 243338 VOLT SU
- Australia** Manager, Codex Australia
Product Safety and Integrity,
Product Integrity, Animal and Plant Health
Department of Agriculture, Fisheries and Forestry
GPO Box 858
Canberra ACT 2601
Phone: +61 2 6272 5692
Fax: +61 2 6272 3103
Email: codex.contact@affa.gov.au
ann.backhouse@affa.gov.au
- Austria** Dr Erhard Höbaus
Division III/4 Nutrition and Quality Management
Federal Ministry of Agriculture, Forestry,
Environment and Water Management
Stubenring 1
A-1010 Vienna
Phone: +431 71100 6802
Fax: +431 71100 2959
Email: erhard.hoebaus@bmlfuw.gv.at

Bahamas Director of Fisheries
Department of Fisheries
East Bay Street
PO Box N-3028
Nassau
Phone: +1 242 393 1777 +1 242 393 1014
Fax: +1 242 393 0238

Bahrain Dr. Rifa'at Abdul Hameed
Director of Public Health
P.O. Box 42
Manama
Fax: +973 25 25 69

Bangladesh Director-General
Bangladesh Standards and Testing Institution
(BSTI)
116/A, Tejgaon Industrial Area
Dhaka 8
Phone: +880 2 882 14 62
Fax: +880 2 913 15 81
Email: bsti@bangla.net

Barbados Director
Barbados National Standards Institution
"Flodden", Culloden Road
St. Michael
Phone: +1 246 426 38 70
Fax: +1 246 436 14 95
Email: office@bnsi.com.bb

Belgium Comité belge du Codex Alimentarius
Ministère des Affaires étrangères, du commerce
extérieur et de la Coopération au développement
Direction générale des relations économiques et
bilatérales extérieures
1000 Bruxelles
Rue des Petits Carmes, 15
Phone: +32 02 5018111 +32 2 5018299
Fax: +32 2 5018827
Email: Charles.Cremer@health.fgov.be

左頁参照

- Belize** The Director
Belize Bureau of Standards
Ministry of Trade and Industry
Belize City
53 Regent Street, P.O. Box 1647
Phone: +501 2 72 314
Fax: +501 2 70 711
- Benin** Secretariat de la Commission nationale du Codex
Alimentarius
Direction de l'Alimentation et de la Nutrition
appliquée (DANA)
Ministère du Développement Rural
B.P. No. 295, Porto Novo
Phone: +229 21 26 70
- Bhutan** Mr. Sonam Tobgay
Agricultural Marketing Section
Ministry of Agriculture
Thimpu
Phone: +975 2 324898 +975 2 322834
Fax: +975 2 323153
Email: s_tobgay@moa.gov.bt
sonamtobler@hotmail.com
- Bolivia** Dirección Ejecutiva
Instituto Boliviano de Normalización y Calidad
(IBNORCA)
Calle Ricardo Mujía N 665 - Sopocachi
Casilla: La Paz - Bolivia 5034
Phone: +591 2 241 8236 +591 2 241 9038
Fax: +591 2 241 8262
Email: info@ibnorca.org
- Botswana** The Head, National Food Control Laboratory
Ministry of Health
Private Bag 00269
Gaborone
Phone: +267 374351 +267 374357
Fax: +267 374 354
Email: nfcbgabs@global.bw

- Brazil** Brazilian Codex Contact Point
Divisão de Agricultura e Produtos de Base -
Ministério das Relações Exteriores
Esplanada dos Ministérios Bl. H Anexo I Sala 531
Brasília-DF
CEP: 70 170-900
Phone: +55 61 411 6373 +55 61 411 6369
Fax: +55 61 226 3255
Email: mvieira@mre.gov.br
- Brunei Darussalam** Dr. Mohamad Y. Bin Haji Mohiddin
Deputy Director of Agriculture
Department of Agriculture, Ministry of Industry and
Primary Resources
Bandar Seri Begawan 2059
Fax: +673 2 382226 +673.2381639
- Bulgaria** Monsieur le Chef de la Section de la Commission
du Codex Alimentarius
Union nationale agro-industrielle
55, boul. Hristo Botev
1000 Sofia
Phone: +359 2 8531 Ext.617
Fax: +359 2 800 655
- Burkina Faso** Ministère de l'Agriculture, de l'Hydraulique et des
Ressources Halieutiques/ Direction Générale des
Prévisions et des Statistiques Agricoles (DGPSA)
03 BP 7010 Ouagadougou 03
Phone: +226 32 45 79 +226 32 45 80
Fax: +226 32 45 86
Email: agristat@fasonet.bf
- Burundi** Bureau Burundais de normalisation et contrôle de
la qualité "BBN"
B.P. 3535
Bujumbura
Phone: +257 2 22 1815 +257 222 1577
Email: bbn@speednet.bi

- Cambodia** Mr. Lim Thearith
Assistant Quality Control Service
KAMCONTROL, 50E/144 Street
Phnom-Penh
Phone: +855 2 3485
Fax: +855 2 3426166
- Cameroon** Ministère du développement industriel et
commercial
Direction du développement industriel
Cellule de la normalisation et de la qualité
Yaoundé
Phone: +237 23 26 37
Fax: +237 22 27 04
Telex: 8638 KN
- Canada** Mr. Ron B. Burke, Director
Bureau of Food Regulatory, International and
Interagency Affairs
Food Directorate, Health Products and Food Branch
Health Canada
Room 2395, Building No. 7
Tunney's Pasture (0702C1)
Ottawa, Ontario K1A 0L2
Phone: +1 613 957 1828 +1 613 957 1749
Fax: +1 613 941 3537
Email: codex_canada@hc-sc.gc.ca
- Cape Verde** Gabinete de Estudos e Planeamento
Ministerio de Pescas, de Agricultura y Animation
Rurale
Caixa Postal 115
Cidade de Praia
Fax: +238 64054
- Central African Republic** Ministre des Eaux, des Forêts, de la Chasse, de la
Pêche, chargé de l'Environnement
Ministère des Eaux, des Forêts, de la Chasse, de la
Pêche, chargé de l'Environnement
Bangui

- Chad** Direction du génie sanitaire et de l'assainissement
Sous- direction de l'assainissement
B.P. 440
N'Djamena
Fax: +235 51 51 85
- Chile** Ministerio de Salud
División de Salud Ambiental
Estado 360 8o Piso, Oficina 801
Santiago
Phone: +56 2 664 1240 +56 2 664 1244
Fax: +56 2 639 7110
Email: jcornejo@netline.cl
- China** Mr. ZHOU Kaizhong
Deputy Director-General
Department of Market and Economic Information
Ministry of Agriculture
11 Nongzhanguan Nanli
Beijing, 100026
Phone: +86 10 64193150+86 10 64193156
Fax: +86 10 64192468
Email: Zhoukzh@agri.gov.cn
- Colombia** Área de Alimentos
Grupo Promoción y Prevención
Ministerio de la Protección Social
Carrera 13, No. 32-76, Piso 14
Santafé de Bogotá D.C.
Phone: +57 1 3365066
Fax: +57 1 3360182
Email: bolarte@minproteccionsocial.gov.co
- Congo, Republic of** Point de Contact: Codex Alimentarius
Ministère du Développement Industriel, des Petites
et Moyennes Entreprises et de l'Artisanat
B.P. 15.493
Brazzaville
Phone: +242 81 41 57
Email: mdipmea@yahoo.fr

左頁参照

- Cook Islands** No Contact Point notified
- Costa Rica** Comité Nacional del Codex Alimentarius
Oficina Nacional de Normas y Unidades de Medida
Ministerio de Economía, Industria y Comercio
A.P. 1736
2050 San José
Phone: +506 283 5133
Fax: +506 222 2305 +506 283 5133
Telex: 2414 MEC
- Côte d'Ivoire** Dr Hélène Coulibaly
Directrice de l'alimentation et de la qualité
Ministère de l'agriculture et des ressources animales
B.P. V 84
Abidjan
Phone: +225 2021 8972
Fax: +225 20 21 90 71
Email: daq@aviso.ci
- Croatia** State Office for Standardization and Metrology
National Contact Point - Codex Alimentarius
Commission
Ms. Tea Havranek
Ulica grada Vukovara 78
10000 Zagreb
Phone: +385 1 610 6005
Fax: +385 1 610 9320
Email: ured.ravnatelj@dznm.hr
- Cuba** Sra. Directora, Dirección de Relaciones
Internacionales
Oficina Nacional de Normalización
Calle E No. 261 entre 11 y 13
Vedado - La Habana 10400
Phone: +53 7 8300022 +53 7 8300835
Fax: +53 7 338048
Email: nc@ncnorma.cu

左頁参照

- Cyprus** Dr. Ioannis G. Karis
Director, Cyprus Organization for Standards and
Control of Quality
Ministry of Commerce, Industry and Tourism
1421 Nicosia
Phone: +357 2 867 190
Fax: +357 2 37 51 20
Email: mcicys@cytanet.com.cy
- Czech Republic** Ministerstvo zemědělství České republiky
Odbor potravinářské výroby
Czech Codex Alimentarius Committee
Tešnov 17
117 05 Praha 1
Phone: +420 2 2181 2795 + 420 2 2181
1111
Fax: +420 2 2231 4117
Email: pribylova@mze.cz
Telex: 121041
- Democratic People's
Republic of Korea** Director
Foodstuffs Institute
P.O. Box 901
Pyongyang.
- Democratic Republic of
the Congo** 1ère Direction des études et de la politique agricole
Ministère de l'agriculture et du développement
rural
B.P. 8722, Kinshasa 1
Phone: +243 12 31126
Telex: 21382 DR KIN ZR
- Denmark** Danish Codex Contact Point
Danish Veterinary and Food Administration
Mørkhøj Bygade 19
DK-2860 Søborg
Phone: + 45 33 95 60 00 + 45 33 95 62 33
Fax: +45 33 95 62 99
Email: codex@fdir.dk
jk@fdir.dk

左頁参照

- Dominica** Director
Dominica Bureau of Standards# 1st Floor, 28
Kennedy Avenue
P.O. Box 1015
Roseau
Phone: +767 448 1685
Fax: +767 449 9217
Email: standards@cwdom.dm
- Dominican Republic** Secretaria de Estado de Salud Publica y Asistencia Social (SESPAS).
Av. Tirandentes,
Esquina San Cristobal,
Ensanche La Fe,
Santo Domingo
Phone: +1 809 565-6344
Fax: +1 809 541-0382
Email: rodriguezcodex@hotmail.com
rosaacespedes@hotmail.com
- Ecuador** Sr. Director General
Instituto Ecuatoriano de Normalización
Calle Baquerizo Moreno E8-29 y Diego de Almagro (casilla: 17-01-3999)
Quito
Phone: +593 2 2501885 +593 2 2501887
Fax: +593 2 2567815
Email: inenfu@andinanet.net
- Egypt** The President
Egyptian Organization for Standardization (EOS)
2 Latin America Street
Garden City, Cairo
Phone: +20 2 354 9720
Fax: +20 2 354 8817
Email: moi@idsc.net.eg
Telex: 932 96 eas un

左頁参照

El Salvador Consejo Nacional de Ciencia y Tecnología
(CONACYT)
Colonia Medica Pasaje Dr. Guillermo Rodríguez
Pacas y Ave. Dr. Emilio Alvarez No. 51
San Salvador
Phone: + 503 226 2800
Fax: +503 225 6255
Email: crochoa@conacyt.gob.sv
evanegas@conacyt.gob.sv

Equatorial Guinea Jefe Nacional de Estadísticas Agropecuarias
Ministerio de Agricultura, Ganadería, Pesca y
Desarrollo Rural
Malabo
Fax: +240 9 3178

Eritrea Dr. Akberom Tedla
Head, Eritrean Standards Institution
P.O. Box 245
Asmara
Phone: +291 1 115624 +291 1 120328
Fax: +291 1 120245
Email: Akberom@ecl.doe.gov.er

Estonia Dr. Toivo Novandi
Head of Department, Veterinary and Food
Department,
Ministry of Agriculture
39/41 Lai str.
EE 0100 Tallinn
Phone: +372 6 256 212
Fax: +372 6 256 210

左頁参照

- Ethiopia** Mr Gashaw Workneh
National Codex Officer
Quality and Standards Authority of Ethiopia
(QSAE)
P.O. Box 2310
Addis Ababa
Phone: +251 1 460525 +251 1 460111
Fax: +251 1 460880 +251 1 460881
Email: qsae@telecom.net.et
- Fiji** The Permanent Secretary,
Ministry of Agriculture, Sugar and Land
Resettlement,
Private Mail Bag, Raiwaqa,
Suva
Phone: +679 3384233
Fax: +679 3385234
- Finland** Ministry of Trade and Industry
Advisory Committee on Foodstuffs
General Secretary
PO Box 32
FIN-00023 Government
Phone: +358 9 1606 3654
Fax: +358 9 1606 2670
Email: anne.haikonen@ktm.fi
- France** Comité interministériel pour les questions de
coopération économique européenne
Secrétariat général (SGCI)
Carré Austerlitz
2, boulevard Diderot
75572 PARIS cedex 12
Phone: +33 1 44 87 16 03
Fax: +33 1 44 87 16 04
Email: sgci-codex-fr@sgci.finances.gouv.fr
pascal.audebert@sgci.gouv.fr

左頁参照

- Gabon** Commission nationale Gabonaise de la FAO
Ministère de l'agriculture, de l'élevage et du
développement rural
B.P. 511
Libreville
Phone: +241 763835
Fax: +241 728 275
- Gambia** The Director of Agriculture
Department of Agriculture
Ministry of Agriculture
Central Bank Building
Buckle Street
Banjul
Fax: +220 228998 +220 227994
- Georgia** H.E. Bakur Guloa
Minister of Agriculture and Food
41 Kostava Str.
380023 Tbilisi
- Germany** Bundesministerium für Verbraucherschutz,
Ernährung und Landwirtschaft,
Postfach 14 02 70
53107 Bonn
Phone: +49 228 529 4655
Fax: +49 228 529 4842
Email: Martina.DeGrave@BMVEL.Bund.de
- Ghana** The Director
Ghana Standards Board
P.O. Box M-245
Accra
Phone: +233 21 500 065
Fax: +233 21 500 092
Email: gsbnep@ghana.com

左頁参照

- Greece** Directorate of Processing, Standardization and Quality Control of AgriFood Products of Plant Origin
Ministry of Agriculture
2 Acharnon St.
101 76 Athens
Phone: +30 1 0212 4319
Fax: +30 1 0523 8337
Email: ax2u049@minagric.gr
Telex: 221701YGDP GR
- Grenada** Director
Grenada Bureau of Standards
P.O. Box 2036
St. George's
Grenada
Phone: + 1 473 440 6783+1 473 440 5886
Fax: +1 473 440 5554
Email: gdbs@caribsurf.com
- Guatemala** Jefe Area Inocuidad de los Alimentos no Procesados
Unidad de Normas y Regulaciones
Ministerio de Agricultura, Ganadería y Alimentación
7ª. Avenida No. 12-90 Zona 13, Guatemala.
Phone: +502 475 3058 +502 475 3074
Fax: +502 475 3068
Email: codexguatemala@unr.gob.gt
Correo@unr.gob.gt
- Guinea** M. le Directeur
Institut National de la Normalisation et de la Métrologie
B.P. 1639
Conakry
Phone: +224 41 28 16 +224 41 35 03
Fax: +224 41 39 90

左頁参照

- Guyana** Director
Guyana National Bureau of Standards
P.O. Box 10926
Georgetown
Phone: +592 2 77841 +592 2 77890
Fax: +592 2 77890
Email: gnbs@sdnp.org.gy
Cable: GUYSTAN
- Haiti** M. Raymond Tardieu
Direction normalisation et contrôle de la qualité
Ministère du commerce
8, rue Légitime, Champ de Mars
Port-au-Prince
- Honduras** Dra Sonia Benitez
Punto de Contacto del Codex en Honduras
Dirección General de Regulación y Desarrollo
Institucional
Secretaria de Salud
c/o Representación FAO en Honduras
A.P. 1808
Tegucigalpa
Phone: +504 2369346 +504 2367321
Fax: +504 2367124
Email: FAO-HND@field.fao.org
- Hungary** Dr. Mária Váradi
Scientific Deputy Director
Central Food Research Institute (KEKI)
P.O. Box 393 (Herrman Ottó út 15)
H-1536 Budapest 9
Phone: +36 1 355 8982
Fax: +36 1 355 9853 +36 1 355 8928
Email: m.varadi@mail.cfri.hu

左頁参照

- Iceland** Mr. Thodur Ásgeirsson
Director of Fisheries
Directorate of Fisheries
Ingólfsstræti 1
101 Reykjavík
Phone: +354 569 7900
Fax: +354 569 7991
Email: thordur@fiskistofa.is
- India** Dr. S.R. Gupta
Assistant Director General (PFA) and Liaison
Officer, National Codex Committee
Directorate General of Health Services
Nirman Bhavan
New Delhi 110 011
Phone: +91 11 3012290
Fax: +91 11 3012290
Email: Codex-India@nb.nic.in
Telex: 31 66119 DGHS IN
- Indonesia** Director General
BSN - Badan Standardisasi Nasional
(National Standardization Agency)
Manggala Wanabakti Block IV, 4th floor
Jl. Jnd. Gatot Subroto, Senayan
Jakarta 10270
Phone: +62 21 574 7043 +62 21 574 7044
Fax: +62 21 574 7045
Email: bsn@bsn.or.id
sps-2@bsn.or.id
- Iran (Islamic Republic of)** Institute of Standards and Industrial Research of
Iran
Ministry of Industries
P.O. Box 15875-4618
Teheran
Phone: +98 261 2803870
Fax: +98 261 2803870
Email: Codex-Office@Isiri.org
Telex: 215442 STAN IR

左頁参照

- Iraq** Central Organization for Standardization and
Quality Control
Ministry of Planning
P.O. Box 13032
Baghdad – Jadria
Phone: +964 1 7765180 +964 1 7765181
Fax: +964 1 7765781
Telex: 213505 COSQC IK
- Ireland** Mr. Richard Howell
Food and Research Group
Department of Agriculture and Food
7C Kildare Street
Dublin 2
Phone: +353 1 607 2572
Fax: +353 1 661 62 63
Email: Richard.Howell@agriculture.gov.ie
- Israel** Mr. Lazar VOLMAN
Citrus Products Board
29 Karlibach St.
67132 Tel Aviv
Phone: +972 3 561 2323
Fax: +972 3 561 2327
Email: citruspr@zahav.net.il
- Italy** Dott.ssa B. Lo Turco
Segreteria, Comitato Nazionale Italiano per il
Codex Alimentarius
Ministero delle Politiche Agricole e Forestali - D.G.
delle Politiche Comunitarie e Internazionali
Via XX Settembre 20
00187 Rome
Phone: +39 06 4880273 +39 06 46655016
Fax: +39 06 4880273
Email: blturco@tiscalinet.it

左頁参照

- Jamaica** Bureau of Standards
6 Winchester Road
P.O. Box 113
Kingston 10
Phone: +876 926 3140 6 +876 968 2063 71
Fax: +876 929 4736
Email: arobins@toj.com
nfo@jbs.org.jm
Telex: 2291 STANBUR JA
- Japan** Yoshihiro Yamashita
Policy Division
Science and Technology Policy Bureau
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and
Technology
3-2-2 Kasumigaseki, Chiyoda-ku
Tokyo 100-8959
Phone: +81 3 5253 4111
Fax: +81 3 5253 4010
Email: codex@mext.go.jp
- Jordan** National Committee for Codex Alimentarius
Directorate of Standards
Ministry of Industry and Trade
P.O. Box 2019
Amman
Phone: +962 6 568 01 39+962 6 568 10 99
Email: jism@nic.net.jo
- Kazakhstan** Dr B.T. Tleubekor
Chief, Department of Sanitary-Hygiene
Surveillance
Moskovskaya str 66
473000 Astana
Phone: +8 317 231 7811
Fax: +8 317 231 7807

左頁参照

Kenya Margaret C. Rotich (Mrs.)
Kenya Bureau of Standards (KEBS)
Kapiti Road, Off Mombasa Road
P. O. Box 54974 - 00200,
Nairobi
Phone: +254 2 502211 +254 2 503293
Fax: +254 2 602350 +254 2 609660
Email: info@kebs.org

Kiribati No Contact Point notified

Kuwait Mr. Yousef Al-Babar
Vice General Director for Standards & Industrial
Services Affairs
Public Authority for Industry
P.O. Box 4690 Safat P.Cod 13047
Phone: +965 2411062 +965 2465103
Fax: +965 2451141 +965 2436638
Telex: 44205 Cable: SIDEB Kuwait

Kyrgyzstan Department of State Sanitary Epidemiological
Surveillance
Ministry of Health
Frunze str. 353
720033 Bishkek, Kyrgyzstan
Fax: +996 312 66 05 38
Email: dgsm@elcat.kg

**Lao People's
Democratic Republic** H.E. Ponemek Daraloy
Minister
Ministry of Health
(Through: FAO Representative B.P. 1640)
Vientiane

左頁参照

Latvia Mr. Ieva Gange
Senior Officer
Veterinary and Food Department
Ministry of Agriculture
Republikas laukums 2
Riga, LV-1981
Phone: +371 7027200
Fax: +371 7027205
Email: ievag@zm.gov.lv

Lebanon Mr. Antoine Sema'an
Director General,
LIBNOR - Lebanese Standards Institution
Sin El Fil – Gedco 3 center
Block B, 10th floor
P.O. Box 55120
Beirut
Phone: +961 1 485927 +961 1 485928
Fax: +961 1 485929
Email: libnor@cnrs.edu.lb

Lesotho Standards and Quality Assurance Section
Ministry of Industry, Trade and Marketing
P.O. Box 747
Maseru

Liberia Mr. Joseph M. Coleman
Director of Standards
Ministry of Commerce & Industry
P.O. Box 10-9041
1000 Monrovia

**Libyan Arab
Jamahiriya** Director
Office of International Cooperation, Secretariat for
Agricultural Reclamation and Land Development
c/o UNDP Office - P.O. Box 358
Tripoli
Fax: +218 21 603449

左頁參照

Lithuania Assoc.Prof. J. Algis Abaravicius
Hygiene Doctor
Lithuanian National Nutrition Center
Ministry of Health
Kalvariju 153
LT-2600 Vilnius
Phone: +370 2 778919 +370 85 85894
Fax: +370 2 778713
Email: RMC@RMC.LT
algis.abaravicius@mf.vu.lt

Luxembourg M. François Arendt
Ingénieur-chef de Division
Laboratoire national de santé
1 A rue Auguste Lumière
Luxembourg

Madagascar Direction de la Qualité et de la Métrologie Légale
Ministère du Commerce
B.P. 1316
Antananarivo – 101

Malawi Mr Austin S Khulumula
Director-General
Malawi Bureau of Standards
P O Box 946
Blantyre
Phone: +265 1 670 488
Fax: +265 1 670 756
Email: mbs@malawi.net
askhulumula@malawi.net

左頁参照

- Malaysia** Chief Secretariat
Food Quality Control Division
Department of Public Health
Ministry of Health Malaysia
Block B, 3rd Floor
Kompleks Pejabat-Pejabat Kesihatan
Jalan Cenderasari,
50590 Kuala Lumpur
Phone: +60 3 26946601
Fax: +60 3 26946517
Email: ccp-malaysia@dph.gov.my
ccp-malaysia@hotmail.com
- Mali** No Contact Point notified
- Malta** Mr. John Attard Kingswell
Manager Health Inspector
Department of Public Health
37/39, Rue d'Argens,
Msida
Phone: +356 21332225 +356 21337333
Fax: +356 21344767
Email: Mhi@gov.mt
- Mauritania** Centre National d'Hygiène
B.P. 695
Nouakchott
Phone: +222 5253 134 +222 5253 175
Fax: +222 5253 134
- Mauritius** The Chief Agricultural Officer
Agricultural Services
Ministry of Agriculture, Fisheries and Natural
Resources
NFP Building, Maillard Street
Port Louis
Fax: +230 212 4427

左頁参照

Mexico Dirección General de Normas (DGN)
 Secretaría de Economía
 Ave. Puente de Tecamachalco No.6
 Lomas de Tecamachalco, Sección Fuentes,
 Naucalpan de Juárez, Estado de México.
 53950, México
 Phone: +52 55 5729 9480 +52 55 5729
 9300
 Fax: +52 55 5729 9480 +52 55 5519
 9715
 Email: codexmex@economia.gob.mx
 jorgez@economia.gob.mx

Micronesia, Federated States of Dr. Eliuel K. Pretrick
 Secretary, FSM Department of Health, Education
 and Social Affairs
 P.O. Box PS-70
 Palikir, Pohnpei State FM 96941
 Phone: +691 320 2619 +691 320 2643
 Fax: +691 320 5263
 Email: FSMEnvironment@mail.fm

Mongolia The Director
 National Centre for Hygiene, Epidemiology and
 Microbiology
 Ministry of Health
 Central Post - PO Box 596
 Ulaanbaatar
 Fax: +976 132 1278

Morocco Division de la Répression des Fraudes
 Ministère de l'agriculture et de la mise en valeur
 agricole
 25, Avenue des Alaouiyines
 Rabat
 Fax: +212 37 763378

左頁参照

- Mozambique** Codex Contact Point in Mozambique
Departamento de Higiene Ambiental
Attn. Mr. Evaristo Baquete, Chefe do Departamento
Ministerio da Saúde
P.O. Box 264
Maputo
- Myanmar** Director# Food and Drug Administration
Department of Health
35, Min Kyaung Road
Yangon Dagon Township
Phone: +95 1 245331
- Namibia** Dr V. Shivute
The Permanent Secretary
Ministry of Agriculture, Water and Rural
Development
Private Bag 13184
Windhoek
Phone: +264 61 208 7649
Fax: +264 61 22 1733
Email: Stanleye@mawrd.gov.na
- Nepal** Chief Food Research Officer
Central Food Research Laboratory
Babar Mahal
Kathmandu
Phone: +977 1 2 14824 +977 12 12781
- Netherlands** Ms. Elfriede E.E. Adriaansz
Executive Officer for Codex Alimentarius
Ministry of Agriculture, Nature Management and
Fisheries
Department of Food and Veterinary Affairs
Room 4301
P.O.Box 20401
2500 EK The Hague
Phone: +31 70 378 4104
Fax: +31 70 378 6141
Email: info@codexalimentarius.nl

New Zealand S. Rajasekar
Codex Coordinator and Contact Point for New Zealand
New Zealand Food Safety Authority
68-86 Jervois Quay
P O Box 2835
Wellington
Phone: +64 4 463 2576
Fax: +64 4 463 2583
Email: rajasekars@nzfsa.govt.nz

Nicaragua Punto de Contacto del Codex
Dirección de Tecnología, Normalización y Metrología (DTNM)
Ministerio de Fomento Industria y Comercio (MIFIC)
Kilómetro 6 Carretera Managua-Masaya
Phone: +505 267 0161
Fax: +505 267 2019
Email: codex@mific.gob.ni
dtm@mific.gob.ni

Niger Division Nutrition
Direction Santé Familial
Ministère de la Santé Publique
B.P. 623
Niamey
Phone: +227 72 36 00
Fax: +227 72 24 24

Nigeria Director General of Standards
Standards Organisation of Nigeria
Federal Secretariat
Phase 1, 9th fl.
P.M.B. No. 2102 (Yaba)
Ikoyi, Lagos
Phone: +234 1 2696177
Fax: +234 1 2696178
Email: son@sononline-ng.org

左頁参照

- Norway** (Ms) Dr. Berit Wilsher
Norwegian Food Control Authority
Postboks 8187 Dep.
0034 Oslo 1
Phone: +47 2224 6650
Fax: +47 2224 6699
Email: berit.wilsher@snt.no
- Oman** Director General of Health Affairs
Directorate General of Health Affairs
Ministry of Health
P.O. Box 393 - Darseit
113 Muscat
Phone: +968 602177
Fax: +968 696099
Telex: 5465 SIHA ON
- Pakistan** The Director-General for Health
Ministry of Health, Social Welfare and Population
Planning
Government of Pakistan
Secretariat Block C
Islamabad
Phone: +92 51 82 09 30
Cable: SEHAT ISLAMABAD
- Panama** Punto de Contacto: Ministerio de Comercio e
Industrias Dirección General de Normas y
Tecnología Industrial
Directora: Elvia V. de Carles
Edificio Plaza Edison, 3er Piso Panamá
Phone: +507 360 0716
Fax: +507 360 0721
- Papua New Guinea** Dr. Ian I. Onaga
Program Manager
Technical and Field Services Branch
Dept. of Agriculture and Livestock
P.O. Box 2141, Boroko NCD
Phone: +675 321 7005
Fax: +675 321 4364

左頁参照

- Paraguay** Dra. Lilian Martinez de Alonso
Director General
Instituto Nacional de Tecnología y Normalización
Avda. General Artigas y General Roa - C.C. 967
Asunción
Phone: +595 21 290 160 +595 21 290 266
Fax: +595 21 290 873
Email: codex@intn.gov.py
- Peru** Dr. Alberto Documet Perea
Director Ejecutivo de Higiene Alimentaria y Zoonosis
Dirección General de Salud Ambiental
Ministerio de Salud
Calle Las Amapolas N 350
Lince, Lima 14
Phone: +51 1 4428353 +51 1 4428356
Fax: +51 1 4428353
Email: codex@digesa.sld.pe
- Philippines** OIC-Director Gilberto F. Layese
Bureau of Agriculture and Fisheries Product Standards (BAFPS)
Department of Agriculture
Elliptical Road, Diliman
Quezon City 1104
Phone: +63 2 920 6131 +63 2 920 6132
Fax: +63 2 920 6134
- Poland** Agricultural and Food Quality Inspection
30 Wspólna Street
00-930 Warsaw
Phone: +48 22 621 6421
Fax: +48 22 621 48 58+48 22 629 48 16
Email: kodeks@ijhar-s.gov.pl

左頁参照

- Portugal** Dr. Carlos Alberto M. Andrade Fontes
Director, Gabinete de Planeamento e Política Agro-Alimentar
Ministerio da Agricultura, do Desenvolvimento Rural e das Pescas
Rua Padre António Vieira 1-7o
1099-073 Lisboa
Phone: +351 21 3819320
Fax: +351 21 3876635
Email: dd@gppaa.min-agricultura.pt
- Qatar** Under-Secretary
Ministry of Public Health
P.O. Box 3050
Doha
Phone: +974 29 20 00
Fax: +974 43 30 19
- Republic of Korea** Director (for Codex)
Bilateral Cooperation Division
Ministry of Agriculture and Forestry
#1, Joongang, Kwachon, Kyonggi
427-719 REPUBLIC OF KOREA
Phone: +82 2 500 2656
Fax: +82 2 507 2095
Email: maf.bcd@maf.go.kr
- Republic of Moldova** National Centre for Applied and Scientific Preventive Medicine
Ministry of Health
67a, Gh. Asaki street, of. 401
MD 2028, Chisinau
Phone: +373 2 735822 +373 2 735813
Fax: +373 2 729725
Email: codex@mednet.md
nopopol@mednet.md

- Romania** Romanian Codex Contact Point
Food Industry Division
Ministry of Agriculture and Food
Bdul. Carol I, No 24, Sector 3
70033 Bucarest
Phone: +401 3112278 +401 3120274
Fax: +401 3112278 +401 3120274
- Russian Federation** Institute of Nutrition of the Russian Academy of
Medical Sciences
Attention: Drs V.A.Tutelian and A.K. Baturin
Ust'insky Pr., 2/14
109240 Moskva
Phone: +7 095 925 1140
Fax: +7 095 230 2812
Telex: 411407
- Rwanda** Division-Normalisation et Contrôle de la Qualité
Ministère du Commerce et de la Consommation
B.P. 476
Kigali
Phone: +250 73875 +250 73237
Fax: +250 72984
Telex: 502 MINAFFET RW
- Saint Kitts and Nevis** Dr. Milton Whittaker
Director, Bureau of Standards
Ministry of Trade
Government of St. Kitts and Nevis
Basseterre, SAINT KITTS
- Saint Lucia** The Director
Saint Lucia Bureau of Standards (SLBS)
Block B, 4th Floor, Heraldine Rock Bldg
John Compton Highway
LC-Castries
Phone: +1 758 453 0049 +1 758 468 4235
Fax: +1 758 452 3561
Email: slbs@candw.lc

左頁参照

- Samoa** Assistant CEO Fair Trading & Standards
Ministry of Commerce, Industry and Labour
(MCIL)
Apia
Phone: +685 20471 +685 24084
Fax: +685 21646
Email: Iulia.Petelo@tci.gov.ws
- Saudi Arabia** Attention: Public Relations
Department (International Relations)
Saudi Arabian Standards Organization (SASO)
P.O. Box 3437
Riyadh 11471
Phone: +966 1 452 0224 +966 1 452 0166
Fax: +966 1 452 0167
Telex: SASO SJ 401610
- Senegal** Comité national du Codex
Service de l'alimentation et de la nutrition appliquée
au Sénégal (SANAS)
Ministère de la Santé
Direction de la Santé
BP 10604, Dakar
Phone: +221 824 47 53
Fax: +221 824 75 49
- Serbia and Montenegro** Director, Federal Institution for Standardization
(SZS)
Savezno Ministarstvo Za Razvoj
Nauku I Zivotnu Sredinu, Kneza Milosa 20
11000 Beograd
Phone: +381 11 361 31 50
Fax: +381 11361 73 41
Email: jus@szs.sv.gov.yu

左頁参照

- Seychelles** Director
Seychelles Bureau of Standards
P.O. Box 953
Victoria (Mahé)
Phone: +248 38 04 00
Fax: +248 37 51 51
Email: sbsorg@seychelles.net
- Sierra Leone** The Director, Food Standards Department
Sierra Leone Standards Bureau
S.L.P.M.B Headquarters Building
C.T. Box 11, Clinetown
Freetown
Phone: +232 22 228 374
Fax: +232 22 224 437
Email: slsb@sierratel.sl
kaliserra@hotmail.com
- Singapore** Agri-Food and Veterinary Authority
5 Maxwell Road #18-00
Tower Block, MND Complex
Singapore 069110
Phone: +65 6325 5480 +65 6325 8582
Fax: +65 6324 4563
Email: SEAH_Huay_Leng@ava.gov.sg
CHU_Sin-I@ava.gov.sg
- Slovak Republic** Secretariat of the Slovak Food Codex Committee
Food Research Institute
824 75 Bratislava 26
P.O.Box 25
Priemyselna 4
Phone: +42 12 55574622
Fax: +42 12 55571417
Email: codex@vup.sk

左頁参照

Slovenia Dr. Marusa Adamic
Hygiene Specialist
Institute for Public Health and Social Welfare
Trubarjeva 2
61000 Ljubjana
Phone: +386 61 32 3245
Fax: +386 61 32 39 55

Solomon Islands Mr. David Ho'ota
Ministry of Health and Medical Services
P.O. Box 349
Honiara
Phone: +677 38871
Fax: +677 25513
Email: Dth8@hotmail.com

South Africa Directorate: Food Control
Department of Health
Private Bag X828
0001 Pretoria
Phone: +27 12 312 0167 +27 12 312 0185
Fax: +27 12 326 4374
Email: carolv@health.gov.za

Spain Secretaría de la Comisión Inter-ministerial para la
Ordenación Alimentaria (CIOA)
Subdirección General de Higiene de los Alimentos
Dirección General de Salud Pública
Ministerio de Sanidad y Consumo
Paseo del Prado 18 - 20
28071 Madrid
Phone: +34 91 596 13 46+34 91 596 14 40
Fax: +34 91 596 44 87+34 91 596 15 47
Email: fmittelbrunn@msc.es

Sri Lanka Director, (Environment and Occupational Health)
Ministry of Health - Room 149
385 Deans Road
Colombo 10
Phone: +94 1 432050 +94 1 437884
Fax: +94 1 440399

- Sudan** Director-General
Sudanese Standards and Metrology Organization (SSMO)
P.O. Box 194
Khartoum
Phone: +249 11 775247
Fax: +249 11 776359
Email: ssmo@sudanmail.net
- Suriname** Humbert W. Belliot
Head - Juridical Affairs and Foreign Relations
Ministry of Agriculture, Livestock and Fisheries
Letitia Vriesdelaan - P.O.Box 1807
Paramaribo
Phone: +597 42 0061
Fax: +597 47 0301
- Swaziland** The Principal Secretary
Att: Director of Health Services
Ministry of Health
P.O. Box 5
Mbabane
Phone: +268 42431
Fax: +268 42092
Telex: 2393 MH
- Sweden** Swedish Codex Contact Point
National Food Administration
Box 622
S-751 26 Uppsala
Phone: +46 18 17 55 00
Fax: +46 18 10 58 48
Email: evlo@slv.se
- Switzerland** Ms Awilo OCHIENG PERNET
Codex Contact Point
Swiss Federal Office of Public Health
CH-3003 Bern
Phone: +41 31 322 95 72+41 31 322 95 89
Fax: +41 31 322 95 74
Email: awilo.ochieng@bag.admin.ch

左頁参照

Syrian Arab Republic Syrian Arab Organization for Standardization and Metrology (SASMO)
P.O. Box 11836
Damascus
Phone: +963 11 512 8213
Fax: +963 11 512 8214
Email: sasmo@net.sy

Thailand Director
Office of Commodity and System Standards
National Bureau of Agricultural Commodity and Food Standards
Fl 22, LPN Tower 1
333 Vipavadee-Rangsit Rd
Jatujak, Bangkok 10900
Phone: +66 2 6188861
Fax: +66 2 6188863
Email: codex@acfs.go.th

The Former Yugoslav Republic of Macedonia Prim. Blagoja Aleksoski, MD
Director
Republic Institute for Health Protection
"50 Divizija" 6
1000 Skopje
Phone: + 389 2 147 051
Fax: + 389 2 223 354
Email: codexalimentarius@mail.net.mk
blagoja_al@yahoo.com

Togo M. le Chargé de liaison du Codex Alimentarius
Division Nutrition à l'I.T.R.A
BP 1163, Lomé
Phone: + 228 225 15 59
Fax: +228 225 30 96

Tonga Mr. Haniteli Faanunu
Director, Ministry of Agriculture and Forestry
P.O. Box 14
Nuku'alofa
Phone: +676 23 402
Fax: +676 24 271

左頁参照

- Trinidad and Tobago** The Chief Chemist and Director of Food and Drugs
Chemistry
Food and Drugs Division
Ministry of Health and Environment
35-37 Sackville Street
Port-of-Spain
- Tunisia** M. Ali Ben Gaïd
Président Directeur Général
Institut national de la normalisation et de la
propriété industrielle (INNORPI)
B.P. 23 (Cité El Khadhra par rue A. Savary)
1012 Tunis-Belvedere
Phone: +216 1 785 922
Fax: +216 1 781 563
- Turkey** General Directorate of Protection and Control
Ministry of Agriculture and Rural Affairs
Akay Cad. No 3 Bakanhklar
Ankara
Phone: +90 312 417 41 76
Fax: +90 312 418 65 23
- Uganda** Dr. Terry Kahuma
Executive Director
Uganda National Bureau of Standards
P.O. Box 6329
Kampala
Phone: +256 41 222367 +256 41 505995
Fax: +256 41 286123
Email: unbs@afsat.com
- United Arab Emirates** Authority for Standardization and Metrology
P.O. Box 2166
Abu Dhabi
Phone: +971 267 10888
Fax: +971 267 1099
Email: esma@uae.gov.ae

左頁参照

United Kingdom Mrs Tutu Aluko
Food Standards Agency
Room 615 C
Aviation House
125 Kingsway
London
WC2B 6NH
Phone: +44 20 7276 8164
Fax: +44 207276 8193
Email: tutu.aluko@foodstandards.gsi.gov.uk

United Republic of Tanzania The Tanzania Bureau of Standards
P.O. Box 9524
Dar-es-Salaam
Phone: +255 22 2450298+255 22 2450206
Fax: +255 22 2450959
Email: tbsinfo@uccmail.co.tz
Telex: 41667 TBS TZ

United States of America U.S. Codex Office
Room 4861 South Building
Food Safety and Inspection Service
US Department of Agriculture
1400 Independence Ave. SW
Washington D.C. 20250
Phone: +1 202 205 7760 +1 202 720 2057
Fax: +1 202 720 3157
Email: uscodex@fsis.usda.gov
ed.scarbrough@fsis.usda.gov

Uruguay Ing. Ruperto E. Long
Presidente, Laboratorio Tecnológico del Uruguay
(LATU)
Av. Italia 6201 (C.P. 11500)
Montevideo
Phone: +598 2 6013730
Fax: +598 2 6042960
Email: jrodrig@latu.org.uy

左頁参照

- Vanuatu** Mr. Benuel Tarilongi
Principal Plant Protection Officer
Vanuatu Quarantine Inspection Service
Department of Agriculture and Horticulture
Private Mail Bag 040
Port-Vila
Phone: +678 23130
Fax: +678 24653
Email: vqisvila@vanuatu.com.vu
- Venezuela** Sr. Jefe, Sección de Registro de Alimentos,
Ministerio de Sanidad y Asistencia Social
Centro Simón Bolívar, Edif. Sur 2
Caracas
- Viet Nam** Mr. Nguyen Huu Thien
Director-General, Directorate for Standards and
Quality
70 Tran Hung Dao Str.
Hanoi
Phone: +84 4 266220
Fax: +84 4 267418
- Yemen** General Director for Measurements
Ministry of Economy, Supply and Trade
Sana'a
- Zambia** Secretary, Food and Drugs Control
Ministry of Health
P.O. Box 30205
Lusaka
Fax: +260 1 22 34 35
- Zimbabwe** The Government Analyst
The Government Analyst's Laboratory
P.O. Box CY 231
Causeway
Harare
Phone: +263 4 792026
Fax: +263 4 708527
Email: dnhari@gta.gov.zw

左頁參照

APPENDIX: GENERAL DECISIONS OF THE COMMISSION

STATEMENTS OF PRINCIPLE CONCERNING THE ROLE OF SCIENCE IN THE CODEX DECISION-MAKING PROCESS AND THE EXTENT TO WHICH OTHER FACTORS ARE TAKEN INTO ACCOUNT²⁸

1. The food standards, guidelines and other recommendations of Codex Alimentarius shall be based on the principle of sound scientific analysis and evidence, involving a thorough review of all relevant information, in order that the standards assure the quality and safety of the food supply.
2. When elaborating and deciding upon food standards Codex Alimentarius will have regard, where appropriate, to other legitimate factors relevant for the health protection of consumers and for the promotion of fair practices in food trade.
3. In this regard it is noted that food labelling plays an important role in furthering both of these objectives.
4. When the situation arises that members of Codex agree on the necessary level of protection of public health but hold differing views about other considerations, members may abstain from acceptance of the relevant standard without necessarily preventing the decision by Codex.

Criteria for the Consideration of the Other Factors Referred to in the Second Statement of Principle²⁹

- when health and safety matters are concerned, the *Statements of Principle Concerning the Role of Science* and the *Statements of Principle Relating to the Role of Food Safety Risk Assessment* should be followed;
- other legitimate factors relevant for health protection and fair trade practices may be identified in the risk management process, and risk managers should indicate how these factors affect the selection of risk management options and the development of standards, guidelines and related texts;
- consideration of other factors should not affect the scientific basis of risk analysis; in this process, the separation between risk assessment and risk

²⁸ Decision of the 21st Session of the Commission, 1995.

²⁹ Decision of the 24th Session of the Commission, 2001.

付属書： 委員会の一般的決定

コーデックスの政策決定プロセスにおける科学の役割に関する原則 およびその他考慮されるべき要因の範囲²⁸

1. コーデックス食品規格における食品規格、ガイドラインおよびその他の勧告は、規格が食品供給の質と安全を確保するものであるよう、すべての関連情報を十分に検討することを含め、健全な科学的分析および証拠に基づくものでなければならない。
2. コーデックス食品規格委員会が食品規格を作成または決定する際は、適宜、消費者の健康の保護および食品貿易における公正な慣行の促進に関連する法的要因にも考慮しなければならない。
3. この（消費者の健康の保護および食品貿易における公正な慣行の促進という）点において、食品表示はこの二点を推し進めるために重要な役割を果たす。
4. コーデックスのメンバーが公衆の健康の保護という程度においては必要性があると同意しているが、その他の考慮材料については意見が異なるという問題が起こった場合、必ずしもコーデックスの決定を妨げることなく、関連規格について受諾を棄権することができる。

原則についての二つ目の表明で言及された他の要因の考慮事項についての基準²⁹

- 健康と安全の問題に関しては、「科学の役割に関する原則」および「食品安全性リスク評価に関する原則」に従わなければならない。
- 健康保護と公正な貿易慣行に関連する他の法的要因については、リスク管理プロセスで明らかになる場合がある。リスク管理機関は、いかにこれらの法的要因がリスク管理オプションの選定や規格・ガイドライン・関連文書の作成に影響を与えるかを提示しなければならない。
- 他の要因による考慮事項は、リスク分析の化学的根拠に影響を及ぼしてはならない；このプロセスでは、リスク評価の科学的インテグリティを確保するため、リスク評価とリスク管理は分けて考えるべきである。

²⁸ 1995 年第 21 回会議時の決定

²⁹ 2001 年第 24 回会議時の決定

management should be respected, in order to ensure the scientific integrity of the risk assessment;

- it should be recognized that some legitimate concerns of governments when establishing their national legislation are not generally applicable or relevant world-wide;³⁰
- only those other factors which can be accepted on a world-wide basis, or on a regional basis in the case of regional standards and related texts, should be taken into account in the framework of Codex;
- the consideration of specific other factors in the development of risk management recommendations of the Codex Alimentarius Commission and its subsidiary bodies should be clearly documented, including the rationale for their integration, on a case-by-case basis;
- the feasibility of risk management options due to the nature and particular constraints of the production or processing methods, transport and storage, especially in developing countries, may be considered; concerns related to economic interests and trade issues in general should be substantiated by quantifiable data;
- the integration of other legitimate factors in risk management should not create unjustified barriers to trade³¹; particular attention should be given to the impact on developing countries of the inclusion of such other factors.

³⁰ Confusion should be avoided between justification of national measures under the SPS and TBT Agreements and their validity at the international level.

³¹ According to the WTO principles, and taking into account the particular provisions of the SPS and TBT Agreements.

- 各国政府が国内法を制定する際に抱えるいくつかの法的懸念事項は、一般的に言って世界規模では適用できないまたは関係がないということを認識すべきである。³⁰
- 世界規模または地域規模で受諾されるのは、各地域における規格および関連文書がコーデックス食品規格体制のなかに取り入れられたときである。
- コーデックス食品規格委員会またはその下部機関によるリスク管理勧告の策定時のその他特定の考慮事項は、ケースバイケースの原則に従い、なぜその事項が考慮されたのか合理的根拠を明確に文書化しなければならない。
- 特に発展途上国における製造・加工の方法、輸送および保管の性質上のまたは特殊の制約がある場合、リスク管理オプションの実行可能性を考慮しなければならない；経済的利益および一般的な貿易問題は、定量化したデータにより十分に裏付けをとらなければならない。
- リスク管理上の他の法的要因を一体化することにより、貿易上の不当な障壁を作り出してはならない³¹。そのような他の要因を規格などに入れる際には、発展途上国に与える影響に特段の注意を払うべきである。

³⁰ SPS 協定・TBT 協定の国内での測定の正当化と、それらの国際的レベルでの妥当性に混乱が生じないよう努めるべきである。

³¹ WTO の原則に従い、また SPS 協定・TBT 協定の特殊規定を考慮に入れる。

***STATEMENTS OF PRINCIPLE RELATING TO THE ROLE OF FOOD SAFETY
RISK ASSESSMENT³²***

1. Health and safety aspects of Codex decisions and recommendations should be based on a risk assessment, as appropriate to the circumstances.
2. Food safety risk assessment should be soundly based on science, should incorporate the four steps of the risk assessment process, and should be documented in a transparent manner.
3. There should be a functional separation of risk assessment and risk management, while recognizing that some interactions are essential for a pragmatic approach.

³² Decision of the 22nd Session of the Commission, 1997.

食品安全性のリスク評価の役割に関する原則の表明³²

1. コーデックスの決定および韓国の健康および安全面は、適宜状況に応じ、リスク評価に基づいていなければならない。
2. 食品安全性のリスク評価は、着実に科学に根ざし、リスク評価プロセスの4段階を盛り込み、かつ透明性の高い方法で文書化されなければならない。
3. リスク評価とリスク管理の機能は明確に分離され、一方、実際的なアプローチにおいては両者の相互作用が必須である。

³² 1997年第22回会議時の決定

MEASURES TO FACILITATE CONSENSUS³³

The Codex Alimentarius Commission, desiring that every effort should be made to reach agreement on the adoption or amendment of standards by consensus, recommends the following measures to facilitate consensus:

- Refraining from submitting proposals in the step process where the scientific basis is not well established on current data and, where necessary, carry out further studies in order to clarify controversial issues;
- Providing for thorough discussions and documentation of the issues at meetings of the committees concerned;
- Organizing informal meetings of the parties concerned where disagreements arise, provided that the objectives of any such meetings are clearly defined by the Committee concerned and that participation is open to all interest delegations and observers in order to preserve transparency;
- Redefining, where possible, the scope of the subject matter being considered for the elaboration of standards in order to cut out issues on which consensus could not be reached;
- Providing that matters are not progressed from step to step until all relevant concerns are taken into account and adequate compromises worked out;
- Emphasizing to Committees and their Chairpersons that matters should not be passed on to the Commission until such time as consensus has been achieved at the technical level;
- Facilitating the increased involvement and participation of developing countries.

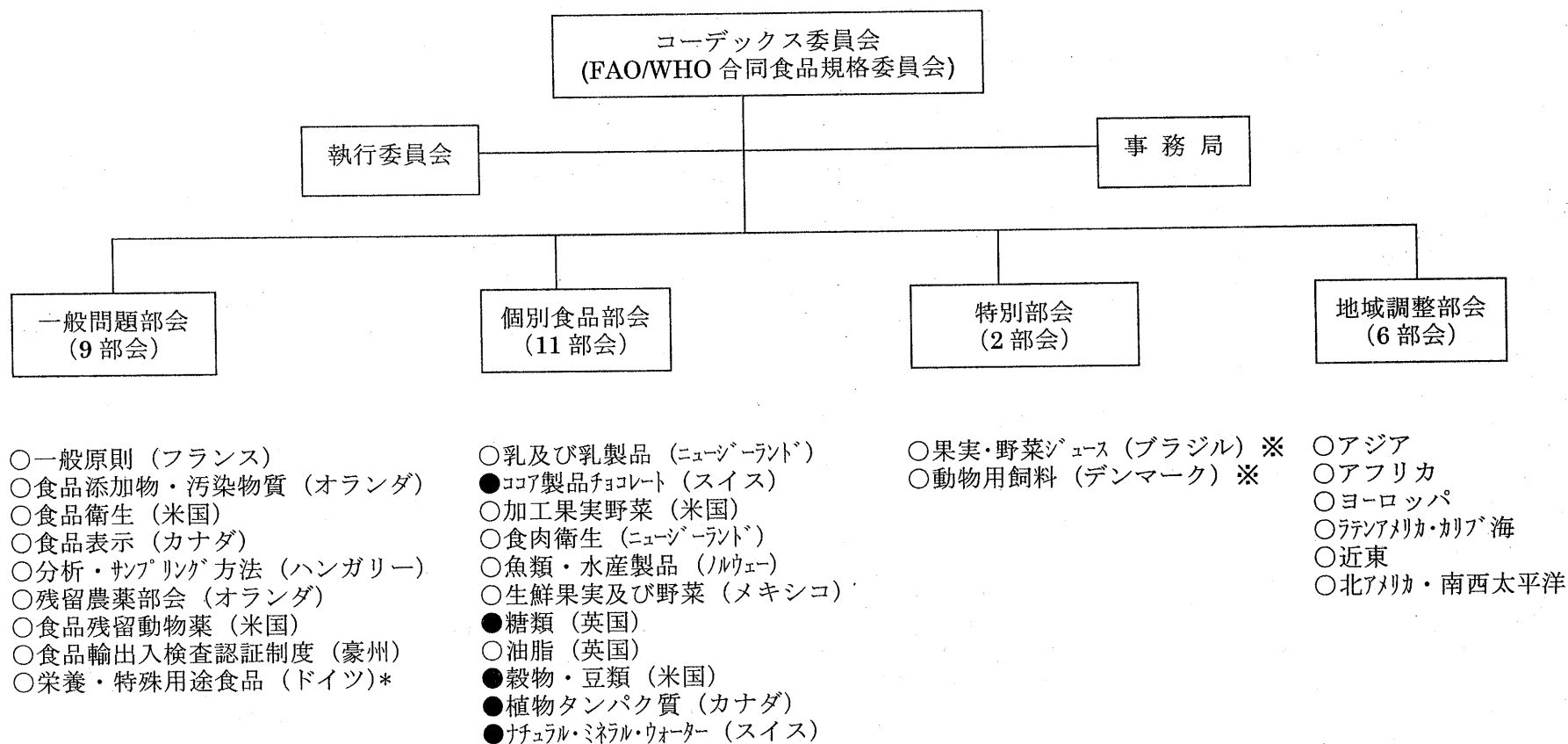
³³ Decision of the 26th Session of the Codex Alimentarius Commission, 2003.

総意（コンセンサス）を容易にする方法³³

コーデックス食品規格委員会は、規格の採択または修正が総意によって合意に達するようあらゆる努力が払われることを願い、総意を容易にするため次の方法を勧告する：

- 科学的根拠が最新のデータで裏付けされていない場合、またそうすることが必要な場合は、ステッププロセスにおいて提案を提出することを差し控え、論争中の問題を明確にするためさらなる研究を行うものとする。
- 関連部会の会議において、問題になっている事柄を十分に議論し、書類を提供する。
- 不一致が生じた関係者同士で非公式の会議を組織する。ただし、これらの会議の目的が関係部会によって明確に定義され、かつ透明性を保つため、すべての関係する代表团およびオブザーバーに会議の参加資格があること。
- 可能な場合、総意が得られなかった問題を切り離すため、問題となっている規格の議題の範囲を再定義する。
- すべての関連する懸念が考慮されるまで事態が次のステップに進まない場合、適切な妥協をする。
- 技術レベルで総意に達するまでは問題を委員会で通過させるべきでないと、各部会とその議長に強調する。
- 発展途上国の関与と参加を容易にする。

³³ 2003 年第 26 回会議時の決定



(2004年7月現在)

- 注) 1. ●印の部会は、休会中。
 2. () 内の国は、主催国名。
 3. 執行委員会は、議長、3副議長及び7地域代表 (アジア、アフリカ、欧州、ラテンアメリカ・カリブ、北米、南西太平洋、近東) で構成。
 4. ※印の部会は、期限付き部会。(果実・野菜ジュースは2005年、動物用飼料は2003年までに作業を終了する予定であったが、2003年の総会で合意に至らなかった点について次回討議することになっている。)
 5. * 特殊用途食品について検討する場合は、個別食品部会として機能する。

Joint FAO/WHO Food Standards Programme

